第1番 霊山寺
●徳島県鳴門市大麻町坂東字塚鼻126
☎088-689-1111
●宿坊／なし

第2番 極楽寺
●徳島県鳴門市大麻町檜字段の上12
☎088-689-1112
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

道の駅 第九の里

「第九」アジア初演の地といわれる鳴門市にある道の駅。徳島県内の観光情報や無料パンフレットなどが豊富に揃うので、四国観光の手始めにまず立ち寄ろう。地元で採れた野菜や果物、特産の"なると金時"などを販売する産直市のほか、敷地内にはベートーヴェンの像や「ドイツ館」「賀川豊彦記念館」も併設している。

所 徳島県鳴門市大麻町檜東山田53
☎ 088-689-1119
営 9:00～17:00、軽食コーナー9:30～16:30
休 第4月曜（祝日の場合は翌日）

境内の見どころ

縁結び観音

仁王門を入ってすぐ左手に建つ縁結び観音は、男女の縁だけでなく、健康との縁、幸せとの縁、仕事との縁など、様々な縁との結びつきにご利益があるとされている。お賽銭を入れて願いごとを唱えるのも良いが、水でお清めしながら真摯に祈れば功徳が得られるといわれており、広く信仰を集めている。

境内の見どころ

多宝塔

天正年間（1573～1592）、長宗我部元親の攻撃で堂塔は炎上。後に再建されるも、明治24年（1891）に本堂と多宝塔を残し再び焼失。大部分は近年の建築だが、応永年間（1394～1428）に建立された多宝塔は、600年近い歴史を持つ。下層が方形、上層が円形の造りで、五智如来が祀られている。

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

仁王門をくぐったところには、鯉が泳ぐ泉水池がある

第1番 竺和山 一乗院 霊山寺
じくわざん　いちじょういん　りょうぜんじ

四国巡礼の第一歩を踏み出す

歴史・全体像

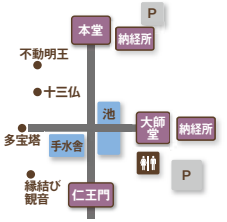
天平年間（729～749）、聖武天皇に深く信頼されていた行基が、天皇の勅願により開基。その後、弘仁6年（815）、弘法大師は人間の持つ八十八の煩悩をなくそうと、四国に88の霊場を開く決意をし、この地を訪れた。そして21日間修法している時に、数多くの菩薩が一老師を囲んで熱心に法を聞いている光景を見る。釈迦如来がインドの霊鷲山で説法されていた様子にあまりにも似ていたことから、インド（天竺）の霊山を日本（和国）に移すという意味を込めて「霊山寺」の名を付け、阿字五転の法則に従って、四国を右廻りに巡る遍路道を創った。以来、「一番さん」の名で親しまれている。

境　内

境内に入ると、左手に多宝塔、右手に鯉が泳いでいる泉水池、その奥に大師堂がある。参道の正面、階段を上ったところには、一見して古刹とわかる堂々とした本堂が建ち、中には本尊の釈迦如来が安置されている。この釈迦如来は左手に玉を持っている坐像で弘法大師の作といわれる。広い境内はいつも多くの参拝者で賑わっていて、休憩ができるように所々にベンチが設置されている。納経所は本堂横と大師堂裏にあり、どちらでも霊場巡りに必要な遍路用具をすべて揃えることができる。身も心も整えてスタートしよう。

御詠歌／霊山の釈迦のみ前にめぐりきてよろずの罪も消え失せにけり
本尊／釈迦如来
真言／のうまく さんまんだ ぼだなんばく
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩

堂々たる構えの本堂は境内の一番奥に建つ



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第1番 霊山寺 ▼ 第2番 極楽寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第１番　霊山寺 ▶ 第２番　極楽寺

1.4km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅館大鳥居苑	088-689-3523
2	一般社団法人 阿波椿	088-689-0705
3	極楽寺 宿坊	088-689-1112

縮尺＝1:13,000　0　500m

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 〒 郵便局 ⛩ 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第2番 極楽寺
●徳島県鳴門市大麻町檜字段の上12
☎088-689-1112
●宿坊／あり（要予約）

第3番 金泉寺
●徳島県板野郡板野町大寺亀山下66
☎088-672-1087
●宿坊／なし

沿線の見どころ

JAグリーン アグリ板野

平成27年10月に移転オープン。町内の農家が届ける新鮮野菜を販売。売れ残った品は翌日に残さず、毎日その日に採れた新鮮な果物や野菜、花などの商品が並ぶ。もちろん市場などを通さないので、料金も市価より格安。およそ50品目あるが、来店するなら様々なものが揃っている午前中がおすすめ。

所 徳島県板野郡板野町川端字惣徳田49
☎ 088-672-7873
営 8:00～16:00
休 水曜、1/1～1/3

境内の見どころ

安産大師

明治の頃、大阪の女性が大師の夢のお告げによって四国遍路を始めたところ、極楽寺で急に産気づいた。しかし「最後まで巡り続けよ」との大師のお告げがあり、産気はおさまって結願後に無事男の子を出産したという。この女性が奉納した大師像は安産大師と呼ばれており、子宝や安産のご利益がある。

境内の見どころ

長命杉

樹齢1100年以上の巨木は、弘法大師がこの地での修法を終えた時に、寺を末永く守護せよとの祈りをこめ、自らの手で植えたといわれている。千年以上の風雪に耐えた老杉の霊気を受けると、長寿、病気平癒、身体健全、諸願成就が叶うといわれている。紅白の紐を通じて霊気を受ける作法となっている。

鮮やかな朱塗りの仁王門には江戸時代作の仁王像が納められている

第2番 日照山 無量寿院 極楽寺
にっしょうざん むりょうじゅいん ごくらくじ

宝物や庭園、見どころの多い寺院

歴史・全体像

行基が開基。弘法大師がこの地で21日間修行をし、結願の日に現れた阿弥陀如来の姿を彫刻し本尊とした。

戦国時代に各地で兵火が起き、極楽寺も土佐の長宗我部氏の攻撃を受けたが、信者の努力もあって、万治2年（1659）には現存する本堂が再建された。願掛け地蔵や、石と樹木をうまく配置した美しい庭園も整備。

本堂と大師堂は庭園先の小高い丘の上にあり、その下には観音堂、薬師堂、鐘楼、大師お手植えの「長命杉」、仏様の足型をかたどったとされる「仏足石」などがある。宝物も多く、中でも絵図「両界曼荼羅」は、南北朝時代のものと推測される。

境　内

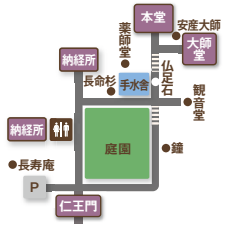
本堂は、庭園を抜けて、44段の石段を上ったところに位置している。堂内に安置されている本尊の阿弥陀如来は坐像で、国の重要文化財に指定されている。

昔、この阿弥陀如来坐像から差す光が遠く海まで達し、驚いた魚たちが逃げてしまった。そのため不漁続きとなり、困り果てた漁師たちは、阿弥陀様にお願いして、本堂の前に小山を築いて光を遮ったという。この伝承が、日照山という山号の由来となっている。

本尊は秘仏のため公開されていないが、境内の平地に本尊と同体の阿弥陀如来石仏が設置されており、これは愛知のお遍路さんが建立したもの。誰でもお参りすることができる。

御詠歌／極楽の弥陀の浄土へ行きたくば南無阿弥陀仏口ぐせにせよ
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていぜい からうん
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩

石段を上ったところにある本堂



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第2番 極楽寺 ▼ 第3番 金泉寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第2番　極楽寺 ▶ 第3番　金泉寺

2.6km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

1 りょうぜんじ 霊山寺

2 ごくらくじ 極楽寺

宿坊

3 こんせんじ 金泉寺

へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅館大鳥居苑	088-689-3523
2	一般社団法人 阿波椿	088-689-0705
3	極楽寺 宿坊	088-689-1112

縮尺＝1:13,000　0　500m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第3番 金泉寺
●徳島県板野郡板野町大寺亀山下66
☎088-672-1087
● 宿坊／なし

第4番 大日寺
●徳島県板野郡板野町黒谷字居内28
☎088-672-1225
● 宿坊／なし

沿線の見どころ

板野町歴史文化公園

板野町の中心部の丘陵地に自然の地形を活用して整備した自然公園。広い敷地内には、空想上の恐竜"イタノザウルス"の遊具を中心とする「祭の広場」、メリーゴーランド・フラワーカップなどがある「森の遊園地」、文化・芸術の発信基地で図書館を兼ね備えた「文化の館」などがあり、人々が憩い、学び、創造する場となっている。

所 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷13-1
☎ 088-672-5888（文化の館）
営 終日開放
休 無休

境内の見どころ

弁慶の力石

源氏と平氏が真正面から戦った寿永4年（1185）、平家を討とうと屋島へ向かっていた源義経一行が、戦勝祈願をすべくこの寺に立ち寄った。その時に弁慶が持ち上げた石が「弁慶の力石」。大事な一戦を控えた義経が、弁慶の人並み外れた力量を自軍の兵の前に示し、士気を鼓舞したという。

境内の見どころ

黄金の井戸

八角観音堂の手前の小さな祠にあるのが、黄金の井戸と地蔵尊。寺名の由来ともなった井戸は、現在もこんこんと水が湧き出ていて、この井戸をのぞき込み、影がはっきり映れば長寿、ぼやけていると短命という言い伝えがある。また、井戸の傍らに祀られているお地蔵さんは、首から上の病気に霊験があるという。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

天正10年(1582)に長宗我部元親の兵火にて堂宇は消失。その後再建された本堂

第3番 亀光山 釈迦院 金泉寺
きこうざん　しゃかいん　こんせんじ

今もこんこんと湧く大師の霊水

歴史・全体像

聖武天皇勅願により天平年間（729～749）に建立。当時は金光明寺といわれていたが、後に弘法大師が巡錫中に水不足で悩む地元の住民の声を聞き、井戸を掘った。すると霊水が湧き出たため、その素晴らしさに感動した大師は堂宇を建てて金泉寺と改称した。その後、亀山天皇が金泉寺を崇拝し、京都の蓮華王院にならった三十三間堂まねたお堂を建立。さらに千手観音を安置して、山号を亀光山と称した。天皇は勅願の道場として経蔵を造り、日本各地から学僧を集めて講演を行い、寺は大いに栄えたという。その頃の規模を知る資料として、東門、南門等が記された古図面が寺に伝わっている。

境　内

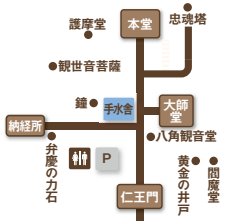
朱塗りの仁王門をくぐると、左手に鐘楼、右手に八角形をした色鮮やかな朱塗りの八角観音堂が見えてくる。

山を背景に正面に本堂、右手には改修された大師堂、その手前には黄金の井戸のある黄金地蔵尊堂が建っている。左側にある護摩堂の格天井は美しい花鳥が描かれていて見どころの一つ。

本堂は、なだらかな瓦屋根が印象的。天平の兵火で大師堂以外は焼失したので、現在の本堂はその後復興されたもの。境内は、いつ訪れても気持ち良く参拝できるようにと、きれいに清掃されている。

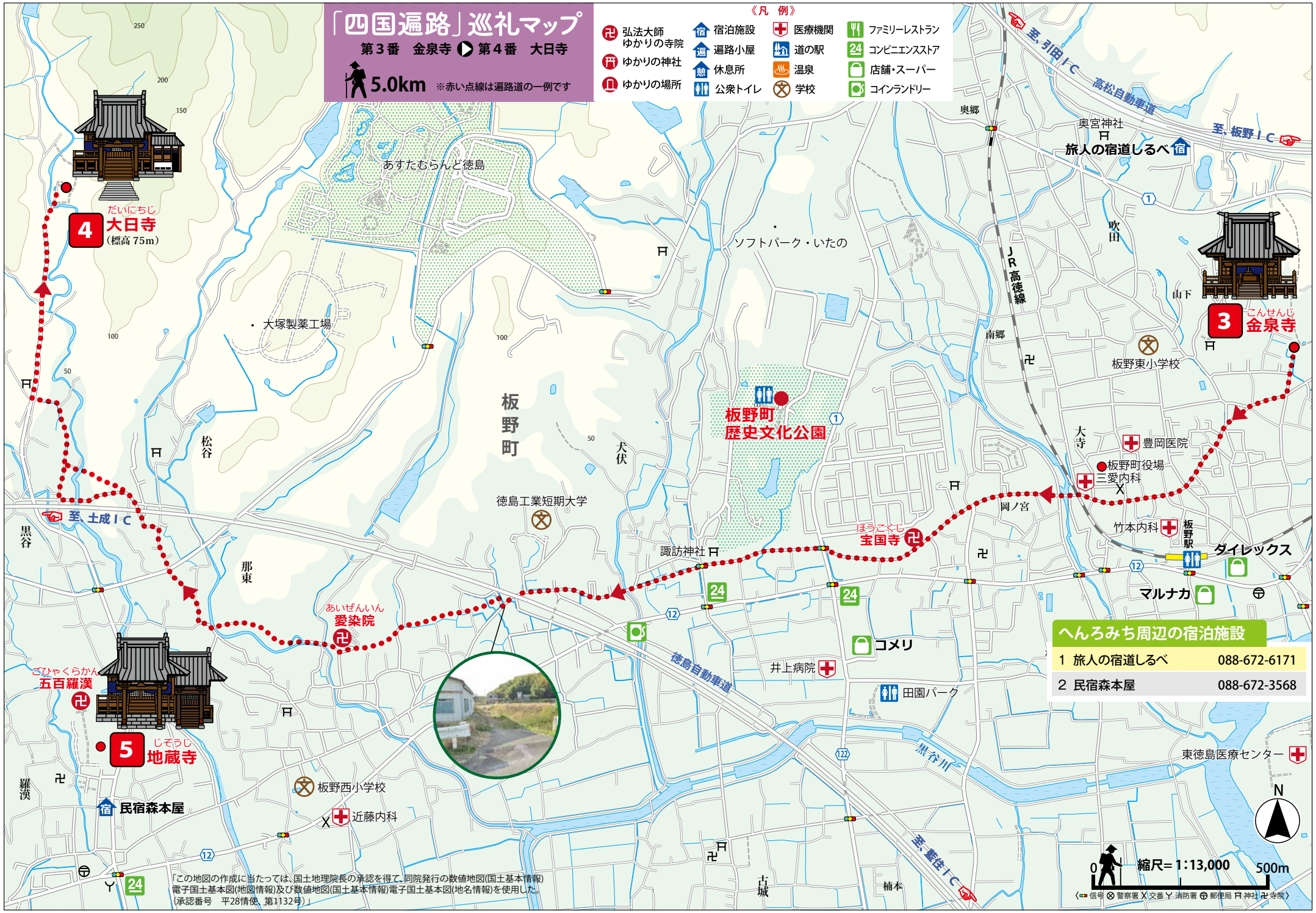
御詠歌／極楽の宝の池を思えただ黄金の澄みたたえたる
本尊／釈迦如来
真言／のうまく　さんまんだ　ぼだなん ばく
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩

本堂の隣りには美しい庭園が広がる



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第3番 金泉寺 ▼ 第4番 大日寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅人の宿道しるべ	088-672-6171
2	民宿森本屋	088-672-3568

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第4番 大日寺
●徳島県板野郡板野町黒谷字居内28
☎088-672-1225
●宿坊／なし

第5番 地蔵寺
●徳島県板野郡板野町羅漢林東5
☎088-672-4111
●宿坊／なし

沿線の見どころ

あすたむらんど徳島

遊びや体験を通して科学と自然にふれあえる大型公園。科学を身近に感じられる子ども科学館「常設展示場」や、雄大な星空を堪能できるプラネタリウム、小舟に乗って急流下りができる「吉野川めぐり」、工作が楽しめる「体験工房」などがある。屋外では大型複合遊具「わんぱく砦」を含む約30種類の遊具で遊ぶことも。

所 徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷45-22
☎ 088-672-7111
営 9:30～17:00（7・8月は～18:00）
休 水曜
（祝日の場合は翌日、8/12～15の水曜は除く）
料 入園無料

境内の見どころ

泰山木

境内の隅には、泰山木という背の高い木が植えられており、5月から7月にかけて、ハクモクレンに似た白い花を咲かせる。花の大きさは人の顔ほどもあり、訪れる人の目を楽しませてくれる。春はこの木の向こうに続く山々のヤマザクラが見られるほか、本堂の前のソメイヨシノも見ごたえがあり、お遍路さんを癒やしている。

境内の見どころ

三十三観音

本堂と大師堂をL字型につないでいる廻廊には、観音様が姿を変える話に由来する33体の観音像が安置されている。これは西国三十三所の木造観音像で、江戸時代の明和年間（1764～1772）に大阪の信者が奉納したものといわれている。様々な形をした観音像が、じっとこちらを見据えている様は圧巻。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

参道を抜け、鐘楼門をくぐると正面に本堂が見える

第4番 黒巌山 遍照院 大日寺
こくがんざん　へんじょういん　だいにちじ

大日如来を本尊とする山坂の寺

歴史・全体像

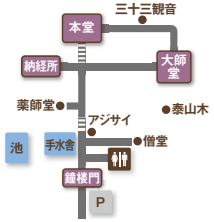
開創年代ははっきりしないが、弘法大師が長く滞在して修法し、一尺八寸（約55cm）の大日如来を彫って本尊にしたという。ご本尊が大日如来の寺は四国八十八ヶ所霊場中6ヶ寺しかなく、真言宗では「宇宙の中心、万物の根源とされ、人々にあまねく、慈悲をもたらす最高の仏」とされている。大師は本尊にちなんで寺号を大日寺とし、第4番に定めた。その後歴史のうねりの中で、寺は何度も廃寺になってはその度に再建されている。天和・貞享年間（1681～1688）に再建された後は、大日如来を守り本尊としていた当時の阿波藩主蜂須賀家の帰依を受け、堂塔の修理なども行われた。

境　内

近くに渓流があり、森の木々に覆いつくされた霊地にふさわしい幽玄な雰囲気の境内。中でも、まず目に飛び込んでくるのが、朱塗りの門である。この門は上部が鐘楼になっている鐘楼門だが、1階部分が角柱、2階部分が円柱という変わった造りになっており、建造物としても非常に興味深い。鐘楼門からは石を敷きつめた参道が通っていて、正面に本堂、右手に本堂と廻廊でつながれた大師堂がある。秘仏となっている大日如来像は、室町時代後期の作であることが仏像の下部に書かれている。2016年に修復を終え、2017年から毎月28日に御開帳されている。

御詠歌／眺むれば月白妙の夜半なれやただ黒谷に墨染の袖
本尊／大日如来
真言／おん あびらうんけん ばざら だどばん
宗派／東寺真言宗
開基／弘法大師

本堂は木立に囲まれている



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第4番 大日寺 ▼ 第5番 地蔵寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

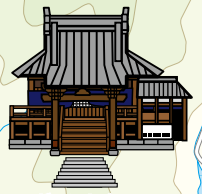
「四国遍路」巡礼マップ

第４番　大日寺 ▶ 第５番　地蔵寺

2.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー



4 だいにちじ 大日寺（標高 75m）

あすたむらんど徳島

ソフトパーク・いたの

大塚製薬工場

板野町

板野町歴史文化公園

徳島工業短期大学

諏訪神社

ほうこくじ 宝国寺

あいぜんいん 愛染院

ごひゃくらかん 五百羅漢

5 じぞうじ 地蔵寺

民宿森本屋

板野西小学校

近藤内科

井上病院

コメリ

田園パーク

マルナカ

竹本内科

豊岡医院

板野町役場

板野東小学校

3 こんせんじ 金泉寺

奥宮神社

旅人の宿道しるべ

東徳島医療センター

至、土成ＩＣ

至、引田ＩＣ

至、板野ＩＣ

至、鳴門北ＩＣ

高松自動車道

徳島自動車道

ＪＲ高徳線

板野駅

黒谷川

へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅人の宿道しるべ	088-672-6171
2	民宿森本屋	088-672-3568

N

縮尺＝1:13,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

第5番 地蔵寺
●徳島県板野郡板野町羅漢林東5
☎088-672-4111
●宿坊／なし

第6番 安楽寺
●徳島県板野郡上板町引野字寺ノ西北8
☎088-694-2046
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

上板町 技の館

上板町の伝統工芸藍染体験ができる施設。天然灰汁発酵建ての正阿波藍でありながら、500円からという手軽さもうれしい。体験後は「からだに優しいレストラン　桜並木」で、旬の食材で季節感を楽しめる料理を味わおう。阿波和三盆糖アイスクリームも好評。

境内の見どころ

大銀杏

境内の中心で寺を見守り続けているのは、「たらちね銀杏」とも呼ばれている、樹齢800年を超える母なる大木。幹が太く四方八方に枝を伸ばし、秋になると黄金の葉が境内を染める。また、奥の院と本堂を結ぶ本堂裏の参道には、毎年春に見事な梅の花が咲く。折々の風情を楽しみつつお参りしたい。

境内の見どころ

奥の院 五百羅漢堂

安永4年（1775）、実聞、実名という兄弟の僧によって創建された。しかし大正4年（1915）に参拝者の火の不始末で火事となり、羅漢の大部分が焼失。現在あるものは大正から昭和にかけて作られたもの。約200体の羅漢は、コの字型に並ぶ弥勒堂、釈迦堂、大師堂に数々の仏像とともに収められている。

所 徳島県板野郡上板町泉谷字原東32-4
6番安楽寺から北東へ2.1km
☎ 088-637-6555
営 9:00～17:00（藍染体験受付は15:30まで）
休 月曜

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

黄金のたらちね銀杏が境内を見守る

第5番 無尽山 荘厳院 地蔵寺
むじんざん　しょうごんいん　じぞうじ

様々な表情の羅漢さんに出会える

歴史・全体像

弘仁12年（822）、嵯峨天皇の勅願によって弘法大師が開創。大師が刻んだ本尊の勝軍地蔵菩薩は、高さ一寸八分（5cm余り）で、甲冑を身につけ馬にまたがるという勇ましい姿。その後、浄函上人が一尺七寸（約51cm）の延命地蔵を彫り、その胎内に弘法大師の勝軍地蔵菩薩を納めたという。寺は源氏をはじめ多くの武将、阿波藩主蜂須賀家などに信仰され、広大な土地を有するようになった。

しかし、長宗我部氏の攻撃ですべて焼失。現在の建物はその後に建てられたものだが、今でも1万2000坪の広大な敷地をもち、大寺の面影を残している。

境　内

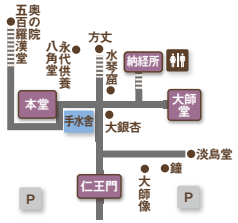
駐車場に車を停め、横の仁王門をくぐると、大きな銀杏の木に目を奪われる。

この寺はおよそ1200年の昔より法灯が連綿として受け継がれてきた真言宗の古刹であり、その歴史を物語るように、境内には本堂、大師堂、不動堂、永代供養八角堂、方丈、淡島堂が厳かな雰囲気の中に佇んでいる。

また、本堂脇の参道を通り石段を上ったところには、奥の院となる五百羅漢堂がある。ここへは境内を通って歩いて行くことができるが、車で直接乗り入れることも可能だ。境内にある水琴窟が音色を奏で、ひとときの清涼感を与えてくれる。

御詠歌／六道の能化の地蔵大菩薩導きたまえこの世後の世
本尊／勝軍地蔵菩薩
真言／おん かかかび さんまえい そわか
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師

大師が刻んだ勝軍地蔵菩薩が祀られる本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第5番 地蔵寺 ▼ 第6番 安楽寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第５番　地蔵寺 ▶ 第６番　安楽寺

5.3km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設

1	民宿森本屋	088-672-3568
2	民宿寿食堂	088-694-2024
3	安楽寺宿坊	088-694-2046

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

堂々とした佇まいの仁王門が遍路を迎えてくれる

第6番 温泉山 瑠璃光院 安楽寺
おんせんざん　るりこういん　あんらくじ

大師を守った松と天然温泉の寺

歴史・全体像

温泉山という山号からもわかるように、かつてこの周辺には鉄サビ色の温泉が湧き、万病に効くとされ、遠くから湯治に訪れる人も多かったという。四国行脚中にこの地を訪れた弘法大師も、この土地が病疫から人々を救う薬師如来と深い因縁で結ばれていると直感。坐像を刻み堂宇を建立して、四国八十八ヶ所第6番霊場と定めた。これが寺の発祥となっている。諸堂には、慶派の京都大仏師・松本明慶が無名時代から彫り続けた仏像60体余りが祀られている。また、性霊殿には、弘法大師のさまざまな筆法の書が刻まれた「大師之壁」がある。

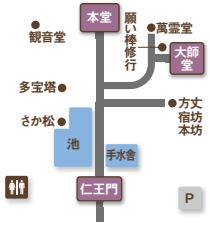
境　内

本尊を祀った本堂は、昭和38年（1963）に再建された鉄筋コンクリート造りの建物。四国霊場には薬師如来を本尊とする寺は多いが、1番から順に巡ってくると、一番最初に出会うのがこの寺だ。

昭和37年（1962）、不治の病で医者にも見放されていた愛知県の女性が、夫とともに藁にもすがる思いで病気平癒の願いを込めて霊場巡りに出掛けたところ、その旅の途中に病気はみるみる快癒していったという。本尊はその霊験に感激し、奉納された仏像だ。弘法大師作といわれる元来の本尊は、胎内仏として納められている。

御詠歌／仮の世に知行争うむやくなり安楽国の守護をのぞめよ
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

順打ちで最初に薬師如来に出会える寺



所 徳島県板野郡上板町引野寺ノ西北8
電 088-694-5889
開 9:00～16:30
休 無休

第6番 安楽寺
●徳島県板野郡上板町引野字寺ノ西北8
☎088-694-2046
●宿坊／あり（要予約）

→

第7番 十楽寺
●徳島県阿波市土成町高尾字法教田58
☎088-695-2150
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

お四国のしらかわ

安楽寺の山門と駐車場の間にある土産物店。お守りやお菓子、遍路用品を販売している。伝説の「さか松」にちなんだ「さかまつ煎餅」（540円～）の小袋には、「ほどほどに」というイラストが描かれている。ついつい先を急いでしまう遍路旅だが、コーヒー（200円）で一息ついてから出発しよう。

境内の見どころ

さか松

寺に伝わる伝説として有名な大師身代わりのさか松。境内の池のほとりにある樹齢1300年もの松の木で、42歳の厄年に弘法大師がこの地に来た時、猟師の青年が間違えて射た矢から大師を守り助けたという。枝をさかさまに挿しても芽吹いたのでさか松と呼ばれ、拝むと厄除けになると信仰されている。

境内の見どころ

方丈

遍路や旅人を泊めて保護するよう指定された寺「駅路寺」であった安楽寺。寺には蜂須賀家政公によって出された慶長3年（1598）の「駅路寺文書」が寺宝として大切に保存されている。当時の面影を残すのは茅葺き屋根の立派な方丈だ。また、宿坊には大師堂前を源泉とする天然温泉「弘法の湯」があり、宿泊者のみ入浴することができる。

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第６番　安楽寺 ▶ 第７番　十楽寺

1.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設

1	安楽寺 宿坊	088-694-2046
2	十楽寺 宿坊	088-695-2150
3	越久田（おくだ）屋	088-695-5322

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第7番 十楽寺
●徳島県阿波市土成町高尾字法教田58
☎088-695-2150
●宿坊／あり（要予約）

第8番 熊谷寺
●徳島県阿波市土成町土成前田185
☎088-695-2065
●宿坊／なし

沿線の見どころ

道の駅どなり

国道318号線沿い、渓谷美を誇る奥宮川内　県立自然公園内にある道の駅。テーマは食とアートの融合。館内では郷土食たらいうどんをはじめ、お手頃価格で定食、喫茶が楽しめる。手づくりアート作家の販売コーナー、屋外にはコインシャワー、キャンプ場、遊歩道もあり車中泊にも適している。詳細は「道の駅どなり」でWEB検索。

所 徳島県阿波市土成町宮川内字平間28-2
　十楽寺から北へ5.5km
☎ 088-695-5405
営 10:00～17:30（11～3月は～17:00）
休 月曜（祝日の場合は翌日）

境内の見どころ

愛染堂

遍照殿という額のかかげられた中門は、上層部が愛染堂となっている。門の中にある階段を上ると、愛欲貪染の煩悩をそのまま悟りに変えるという愛染明王が祀られている。愛染明王は縁結びの本尊で、結婚に限らず諸々のご縁を結んでくれるといわれ、参拝者はもちろん、成就したお礼参りに訪れる人も数多い。

境内の見どころ

水子地蔵

鐘楼門をくぐってすぐのところに祀られているのは、亡くなった子どもを慰める水子地蔵。上り坂に沿って、視界いっぱいに約70体もの水子地蔵が並んでいる。赤子を抱いたお地蔵様のまわりを小さな愛らしいお地蔵様が囲んでいる光景は見る人の心を動かし、自然と手を合わせたくなる。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

現在の寺は天保年間に以前の場所から移動し、再建された

第7番 光明山 蓮華院 十楽寺
こうみょうざん　れんげいん　じゅうらくじ

十の楽しみを得るよう願って建立

歴史・全体像

現在地より3km余り奥の十楽谷に堂ヶ原という場所がある。この地を訪れた弘法大師が阿弥陀如来を感得し、樟で本尊を刻み堂宇を建立して開基した。またその際、山号・寺名を命名するにあたり、生・老・病・死・愛別離苦（愛する者といずれ別れなければならない苦しみ）、求不得苦（求めるものが得られない苦しみ）など、人間が持つ八つの苦しみを阿弥陀如来の慈悲によって克服し、十の光明に輝く楽しみを得られるようにとの願いを寺名に込めた。その後、長宗我部軍の兵火に遭い焼失。寺は江戸期に入って現在の場所へ移転。その後も再建などが繰り返されたが、本尊は創建時より伝わるものだ。

境　内

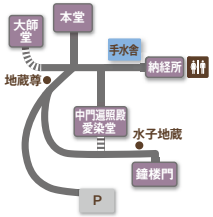
朱色と白のコントラストが美しい中国風の鐘楼門は、十楽寺のシンボルとして知られている。上層が朱塗り、下層が漆喰という凝った造りをしている。エキゾチックな雰囲気を漂わせているうえ、深緑の背景に映えるため、ここで記念撮影をするお遍路さんも多い。

この門をくぐり中へ入ると、正面に水子地蔵尊が祀られており、その横の石段を上っていくと中門遍照殿がある。この門は上層部が愛染堂となっており、階段を上ると中に愛染明王が祀られている。

本堂の右側に客殿と方丈があり、大師堂は本堂に向かって左手の石段を上ったところにある。

御詠歌／人間の八苦を早く離れなば
到らん方は九品十楽
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていぜい からうん
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

緑の木々に映える本堂（平成6年改築）



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第7番 十楽寺 ▼ 第8番 熊谷寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第７番　十楽寺 ▶ 第８番　熊谷寺

4.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設

1	安楽寺 宿坊	088-694-2046
2	十楽寺 宿坊	088-695-2150
3	越久田(おくだ)屋	088-695-5322

8 くまだにじ 熊谷寺（標高 120m）

7 じゅうらくじ 十楽寺 宿坊

6 あんらくじ 安楽寺 宿坊

A地点

天然温泉御所の郷

越久田屋

緑の丘スポーツ公園

へんろ石（道標）

徳島自動車道

至、脇町IC

至、藍住IC

土成IC

阿波市

山分

土成町土成

西原

JA 板野

御所小学校

御所大橋

宮川内谷川

上藤原

土成町宮川内

土成町吉田

熊ノ庄

引野

上板町

熊野神社

真念しるべ石

門田

引野の森

土成町高尾

林

N

縮尺= 1:10,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

第8番 熊谷寺
●徳島県阿波市土成町土成前田185
☎088-695-2065
●宿坊／なし

第9番 法輪寺
●徳島県阿波市土成町土成字田中198-2
☎088-695-2080
●宿坊／なし

沿線の見どころ

天然温泉 御所の郷

阿讃の麓に湧く極上の天然温泉で、遍路道沿いにある。毎日男女が入れ替わる和の湯「けやき」や古代ローマの湯「ビーナス」のほか、低温サウナ、スチームサウナなどたくさんのコースがあるので、たっぷりと癒やしの時間を楽しんで。リラクゼーションマッサージでさらに上の癒やしも体験できる。女性専用の岩盤浴もあり。

所 徳島県阿波市土成町吉田字梨木原1
熊谷寺から東へ1.6km
☎ 088-695-4615
営 10:00～23:00（札止22:00）
休 第4水曜（祝日の場合は翌日）
料 大人600円

境内の見どころ

山門

山門は、高さ13.2mの和様と唐様（禅宗様）の折衷様式で、貞享4年（1687）に建造された県指定の有形文化財。四国霊場の木造山門としては最大規模であり、2層目の天井・柱等には極彩色の天女像等が描かれている。また、現存する大看板「普明山」の額は安政大修理の時に寄付されたといわれている。

境内の見どころ

多宝塔

安永3年（1774）に建立された。胎蔵界の大日如来を中心に、東側に阿閦如来、南側に宝生如来、西側に無量寿如来、北側に不空成就如来と、四方に四仏が祀られている。色彩豊かに彩られたこの塔は、多宝塔としては四国地方最古にして最大規模を誇っている。建物に施された数々の彫刻もじっくりと見ておきたい。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

檜などの植林が進められ、緑に包まれた境内

第8番 普明山 真光院 熊谷寺
ふみょうざん　しんこういん　くまだにじ

歴史を偲ばせる堂宇が今なお残る

歴史・全体像

弘仁8年（817）、弘法大師が熊谷寺の閼伽ヶ谷（あかがたに）で修行している時に熊野権現が出現。「長く衆生済度の礎とせよ」と告げ、一寸八分（5cm余り）の金の観音像を授けた。そこで大師は等身大の千手観世音菩薩を刻み、その胎内に熊野権現から授かった観音像を納め、堂を建立して本尊として安置した。これが、熊谷寺の始まりと伝えられている。

元禄年間（1688～1704）にかけて、大師が修行した伝説の地に堂塔が次々と建てられ、現在の境内の基となった。山門、大師堂、多宝塔など、歴史を偲ばせる建造物が今なお残り、重厚な風情を漂わせている。

境　内

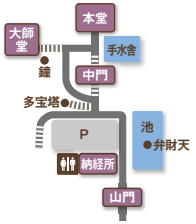
山門をくぐり、長い坂や階段を上っていくと中門が見える。本堂は中門を上った正面、山の中腹部にある。

本堂と本尊の千手観世音菩薩は、昭和2年（1927）に火災に遭い全焼した。現在の本堂は、昭和15年（1940）再建の本尊を安置する奥殿と拝殿、昭和45年（1970）再建の供養殿から成る。本尊は供養殿とともに再建された。

また、本堂から階段を36段上ったところにある大師堂は、屋根に据えつけられた露盤から、宝永4年（1707）の建立とわかる。安置されている大師像も永享3年（1431）の作と古いものである。

御詠歌／たきぎとり水熊谷の寺に来て難行するも後の世のため
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

歴代住職の尽力によって再建された本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第8番 熊谷寺 ▼ 第9番 法輪寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第８番　熊谷寺 ▶ 第９番　法輪寺

2.4km　※赤い点線は遍路道の一例です

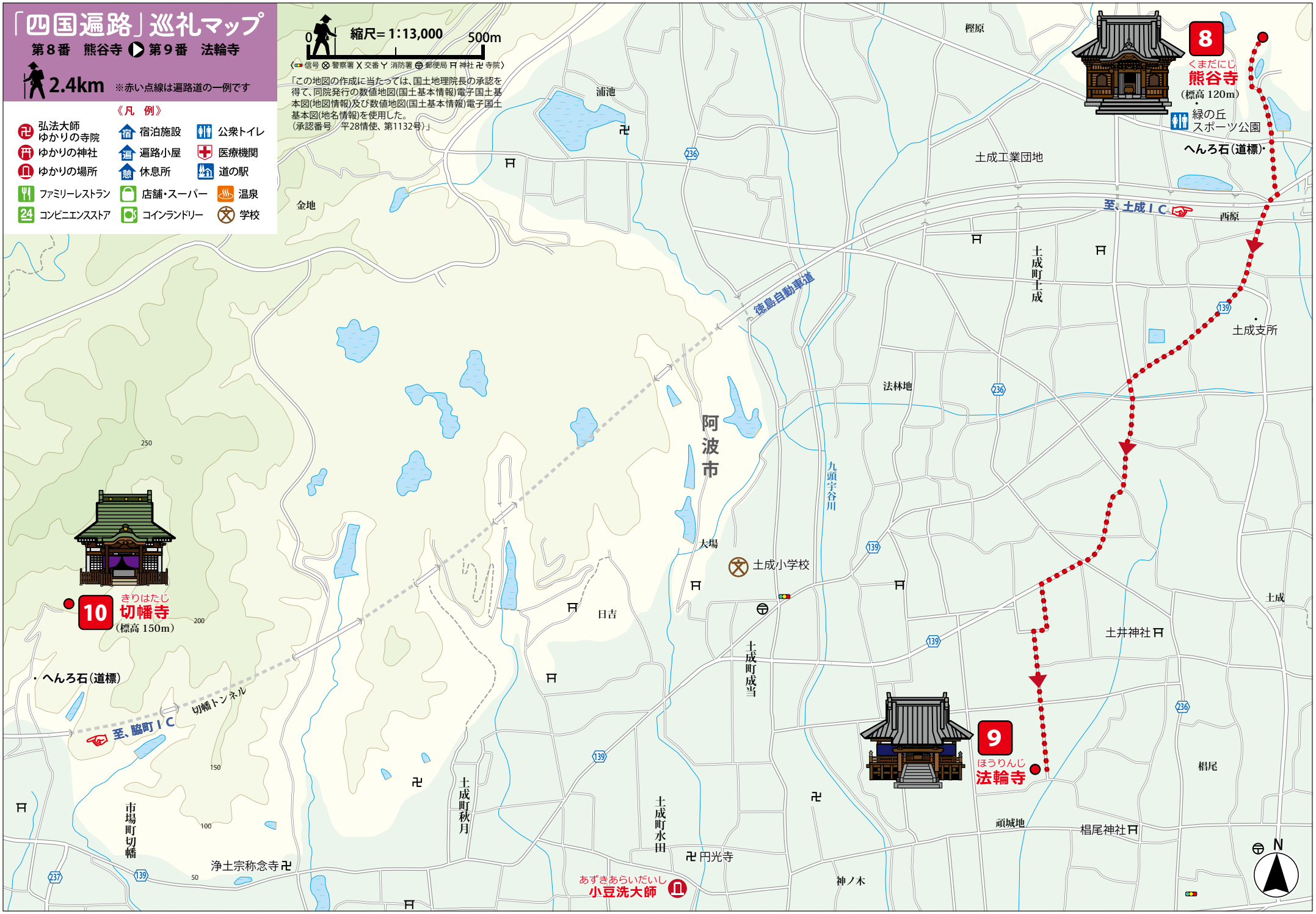
《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

縮尺＝1:13,000　0　500m

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 〒 郵便局 ⊓ 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」



各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第9番 法輪寺
●徳島県阿波市土成町土成字田中198-2
☎088-695-2080
●宿坊／なし

第10番 切幡寺
●徳島県阿波市市場町切幡字観音129
☎0883-36-3010
●宿坊／なし

沿線の見どころ

阿波市立 市場歴史民俗資料館

市場町地域で出土した石器や須恵器、八坂神社古墳出土の切り子玉などの副葬品、蜂須賀家政公の御判物、原士関係絵図、武具、近世の民具や農耕具・養蚕具など、市場町の歴史を今に伝える資料の数々を展示。切幡寺大塔修復に伴う資料と市場地域の絵地図も見ごたえあり。市場図書館との併設になっている。

所 徳島県阿波市市場町市場字上野段212-2
法輪寺から西へ5.1km
☎ 0883-36-6455
開 9:00～17:00
休 月曜、祝日（月曜の場合は翌日）、資料整理日（毎月末）、12/28～1/4
料 無料

境内の見どころ

大師堂・大師御衣

大正期の大きな奉納額が掛かっている大師堂。これは不治の病から奇跡的に回復した人の返礼で、詞書には奉納者の氏名とその経緯が記されている。また、この堂の中には珍しい「大師御衣」が納められている。この寺にあるものは、明治天皇から下げ渡されたもので、現在は一般公開されていない。

境内の見どころ

健脚祈願の草鞋

昔、松葉杖なしでは歩けない人がこの寺にお参りに来た。すると、参道の真ん中辺りで足が軽くなり、松葉杖なしでも歩け、ついには足が完治したという。そのため本堂にはたくさんの草鞋が奉納されている。また健脚祈願の願をかけた草鞋が授与されており、足腰のお守りとして持ち帰る人も多い。

田園の中にあり、「田中の法輪さん」と呼ばれ親しまれている

第9番 正覚山 菩提院 法輪寺

しょうかくざん ぼだいいん ほうりんじ

涅槃釈迦如来を本尊とする寺

歴史・全体像

現在の場所から約3km離れた谷間の地で、弘法大師によって創建されたという歴史を持つ。以来寺は壮大な伽藍を誇っていたが、戦国時代、この地は長宗我部軍の兵乱の激戦区で、境内は兵火によってすべて焼失。その後土石流の影響もあり、正保年間（1644～1648）になって現在地へ移され、正覚山法輪寺と名を改めて再興された。しかし、安政6年（1859）にまたしても失火により鐘楼だけを残して焼失してしまう。多くの文献では本尊は涅槃釈迦如来だけと記されているが、本堂には三国伝来（インド、中国、日本）の仏像とされている薬師如来、釈迦如来、阿弥陀如来の三如来像も祀られている。

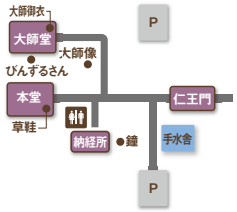
境　内

本堂には四国八十八ヶ所霊場唯一といわれる珍しい寝姿の仏像が祀られている。この涅槃釈迦如来像は弘法大師作といわれており、釈迦がクシナガラの沙羅双樹の下で入滅した（亡くなられた）際の様子を表したもの。北枕に顔は西向き、右脇を下にして横たわり、その傍らには釈迦を慕って嘆き悲しむ弟子たちや動物たちの像が置かれている。

この寝姿は、別名「賢者の寝相」とも呼ばれ、安静を保つのに最良の形だといわれている。開帳は5年に一度となっており、最近では平成27年（2015）に開帳された。次の機会にはぜひ見ておきたい。

御詠歌／大乗のひほうもとがもひるがえし転法輪の縁とこそきけ
本尊／涅槃釈迦如来
真言／のうまく　さんまんだ　ぼだなん ばく
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

仁王門を抜けると、まっすぐ本堂へ続く



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

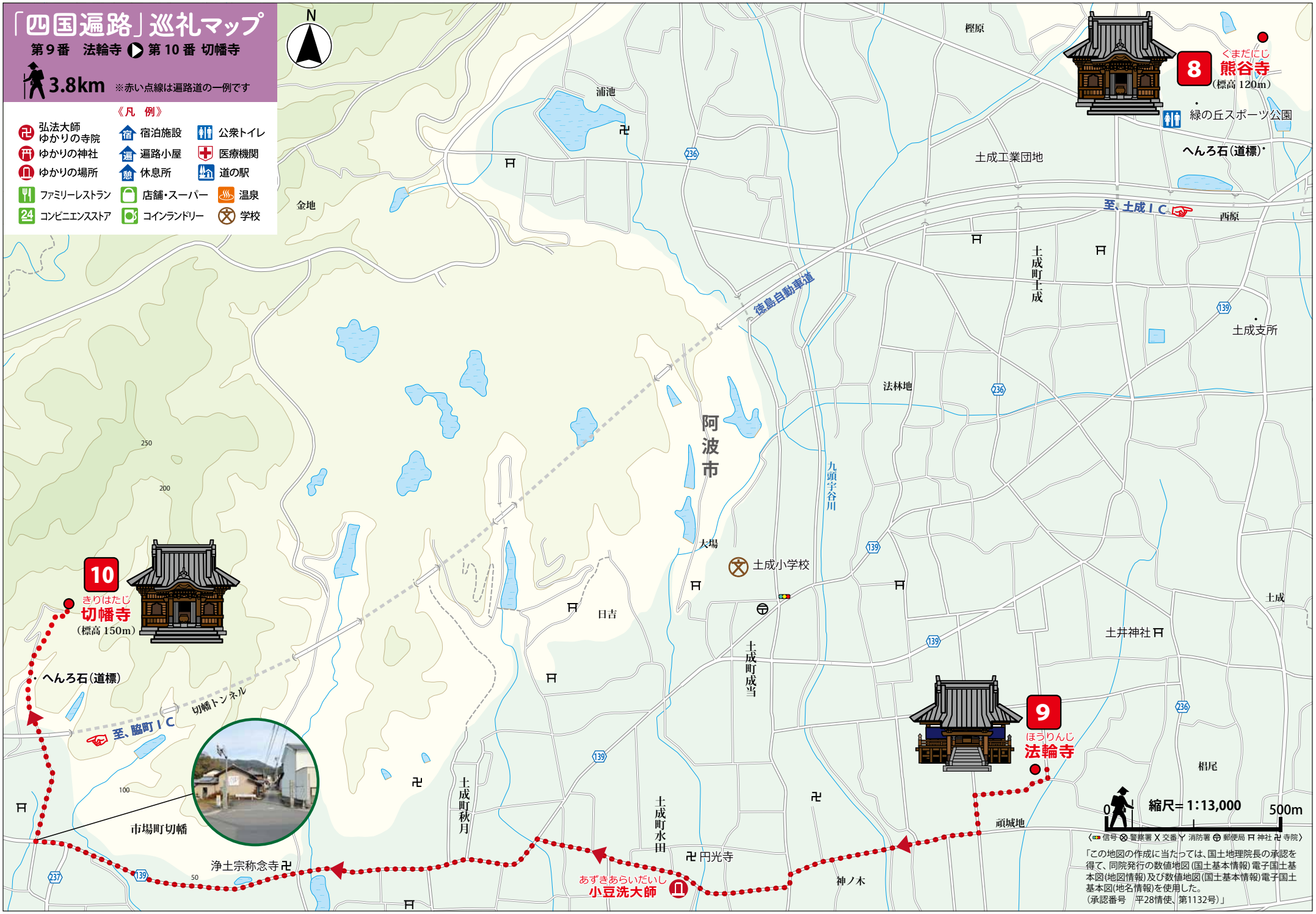
「四国遍路」巡礼マップ

第９番　法輪寺 ▶ 第 10 番 切幡寺

3.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）及び数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第10番 切幡寺
●徳島県阿波市市場町切幡字観音129
☎0883-36-3010
●宿坊／なし

第11番 藤井寺
●徳島県吉野川市鴨島町飯尾1525
☎0883-24-2384
●宿坊／なし

沿線の見どころ

鴨島温泉 鴨の湯

銭湯感覚で気軽に温泉が楽しめる入浴施設。浴室には、大浴場、水風呂、サウナ、外には檜と岩の露天風呂があり、男湯女湯が1週間毎に入れ替わる。露天風呂からの眺めは格別だ。泉質は低張性弱アルカリ性低温泉で、神経痛や疲労回復、健康増進などに効果があるそう。ドーム型の建物が目印。

所 徳島県吉野川市鴨島町飯尾415-1
11番藤井寺から北東へ2km
☎ 0883･22･1926
営 10:30～22:00
休 第3木曜
料 大人500円

沿線の見どころ

江川湧水源

環境省選定名水百選にも選ばれている湧水。夏季は10℃前後に下がり、冬季は20℃前後に上昇する「異常水温」と呼ばれる珍しい現象がみられる。周辺には「ふるさとの森」があり、年間を通じて休憩所として、多くのお遍路さんで賑わっている。

所 徳島県吉野川市鴨島町
☎ 0883･22･2271（吉野川市生涯学習課）
営 散策自由

境内の見どころ

切幡寺大塔

国の重要文化財に指定されている大塔。豊臣秀吉の子である秀頼が大阪の住吉神宮寺に寄進したもので、明治維新の時、神宮寺が廃寺となったため、第45世住職天佑上人が東西両塔あったうち、当時残っていた西塔を買い取った。それを明治6年（1873）から10年かけてこの地に移築した。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

女人即身成仏の伝説で知られる寺

第10番 得度山 灌頂院 切幡寺
とくどざん　かんぢょういん　きりはたじ

千手観音になった娘を祀る古刹

歴史・全体像

寺の開創は、遥か平安時代の古に遡る。弘仁6年（815）、弘法大師が旅僧姿で四国巡錫中に山麓に到った時、衣がかなり傷んでいた。近くの民家に繕いの布を求めると、家の中で機を織っていた娘が、織りかけていた布を惜しげもなく断ち切って差し出した。この娘の行為に感動した大師は、「亡き父母のために観音像を」という娘の願いを聞き、一夜で千手観音像を刻むと、娘を得度させ、更に秘密灌頂を授けた。すると娘の身から七色の光明が放たれ、たちまち千手観音の姿に変わった。そこで弘法大師は嵯峨天皇に奉請して一寺を建立したのが、この切幡寺の始まりである。

境　内

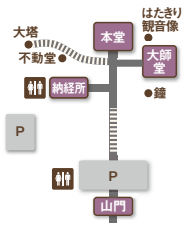
寺は切幡山の中腹、標高155ｍの所にある。山麓の山門から境内までの距離はかなり遠く、坂道と333段の石段が待っている。一段一段、踏み締めながら上っていきたい。

境内には本堂、大師堂、その奥に、はたきり観音の銅像、鐘楼、大塔、不動堂がある。

寺には2体の観音像があり、弘法大師作の千手観音を南向きに、女人即身成仏の千手観音を北向きに安置している。娘が化身した千手観音は、秘仏であるため公開されていない。

御詠歌／欲心をただ一筋に切幡寺のちの世までの障りとぞなる
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

333段の石段を上りきった先に本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第10番 切幡寺 ▼ 第11番 藤井寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第10番　切幡寺 ▶ 第11番　藤井寺

9.3km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅館八幡	0883-36-6186
2	米谷旅館(カネマン)	0883-25-2226
3	チャンネルカン	0883-24-7059
4	民宿富士	0883-36-1088

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第11番 藤井寺
●徳島県吉野川市鴨島町飯尾1525
☎0883-24-2384
●宿坊／なし

第12番 焼山寺
●徳島県名西郡神山町下分字地中318
☎088-677-0112
●宿坊／なし

沿線の見どころ

杖杉庵（じょうしんあん）

左手にイチョウの木、右手に大きな杉の木がある小さな庵。弘法大師の後を追って懺悔の旅をしていた衛門三郎が力尽きて最期を迎えた場所だ。彼が遍路の間に使っていた杖を墓標がわりに立てたところ、その杖から葉が出て、大きな杉に育ったという。初代の杉は享保年間（1716～1736）に焼失し、現在のものは二代目。

所 徳島県名西郡神山町下分字地中
☎ 088-676-1118（神山町産業観光課）
営 参拝自由

境内の見どころ

弘法大師お手植えの藤

境内に入ってすぐ目に入るのは立派な藤棚。藤は弘法大師のお手植えといわれており、寺の名前の由来にもなっている。見頃は4月下旬からゴールデンウィーク中。紫のノダ藤、八重咲きで濃い紫のレンゲ藤に、ピンク、小豆色などのカラフルな藤の花が見事に咲き競った様子は、幻想的な美しさを醸し出す。

境内の見どころ

雲竜の天井絵

本堂をお参りする際に、見逃せないのが天井に描かれている雲竜。地元鴨島出身の林雲渓の作で、本堂を全面改修した昭和52年（1977）に描かれたものということだ。30畳ほどの大きさがあり、睨みをきかせた迫力のある顔をしている。まるで本尊の薬師如来を守っているかのようにも見える。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

藤の名所として知られるが、紅葉の季節もまた風情がある

第11番 金剛山 藤井寺
こんごうざん　ふじいでら

大師お手植えの藤に彩られる仙境

歴史・全体像

弘仁年間、この地に立ち寄った弘法大師は、三方を山に囲まれた渓流の水清き仙境に心をひかれた。現在境内のあるところから、さらに山中にある八畳岩の上に護摩壇を築き、金剛不壊の道場として、17日間修行したといわれている。寺はその後、真言密教の道場として栄え、山全体に七堂伽藍が建ち並んで荘厳な美を極める大寺院となった。ところが天正年間（1573～1592）に土佐の長宗我部元親の兵火に遭い、堂宇は焼失。天保3年（1832）にも火災に遭い、伽藍のすべてを焼失してしまう。だが、弘法大師作といわれる本尊の薬師如来は2度の火災の難を逃れ、重要文化財に指定されている。

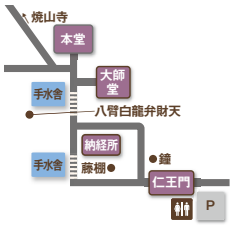
境　内

境内には8本の手を持つ八臂白龍弁財天を祀ったお堂がある。8本の手には蔵の鍵や弓、矢など様々な物を持っていて、金運や武術の上達、芸事の上達などの願いごとを叶えてくれるという。このお堂の前には弁天水が流れている。この水は第12番焼山寺付近の谷川の水を引いたものだ。

本堂の横の山道には、ミニ西国三十三ヶ所とミニ四国八十八ヶ所が設けられている。ミニ西国三十三ヶ所は10分ほど、ミニ四国八十八ヶ所は40分ぐらいで回ることができる。山道を散策する気分で、こちらもぜひお参りしてみよう。

御詠歌／色も香も無比中道の藤井寺
真如の波のたたぬ日もなし
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／臨済宗妙心寺派
開基／弘法大師

平成8年に新築された総檜造りの大師堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第11番 藤井寺 ▼ 第12番 焼山寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 11 番　藤井寺 ▶ 第 12 番　焼山寺

12.9km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

11 ふじいでら 藤井寺（標高 40m）

端山休憩所

へんろ石（道標）

へんろ石（道標）

ちょうどあん 長戸庵

へんろ石（道標）

りゅうすいあん 柳水庵

へんろ石（道標）

へんろ石（道標）

じょうれんあん 浄連庵

左右内の一本杉

すだち館

鍋岩西公衆

へんろ石（道標）

12 しょうさんじ 焼山寺（標高 700m）

じょうしんあん 杖杉庵

なべいわ荘

焼山寺山

奥之院

へんろみち周辺の宿泊施設

1	すだち館	088-677-1180
2	なべいわ荘	088-677-0181

縮尺＝1:30,000　0　1000m

N

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第12番 焼山寺
●徳島県名西郡神山町下分字地中318
☎088-677-0112
●宿坊／なし

第13番 大日寺
●徳島県徳島市一宮町西丁263
☎088-644-0069
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

神山温泉ホテル四季の里 &いやしの湯

西日本屈指の名湯を誇る神山温泉。泉質は重曹を含む食塩泉で、神経痛や筋肉痛、冷え性などに良いそう。大浴場には地元で採取された青石の浴槽と、玉石の浴槽があり、男女週替わり。日帰り入浴なら、入浴料と昼会席、休憩室の利用がセットになった「ゆったり昼休憩プラン」（1名4,600円（税別））がおすすめ。

所 徳島県名西郡神山町神領本上角80-2
焼山寺から南東へ11.5km
☎ 088-676-1117
営 10:00～21:00（10～3月は～20:00）
休 第4火曜（祝日の場合は営業）
料 入浴のみ大人600円

境内の見どころ

三面大黒天

本堂に向かって左側のお堂に安置されているのは、弘法大師作と伝わる三面大黒天像。これは中央に大黒天、右面に毘沙門天、左面に弁財天と、3つの顔が刻まれている珍しい大黒天。3人の神様が一体化したことで、すべての災いを取り除き、幸福をもたらすとして人々の信仰を集めている。

境内の見どころ

杉の巨木

境内に足を踏み入れてまず驚くのは、杉の巨木の多さである。幹周り5m前後の巨木は県の天然記念物に指定されている。山門付近に約40本、本堂西南に約15本、そして、奥の院に至る山中に100本余りあるという。推定樹齢は約300年にもなり、どっしりとした老木は、焼山寺のシンボルとなっている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

静寂な境内には独特の山の霊気が漂っているようだ

第12番 摩廬山 正寿院 焼山寺
まろさん　しょうじゅいん　しょうさんじ

怪しい大蛇の炎に包まれた焼け山

歴史・全体像

もともとは大宝年間に役行者小角が山を開き、蔵王権現を祀って結んだ一本杉庵。この地に修行に訪れた弘法大師が疲れて一本杉庵の杉の木の下で眠っていると、夢の中に阿弥陀如来が現れ、周囲の異変を告げた。目を覚ますと、眼前は火の海。大師が身を清め、真言を唱えながら山を上ると、火は徐々に消えていった。だが9合目あたりまで来ると、岩窟から大蛇が姿を現し、大師の邪魔をしようと向かってきた。その時、光とともに虚空蔵菩薩が現れ、大師はその力を借りて大蛇を封じ込めることができた。そして大師は自ら三面大黒天を彫り、岩窟の上に安置。本尊の虚空蔵菩薩を刻み、焼け山の寺と名付けた。

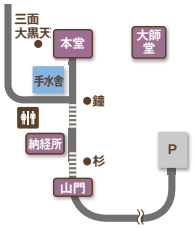
境　内

歩き遍路の昔から、「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」といわれ、遍路道の中でも特に難所であった焼山寺。

国道からどんどん細い山道を上ってやっと辿り着く、標高938mの焼山寺山の8合目付近に位置するこの寺は、車で巡礼できるようになった今でも、四国八十八ヶ所霊場の中でもっとも険しいといわれている。11番藤井寺からの遍路道は今も残っているが、そこは徒歩でしか通れず、山道を越えて約6～8時間もかかるというから、車のない時代のお遍路さんの苦労が偲ばれる。奥の院は境内から歩いて約1kmの距離にあるので、足をのばしてみたい。

御詠歌／後の世を思えば恭敬焼山寺
死出や三途の難所ありとも
本尊／虚空蔵菩薩
真言／のうぼう あきゃしゃきゃらば や おん ありきゃまり ぼり そわか
宗派／高野山真言宗
開基／役行者小角

山道を上ってたどり着く本堂は厳か



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第12番 焼山寺 ▼ 第13番 大日寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 12 番　焼山寺 ▶ 第 13 番　大日寺

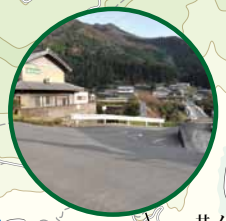
20.8km ※赤い点線は遍路道の一例です

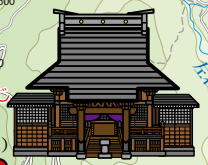
《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	すだち館	088-677-1180
2	なべいわ荘	088-677-0181
3	植村旅館	088-678-0859
4	プチペンションやすらぎ	088-678-0198
5	かどや旅館	088-644-0411
6	名西旅館 花	088-644-0025
7	大日寺 宿坊	088-644-0069





縮尺= 1:35,000　0　500　2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第13番 大日寺
●徳島県徳島市一宮町西丁263
☎088-644-0069
●宿坊／あり（要予約）

第14番 常楽寺
●徳島県徳島市国府町延命606
☎088-642-0471
●宿坊／なし

沿線の見どころ

徳島県文化の森総合公園

園瀬川を見下ろす緑豊かな丘陵地に位置する、自然に包まれた総合文化施設。徳島県立21世紀館を核に、博物館、鳥居龍蔵記念博物館、近代美術館、図書館、文書館などの県の文化施設が立ち並ぶ。周囲にはそれぞれの文化施設と関連するテーマを持った公園や森林が広がり、自然を楽しみながら遊歩道を散策することもできる。

所 徳島県徳島市八万町向寺山
大日寺から東へ7.3km
☎ 088-668-1111
営 9:30～17:00（図書館は平日のみ～19:00）
休 月曜（祝日の場合は翌日）、図書館・文書館は、毎月第3木曜も休館、12/29～1/4
料 博物館、鳥居龍蔵記念博物館、近代美術館の入館は大人200円

境内の見どころ

薬医門

以前は向かいの一宮神社との間に道路はなく、山門が2つの境となっていたが、道路の開通により山門がなくなってしまった。それを復元してできたのが、平成18年（2006）に完成した薬医門だ。屋根の中心が前方寄りになっているのが特徴で、武家や医家の門として用いられることが多く、山門としては珍しい。

境内の見どころ

しあわせ観音

門を入って正面には、合掌している両手の形の厨子に納められた「しあわせ観音」が建っている。色鮮やかな衣を身にまとい、蓮を手にした美しい観音像で、しあわせを願ってお祈りすると良い事があるといわれている。しあわせ観音の裏側には小さな池があり、竜王像を取り囲むように七福神像が建っている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

親しみやすい境内には地元の参拝客も多い

第13番 大栗山 花蔵院 大日寺
おおぐりざん　けぞういん　だいにちじ

一宮の本尊を祀るかつての別当寺

歴史・全体像

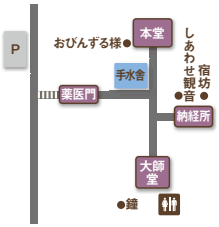
弘仁6年（815）、四国を巡錫中の弘法大師が鮎喰川を挟んで対岸にある「大師ヶ森」で護摩修法を行っていると、空中に紫雲とともに大日如来が出現。「この地は霊地なり、心あらば一宇を建立せよ」と告げられた。それを目にした大師はさっそく大日如来を刻んで本尊とし、堂宇を建てて安置した。寺名もこのことにちなんでつけられたものだ。後に阿波の総鎮守である一宮神社が建てられた時には別当寺となり、管理にあたっていた。明治時代の神仏分離令により、一宮神社にあった行基作といわれる十一面観世音菩薩は大日寺に移され本尊となり、もとの本尊である大日如来を脇侍仏とした。

境　内

道を挟んで向かい側は一宮神社。薬医門を入ると左手に本堂があり、門から右手、本堂の正面が大師堂となる。弘法大師が建立した本堂は天正年間（1573～1592）の兵火により焼失してしまったため、現在の堂宇は明治時代に再建されたものだ。本堂前でやさしい笑みをたたえ、右手をあげて座っているのは撫で仏のおびんずる様で、願いを唱えながら撫でると叶えられるといわれている。客殿は平成6年（1994）に総檜造りの2階建てに建て替えられたもの。宿坊も備えられており、遍路で疲れた体を心地良く癒やしてくれる。

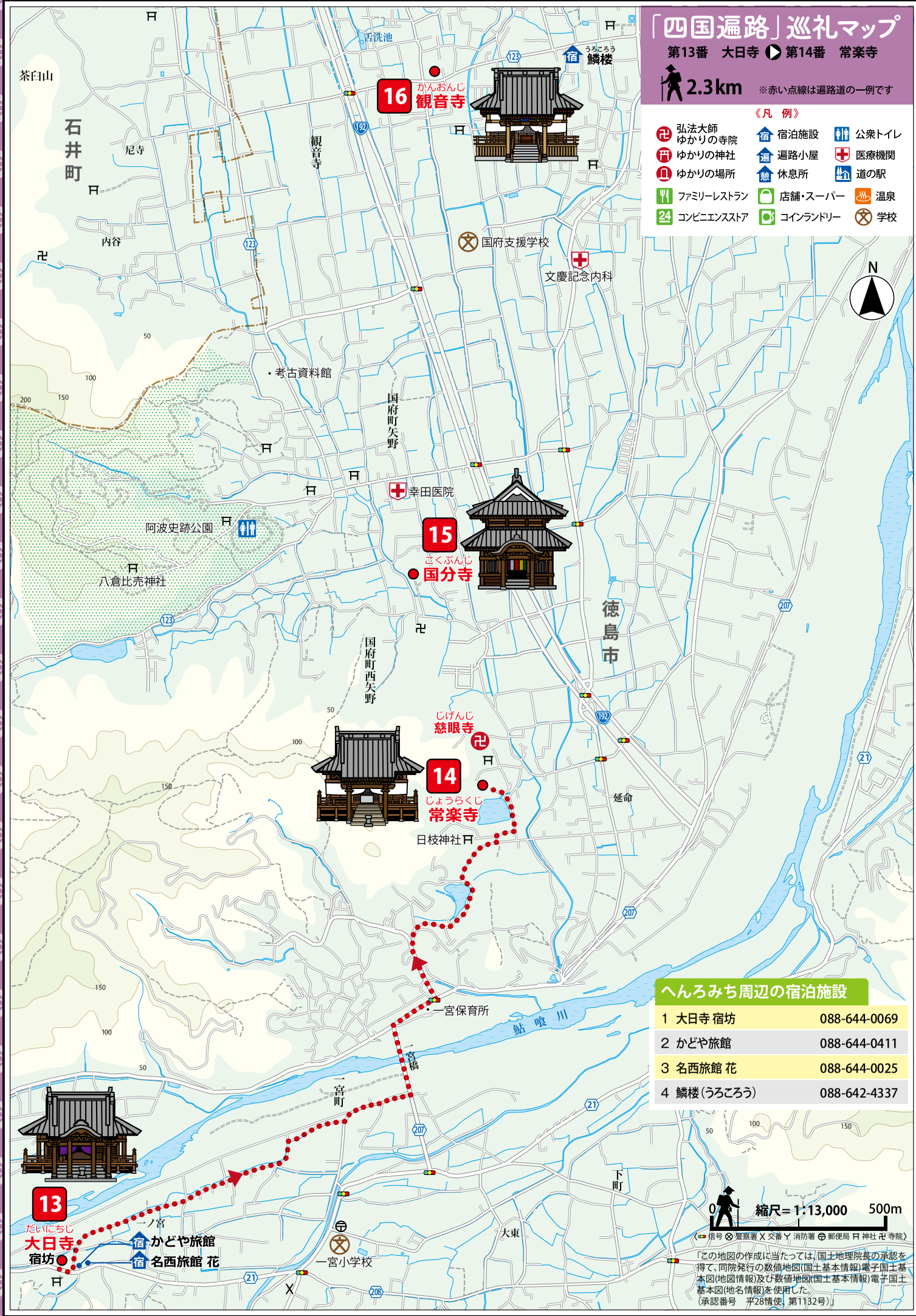
御詠歌／阿波の国一の宮とはゆうだすきかけて頼めやこの世のちの世
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗大覚寺派
開基／弘法大師

薬医門をくぐると左側に本堂が見える



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第13番 大日寺 ▼ 第14番 常楽寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



へんろみち周辺の宿泊施設

1	大日寺 宿坊	088-644-0069
2	かどや旅館	088-644-0411
3	名西旅館 花	088-644-0025
4	鱗楼（うろころう）	088-642-4337

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

第14番 常楽寺
●徳島県徳島市国府町延命606
☎088-642-0471
●宿坊／なし

第15番 国分寺
●徳島県徳島市国府町矢野718-1
☎088-642-0525
●宿坊／なし

沿線の見どころ

八万温泉乙女の湯

眉山山麓の水量豊富な地にある八万温泉の湯は「美人の湯」として知られる。大浴場やジェットバスのほか、「ロイヤルコース（550円・700円）」なら岩造りの趣ある露天風呂やドライサウナ、塩サウナが利用できる。貸タオル・シャンプー・リンス・石けんが付いた「手ぶらセット（160円）」もあるので、体ひとつで立ち寄ることができる。

所 徳島県徳島市八万町下長谷258
常楽寺から東へ6.5km
☎ 088・668・5526
営 8:00～翌1:00
休 4・7・11月の第2水曜（祝日の場合は翌日）
料 大人410円

境内の見どころ

奥の院 慈眼寺

常楽寺から歩いて5分程度のところにある奥の院慈眼寺は、十一面観音を祀る風情ある寺。この観音様は別名子安観音と呼ばれており、安産祈願に訪れる人も多い。境内には本堂と大師堂のほかにもう一つお堂があり、夢のお告げによって彫られたという生木地蔵尊が祀られている。ぜひこちらにもお参りしたい。

境内の見どころ

流水岩の庭園

断層のある大岩盤がつくりだした流水岩の庭園。これはこの地に境内を移転する際に、山を切り崩して埋め立て、岩盤の奥に堂宇を建てたためにできたといわれている。ゴツゴツした地面は歩きにくいが、川の流れのような美しさは見ごたえがある。今でも雨や風などによって変化し続けているそうだ。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

大岩盤の上にあり、自然が生み出した庭園のような境内

第14番 盛寿山 延命院 常楽寺
せいじゅざん　えんめいいん　じょうらくじ

本尊を弥勒菩薩とする唯一の寺

歴史・全体像

弘仁6年（815）、この地で修行を行った弘法大師が創建した寺。修行中に化身した弥勒菩薩が多くの菩薩を従えて現れ、説法を行ったので、大師は霊木にその姿を刻んで堂宇を建てて本尊にした。

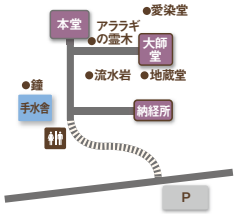
寺は後に大師の弟子である真然僧正、祈親法師らによって伽藍が整備され、室町時代には細川家の祈願所として栄えた。しかし、天正年間（1573～1592）の兵火で焼失し、荒れ寺となる。その後江戸前期の万治2年（1659）、蜂須賀家によって再興され、文化15年（1818）には、ため池を造るために低地から40段あまりの石段を上がった現在地へ移っている。

境　内

本堂は一番奥にあり、向かってその右に愛染堂と大師堂が建っている。本尊を弥勒菩薩としているのは、四国八十八ヶ所霊場で常楽寺のみ。この弥勒菩薩は、釈迦入滅してから、56億7000万年後にこの世に下生し、衆生を救済するといわれている。本堂に覆い被さるように枝を広げている大木は、弘法大師が糖尿病に苦しむ老人に煎じて飲ませたと伝えられるイチイ（アララギ）の木。この伝説から別名「アララギの霊木」と呼ばれ、病に霊験を発揮するといわれている。枝分かれしている部分をよく見ると、優しい顔の大師像「あららぎ大師」が置かれているのがわかる。

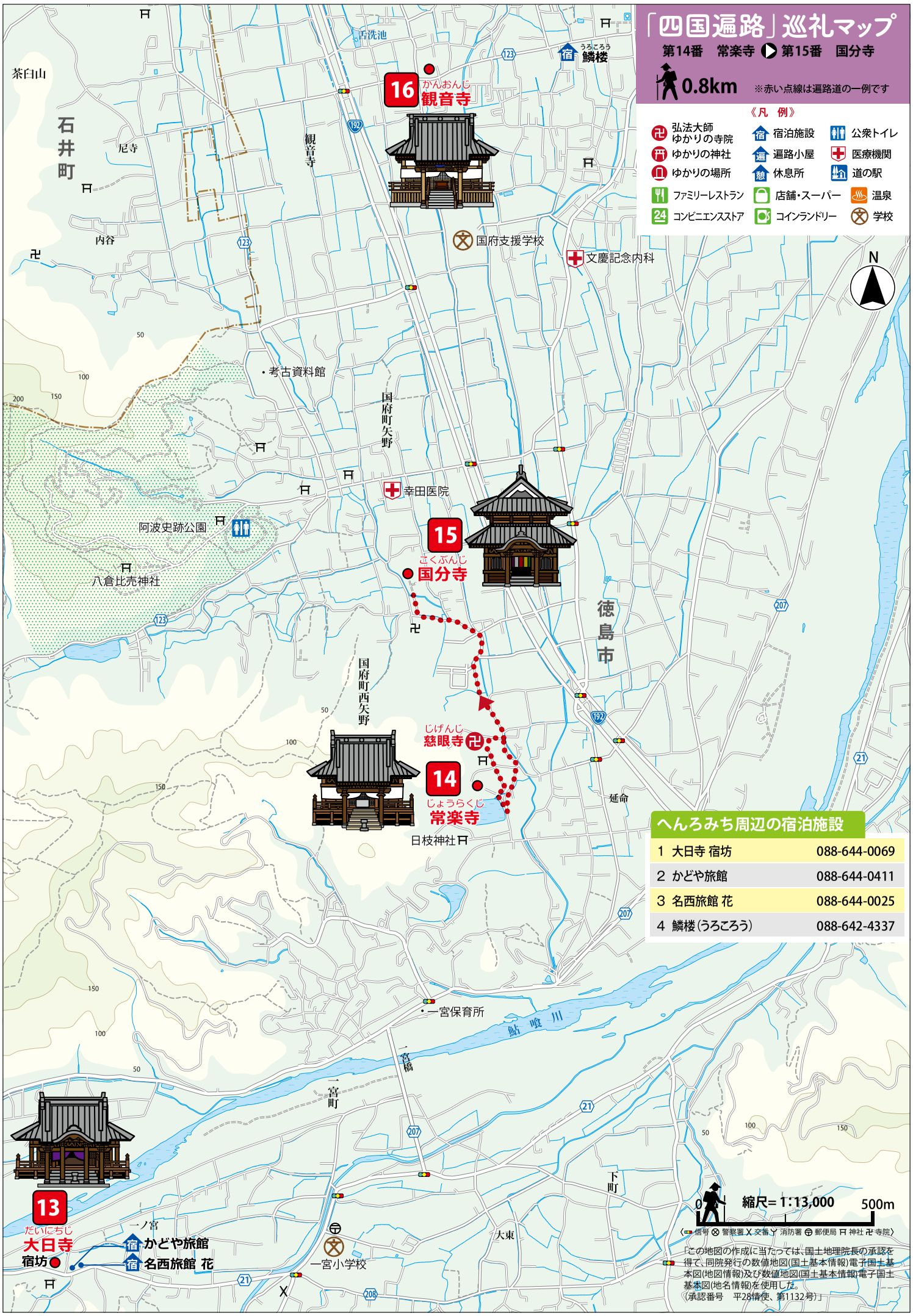
御詠歌／常楽の岸にはいつか到らまし弘誓の船に乗り遅れずば
本尊／弥勒菩薩
真言／おん まい たれいや そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

流水岩の庭園を歩きながら本堂に向かう



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第14番 常楽寺 ▼ 第15番 国分寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第15番 国分寺
●徳島県徳島市国府町矢野718-1
☎088-642-0525
●宿坊／なし

第16番 観音寺
●徳島県徳島市国府町観音寺49-2
☎088-642-2375
●宿坊／なし

沿線の見どころ

阿波史跡公園

多くの文化財や歴史的文化遺産に触れることができる史跡公園。広大な敷地の公園内には、徳島の歴史文化を体験・学習できる歴史文化ゾーンや、竪穴住居や高床倉庫など古代の邑（むら）を復元した古代生活ゾーン、自然体験ゾーンなど4つのゾーンがある。

境内の見どころ

名勝 阿波国分寺庭園

本堂横にある枯山水の大庭園が、作庭家・日本庭園史の研究家であった重森三玲氏によって見出されたのは昭和15年（1940）のこと。平成12年（2000）には国の名勝に指定され、発掘調査によって、江戸時代末期に大改修されたことがわかった。平成23年（2011）12月より一般公開されている。拝観料300円。

境内の見どころ

七重塔心礎

境内の片隅に、七重塔の心礎といわれる心礎石が置かれている。天平12年（740）、国分寺造営詔勅の前年に諸国に七重塔造営が命じられているので、天平年間（729～749）には建立されていたと思われる。環溝型という珍しい形式で、「塔の本」の地か、興禅寺前の田んぼから移されたと伝えられている。

所 徳島県徳島市国府町西矢野
☎ 088-621-5295（徳島市公園緑地課）
開 入園自由
休 無休

文化庁

JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

本堂の横には中国の名勝・廬山を模したという庭園がある

第15番 薬王山 金色院 国分寺
やくおうざん　こんじきいん　こくぶんじ

遺跡と庭園に往時の繁栄を偲ぶ

歴史・全体像

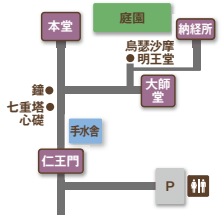
天平13年（741）、聖武天皇が天下泰平を祈願して全国66ヶ所に建立した国分寺の一つで、天皇の勅命を受けた行基が建設を指揮。天皇は釈迦如来像と大般若経を納めたという。当時の規模は寺領二町四方、鎮護国家の祈願所として七重大塔を備えた大寺院であった。しかし、寺は天正年間（1573～1592）、長宗我部軍の兵火によって、烏瑟沙摩明王堂（うすさまみょうおうどう）だけを残して焼失した。その後長く荒廃していたが、寛保元年（1741）に阿波藩主の命令によって再建され、以来宗派も現在の曹洞宗となった。本尊は薬師如来。本堂内には、聖武天皇と光明皇后の位牌が祀られている。

境　内

山門をくぐって真正面に見えるのが本堂。重層入母屋造りの本堂は、文化文政年間（1804～1830）に第九世光山文明和尚によって再建されたもので、往時を彷彿とさせるスケールを持つ。大師堂は平成26年（2014）2月28日に再建された。また、国分寺の中で唯一、戦国時代の兵火を逃れたのが烏瑟沙摩明王堂。烏瑟沙摩明王とは、弘法大師が唐から招来した密教の神で、悪を降伏させて善へと導くという。浄化の力があり、眼と下半身の病に霊験があるといわれている。納経所には烏瑟沙摩明王のお札があり、トイレの入り口に貼っておくと下の病気も治るという。

御詠歌／薄く濃くわけわけ色を染めぬれば流転生死の秋の紅葉ば
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／曹洞宗
開基／聖武天皇（勅願）

重層入母屋造りの堂々とした本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第15番 国分寺 ▼ 第16番 観音寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第15番　国分寺 ▶ 第16番　観音寺

1.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	大日寺 宿坊	088-644-0069
2	かどや旅館	088-644-0411
3	名西旅館 花	088-644-0025
4	鱗楼（うろころう）	088-642-4337

縮尺= 1:13,000

0　500m

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 ⊕ 郵便局 ⊓ 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第16番 観音寺
●徳島県徳島市国府町観音寺49-2
☎088-642-2375
●宿坊／なし

第17番 井戸寺
●徳島県徳島市国府町井戸字北屋敷80-1
☎088-642-1324
●宿坊／なし

沿線の見どころ

織工房 藍布屋（らんぷや）

阿波で生まれた伝統工芸・阿波正藍染の技法を今に伝える岡本織布工場。徳島県無形文化財に指定されている職人が建てる藍染めは、微妙な色の変化を見事に表現。隣にある直営ショップでは、ハンカチやバッグなどの小物からTシャツ、ジーンズまで様々な藍染め商品が揃う。工場では藍染めやローケツ染め体験も（予約制）。

所 徳島県徳島市国府町和田161
☎ 088-642-0062
営 10:00～17:00
休 無休（工場は土・日曜、祝日休）

境内の見どころ

鐘楼門

遍路道に沿っていくと、民家の中に一際目立つ鐘楼門が建っている。和様重層の堂々とした門は風格があり、往時の繁栄を偲ばせる。境内と外界との境を塀ではなく、寄進者の名を彫り込んだ石柱で切っているのも特徴。鐘楼門にあった鐘楼は、戦時中に供出されたままになっており、音色を聞くことはできない。

境内の見どころ

夜泣き地蔵尊

鐘楼門右の岩の中に納められた夜泣き地蔵尊は、子どもの夜泣きを止めてくれるという。困っている親たちだけでなく、小さな子どもが親と一緒に手を合わせる姿も見られる。夜泣き封じをお願いしてご利益にあずかった人たちは、お礼に新しいよだれかけを奉納する。お年寄りの安眠の願いも叶えてくれるそうだ。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

商店や民家が建ち並ぶ中にある境内は、こぢんまりとしている

第16番 光耀山 千手院 観音寺
こうようざん　せんじゅいん　かんおんじ

古い町並みに溶け込む悠久の歴史

歴史・全体像

聖武天皇が諸国に命じて、国分寺、国分尼寺を創立させたのと同年の天平13年（741）、同じく聖武天皇の勅願道場として創立。弘仁7年（816）に弘法大師がこの地を訪れ、等身大の千手観世音菩薩を刻んで本尊として、両脇侍に不動明王と毘沙門天を安置した。これは観世音菩薩の功徳と不動明王の威力、毘沙門天の授福にあやかるということで、焼山寺の三面大黒天などと共通した様式。寺はその後、長宗我部軍の兵火によって焼失したが、万治2年（1659）に再建されて現在に至る。かつて阿波の国の中枢があった寺の周辺は、今は落ち着いた町並みとなり、昔ながらの田舎の風情を漂わせている。

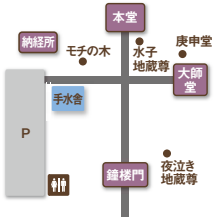
境　内

境内は、鐘楼門を入った正面に本堂、右側に大師堂、本堂と大師堂の間に水子地蔵尊が祀られている。堂宇は江戸初期の建築様式の特徴が随所に見られ、建造物としても見ごたえ十分だ。

本堂には炎に包まれた女性が描かれた額が掲げられている。これは明治時代、淡路島から訪れた女性が雨に濡れた白衣を乾かしていた時に、焚き火が燃え移ったことに由来する。女性はかつて仲の悪かった姑を薪の燃え残りで叩いて、いじめたことがあったというのだ。弘法大師からその戒めを受けたのだと深く反省し、この絵を奉納したという。

御詠歌／忘れずも導きたまえ観音寺
西方世界弥陀の浄土へ
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

本堂は鐘楼門を入ってすぐの正面にある



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第16番 観音寺 ▼ 第17番 井戸寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 16 番　観音寺 ▶ 第 17 番　井戸寺

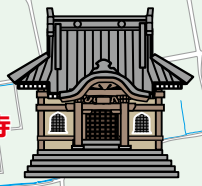
2.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

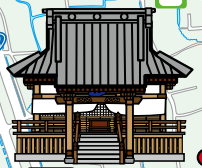
《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	鱗楼（うろころう）	088-642-4337
2	おんやど松本屋	088-642-3772





「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第17番 井戸寺
●徳島県徳島市国府町井戸字北屋敷80-1
☎088-642-1324
●宿坊／なし

第18番 恩山寺
●徳島県小松島市田野町恩山寺谷40
☎0885-33-1218
●宿坊／なし

沿線の見どころ

眉山

標高290m、「眉の如雲居に見ゆる阿波の山かけて漕ぐ舟とまり知らずも」と万葉集に詠まれた眉山は、自然がそのまま残る徳島市のシンボルだ。さだまさし原作の映画「眉山」の舞台としても有名なスポットで、ロープウェイで頂上まで約6分間の小旅行が楽しめる。天気のいい日には、淡路島や紀伊半島まで見渡せる。

所 徳島県徳島市眉山町茂助ヶ原
☎ 088-621-5232（徳島市観光課）
営 ロープウェイ9:00～17:30
（4～10月は～21:00、8/12～15は～22:00）
休 無休（点検日は除く）

沿線の見どころ

ひょうたん島周遊船

徳島駅を中心に、新町川と助任川に囲まれた「ひょうたん島」を水の上から観光しようというもの。約6kmのコースを一周する約30分間のクルージングで、途中、県庁前のヨットハーバーや新町川水際公園など名スポットをゆっくりと眺めながら船は進む。水上から徳島の街の表情を楽しめると評判だ。

所 徳島県徳島市南内町2丁目
新町川水際公園ボートハウス前
☎ 090-3783-2084
（NPO法人新町川を守る会 中村会長）
営 11:00から40分毎に運航
（最終15:40、7・8月は最終19:40）
休 無休
料 保険料大人200円

境内の見どころ

大門

四国霊場には珍しく、朱塗りの鮮やかな門が参拝者を迎えてくれる。この武家造りの大きな門は、蜂須賀公が大谷別邸の門を移築、寄進したもの。現在の門は近年になって当時を再現して建てられた二代目だ。四国最大級といわれる仁王像が両側にたち、裏側には大きなわらじが飾られている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

広々とした境内。かつては広大な寺域を誇ったという

第17番 瑠璃山 真福院 井戸寺
るりざん　しんぷくいん　いどじ

面影の井戸に招福を祈願する

歴史・全体像

もともとは瑠璃山妙照寺といい、末寺十二坊を持つ大規模な寺院であった。本尊の七仏薬師如来は聖徳太子の作といわれている。弘仁6年（815）にこの地を訪れた弘法大師は、この本尊を是非にと拝み、その際、身の丈8尺余り（約190cm）の十一面観世音菩薩や十二神将、四天王、薬師如来の脇侍の日光菩薩と月光菩薩を刻んで安置した。この十一面観世音菩薩は榧の木の一木一体造りで、国の重要文化財。寺はその後、南北朝の時代に細川頼之の戦乱で焼失。頼之の息子が再建したものの、天正の兵火でまたも焼失。そして、慶応年間（1865～1868）に蜂須賀公の援助を受けて再興を果たした。

境　内

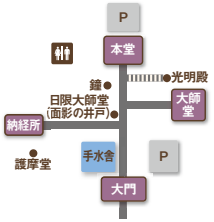
2度の火災の後、慶応年間に再興されたものの、本堂は昭和43年（1968）にも不慮の火災にて中央本尊を残して焼失してしまった。しかし、その3年後に鉄筋コンクリート造りで再建された。

内部には坐像の薬師瑠璃光如来を中心に、日光菩薩、月光菩薩、四天王、十二神将を安置している。ガラスや仕切り戸越しにしか拝観できない寺が多い中、すぐ間近で拝観することができる。

また、寺名の由来となった面影の井戸は、水不足に苦労していた村人を哀れんで、大師が一夜にして掘ったと伝えられている。

御詠歌／面影を映してみれば井戸の水結べば胸の垢や落ちなん
本尊／七仏薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／天武天皇（勅願）

七仏薬師如来が間近に拝める本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第17番 井戸寺 ▼ 第18番 恩山寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

17 井戸寺
いどじ
24
JR徳島線
JR高徳線
城西病院
城西中学校
蔵本駅
陸上競技場
佐古駅
川島病院
徳島市民病院
徳島大学
徳島大学病院
県立中央病院
佐古小学校
加茂名小学校
蔵本球場
加茂名中学校
ほうさくじ 法谷寺
城西高校
加茂名南小学校
府中駅
城山
徳島駅
ひょうたん島周遊船
徳島市役所
眉山
山麓駅
眉山ロープウェイ
眉山公園
山頂駅
新町小学校
徳島県庁
田岡病院
阿波富田駅
富田小学校
地蔵院池緑地
じぞういん 地蔵院
へんろ石(道標)
地蔵越
眉山カントリークラブ
徳島市
勢見山
城南高校
二軒屋駅
キョーエイ
セブン
徳島文理大学
徳島文理高校
徳島文理小学校
寺沢病院
津田山
協立病院
八万南小学校
文化の森駅
田村病院
文化の森総合公園
バス営業所
キョーエイ
地蔵橋駅
大松小学校
博愛記念病院
南部中学校
熊山
碩心館病院
徳島赤十字病院
中田駅
JR牟岐線
小松島市
キョーエイ
小松島中学校
児安小学校
小松島病院
おつえのみず 弘法大師 御杖の水
旗山公衆
芝田小学校
18 おんざんじ 恩山寺
縮尺=1:45,000
0
2000m
〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号 平28情使、第1132号)」
とくしま動物園
総合動植物公園
佐那河内村
N
「四国遍路」巡礼マップ
第17番 井戸寺 第18番 恩山寺
16.8km ※赤い点線は遍路道の一例です
《凡 例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
宿泊施設
遍路小屋
休息所
店舗・スーパー
コインランドリー
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
へんろみち周辺の宿泊施設の案内
※当エリアは宿泊施設多数あり
1 徳島県旅館ホテル生活衛生同業組合 088-652-7694
各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第18番 恩山寺
●徳島県小松島市田野町恩山寺谷40
☎0885-33-1218
●宿坊／なし

第19番 立江寺
●徳島県小松島市立江町字若松13
☎0885-37-1019
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

みはらしの丘 あいさい広場

徳島市内から国道55号を南へ進み赤石トンネルを抜け、一つ目の信号を右折すると小高い丘の上にある県内最大級の産直市。生産者から届く旬の新鮮な野菜や果物をはじめ、小松島の特産品、お米パン、たまごプリンなどが店頭に並び、毎日地元の人たちで賑わう。丘の上からの眺めも気分を爽快にしてくれる。

所 徳島県小松島市立江町炭屋ヶ谷47-3
☎ 0885-38-0112
営 8:30～17:30
休 無休（年末年始を除く）

境内の見どころ

びらん樹

女人禁制とされていた寺へ訪ねてきた母君を迎え入れるため、大師が修行したとされる川のそばに植えられた木。暖地に生育するため常緑で他所に比べて背の高いのが特徴だ。修行の末、女人禁制を解いたのを記念し、大師自らが植えたと伝えられている。昭和29年（1954）に徳島県の天然記念物に指定されている。

境内の見どころ

玉依御前の剃髪所

修行中の大師に会うため、讃岐の地からはるばる旅をしてやってきた大師の母君・玉依御前を祀ったお堂。母君はここで髪の毛を剃り、お堂の中にはその時の髪の毛が納められている。「たらちねの母こそしのぐ恩山寺大師の利生（りしょう）あらたなりけり」との御詠歌がかけられている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

駐車場から少し上がったところにある境内。生い茂る木々が生命力を感じさせる

第18番 母養山 宝樹院 恩山寺
ぼようざん　ほうじゅいん　おんざんじ

大師の母君への孝行を伝える寺

歴史・全体像

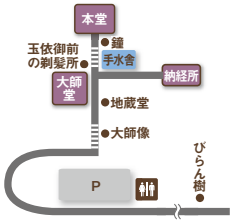
元々は行基が厄除のために建立した、大日山福生院密厳寺という女人禁制の寺であった。その後100年余りを経て、弘法大師が滞在して修行をしている時、大師の母君である玉依御前（たまよりごぜん）が訪ねて来られた。しかし、この山は女人禁制であったため、大師はひと七日（一週間）滝に打たれ修行をし、女人解禁の秘法を修められた。そうして大師はやっと母君を迎え入れ、この寺で孝行を尽くしたといわれている。赤い欄干の橋の下に植えられているびらん樹は、この時大師が修行をした場所を示している。また、大師の母君はこの寺で髪の毛を剃って出家した。その髪の毛は剃髪所に納められている。

境　内

駐車場から徒歩約1分、参道を進むと樹齢約300年の大イチョウや、樹齢約350年のソテツなど立派な木々が生い茂る境内へとたどり着く。納経所では、四国霊場の中で唯一、恩山寺だけに伝わる「摺袈裟（すりげさ）」が人気である。別名「袈裟曼荼羅」とも呼ばれる珍しいお守りで、所持すれば滅罪生善（悪いことを良いことに変える）の功徳があるという。また、大師堂には大師が自らの像を彫刻されたものを本尊として安置。人々に福が訪れ、厄難を免れ、詣った者のいかなる罪も消えるように、と祈願しながら彫られたという大師像だ。

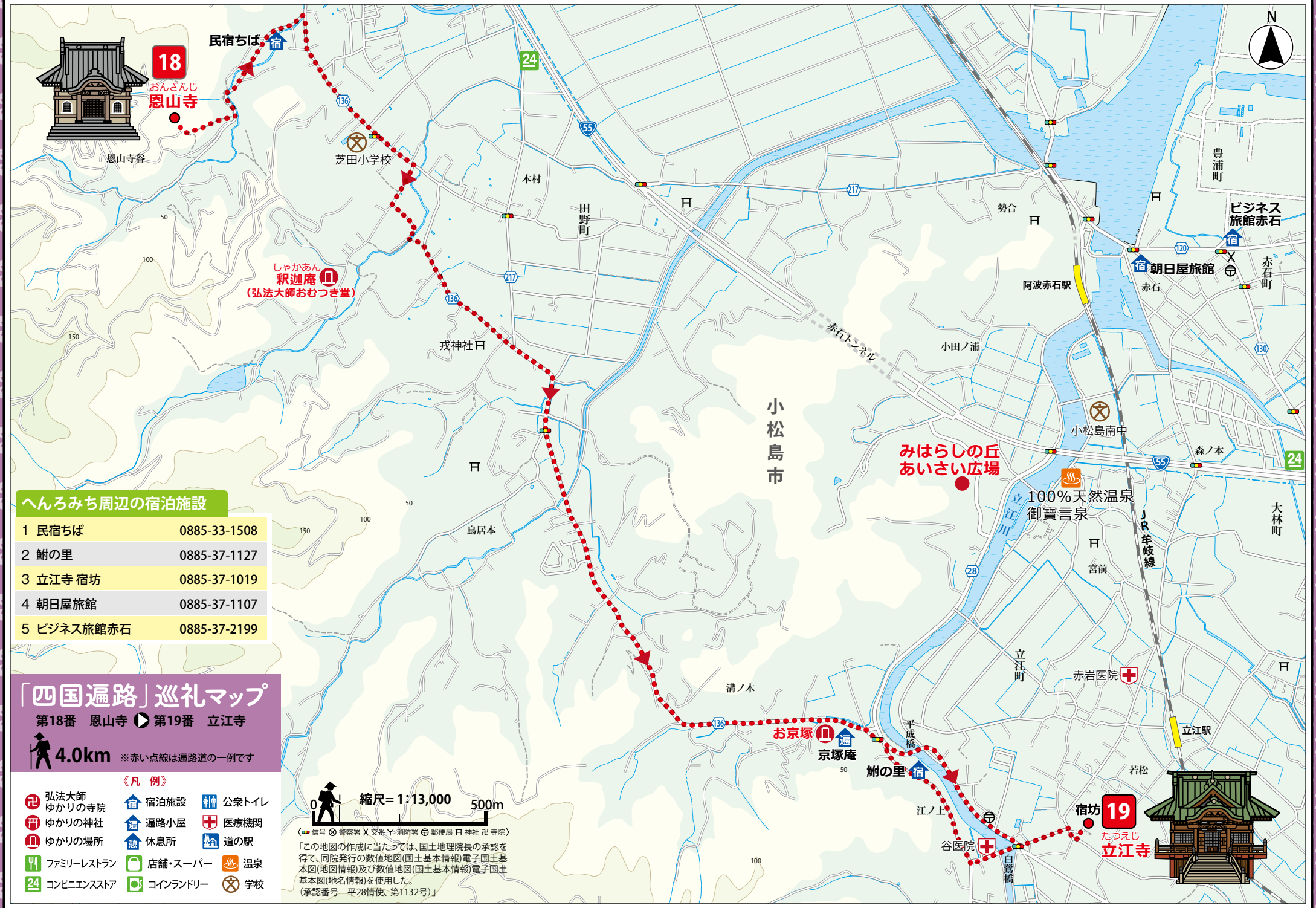
御詠歌／子を産めるその父母の恩山寺訪らひがたきことはあらじな
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩

山門から続く階段を上がると正面に本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第18番 恩山寺 ▼ 第19番 立江寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



へんろみち周辺の宿泊施設

1	民宿ちば	0885-33-1508
2	鮒の里	0885-37-1127
3	立江寺 宿坊	0885-37-1019
4	朝日屋旅館	0885-37-1107
5	ビジネス旅館赤石	0885-37-2199

「四国遍路」巡礼マップ

第18番　恩山寺 ▶ 第19番　立江寺

4.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

第19番 立江寺
●徳島県小松島市立江町字若松13
☎0885-37-1019
●宿坊／あり（要予約）

第20番 鶴林寺
●徳島県勝浦郡勝浦町生名字鷲ケ尾14
☎0885-42-3020
●宿坊／あり（休館中）

沿線の見どころ

JA東とくしま よってネ市

年間を通して販売するみかんを目当てに、多くの人が訪れる、勝浦郡の自然の恵みが集まるJA東とくしまの産直市。約300人の地元の農家から届く新鮮な野菜や果物、花、漬物など特産品の直売が行われ、その安さも魅力。旬の野菜を使った寿司や惣菜なども人気だ。地元の人たちとの交流も楽しみの一つ。

所 徳島県勝浦郡勝浦町生名字太田45-1
☎ 0885・42・4930
営 7:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は営業）

境内の見どころ

本堂の天井画

向かって左に観音堂、右に護摩堂を有する本堂は、昭和49年（1974）の火災で焼失後、昭和52年（1977）に再建されたもの。当時の東京芸術大学の教授や助教授ら40名余りが描きあげた絵が鮮やかに天井を彩る。賓頭盧尊者（びんずるそんじゃ）と寿老人の像もあり、息災延命などの願いが叶うといわれている。

境内の見どころ

黒髪堂

夫がありながら男と不義密通を犯したお京という女は、ある日男を手引きし夫を殺してしまう。自害しきれず四国巡礼を始めた二人が、この寺に辿り着き地蔵尊を拝もうとした時、お京の髪の毛が逆立ち、鐘の緒に巻き上げられた。あわてて懺悔をし命が助かったお京は、その後出家し生涯を終えたという。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

広い境内だけに見どころも多い

第19番 橋池山 摩尼院 立江寺
きょうちざん　まにいん　たつえじ

荘厳な本堂を絵天井が彩る

歴史・全体像

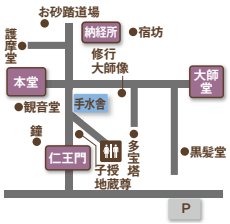
天平19年（747）、聖武天皇の勅願により行基が光明皇后の安産を願いつつ、念持仏として一寸八分（5cm余り）の金の地蔵菩薩「延命地蔵尊」を本尊として堂塔を建立したのが始まりといわれる。その後、弘仁6年（815）に弘法大師が訪れた際、この像の紛失を危惧し、自ら6尺（約1・8m）の地蔵尊を刻み、小さな金の像をその胸の部分に納めて安置。この時、寺号を立江寺とし、霊場第19番に定めた。天正年間に兵火で本尊のみを残して焼失した後、阿波藩主・蜂須賀家政公によって再興。昭和49年（1974）にも不慮の火災で本堂などを焼失したが、本尊はまたも奇跡的に難を逃れた。

境　内

境内に入ると、すぐ右手に子授地蔵尊がある。行基が光明皇后の安産を祈願して開基したことから安置されたこの地蔵は「子安の地蔵尊」や「立江の地蔵さん」などの愛称で呼ばれ、地元の人たちから親しまれている。立派な多宝塔をはじめ見どころが多く、特に本堂の天井画は文化財として高く評価されている。修行大師像は本堂の正面にあり、大師像の足下では先祖供養の経木流しをすることができる。また、この寺は四国八十八ヶ所霊場の根本道場といわれ、阿波の関所寺でもあったため、邪悪な心の持ち主や、罪を犯した者が訪れると罰が下るとの言い伝えがある。

御詠歌／いつかさて西の住居のわが立江弘誓の舟にのりていたらむ
本尊／延命地蔵菩薩
真言／おん かかかび さんまえい そわか
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩

堂々とした本堂は天井画で知られる



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第19番 立江寺 ▼ 第20番 鶴林寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第20番 鶴林寺
●徳島県勝浦郡勝浦町生名字鷲ケ尾14
☎0885-42-3020
●宿坊／あり（休館中）

第21番 太龍寺
●徳島県阿南市加茂町龍山2
☎0884-62-2021
●宿坊／なし

沿線の見どころ

氷柱（つらら）観音

道端の石段を上って山道を行くと赤い祠がある。中には長い年月をかけて自然の力で作られた鍾乳石の観音像が祀られている。祠の奥には県内有数の規模の鍾乳洞が縦に深く開いており、氷柱のような鍾乳石が地中に向かって垂れ下がっている。鶴林寺から太龍寺へ降りる県道19号沿いにあるが、見過ごしやすいので要注意。

所 徳島県那賀郡那賀町和食郷字田野
鶴林寺から南へ10.5km
☎ 0884･62･1198（にぎわい推進課）
営 参拝自由

境内の見どころ

丁石（ちょういし）

鶴林寺境内や周辺の遍路道「鶴林寺道」「太龍寺道」は昔からの景観をとどめており、札所寺院や遍路道として四国で初めて国の史跡となった。石畳や道標、丁石、遍路墓など多くの石造物が配置されており、その中でも南北朝時代に建立された丁石は、徳島県内で最も古く、鶴林寺の歴史とともに真言密教に対する当時の庶民信仰の高まりを裏付ける貴重な資料でもある。

境内の見どころ

三重塔

本堂を正面に左手には杉の木、そして、右手上段にあるのが文政6年（1823）、江戸末期に建てられた三重塔だ。この塔は、各層が和様、唐様などそれぞれ異なった建築手法を駆使して造られており、当時の文化をうかがい知る上でも貴重な手がかりとなる重層建築だ。県有形文化財に指定されている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

標高が高いため、澄んだ空気に包まれている

第20番 霊鷲山 宝珠院 鶴林寺

りゅうじゅざん　ほうじゅいん　かくりんじ

白鶴が運んだ金色の地蔵菩薩伝説

歴史・全体像

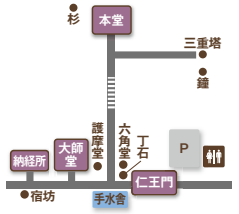
「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」といわれるほど、急勾配な坂を上らねばたどり着けない、八十八ヶ所巡礼の難所として知られる。延暦17年（798）、桓武天皇の勅願により開基されたと伝えられる。伝説によれば、同年、弘法大師がこの地を訪れて修法をしていると、雌雄二羽の白鶴が代わる代わる翼をかざし、金色の地蔵菩薩を守護しながら杉の梢に舞い降りてきた。それを見た大師はすぐに三尺の地蔵菩薩を彫刻し、その胸の部分に、白鶴が運んできた一寸八分の金色に輝く地蔵菩薩を納めて本尊とし、寺号を鶴林寺と命名された。この地蔵菩薩は国指定重要文化財となっている。

境　内

境内には大師の像を納めた六角堂（地蔵堂）と6体の地蔵尊のほか、忠霊殿、護摩堂などがある。本堂の向かって右には三重塔がそびえ建ち、荘厳な趣を添えている。また、仁王門の仁王像は、運慶の作と伝えられている。本堂の両脇にはお堂を守るように佇んでいる一対の鶴の像があり、本尊が白鶴に守護されながら降臨されたとされる杉の木は、今でも本堂の向かって左にある。また、地元の人々から「お鶴さん」と呼ばれ親しまれているこの寺は、勝浦川の麓から登り坂が続く標高５００ｍの山頂に位置しており、付近一帯は自然公園に指定されている。

御詠歌／しげりつる鶴の林をしるべにて大師ぞいます地蔵帝釈
本尊／地蔵菩薩
真言／おん かかかび さんまえい そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

本堂を守るように一対の鶴が立つ



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第20番 鶴林寺 ▼ 第21番 太龍寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第20番　鶴林寺 ▶ 第21番　太龍寺

6.7km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

20 かくりんじ 鶴林寺（標高 500m）

21 たいりゅうじ 太龍寺（標高 520m）

勝浦町　生名　大井　小学校跡　田舎谷　大井町　倉野　水井橋　水井町　那賀川　若杉谷川　阿南市　若杉　臼台　細野町　へんろ石（道標）　山頂駅　太龍寺ロープウェイ

0　縮尺= 1:15,000　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

N

第21番 太龍寺
●徳島県阿南市加茂町龍山2
☎0884-62-2021
●宿坊／なし

第22番 平等寺
●徳島県阿南市新野町秋山177
☎0884-36-3522
●宿坊／なし

沿線の見どころ

道の駅わじき のぎくの館

豊かな自然溢れる鷲敷ラインの入り口にある「道の駅わじき」。駅内の「のぎくの館」には、ゆずの加工品や山菜の漬物、こんにゃくなどの特産品がずらり。喫茶コーナーでは手づくりシフォンケーキが人気。おすすめは鹿肉を使った道の駅限定グルメ・ナカシカ丼。9月～6月の毎週日曜に販売される杵つき草餅も評判だ。

所 徳島県那賀郡那賀町中山字関ヶ原34-56
☎ 0884-62-3553
営 9:00～17:00
休 木曜

沿線の見どころ

太龍寺ロープウェイ

太龍寺山の麓と山頂までの全長2775mを結ぶ、西日本最長のロープウェイ。眼下に広がる雄大な眺望に感動すること間違いなし。標高602mの山越えや川越えもスリリングだ。山頂からは、晴れた日には紀伊半島を望むこともできる。運行は毎時0分、20分、40分の20分毎で、定員は101名。

所 徳島県那賀郡那賀町和食郷字田野76
☎ 0884-62-3100
営 7:20～17:00（12～2月は8:00～）
休 無休
料 大人往復2,470円、片道1,300円

境内の見どころ

舎心ヶ嶽（しゃしんがだけ）

ロープウェイで行き来する途中、切り立った岸壁の上に大師の坐像を見ることができる。ここは大師が19歳の時に100日間にわたって、虚空蔵求聞持法という、記憶力と判断力を身につける秘法を体得した場所。山頂駅から約20分、山道を歩けば行くことができる。道筋には石仏八十八ヶ所が設けられている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

立派な佇まいの護摩堂

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第21番 太龍寺 ▼ 第22番 平等寺

第21番 舎心山 常住院 太龍寺
しゃしんざん じょうじゅういん たいりゅうじ

ロープウェイで行く西の高野

歴史・全体像

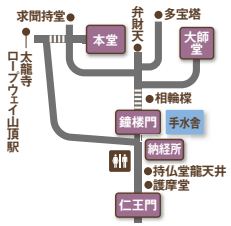
第50代桓武天皇の勅願によって開かれた寺で、弘法大師が自ら刻んだ虚空蔵菩薩が本尊として本堂に安置されている。本堂は開創以来、何度かの落雷や火災などで焼失し、現在のものは嘉永5年（1852）に蜂須賀斎裕公によって再建されたもの。平成3年（1991）には大修理も行われ、威風堂々と参拝者を迎えている。太龍寺は大師が19歳の時に修行を行い、室戸岬と並んで青年時代の思想形成に大きな影響を与えた場所。「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」といわれる阿波三大難所の一つとしても知られていたが、現在はロープウェイがあるためアクセスしやすい。

境　内

弘法大師の修行時代を偲ばせる迫力ある境内。本堂の横から御廟の橋、大師の拝殿、その裏手に御廟があり、高野山奥の院と同じ配列になっている。「西の高野」と呼ばれる所以の一つだ。大師堂には「竹林の七賢人」や「司馬温公の幼年の逸話」など、中国の民話や伝説が彫刻されていて、繊細な描写が見事である。周囲に老杉がそびえる境内には、多宝塔、相輪樘、求聞持堂、護摩堂、六角経蔵などがあり、そのスケールは圧巻。なお、阿南市側から車で寺の近くまで行くとなると、駐車場から仁王門まで約2kmの道のりを歩くことになる。

御詠歌／太龍の常にすむぞやげに岩屋舎心聞持は守護のためなり
本尊／虚空蔵菩薩
真言／のうぼう あきゃしゃきゃらばや おん ありきゃまり ぼり そわか
宗派／高野山真言宗
開基／桓武天皇（勅願）

山中に建つ厳かな雰囲気の本堂



JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 21 番　太龍寺 ▶ 第 22 番　平等寺

10.9km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

21 たいりゅうじ 太龍寺（標高 520m）

山頂駅

太龍寺ロープウェイ

舎心ケ嶽

太竜寺山

水井町

黒河

阿南市

阿瀬比町

阿瀬比

道の駅わじき のぎくの館

東内

生杉

八幡神社

中山川

唐杉

持福院

中山

とふめん

下司名

日ノ浦

助友

JA集出荷場

下田酒店

那賀町

北谷川

蛋石谷

北谷

山口小学校

山口町

仲分

津ノ末

田野

南谷

へんろみち周辺の宿泊施設

1　山茶花（さざんか）　0884-36-3701

新野町

秋山

22 びょうどうじ 平等寺

さざんか 山茶花

へんろ石（道標）

馬場

西光寺

大根

桑野川

岡花

富士医院

新野小学校

宮ノ久保

廿ケ谷

N

縮尺= 1:23,000　0　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

第22番 平等寺
●徳島県阿南市新野町秋山177
☎0884-36-3522
●宿坊／なし

第23番 薬王寺
●徳島県海部郡美波町奥河内字寺前285-1
☎0884-77-0023
●宿坊／あり、薬師会館0884-77-1138

沿線の見どころ

大浜海岸

美波町のシンボル・ウミガメが、毎年産卵のために訪れる海岸。きめ細かな砂が美しい海岸線は日本の渚百選にも選ばれている。産卵シーズンは5月中旬～8月中旬、ふ化は8月中旬～9月下旬。ウミガメは夜に上陸するので、5月20日～8月20日の19時30分～翌朝4時まではウミガメ保護規制が行われ、海岸へは立入禁止。

所 徳島県海部郡美波町日和佐浦
☎ 0884-77-3617（美波町産業振興課）

沿線の見どころ

日和佐うみがめ博物館 カレッタ

0～2歳のかわいい子ガメがチョコチョコと泳ぐ水槽と、体長1mを超える大きなウミガメが泳ぐプールがあり、間近で観察できる。世界のウミガメの実物大展示や大浜海岸のウミガメの産卵シーンをハイビジョンシアターで上映しているほか、パソコンクイズなどもあり、子どもから大人まで楽しめる博物館になっている。

所 徳島県海部郡美波町日和佐浦370-4
☎ 0884-77-1110
営 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）
料 大人600円

境内の見どころ

開運鏡の井戸

金色の梵字から薬師如来が現れた時、大師が杖で掘ったという井戸。乳白色だった水は現在では無色透明になっているが、どんな日照りにも涸れることなく、今でもこんこんと湧き続けている。また、この水は万病に効くという「弘法の霊水」として知られており、用意されている容器に入れて持ち帰ることができる。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

背後を山に囲まれた伽藍配置

第22番 白水山 医王院 平等寺
はくすいざん いおういん びょうどうじ

大師の井戸が今も水をたたえる

歴史・全体像

弘仁5年（814）に弘法大師が開基したと伝えられるこの寺には、次のような伝説がある。大師がこの地を訪れた際に、空中に五色の瑞雲がたなびき、その中に現れた梵字が金色のまばゆい輝きを放った。そしてその梵字は薬師如来に姿を変え、光明が四方に輝いたのだという。そこで加持水を求めた大師が杖で井戸を掘ると、乳白色の水が湧き出してきた。その霊水で身を清めた大師は、100日間の修行を経た後に薬師如来の像を刻み、これを本尊として安置。この乳白色の水によって人々が分け隔てなく平等に救済されますように、との願いを込めて寺号を平等寺と定めたといわれている。

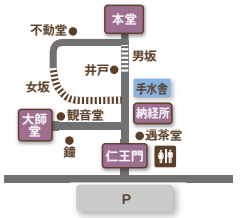
境　内

境内は、仁王門を入るとまず鐘楼堂と大師堂がある。本堂は、大師が杖で掘られた井戸の横から男坂を上がった先にあり、その左側の不動堂から女坂を下ったところに観音堂がある。男坂と女坂はそれぞれの本厄の年齢と同じ段数になっているため、厄除けを祈願して1段1段にお賽銭を置いていく参拝者の姿も多く見られる。

また、大正・昭和の時代に医者からも見放された足の不自由な参拝者が、この寺で霊験をさずかったという言い伝えも残り、その記念として3台の箱車（現在の車椅子のようなもの）が本堂に奉納されている。

御詠歌／平等にへだてのなきと聞く時はあら頼もしき仏とぞ見る
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

男坂を上りきったところにある本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第22番 平等寺 ▼ 第23番 薬王寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

へんろみち周辺の宿泊施設

1	山茶花（さざんか）	0884-36-3701
2	橋本屋旅館	0884-78-0033
3	民宿ゆき荘	0884-78-0513
4	民宿明山荘	0884-78-1717
5	民宿樹園	0884-78-1695
6	えびすロッジ	0884-77-0436
7	ホテル白い燈台	0884-77-1170
8	国民の宿うみがめ荘	0884-77-1166
9	きよ美旅館	0884-77-0550
10	ふなつき旅館	0884-77-0168
11	平繁旅館	0884-77-0072
12	ビジネスホテル ケアンズ	0884-77-1211
13	薬王寺 宿坊 薬師会館	0884-77-1138

※左切図から続く。

0 500 縮尺＝1：36,000 2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

「四国遍路」巡礼マップ

第22番　平等寺 ▶ 第23番　薬王寺

19.7km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

第23番 薬王寺
●徳島県海部郡美波町奥河内字寺前285-1
☎0884-77-0023
●宿坊／あり、薬師会館0884-77-1138

第24番 最御崎寺
●高知県室戸市室戸岬町4058-1
☎0887-23-0024
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

室戸海洋深層水 アクア・ファーム

実際に深海から海洋深層水を取水し給水している施設。館内では、パネルや模型などで特徴や取水方法などが学べる。汲みあげられたばかりの水に触れ、パイプを通って迷いこんできた深海の生物を見ることができる。海洋深層水を使ったミネラルウォーターやアイスクリームなどの関連商品も販売している。

所 高知県室戸市室戸岬町3507-1
☎ 0887・24・2822
営 9:00～17:00
休 日曜、祝日（要確認）
料 見学無料

沿線の見どころ

道の駅日和佐

JR日和佐駅のすぐ隣りに位置し、国道55号に面したアクセス良好な道の駅。物産館と産直館があり、地元の人たちがつくった新鮮な野菜や果物、特産品などが並ぶ。施設内で湧出している温泉水を利用した足湯が無料なのもうれしい。温まりながら人々と交流を深められる、お遍路さんにはありがたいスポットだ。

所 徳島県海部郡美波町奥河内字寺前493-6
☎ 0884・77・2121
営 9:00～18:00
休 無休
料 足湯無料

境内の見どころ

厄坂

3つの厄坂を上る前に、1円玉や5円玉をたくさん用意しておこう。女厄坂は33段、男厄坂は42段、還暦厄坂は61段あり、厄払いのためこの石段の一段ごとに賽銭を置きながら上っていくのがこの寺の習わしとなっている。また、石段の下には、薬師本願経を一字ずつ書いた小石が埋められている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

年始には初詣客も多く訪れる

第23番 医王山 無量寿院 薬王寺
いおうざん　むりょうじゅいん　やくおうじ

全国に名を馳せる厄除け寺

歴史・全体像

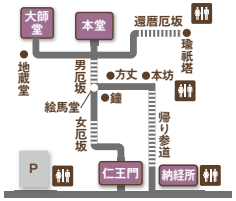
厄除けの寺として全国から参拝客が訪れる薬王寺は、神亀3年（726）に行基が聖武天皇の勅願によって建立したのが始まりといわれている。その後、弘仁6年（815）、弘法大師が平城上皇から民衆の厄除け祈願寺を開くようにとの勅願を受け、本尊の厄除薬師如来を彫刻して安置し、厄除けの根本祈願寺とした。この寺には嵯峨天皇や鳥羽天皇などの歴代天皇が、厄除け祈願のために勅使を遣わしたほか、後嵯峨天皇が伽藍を再建、仁助法親王が落慶供養をされた。藩政時代には蜂須賀家から寺領を賜るなど多くの信仰を集めた寺である。また、嘉禄2年（1226）には土御門上皇が行在所として住まわれた。

境　内

厄除け橋を渡り、仁王門をくぐりぬけ、急勾配の女厄坂を上る。上りきったところの絵馬堂にあるのが厄除け臼で、厄除けを祈願しながら、自分の歳の数だけ杵でつくのが習わしだ。
女厄坂とくれば、その次に待っているのは男厄坂。この坂を上ると本堂へとたどり着く。幾度かの火災や兵火などで焼失・再建を繰り返したが、現在の本堂は明治41年（1908）に再建されたものである。男厄坂を上った先の広場や、本堂の右手から還暦厄坂を上った先にある瑜祇塔（ゆぎとう）からは、日和佐の町並みと海の眺望が広がる。

御詠歌／皆人の病みぬる年の薬王寺 瑠璃の薬を与えましまし
本尊／厄除薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩

本堂は秘仏「後ろ向き薬師本尊」が安置



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第23番 薬王寺 ▼ 第24番 最御崎寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第23番　薬王寺 ▶ 第24番　最御崎寺

75.4km ※赤い点線は遍路道の一例です

B地点

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1 徳島県旅館ホテル生活衛生同業組合　088-652-7694

佛海庵
スーパーフェニックス
佐喜浜小学校
佐喜浜中学校
佐喜浜港
モンマート
佐喜浜スーパー
民宿ロッジおざき
民宿徳増
立岩
鹿岡鼻
室戸市
民宿椎名
八坂神社
椎名漁港
太平洋
大の川
大久保
四十寺山
稲石
山田
室津
三津坂トンネル
三津
三津漁港
室戸世界ジオパークセンター
室戸市役所
室戸スカイライン
尾垂山
菜生
六ヶ谷
室戸岬町
ロッジ室戸岬
室戸海洋深層水アクア・ファーム
ジオパーク夢路灯
シレスト室戸
ウトコディープシーテラピーセンター&ホテル
御蔵洞
ホテル明星
岬観光ホテル
24 最御崎寺（標高165m）
宿坊
観光旅館室戸荘
室戸岬園地休憩所

香峰
阿波海南駅
海南小学校
A地点
海部小学校
海部駅
ピア海部
民宿海部
生本旅館
NASA
ふれあいの宿遊遊NASA
那佐港
阿佐海岸鉄道阿佐東線
海陽町
〈徳島県〉
はるる亭
辨天屋旅館
宍喰温泉
ホテルリビエラししくい
宍喰中学校
宍喰漁港
宍喰駅
えびす
愛宕旅館
宍喰
民宿ぬしま
寿美医院
魚住食品店
甲浦港
甲浦小学校
スーパーフェニックス
大和旅館
甲浦駅
ホワイトビーチホテル
海の駅東洋町
谷口
民宿いくみ
南風
民宿みちしお
東洋町役場
サウス・ショアー
民宿南国苑
生見
〈高知県〉
東洋町
相間
相間川
めいとくじ 明徳寺（東洋大師）
野根スーパー
野根小学校
野根大橋
野根中学校
伏越ノ鼻
ごろごろ休憩所
別役
法海上人堂
淀ヶ磯
御崎
室戸市
淀ヶ磯休憩所
B地点

《凡　例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
店舗・スーパー
コインランドリー

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」

0 縮尺=1:80,000 2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

23 薬王寺 宿坊（薬師会館）
日和佐駅
道の駅日和佐
奥潟トンネル
日和佐トンネル
日和佐
odori
山河内駅
美波町
JR牟岐線
コインスナックおにがいわや
こまつだいし 小松大師
辺川駅
鍛冶屋谷山
牟岐町
牟岐漁港（古牟岐）
あづま
牟岐中学校
牟岐駅
牟岐町役場
民宿杉本
砂美観光
海部病院
牟岐漁港（牟岐）
牟岐
わらじだいし 草鞋大師
やさか民宿
しらきや
内妻荘
出羽島
さばだいし 鯖大師
鯖瀬駅
海山荘
鯖大師へんろ会館
大砂荘
民宿大砂
民宿吉田
浅川
浅川湾
浅川港
伊勢田下
海老ヶ池
蛇王運動公園
五反田
浅川駅
稲横山
海南病院
海部高校
海陽中学校
香峰
阿波海南駅
海南小学校
A地点
鞆奥漁港
海部小学校
四方原

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第24番 最御崎寺
●高知県室戸市室戸岬町4058-1
☎0887-23-0024
●宿坊／あり（要予約）

第25番 津照寺
●高知県室戸市室津2652
☎0887-23-0025
●宿坊／なし

沿線の見どころ

乱礁遊歩道

室戸青年大師像付近から海岸まで設けられた遊歩道。岩の間を縫うように設けられた全長約2.6kmの道のりには、弘法大師ゆかりの行水の池、悲しい伝説があるビシャゴ岩、子授の岩、エボシ岩などの巨岩が点在する。すべてを回ると約1時間かかるが、出入り口が各所にあるので予定にあわせてルートを決めて楽しめる。

所 高知県室戸市室戸岬町
☎ 0887-22-5161
（室戸市観光ジオパーク推進課）

沿線の見どころ

海の駅とろむ

室戸岬に近い漁港内にある海の駅。とれたての鮮魚を提供する食事処「ぢばうま八」のほかに、目の前の海で朝とれたばかりの魚介、干物や産地直送の野菜、室戸海洋深層水関連の商品を数多く取り扱う市場「くじらはま」がある。わら焼きタタキ体験のほか、イルカとふれあえる室戸ドルフィンセンターも隣接している。

所 高知県室戸市室戸岬町6810-152
☎ 0887-22-2176
営 売店 9:00～17:00、
レストラン 11:00～16:00（ラストオーダー）
休 水曜（祝日の場合は営業）

境内の見どころ

鐘石

境内のほぼ中央に置かれたこの石は、叩くと鐘のような高い音がするために鐘石といわれる。この音は極楽浄土まで届くとされ、弘法大師の七不思議に数えられている。鐘石の上に、それを叩くための小石が置かれているが、長年多くの人が叩いたせいか、その部分がくぼんでしまっているのが印象的だ。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

亜熱帯植物に囲まれた重厚な本堂

第24番 室戸山 明星院 最御崎寺

むろとざん　みょうじょういん　ほつみさきじ

厳しい修行の道場の始まりの寺

歴史・全体像

青年だった弘法大師が、悟りを開いた場所とされる室戸岬。その岬の頂上にある最御崎寺は、26番金剛頂寺の通称「西寺」に対して「東寺」と呼ばれている。大同2年（807）、唐から帰朝した弘法大師は、再びこの地を訪れ、嵯峨天皇の勅願を受けて伽藍を建立する。その後も歴代の天皇から篤い信仰を受け、足利尊氏はここを土佐の安国寺として利生塔を置いた。

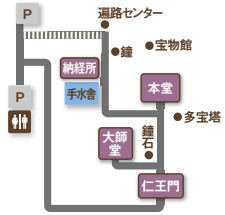
近世初期には落雷火災に遭い、堂宇を消失したが、元和年間（1615～1624）に土佐藩主・山内忠義の援助で僧・最勝が再興させた。明治の神仏分離令により堂宇は再び荒廃するが、大正時代に入り再興した。

境　内

ゆるやかな上り坂の参道を抜けると、亜熱帯植物の林に囲まれた仁王門にたどり着く。境内に入ると、左手に土俵、右手には十一面観音菩薩像がある。菩薩像の後ろに広がる森は、国内でも珍しいシイの木に寄生するヤッコソウの群落地となっている。仁王門をくぐり境内を奥に進むと、左手に大師堂、右手前には慶安元年（1648）に竣工した鐘楼堂がある。空海の七不思議に数えられる鐘石は、境内のほぼ中央に鎮座する。本堂の裏には遍路センターがあり、それを過ぎると急な下り坂となっていて、途中には小さなお地蔵さんが並ぶ「一言お願い地蔵」がある。

御詠歌／明星の出でぬる方の東寺暗き迷いはなどかあらまじ
本尊／虚空蔵菩薩
真言／のうぼう あきゃしゃきゃらばや おん ありきゃまり ぼり そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／弘法大師

大師堂の前には土俵が残されている



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第24番 最御崎寺 ▼ 第25番 津照寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

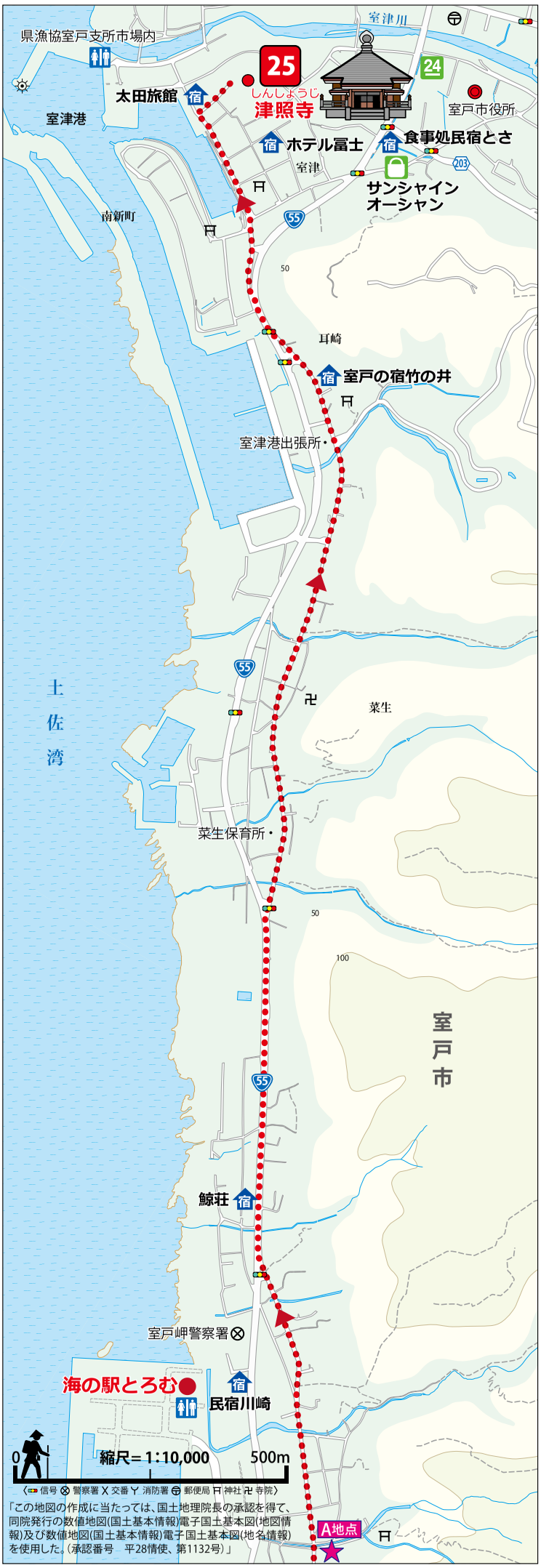
「四国遍路」巡礼マップ

第 24 番　最御崎寺 ▶ 第 25 番　津照寺

6.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

へんろみち周辺の宿泊施設

1	ジオパーク夢路灯	0887-22-6601
2	岬観光ホテル	0887-22-0541
3	観光旅館室戸荘	0887-22-0409
4	室戸岬最御崎寺へんろセンター	0887-23-0024
5	まぜの宿	0887-22-0050
6	うまめの木	0887-22-4806
7	民宿川崎	0887-22-3664
8	鯨　荘	0887-23-3555
9	室戸の宿竹の井	0887-22-1624
10	太田旅館	0887-22-0004
11	ホテル冨士	0887-22-0205
12	食事処民宿とさ	0887-23-3458

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第25番 津照寺
●高知県室戸市室津2652
☎0887-23-0025
●宿坊／なし

第26番 金剛頂寺
●高知県室戸市元乙523
☎0887-23-0026
●宿坊／なし

沿線の見どころ

道の駅 キラメッセ室戸

国道55号沿いの、大きなクジラのオブジェが目印の道の駅。太平洋を望みながら浜アザミの天ぷらなど室戸の郷土料理とクジラ料理が楽しめる「レストラン食遊」、日本初のザトウクジラの骨格標本を展示し、捕鯨の歴史などを学べる「鯨館」、ビワなどの室戸の特産品が並ぶ「農産物直販所楽市」の三つの施設がある。

所 高知県室戸市吉良川町丙890-11
金剛頂寺から西へ2.8Km
休 鯨館0887-25-3377、食遊3500、楽市2918
営 施設により異なる（要問合せ）
休 月曜（祝日の場合は翌日）

境内の見どころ

境内からの眺め

室津港に寄り添う小高い山の上に建つ本堂。ここから眺める景色の良さは定評がある。高度はさほどないものの、漁師町の風情と、その先に広がる紺碧の太平洋が、巡礼の疲れを癒やしてくれるだろう。境内の弘法大師像は、航行の安全を見守るために、海をしっかりと見据えるように立っている。

境内の見どころ

鐘楼門

昭和40年代に建立された鐘楼門は、別名「仏の灯台」と呼ばれ、この寺のシンボルだ。その名のとおり、鮮やかな朱色に塗装され、周囲の深い緑と絶妙なコントラストを見せてくれる。石段の途中に設けられているので、ここで一息つくのもいい。内部は気軽に入れる構造になっている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

山の上から海で働く人々を見守ってきた寺

第25番 宝珠山 真言院 津照寺
ほうしゅざん　しんごんいん　しんしょうじ

山内一豊を救った楫取地蔵を祀る

歴史・全体像

弘法大師が大同2年（807）にこの地で教えを説いていた時に開いた寺。地元では「津寺（つでら）」と呼ばれ親しまれている。海で働く人の無事と豊漁を祈願して延命地蔵が安置され、建立以来多くの信仰を集め、戦国時代には長宗我部氏、江戸時代には土佐藩主の山内氏が深く帰依した。慶長7年（1602）、航海中の初代藩主山内一豊が室津沖で嵐に遭った際、一人の僧が現れ船を安全に操ってくれた。翌日その僧を追って寺を訪れると、本尊の延命地蔵がびしょ濡れだったという伝説から、本尊は「楫取（かじとり）地蔵」とも呼ばれている。明治に一時廃寺となるが、明治16年（1883）に再興した。

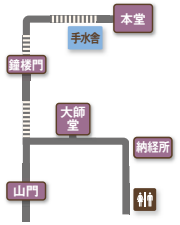
境　内

室津港から導かれるように参道が小高い山へと続く。山門をくぐると、右手に大師堂と納経所がある。本堂は勾配がかなり急な石段125段を上りきったところに建ち、室津港とその港町が一望できる。石段の途中には、竜宮城のような鮮やかな色合いの鐘楼門があり、この内部からも風景を楽しむことができる。本堂はしっかりとしたコンクリート造りで、昭和50年（1975）に完成したものだ。

弘法大師の作とされる本尊の楫取地蔵は、海上安全や家内安全などにご利益があるとされ、漁師など船乗りのみならず、幅広く信仰されている。

御詠歌／法の舟入るか出るかこの津
寺迷ふ吾身をのせてたまへや
本尊／楫取（かじとり）延命地蔵菩薩
真言／おん かかかび さんまえい そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／弘法大師

コンクリート造りの本堂は朱色に塗装



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ 第25番 津照寺 ▼ 第26番 金剛頂寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 25 番　津照寺 ▶ 第 26 番　金剛頂寺

3.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	太田旅館	0887-22-0004
2	ホテル冨士	0887-22-0205
3	食事処民宿とさ	0887-23-3458
4	ファミリーロッジ旅籠屋・室戸店	0887-23-0858
5	民宿うらしま	0887-23-1105

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 ⊕ 郵便局 ⊓ 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第26番　金剛頂寺
●高知県室戸市元乙523
☎0887-23-0026
●宿坊／なし

第27番　神峯寺
●高知県安芸郡安田町唐浜2594
☎0887-38-5495
●宿坊／なし

沿線の見どころ

岡御殿

藩政時代末期の面影を残す豪商岡家の御殿で、藩主が東部巡視の際に本陣として使用したと伝えられている。昭和60年に県の有形文化財に指定された後、平成９年に修復復元され、現在は、駕籠や茶弁当など岡家に伝わる品々や当時の商人の暮らしぶりがわかる資料等を展示した資料館として一般公開している。

所 高知県安芸郡田野町2147-1
☎ 0887･38･3385
開 9:00～16:30
休 火曜（祝日の場合は翌日）
料 大人500円、中高生300円
（20名以上は割引あり）

境内の見どころ

一粒万倍の釜

大師堂の横にある赤さびた釜は、「一粒万倍の釜」と呼ばれ、弘法大師が三合三勺(約495g)の米を入れて炊いたところ、万倍にも増え、飢えた人々を救ったという伝説を持つ。その近くに生えていた幹がコブに覆われたツバキは「がん封じの椿」と呼ばれ、枯れた後も幹が祀られており、病気平癒を願う人々の参拝が絶えない。

境内の見どころ

霊宝殿

正倉院を思わせる校倉造りの霊宝殿には、多くの文化財が収蔵されており、事前に連絡すれば見学することができる。収蔵品の中でも、金銅旅壇具、朝鮮高麗時代の銅鐘、平安末期の木造阿弥陀如来像、真言密教伝法の師８人をモデルにした真言八祖像などは国の重要文化財に指定されている。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

堂々たる風格が漂う本堂は昭和58年(1983)に改築された

第26番 龍頭山 光明院 金剛頂寺

りゅうずざん　こうみょういん　こんごうちょうじ

かつての捕鯨の町を見守る寺

歴史・全体像

室戸岬から西に進んだところにある行当岬。その背後にある標高約100ｍの高台に建つ金剛頂寺は、室戸三山の一つとして、通称「西寺」と呼ばれている。大同2年（807）、嵯峨天皇の勅願により弘法大師が開基した。その後、嵯峨天皇、淳和天皇の勅願所として栄え、現在の室戸市の大部分を寺領とするが、文明11年（1479）、火災のために本堂を消失する。しかし、すぐに再興し、文明18年（1486）に本堂が建立された際には、盛大に大曼荼羅供養が行われた。

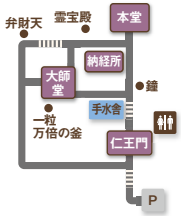
明治32年（1899）には再び火災に遭い、現在の堂宇はそれ以降に再建されたものである。

境　内

約70ｍほどの石段を上って仁王門をくぐると、広い境内にたどり着く。左手には大師堂、右手には鐘楼があり、正面には堂々たる本堂がある。本堂の横には数々の文化財が収蔵されている霊宝殿が佇む。また、境内には鯨の霊を供養する碑も建ち、かつて捕鯨で栄えた地の名残を感じさせる。トイレの横を抜けると、室戸岬や太平洋を一望できる展望スペースが広がる。大師堂が建っているのは、かつて弘法大師と天狗が問答したという場所。天狗を足摺岬に封印した大師は、自らの姿を刻み、この地に残した。そのため大師堂は足摺岬のほうを向いて建っている。

御詠歌／往生に望みをかくる極楽は
月のかたむく西寺のそら
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／弘法大師

大師堂は「天狗問答」の伝説が残る場所



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第26番 金剛頂寺 ▼ 第27番 神峯寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 26 番　金剛頂寺 ▶ 第 27 番　神峯寺

27.5km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

弘法大師ゆかりの寺院 / ゆかりの神社 / ゆかりの場所
宿泊施設 / 遍路小屋 / 休息所 / 公衆トイレ
医療機関 / 道の駅 / 温泉 / 学校
ファミリーレストラン / コンビニエンスストア / 店舗・スーパー / コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設

1	遍路宿 蔵空間茶館	0887-25-3700
2	ホテルなはり	0887-38-5111
3	山郷旅館	0887-38-2219
4	民宿とうの浜	0887-38-8827
5	ドライブイン 27	0887-38-3727
6	浜吉屋旅館	0887-38-6589

縮尺= 1:43,000　0　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第27番　神峯寺
●高知県安芸郡安田町唐浜2594
☎0887-38-5495
●宿坊／なし

第28番 大日寺
●高知県香南市野市町母代寺476
☎0887-56-0638
●宿坊／なし

沿線の見どころ

絵金蔵

幕末土佐の絵師・金蔵（通称：絵金）の芝居絵屏風を収蔵、展示する美術館。芝居絵屏風が飾られる祭礼の様子を再現した闇の展示室や、壁の穴から実物の屏風絵をのぞき見できるコーナーなど、展示方法もユニークだ。毎年7月には、赤岡町本町・横町商店街で絵金祭りが開催され、通りに屏風絵が展示される。

所 高知県香南市赤岡町538
☎ 0887-57-7117
営 9:00～17:00（入館は16:30まで）
休 月曜（祝日の場合は翌日）、12/29～1/3
料 大人500円

沿線の見どころ

県立公園ヤ・シィパーク

道の駅と鉄道駅・バス停を併設。道の駅には産直市やレストラン、土産物店など7店舗があり、観光情報センターでは宿泊やイベント情報などが入手できる。太平洋に面した公園は夏季は海水浴場となり、シャワー、ロッカー、更衣室などを完備。デイキャンプやバーベキューサイト（要予約）は一年を通じて利用できる。

所 高知県香南市夜須町千切537-90
☎ 0887-57-7122（道の駅やす）
営 9:00～18:00（夏季は8:00～19:00）
休 無休

境内の見どころ

石段沿いの景観

境内の景観の美しさでは、四国霊場でも有数といわれる神峯寺。本堂まで続く石段の両脇は、丁寧に刈り揃えられた低木で構成された庭園となっている。早春にはウグイスの風流なさえずりが響き渡り、初夏になるとツツジやシャクナゲが咲くなど、四季折々の風情が訪れる人を楽しませてくれる。

自然にとけ込み優雅な佇まいを見せる本堂

第27番 竹林山 地蔵院 神峯寺

ちくりんざん　じぞういん　こうのみねじ

遍路ころがしの急坂は土佐の難所

歴史・全体像

始まりは神功皇后が戦勝を祈願することを目的に、天照大神などの諸神を祀ったことから。その後行基が十一面観音像を刻んで本尊とし、神仏を合祀。大同4年（809）に弘法大師が天皇の勅命により来錫、諸堂を整え霊場とした。明治時代には神仏分離令で廃寺となり、本尊は金剛頂寺に移されるが、明治17年（1884）には再興された。またこの寺は、三菱財閥創始者の岩崎弥太郎の母親が、息子の開運を祈願して熱心に参拝したことでも知られている。母親は安芸市にある自宅から寺までの道のり約20kmを歩き、さらに遍路ころがしと呼ばれる急坂を上ることを21日間も続けたといわれている。

境　内

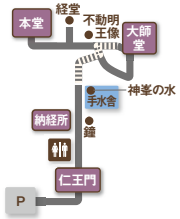
「真っ縦」と呼ばれる急勾配の山道が続く神峯山山頂付近にある神峯寺。山道を上りきり、仁王門までたどり着いたとしても、さらに約160段の石段を上らなければ本堂と大師堂まで至らない。

石段の両脇には美しい庭園が整備されており、厳しい巡礼にひとときの安らぎを与えてくれる。杉の大木などの鬱蒼とした森を背にした堂宇は、簡素ながらも堂々とした佇まいだ。

本堂前には、今にも歩き出しそうな弘法大師像や、炎の赤が目をひく不動明王像が建つ。境内からは土佐湾を一望できる。

御詠歌／みほとけのめぐみの心こうのみね山も誓ひも高き水音
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／行基菩薩

仁王門を抜けてすぐは広々としている



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

文化庁　JAPAN HERITAGE　日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第27番 神峯寺 ▼ 第28番 大日寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 27 番　神峯寺 ▶ 第 28 番　大日寺

37.5km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡 例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合　088-823-5941

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第28番 大日寺
●高知県香南市野市町母代寺476
☎0887-56-0638
●宿坊／なし

第29番 国分寺
●高知県南国市国分546
☎088-862-0055
●宿坊／なし

沿線の見どころ

黒潮温泉 龍馬の湯

お遍路さんが数多く利用する「高知黒潮ホテル」に隣接する温泉施設。地下1300mから毎分200ℓもの湧出量を誇り、その成分はアルカリ性で、ミネラルを豊富に含む。効能は高知県内最多の19種類以上を数え、巡礼の疲れを癒やしつつ、健康増進や美肌効果も期待できそう。さわやかな香りがうれしい檜張りのサウナも。

所 高知県香南市野市町東野1630
大日寺から南へ2.8Km
☎ 0887-56-5800（高知黒潮ホテル）
営 10:00～24:00（札止23:30）
休 無休
料 大人900円

沿線の見どころ

創造広場「アクトランド」

「世界にひとつだけ!」がギュッとつまった8つの展示館と、充実した無料エリアからなる複合的テーマパーク。展示館のひとつである「龍馬歴史館」は、坂本龍馬激動の人生を120体の蝋人形で再現した、世界で唯一の展示館。他にも、ここでしか見られない貴重な展示物が盛りだくさん。

所 高知県香南市野市町大谷928-1
☎ 0887-56-1501
営 10:00～18:00（最終入館17:30）
休 無休
料 龍馬歴史館大人1,500円、
他7館各1,000円

境内の見どころ

奥の院の爪彫薬師

納経所から山道をしばらく進むと、奥の院がひっそりと佇む。ここに祀られているのは、弘法大師が爪で彫ったとされるクスノキの霊木の薬師如来。首から上の病気にご利益があると伝えられている。病気が平癒した人は穴が開いた石を奉納するため、床下には多くの石が積み重ねられている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

整然とした境内は季節の花で彩られる

第28番 法界山 高照院 大日寺
ほうかいさん　こうしょういん　だいにちじ

霊験を求めて参拝者が絶えない寺

歴史・全体像

天平年間（729～749）、聖武天皇の勅願により行基が開基した大日寺。その後まもなく荒廃したが、弘仁6年（815）に弘法大師が来錫。楠の大木に爪で薬師如来を刻み、奥の院に安置し、ここを霊場と定めた。慶長年間（1596～1615）以降は、土佐藩の祈願寺として大いに栄えた。しかし、明治4年（1871）には廃仏毀釈のあおりを受けて廃寺となってしまう。しかしながらその間も、地元の人たちは本堂を大日堂として守り続け、明治17年（1884）に再興された。現在の堂宇はそれ以降に再建されたもので、屋根が反った本堂は、平安時代の堂宇の特徴を示している。

境　内

田園に囲まれた三宝山の中腹にある。駐車場から石段を上るとたどり着く境内は、早春にはサンシュユ、3月の彼岸の頃にはしだれ桜、10月中旬以降には十月桜やマンリョウが彩り、四季折々の変化を楽しむことができる。本堂には、行基作と伝わる本尊、大日如来坐像が安置されている。像は約145cmもあり中四国では最大級。国の重要文化財だが、残念ながら非公開だ。本堂を挟むように六角堂（地蔵堂）と大師堂が配されている。納経所から山道に約150mほど進むと、奥の院と御加持水がある。また、日本三大鍾乳洞の一つ、龍河洞へも足を運びたい。

御詠歌／露霜と罪を照らせる大日寺
などか歩みを運ばざらまし
本尊／大日如来
真言／おん ばざらだど ばん
宗派／真言宗智山派
開基／行基菩薩

屋根の両端が反っているのが特徴の本堂

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第28番 大日寺 ▼ 第29番 国分寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 28 番　大日寺 ▶ 第 29 番　国分寺

9.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

へんろみち周辺の宿泊施設

1	民宿喫茶きらく	0887-56-1985
2	遊　庵	0887-56-4408
3	ペンションお宿	088-878-6061

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- 学校

29 こくぶんじ 国分寺

28 だいにちじ 大日寺

縮尺＝1:23,000　1000m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第29番 国分寺
●高知県南国市国分546
☎088-862-0055
●宿坊／なし

第30番 善楽寺
●高知県高知市一宮しなね2-23-11
☎088-846-4141
●宿坊／なし

沿線の見どころ

天然の湯 ながおか温泉

毎日お湯を入れ替えるため、気持ち良く入浴が楽しめる温泉。露天風呂、露天打たせ湯、寝湯など湯船を多数用意。通常のサウナのほかに、高温が苦手な人も安心して利用できるスチームサウナもある。温泉水を利用した歩行浴のできる25mプール、トレーニングルームも完備。お遍路さんは利用料金が割引になる。

所 高知県南国市下末松106
国分寺から南東へ1.6Km
☎ 088-864-6300
営 10:00～22:00
休 第2水曜（祝日の場合は第3水曜）

沿線の見どころ

西島園芸団地

広大な敷地内には年間を通じてメロンやスイカが栽培され、一本の木から一つしか収穫しないという最高級品の味わいを園内で堪能できる。さらに約200種類以上の草花も栽培展示しており、気に入ったものがあれば購入できる。手づくりジャムやメロンの粕漬けなど、お土産に最適な農産加工品も販売。

所 高知県南国市廿枝600
☎ 088-863-3167
営 9:00～17:00
休 無休
他 フルーツ券780円、
イチゴ狩（時期により料金変動）

境内の見どころ

仁王門

明暦元年（1655）、土佐藩主・山内忠義公が寄贈したといわれる仁王門。昭和62年（1987）には解体修理が行われた。以前まで創建当時の梵鐘がかかっていたが、現在は本堂の中に収められている。その梵鐘は、形状から平安時代前期のものとされ、国の重要文化財に指定されている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

手入れが行き届いた境内には句碑や歌碑が点在している

第29番 摩尼山 宝蔵院 国分寺

まにざん　ほうぞういん　こくぶんじ

紀貫之にゆかりのある土佐の名刹

歴史・全体像

「諸国でもっとも良い土地を選んで建てよ」という聖武天皇の勅願により、天平13年（741）に行基が建立した寺。天皇自らが金光明最勝王経を書写して納め、天下泰平、五穀豊穣、万民豊楽の祈願所とした。本尊は千手観世音菩薩。後に弘法大師が真言宗の寺として中興し、霊場として定めた。この一帯は『土佐日記』の作者紀貫之が国司として4年間滞在した場所としても知られ、寺の北東には紀貫之が赴任した屋敷跡も残されている。また歴代の天皇や土佐藩主からも篤い信仰を集めた。境内には数多くの文化財が残っているため、大正11年（1922）には、境内全域が国の史跡に指定された。

境　内

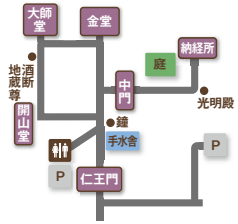
仁王門をくぐると正面に見える本堂は金堂とも呼ばれ、永禄元年（1558）に長宗我部国親・元親親子が再建したもの。天平様式を思わせる柿（こけら）葺き、寄棟造りが特徴的な建物で、国の重要文化財に指定されている。その左側には寛永11年（1634）に建立された大師堂がある。

さらにその左には酒断地蔵がある。元は国分寺の飛び地境内であった香美市土佐山田町穴内にあったものだが、その地にダムが建設されたため、ここに移転された。

江戸時代には土佐藩主山内公が、参勤交代の途中に安全を祈願するため、立ち寄ったとされる寺だ。

御詠歌／国を分け宝を積みて建つ寺の末の世までの利益残せり
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗智山派
開基／行基菩薩

本堂の屋根は薄い板を重ねた柿葺き



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第29番 国分寺 ▼ 第30番 善楽寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 29 番　国分寺 ▶ 第 30 番　善楽寺

6.9km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設

1　レインボー北星　088-826-4680

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第30番 善楽寺
●高知県高知市一宮しなね2-23-11
☎088-846-4141
●宿坊／なし

第31番 竹林寺
●高知県高知市五台山3577
☎088-882-3085
●宿坊／なし

沿線の見どころ

高知県立美術館

マルク・シャガールの世界的版画コレクションや写真家・石元泰博ら高知ゆかりの作家作品を収蔵。多様なジャンルの企画展やワークショップの開催、美術館ホールでのコンサートや映画の上映会など、様々なイベントを手がけ、高知の芸術に関する情報発信基地となっている。併設されたミュージアムカフェやアートグッズを販売するミュージアムショップも人気。

所 高知県高知市高須353-2
☎ 088-866-8000
営 9:00～17:00
休 12/27～1/1※臨時休館あり
料 コレクション展観覧料大人360円

境内の見どころ

梅見地蔵

子安地蔵堂の奥に鎮座する地蔵は、文化13年（1816）の作。学業成就、合格祈願、首から上の病の平癒祈願にご利益があるとされ、全国各地から参拝客が訪れる。かつては梅の木の下にあり、その木を仰ぎ見る姿から「梅見地蔵」と呼ばれるようになった。梅見地蔵の枕カバー（1,000円）も授与されている。

境内の見どころ

子安地蔵堂・水子供養堂

本堂と大師堂の向かいに建つ子安地蔵堂には、白い顔がどこかユーモラスな子安地蔵が鎮座している。この地蔵は子宝祈願にご利益があるとされる。また、その隣には水子供養堂があり、フェルト地でできたかわいい地蔵絵馬（300円）がある。願いごとを書き込んで奉納したり、そのまま持ち帰ったりできる。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

土佐神社と隣接する境内。駐車場もすぐそこ

第30番 百々山 東明院 善楽寺
どどざん　とうみょういん　ぜんらくじ

明治の廃仏毀釈に翻弄された古刹

歴史・全体像

大同年間（806～810）、弘法大師がこの地に巡錫のおり、高鴨大明神（現土佐神社）の別当寺として神宮寺と善楽寺を建立。善楽寺を四国八十八ヶ所霊場第30番と定める。しかし明治時代になり、神仏分離、廃仏毀釈のあおりを受け、神宮寺と善楽寺は廃寺となる。明治9年（1876）、安楽寺が「仮の借置」として30番の代行業務を行う。昭和4年（1929）には善楽寺も再興し、その後は善楽寺と安楽寺の二ヶ所で30番の納経を行うこととなった。

平成6年（1994）、安楽寺が第30番の奥の院、善楽寺が正式に第30番となり、この騒動に決着がついた。

境　内

駐車場に隣接した境内は、明るい日差しが差し込む開放的な雰囲気。

土佐一宮として知られる土佐神社が隣にあるため、参拝者も多い。本堂の手前にある大師堂は、大正時代に建てられたもの。

本堂は昭和57年（1982）に改築された。本尊は金仏阿弥陀如来坐像。また、本堂内には江戸時代末期の木造薬師如来坐像や観音菩薩などが安置されており、その向かいには子安地蔵堂と水子供養堂、梅見地蔵がある。

奥の院・安楽寺は、善楽寺より約5km西、高知市街に入り、高知城の北側にある。

御詠歌／人多くたちあつまれるいちのみやむかしもいまもさかえぬるかな
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていぜい からうん
宗派／真言宗豊山派
開基／弘法大師

本堂の前には釈迦の足跡を印した仏足跡

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第30番 善楽寺 ▼ 第31番 竹林寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第30番　善楽寺 ▶ 第31番　竹林寺

6.6km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

A地点

30 ぜんらくじ 善楽寺

31 ちくりんじ 竹林寺（標高120m）

高須砂地　高知市東消防署　高知県立美術館　舟入川　高須　高須本町　土佐電鉄後免線　文珠通駅　高須駅　高須新町（一）　高須新町（二）　高須新町（三）　高須新町（四）　高須小学校　高須東ノ丸公園　サニーマート　高知厚生病院　西高須駅　県立美術館通駅　葛島（一）　葛島（四）　高須（一）　高須大島　絶海池　絶海池橋　高須大谷　高須絶海　星神社　五台山トンネル　牧野植物園　牧野富太郎記念館　五台山　県立五台山公園　吸江　鳴谷　南吸江　三ッ石　五台山小学校　坂本

高知自動車道　一宮しなね（一）　一宮しなね（二）　一宮西町（三）　一宮中町（一）　一宮中町（二）　一宮中町（三）　一宮東町（一）　一宮東町（二）　一宮東町（三）　一宮東町（四）　一宮東町（五）　一宮徳谷　マルナカ　一宮東小学校　浅井産婦人科　・ドラッグセイムズ　JR土讃線　土佐一宮駅　久万川　・大洋運輸　国分川　下の瀬大橋

へんろみち周辺の宿泊施設

1　サンピア セリーズ　088-866-7000

宿 サンピア セリーズ

A地点

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

縮尺= 1:10,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第31番 竹林寺
●高知県高知市五台山3577
☎088-882-3085
●宿坊／なし

第32番 禅師峰寺
●高知県南国市十市3084
☎088-865-8430
●宿坊／なし

沿線の見どころ

高知県立牧野植物園

高知県が生んだ植物学者・牧野富太郎博士の業績を顕彰するために開園。五台山の起伏を利用した約6haの広大な園地は、博士ゆかりの植物を中心に約3000種類もの植物で彩られている。展示館では博士直筆の植物図や貴重な蔵書に加え、博士の生涯をパネルで紹介。年に数回、企画展が開催され、様々なイベントも好評だ。

所 高知県高知市五台山4200-6
☎ 088-882-2601
営 9:00～17:00
休 12/27～1/1
料 一般720円（高校生以下無料）
団体620円（20名以上）

境内の見どころ

総檜造りの五重塔

かつて竹林寺には三重塔があったが明治32年（1899）の台風により倒壊。それ以来、塔再建を悲願としてきたが、ついに昭和55年（1980）、高知県で唯一の五重塔として再建。高さ31.2mを誇り、国内でも貴重な塔として知られる。総檜造りで、鎌倉時代初期の様式に倣って造られている。

境内の見どころ

名勝庭園

客殿の西と北に広がる庭は、禅の高僧・夢窓国師により造られたとされている。国師は文保2年（1318）から2年間、土佐を訪れ、五台山の麓に草庵を結んだ。山畔を利用して造られた北庭と、中国の風景を模した西庭があり、高知県三名園の一つとして数えられている。見学は大人400円（宝物館共通）。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

五台山の山頂に広がる境内は広々としている

第31番 五台山 金色院 竹林寺
ごだいさん こんじきいん ちくりんじ

土佐の宗教・文化の中心的存在

歴史・全体像

神亀元年（724）、聖武天皇の勅願により行基が開基した土佐屈指の古刹。聖武天皇が、文殊菩薩の聖地・中国五台山に似た山を国内で探し出すことを行基に命じ、諸国を探した行基はこの地を選んで、本尊の文殊菩薩を自ら刻み堂塔を建立した。その後、大同年間（806～810）には、弘法大師が来錫し、堂宇を補修した。江戸時代に入ってからは土佐藩主の帰依を受けて、寺運は大いに隆盛する。堂塔は土佐随一の荘厳さを誇り、多くの名僧が集まってきた。そのため「南海第一道場」と呼ばれ、土佐の信仰や文化の中心地となった。明治初頭には一時衰微するが、その後再興された。

境　内

駐車場の入り口のすぐそばにあるのは、重要文化財指定の仏像が17体納められている宝物館。高知三名園に数えられる庭園や客殿を通り過ぎ、さらに奥へと進むと二層の仁王門が見上げるように建つ。門をくぐり石段を上ると、右手には本堂、左手には大師堂。正面には五重塔の優美な姿が迫る。本堂は、寛永20年（1643）の火災の後、土佐二代藩主・山内忠義によって造営された。本尊の文殊菩薩坐像を祀っていることから、文殊堂とも呼ばれている。本尊の文殊菩薩は4人の従者を従えて獅子に乗っており、50年に一度しか開帳されない秘仏。

御詠歌／南無文殊三世の仏の母ときくわれも子なれば乳こそほしけれ
本尊／文殊菩薩
真言／おん あらはしゃのう
宗派／真言宗智山派
開基／行基菩薩

四国霊場で唯一、文殊菩薩を祀る本堂

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第31番 竹林寺 ▼ 第32番 禅師峰寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 31 番　竹林寺 ▶ 第 32 番　禅師峰寺

5.7km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

31 ちくりんじ 竹林寺（標高 120m）

高知県立牧野植物園

県立五台山公園

五台山トンネル

鳴谷

新田

倉谷

東和

和泉

三ッ石

坂本

五台山ふれあい公園

五台山小学校

下田川

雄辛橋

五台山

高知南ＩＣ

唐谷

高知東部自動車道

吹井

・武市半平太旧宅

南国市

緑ケ丘（一）

緑ケ丘（二）

尾崎公園

錦城公園

サンプラザ新鮮館

十市小学校

東孕

大畑山トンネル

高知市

高知医療センター

高知県立大学

十津小学校

十津（四）

水分

池

石土トンネル

神母公園

緑ケ丘（三）

石土池

石土神社

32 ぜんじぶじ 禅師峰寺

栗山

大浜

八丁

縮尺= 1:14,000　0　1000m

N

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。〈承認番号　平28情使、第1132号)〉」

第32番 禅師峰寺
●高知県南国市十市3084
☎088-865-8430
●宿坊／なし

第33番 雪蹊寺
●高知県高知市長浜857-3
☎088-837-2233
●宿坊／なし

沿線の見どころ

県営渡船

浦戸湾の長浜と種崎を結ぶ渡し船。昭和47年（1972）に浦戸大橋が完成し、自動車は浦戸大橋を利用するようになり、今では小型バイクと自転車、人のみ乗船が可能。県道弘岡下種崎線上にあり県営で運賃無料。航海時間は約4分。30分から1時間間隔で運航。禅師峰寺と雪蹊寺のコース上にあり、お遍路さんの利用も多い。

所 高知県高知市梶ヶ浦渡船場～種崎渡船場
☎ 088-882-8646
（高知土木事務所道路保全担当）
営 6:30～20:00
休 臨時運休あり

沿線の見どころ

桂浜水族館

桂浜の浜辺にある水族館で、いきものとの距離がとても近く人気がある。四国で唯一のトドやアシカのショーもあり、ペンギンやウミガメのエサやり体験など、いきものとふれあえるイベントが充実している。巨大魚アカメの飼育個体数は日本一で郡泳は必見だ。

所 高知県高知市浦戸778
☎ 088-841-2437
営 9:00～17:00
休 無休
料 大人1,200円

境内の見どころ

境内からの眺め

寺は標高82mの小高い丘のような「峰山」の山頂にあることから「みねじ」「みねでら」などの愛称で親しまれている。参道の石段は急だが、境内からは土佐湾が一望でき、その風景は巡礼の疲れを癒やしてくれる。東には手結岬、西には桂浜を望み、その間には白砂青松が広がる海岸線が延びている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

こぢんまりとした境内には石仏が並ぶ

第32番 八葉山 求聞持院 禅師峰寺

はちようざん　ぐもんじいん　ぜんじぶじ

境内の奇岩と爽快な眺めが見もの

歴史・全体像

寺の言い伝えによると、禅師峰寺は神亀年間（724～729）に、聖武天皇の勅願により行基が建立したとされる。弘法大師は大同2年（807）に来錫し、土佐の海の安全祈願をしながら十一面観世音菩薩を刻んで本尊とした。土佐藩初代藩主山内一豊も、参勤交代で江戸に向かう際には、必ずこの寺に参拝し、旅路の安全を祈願したという。海上交通の安全を祈願して建立されているため「船魂観音」と呼ぶ人もいる。鎌倉時代の銘が残る梵鐘など貴重な品も収蔵している。昭和19年（1944）には、俳人・荻原井泉水がこの寺を訪れ、「梵音海潮音海はこんじょう鐘の鳴る」という句を残している。

境　内

駐車場では真新しい十一面観世音菩薩が出迎えてくれる。石段を上ると池があり、「屏風岩」と呼ばれる奇岩を背景に不動明王が建つ。この不動明王は一心に願えばすべてが叶うとされ、「峰寺の不動さん」として親しまれている。仁王門をくぐり、石段を上がると、鐘楼があり、その奥に土佐湾を望むようにして建てられた本堂がある。本堂を正面にして左手奥には大師堂。鐘楼の鐘は以前までは麓の集落の時報代わりだったが、現在は気軽に誰でも撞くことができる。

また、峰山の山容が八葉の蓮台に似ていることから、八葉山と号している。

御詠歌／静かなる我がみなもとの禅師峰寺浮かぶ心は法の早船
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／行基菩薩

本堂では、本尊を拝することができる

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第32番 禅師峰寺 ▼ 第33番 雪蹊寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

へんろみち周辺の宿泊施設

1	えび庄	088-847-0268
2	国民宿舎桂浜荘	088-841-2201
3	冨久美味	088-842-2933
4	民宿まさご	088-841-2580
5	民宿英光	088-842-2164
6	高知屋	088-841-3074

「四国遍路」巡礼マップ

第 32 番　禅師峰寺 ▶ 第 33 番　雪蹊寺

7.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

第33番 雪蹊寺
●高知県高知市長浜857-3
☎088-837-2233
●宿坊／なし

第34番 種間寺
●高知県高知市春野町秋山72
☎088-894-2234
●宿坊／なし

沿線の見どころ

天然温泉 はるのの湯

総ガラス張りの明るく開放的な内湯、高台から田園風景を望む露天風呂、さらには南欧のリゾート地を思わせるスパゾーンなど、単なる温泉にとどまらない湯を楽しむ施設が充実。頭寒足熱という理想的な入浴法が可能な砂湯もあり、じっくりと体の芯から新陳代謝を促すことができる。女湯には体に負担の少ない釜風呂もある。

所 高知県高知市春野町西分3546
種間寺から北へ2.4Km
☎ 088-894-5400
営 7:00～22:00
休 無休（機器のメンテナンス休業日あり）
料 大人700円

境内の見どころ

土居保墓碑

幕末、土居保（楠五郎）は高知城下の日根野道場の師範代として、坂本龍馬が14歳の時から指導をした。剣の師だけでなく、龍馬の人格形成の部分にも大きな影響を与えたとされる人物だ。慶応3年（1867）、龍馬が最後に高知へ帰った際には、近くの浜に上陸した龍馬と劇的な再会を果たした。

境内の見どころ

太玄塔

名僧とうたわれた山本太玄和尚は、眼病の平癒祈願で四国遍路を始めて雪蹊寺で行き倒れになった玄峰を助け、「心眼を開け」という言葉を授けたという。彼に弟子入りした玄峰は、のちに雪蹊寺の住職となり、太玄和尚を讃えて太玄塔を建立。隣には山本玄峰老師の胸像と、その弟子・鈴木宗忠老師の胸像がある。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

詳しい案内板も設置されている境内

第33番 高福山 雪蹊寺
こうふくざん　せっけいじ

名僧を輩出した元親ゆかりの禅寺

歴史・全体像

四国霊場に二つだけある禅寺のうちの一つ。延暦年間（782～806）に弘法大師が開山した。最初は松林山高福寺という真言宗の寺であった。鎌倉時代には慶運寺という名に改められる。その後、寺は荒廃するが、天正年間（1573～1592）には月峰和尚が入山。当時の権力者・長宗我部元親が和尚と親しかったことから、寺は再興を果たす。この時に元親の宗派に倣い、真言宗から臨済宗に改宗、寺号も元親の法号から高福山雪蹊寺となる。明治に入り、廃寺の危機に見舞われるが、明治17年（1884）に名僧・山本太玄の努力で再興。弟子の玄峰も終戦時に首相の相談役を務めるほどの人物だった。

境　内

長宗我部元親を祀った泰神社と長浜城跡と隣接して建つ雪蹊寺。山門はなく気軽に参拝できる雰囲気が漂う。境内に入ると、左手に名僧として知られる山本太玄和尚を讃えた太玄塔がある。

右手には鐘楼があり、正面には大師堂と、新しい本堂が堂々とした構えで建っている。観音堂の横には、安産祈願のために多くの人が訪れるという安産子安地蔵がある。

また、境内は長浜小学校の前身・維新館跡、長浜地区の簡易水道発祥の地などがあり、古くから地域の生活、文化に根付いていたことがうかがえる。

御詠歌／旅の道うえしも今は高福寺
のちのたのしみ有明の月
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／臨済宗妙心寺派
開基／弘法大師

平成16年（2004）に改築された本堂

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第33番 雪蹊寺 ▼ 第34番 種間寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

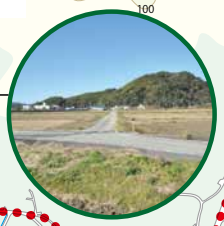
「四国遍路」巡礼マップ

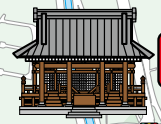
第 33 番　雪蹊寺 ▶ 第 34 番　種間寺

6.3km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校





33 せっけいじ 雪蹊寺

長浜病院

へんろ石（道標）

宿 高知屋

新川川橋

高知競馬場

日出野

高知市

かまど神社

新川川

長浜西公園

唐戸

春野学園

若宮八幡宮

亀割

春野東小学校

灘

へんろ石（道標）

へんろ石（道標）

A地点

へんろみち周辺の宿泊施設

1	高知屋	088-841-3074

石丸

春日

中

へんろ石（道標）

34 だねまじ 種間寺

春野町秋山

高知市

睦

城八幡

星

春野公民館秋山分館

新川川

春野町西諸木

はるの森澤クリニック

・土居食品

池上

大谷

新川川橋

中組

N

縮尺＝1:11,000

0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第34番 種間寺
●高知県高知市春野町秋山72
☎088-894-2234
●宿坊／なし

第35番 清瀧寺
●高知県土佐市高岡町丁568-1
☎088-852-0316
●宿坊／なし

沿線の見どころ

ドラゴン広場

JA直売所や鮮魚店に新鮮な農産物や鮮魚など地域の旬の食材や特産品が揃う。和食や定食など、食材にもこだわった様々な飲食店があり、大人数で食べられるよう約80席の客席を設置。気軽に食事を楽しむことができる。

所 高知県土佐市高岡町甲2116-3
☎ 088-879-9000
営 8:30～20:00（店舗により異なる）
休 無休

境内の見どころ

しだれ赤松

境内の観音堂の隣に植えられた松は「しだれ赤松」と呼ばれ、流れるような枝の広がりが優雅な印象を与える。もともとは鹿児島の庄屋に生えていたものだが、その後福岡の老舗松専門業者の看板松として使われ、さらに平成19年（2007）にこの寺へ移植した。樹齢は200年を超えるという。

境内の見どころ

観音堂

種間寺の本尊である薬師如来は「安産の薬師さん」と呼ばれ、安産のご利益があるとされる。安産祈願を申し込んだ妊婦さんには、寺より底を抜いたひしゃくが授けられる。無事に出産を終えたら、そのひしゃくを奉納する。観音堂には、子育観音を囲むように、数多くの底の抜けたひしゃくが掲げられている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

明るく、どこか近代的な雰囲気の境内

第34番 本尾山 朱雀院 種間寺
もとおざん　すざくいん　たねまじ

安産祈願のひしゃくで知られる寺

歴史・全体像

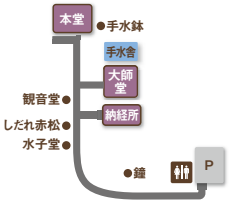
その歴史は6世紀後半までさかのぼるほど古い。敏達天皇の頃、大阪四天王寺を建立するために、百済（今の韓国）から来ていた大勢の技術者が、帰国の途中、土佐沖で暴風雨に遭う。そこでこの地にほど近い場所に避難し、薬師如来像を刻み、本尾山山頂に安置して航海の安全を祈願した。その後、平安時代初期に弘法大師が来錫。百済の人たちが彫った薬師如来を本尊として、寺を開創したという。種間寺という寺号の由来は、開創の際に弘法大師が、唐から持ち帰った五穀の種をこの地に蒔いたからとされている。その後、土佐藩山内家からも信仰を集め、明治時代まで大いに栄えることとなった。

境　内

のんびりとした田園風景の中に建つ。ここには山門はなく、駐車場からスムーズに境内へと足を運べる。境内は細長く、まず左手に子育観音が建つ観音堂が目に入る。その隣にはしだれ赤松と水子堂がある。本堂はコンクリート造りのモダンなデザインで開放的な雰囲気だ。百済の仏師が彫ったとされる薬師如来像は、国の重要文化財に指定された貴重な像。毎年3月8日には一般にも公開される。本堂の横には、300年以上前に作られた古い手水鉢が水をたたえており、寺の歴史を偲ばせる。その手水鉢を挟んで大師堂がある。

御詠歌／世の中にまける五穀のたねま寺深き如来の大悲なりけり
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／弘法大師

コンクリート造りに再建された本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第34番 種間寺 ▼ 第35番 清瀧寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 34 番　種間寺 ▶ 第 35 番　清瀧寺

9.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

へんろみち周辺の宿泊施設

1	白石屋旅館	088-852-0029
2	ビジネスイン土佐	088-852-5322

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第35番 清瀧寺
●高知県土佐市高岡町丁568-1
☎088-852-0316
●宿坊／なし

第36番 青龍寺
●高知県土佐市宇佐町竜163
☎088-856-3010
●宿坊／なし

沿線の見どころ

土佐龍温泉 三陽荘

横浪スカイラインの入り口からほど近い、竜の浜海水浴場の目の前に建つホテルで、日帰り温泉としての利用もできる。1階ロビー奥には純金製の大師像が安置され、無料で参拝できる。まばゆい輝きを放つ黄金大師像の両脇には、不動明王像、木彫坐像大師があり、お遍路さんの安全を見守っている。無料の天然温泉の足湯もぜひ。

所 高知県土佐市宇佐町竜504-1
☎ 0120･15･4592
営 11:00～23:00（受付は21:00まで、ただしメンテナンス日は14:00～）
休 無休
料 入浴のみ大人600円

沿線の見どころ

国民宿舎土佐

横浪半島の小高い丘に建つ国民宿舎。素晴らしいロケーションと施設の充実ぶりで、お遍路さんからも支持を得ている。食事処やカフェとしても利用でき、料理は旬の素材を活かした定食や丼メニューが豊富。日帰り入浴が可能な展望露天風呂からは、四国屈指の美しい眺望が堪能できる。

所 高知県土佐市宇佐町竜599-6
☎ 088･856･2451
営 電話受付は6:00～22:00
レストラン11:30～14:00、18:00～19:30
休 無休
料 1泊2食付7,300円、
ドミトリー（洋室相部屋）素泊まり2,700円～

境内の見どころ

八丁坂

徒歩の場合、本堂まではかなり厳しい傾斜の石段を上らなければならない。そこで「上る人の気持ちを和ませたい」という思いから、一丁ごとにお地蔵さんが置かれ、それが八丁あるから八丁坂と呼ばれるようになった。地元ではこの坂を駆け上がるトレーニングコースとしても利用されている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

正面に建つ大きな薬師如来像が目をひく境内

第35番 醫王山 鏡池院 清瀧寺
いおうざん　きょうちいん　きよたきじ

急坂の先で薬師如来像が出迎える

歴史・全体像

養老7年（723）に行基が薬師如来を刻み開基した寺。当初は景山密院釈本寺と称していたが、弘仁年間（810～824）には弘法大師が巡錫し、7日間修法し、寺号を清瀧寺と改めた。弘法大師の高弟で、平城天皇の第3皇子高岳親王ゆかりの寺としても知られ、境内の一角に、親王が生きているうちに作った墓・逆修塔がある。藩政時代には、土佐藩山内家の帰依が厚く、寺領10石ともいわれ、七堂伽藍を備えるほど大いに栄えた。一時は衰退したというが、現在では厄除けの名刹として知られる。境内のお堂に安置されたお地蔵さんは、婦人病の平癒祈願にご利益があるとして、多くの人が参拝する。

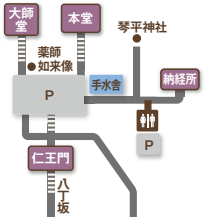
境　内

のどかな文旦畑が広がる清瀧山の中腹に位置する清瀧寺。仁王門には、明治33年（1900）に画家・久保南窓より奉納された龍の絵がかかっており、どこに立っていてもその龍と目が合うことで有名だ。また、境内に車を止める場所があるので、厳しい石段を使わずとも、容易にたどり着くことができる。駐車場右手奥にあるトイレの屋根の上は展望台に活用され、清流・仁淀川が太平洋に注ぎ込む雄大な風景を望むことができる。境内の真ん中には高さ12mにもおよぶ巨大な薬師如来像がたち、参拝者を出迎えてくれる。

本堂と大師堂は石段を上がって左右に並んでいる。

御詠歌／澄む水を汲めば心の清瀧寺
波の花散る岩の羽衣
本尊／厄除薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／行基菩薩

屋根の曲線が優美な雰囲気を醸す本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第35番 清瀧寺 ▼ 第36番 青龍寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 35 番　清瀧寺 ▶ 第 36 番　青龍寺

13.9km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

縮尺= 1:26,000　0　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

35 清瀧寺（きよたきじ）

36 青龍寺（しょうりゅうじ）

へんろみち周辺の宿泊施設

1	白石屋旅館	088-852-0029
2	ビジネスイン土佐	088-852-5322
3	三陽荘	088-856-0001
4	ヴィラ サントリーニ	088-856-0007
5	国民宿舎土佐	088-856-2451

※左切図へ続く。

第36番 青龍寺
●高知県土佐市宇佐町竜163
☎088-856-3010
●宿坊／なし

第37番　岩本寺
●高知県高岡郡四万十町茂串町3-13
☎0880-22-0376
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

道の駅 かわうその里すさき

地元・須崎市の特産品はもちろん、高知県下の土産品や地酒も県下屈指の品揃えを誇る道の駅。1階の特産店では、ワラ焼きタタキなど、高知ならではの実演販売もあり。2階のレストランでは新鮮なかつおとネギをたっぷりのせた「土佐丼」や、須崎名物の「鍋焼きラーメン」が味わえる。

所 高知県須崎市下分甲263-3
☎ 0889-40-0004
営 9:00～18:00（レストランは11:00～18:00）
休 無休

沿線の見どころ

久礼大正町市場

かつおの一本釣りの町としても知られる中土佐町にある小さな市場。漁が終わり次第、商品が並ぶので、品数が充実してくるのはお昼頃。腹ごしらえをするなら、市場の中ほどにある食堂「浜ちゃん」へ。かつお丼や干物などが、市場ならではの手ごろな価格で味わえる。時化の日は市場が休みになるので注意しよう。

所 高知県高岡郡中土佐町久礼
☎ 0889-52-2060（市場のめし屋浜ちゃん）
営 店舗により異なる
休 店舗により異なる

境内の見どころ

三重塔

石段の途中に見える三重塔は平成4年（1992）に建立された。ひときわ鮮やかな朱色が、周囲に生い茂る木々の緑に映えて、思わず目を奪われる。静かな森の中に突如現れるその姿に、多くの人が足を止めて見入ってしまう。また、大師堂も平成に建て替えられ、真新しくも風格漂う造りとなっている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

石段を上り詰めると、静寂に包まれた本堂が現れる

第36番 独鈷山 伊舎那院 青龍寺
とっこうざん　いしゃないん　しょうりゅうじ

大師が唐より投げた独鈷がここに

歴史・全体像

延暦23年（804）に唐に渡った弘法大師は、長安の青龍寺で恵果和尚に真言密教の奥義を授けられた。帰国にあたり大師は、日本にも青龍寺を建立したいと考える。そこで「約束の地に飛んでいけ」という願いを込めて、唐から密教の法具独鈷を東の方角へと投げた。その後、帰国した大師はこの地の老松に、自らが投げた独鈷が刺さっているのを見つけ、一宇を建立して不動明王の石像を安置。その後、一時衰退したが、土佐二代目藩主山内忠義が、正保年間（1644～1648）に再興した。しかし、宝永4年（1707）に津波と地震で大きな被害を受けたため再建された。

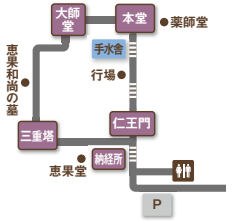
境　内

美しい浦ノ内湾を望み、宇佐の大橋を渡って青龍寺へ。本堂までは170段という急で長い石段が続く。石段の脇には愛らしいお地蔵さんが並んでおり、疲れを癒やしてくれる。途中には冷たい水が流れ落ちている行場や、鮮やかな色合いの三重塔などが見える。石段を上ると、大師堂、本堂、薬師堂が一直線に並んだ伽藍配置となっている。

本堂の軒先から内陣にかけては、海上安全を祈願して奉納された絵馬が数多く並び、現在も深い信仰を集めている。本堂前には石のお不動さんがたち、向かいには三十三観音の石像が並んでいる。

御詠歌／わずかなる泉に住める青龍は仏法守護のちかいとぞ聞く
本尊／波切不動明王
真言／のうまく　さんまんだ　ばざらだん　せんだ　まかろしゃだ　そわたやうん　たらた　かんまん
宗派／真言宗豊山派
開基／弘法大師

近年建て替えられた真新しい大師堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第36番 青龍寺 ▼ 第37番 岩本寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 36 番　青龍寺 ▶ 第 37 番　岩本寺

58.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

縮尺= 1:50,000　0　2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

【四国遍路唯一の水上遍路道】
浦ノ内湾内（埋立～横浪間）巡航船あり

A地点　B地点　C地点

36 しょうりゅうじ 青龍寺

37 いわもとじ 岩本寺

奥之院不動堂

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合　088-823-5941

《凡 例》
弘法大師ゆかりの寺院 / ゆかりの神社 / ゆかりの場所 / 宿泊施設 / 遍路小屋 / 休息所 / 公衆トイレ / 医療機関 / 道の駅 / 温泉 / 学校 / ファミリーレストラン / コンビニエンスストア / 店舗・スーパー / コインランドリー

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第37番　岩本寺
●高知県高岡郡四万十町茂串町3-13
☎0880-22-0376
●宿坊／あり（要予約）

第38番　金剛福寺
●高知県土佐清水市足摺岬214-1
☎0880-88-0038
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

四万十いやしの里

四万十川と土佐湾に挟まれた岬の丘陵地帯にある温泉と食事処。内風呂には、大小二つの湯船があり、小さい方が薬湯だ。緑の中にある露天風呂は、目の前の海から汲み上げた海水風呂。海の癒やし効果を健康増進につなげるタラソテラピーが実践されている。隣接するホテルは細やかなサービスが自慢。

所 高知県四万十市下田3370
☎ 0880-33-1600（四万十の宿）
営 6:00～22:00（11～3月は6:30～）
休 無休
料 入浴のみ大人680円

境内の見どころ

歓喜天堂

大師堂の前に建つ歓喜天のお堂は、平成8年（1996）に落成した建物。木造でありながら円形という珍しい造りとなっている。本尊は大聖歓喜自在天で、歓喜天や聖天といった名でも知られている。商売繁盛、夫婦円満、子授け祈願、病悩祈願などにご利益があるといわれる。頭は象、体は人間の形をしている。

境内の見どころ

本堂の天井絵

一見、落ち着いた雰囲気が漂う本堂だが、一歩中に入ると天井一面に広がる鮮やかな絵に驚く。この天井絵は575枚あり、プロ、アマチュア約400人が参加して奉納したもの。洋画、日本画、水彩画、水墨画、ちぎり絵と種類も様々。仏様やマリリン・モンローなどテーマも多彩で、見ていて飽きない。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

昭和53年（1978）に建立された本堂。気軽に中まで入ることができる

第37番 藤井山 五智院 岩本寺

ふじいざん　ごちいん　いわもとじ

大師の七不思議が伝わる高原の寺

歴史・全体像

天平年間（729～749）、聖武天皇の勅願により行基が開基した。当時は仁井田大明神の別当として福圓満寺と称していた。行基はこの地に天の七星を象徴した仁井田七寺を建立したとされ、福圓満寺はその根本寺にあたる。弘仁年間（810～824）には弘法大師がこの地を訪れ、さらに5社5寺を建立。一の宮に本地仏の不動明王、二の宮（今宮）に観世音菩薩、中の宮に阿弥陀如来、四の宮に薬師如来、森の宮に地蔵菩薩を安置した。その後天正年間（1573～1592）には兵火などにより衰退するが、その後再興。岩本寺と名を改める。本尊は5体あり、それぞれの真言を唱える必要がある。

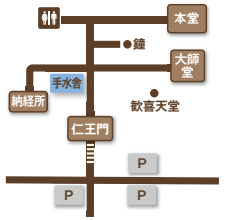
境　内

標高280mを超える高原の町・四万十町の旧市街地の中心部にある。仁王門の前は門前町の雰囲気が漂う。町中にありながら、静寂に包まれた境内が広がる。

仁王門をくぐると右手に歓喜天堂、境内ではもっとも古くに建てられた大師堂、本堂の順に並ぶ。この寺には、弘法大師にちなんだ七不思議がある。大師の霊力で1年に3回も実るようになったという栗の木「三度栗」など、境内に今もなお残るものもある。

御詠歌／六つのちり五つの社あらわして深き仁井田の神のたのしみ
本尊／阿弥陀如来・観世音菩薩・不動明王・薬師如来・地蔵菩薩
真言／阿弥陀如来：おん あみりた ていせい から うん
観世音菩薩：おん あろきりゃ そわか 不動明王：のうまく さんまんだ ばざらだん せんだ まかろしゃだ そはたや うんたらた かん まん　薬師如来：おん ころころ せんだり まとうぎ そわか　地蔵菩薩：おん かかか びさんまえい そわか
宗派／真言宗智山派
開基／行基菩薩

江戸時代に作られた大師堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第37番 岩本寺 ▼ 第38番 金剛福寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第37番　岩本寺 ▶ 第38番　金剛福寺

80.7km ※赤い点線は遍路道の一例です

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第38番　金剛福寺
●高知県土佐清水市足摺岬214-1
☎0880-88-0038
●宿坊／あり（要予約）

第39番 延光寺
●高知県宿毛市平田町中山390
☎0880-66-0225
●宿坊／なし

沿線の見どころ

土佐清水さかなセンター 足摺黒潮市場

県内有数の良港として知られる清水港内にある、鮮魚店、土産店、レストランが入った複合施設。レストランでは、港を行き交う船を眺めながら朝どれの魚を使った料理が楽しめる。オリジナルのタタキのタレやまぐろのかぶと煮はお土産にも最適。清水さば料理は事前の入荷確認がおすすめ。

所 高知県土佐清水市清水932-5
☎ 0880-83-0151
営 売店8:00～16:30、レストラン11:00～14:00
休 無休

沿線の見どころ

万次郎足湯

黒潮の荒波が花崗岩を削ってつくり上げた、高知県天然記念物の「白山洞門」。そのダイナミックな景色を眼下に望む絶好のビューポイントにある足湯。湯はあしずり温泉郷の天然温泉を利用しており、30人が一度に入ることができる西日本最大級の広さを誇る。ゆったりと絶景と足湯が楽しめる人気のスポットだ。

所 高知県土佐清水市足摺岬 白山洞門前
☎ 0880-88-0988
営 8:00～19:00
休 水曜

沿線の見どころ

足摺山七不思議

寺の周辺には遊歩道が整備されている。その道沿いには、弘法大師の伝説が伝わる「足摺山七不思議」が点在している。弘法大師が沖の不動岩に渡り祈祷しようとした際、亀を呼んで渡してもらったという亀呼場、揺るぎ具合によって人の善悪を試すゆるぎ石などがあり、それらを探して散策するのも楽しい。

所 高知県土佐清水市足摺岬
☎ 0880-82-1212
（土佐清水市観光商工課観光係）

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

中央に池が広がる境内は理想の聖地「補陀洛」を思わせる

第38番 蹉跎山 補陀洛院 金剛福寺

さださん　ふだらくいん　こんごうふくじ

四国の最南端に建つ大寺院

歴史・全体像

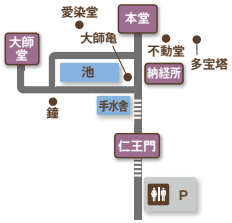
弘仁13年（822）、この地で千手観音を感得した弘法大師が、嵯峨天皇より勅願を授り同寺を建立。この寺は観音浄土の入り口の東門にあたる場所とされ、代々天皇家の勅願所となった。平安時代後期には、観音霊場として幅広い信仰を集めた。また、和泉式部や後深草天皇の女御であった二条の使いが、この寺を訪れ黒髪を納めたともいわれている。源氏一門の多田満仲が多宝塔を建立したり、源頼光が諸堂を修復するなど源氏一門とのつながりも深く、寺は大いに栄えた。その後、寺は一条家の庇護を受け、土佐でも最大級の寺院へと発展。本尊の千手観音は秘仏だが、正月などには開帳される。

境　内

弘法大師が修行したとされる四国の最南端・足摺岬の突端に位置する。前の霊場からは約100kmもあり、霊場間の距離としては最長となっている。正面左手には大きな池が広がり、それを囲むように、本堂、大師堂、愛染堂、不動堂、弁天堂、多宝塔などが建ち並ぶ。12万㎡もの広大な敷地面積を誇り、この寺がいかに篤い信仰を受けていたかがわかる。岬の圧倒的な風景とともに深く印象に残る寺院だ。周辺には「足摺山七不思議」といわれる大師ゆかりの伝説も残る。

御詠歌／補陀洛やここは岬の船のさをとるもすつるも法の蹉跎山
本尊／三面千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗豊山派
開基／弘法大師

どっしりとした本堂は仁王門正面にある



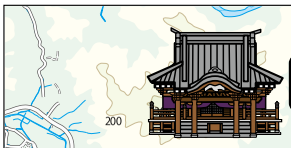
歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第38番 金剛福寺 ▼ 第39番 延光寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

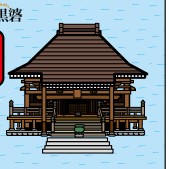
「四国遍路」巡礼マップ

第 38 番　金剛福寺 ▶ 第 39 番　延光寺

53.1km ※赤い点線は遍路道の一例です



39 えんこうじ 延光寺



38 しらおうじんじゃ 白皇神社 こんごうふくじ 金剛福寺

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

A地点

縮尺= 1:65,000　0　2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

※当エリアは宿泊施設多数あり

1 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合　088-823-5941

第39番 延光寺
●高知県宿毛市平田町中山390
☎0880-66-0225
●宿坊／なし

第40番 観自在寺
●愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城2253-1
☎0895-72-0416
●宿坊／あり（素泊りのみ、要予約）

沿線の見どころ

宿毛市立宿毛歴史館

宿毛の町の歴史や宿毛市ゆかりの人物を、模型や映像、パネル、遺品をはじめとした貴重な展示品によって、わかりやすく紹介した歴史館。「歴史展示室」では、城下町として栄えた江戸時代の町並みをジオラマと美しい映像によって再現している。

所 高知県宿毛市中央2丁目7-14
☎ 0880-63-5496
営 8:30～17:00
休 月曜（月曜が祝日の場合翌日）、12/29～1/3
料 高校生以上200円（各種割引有）

境内の見どころ

眼洗いの井戸

境内の庭園の片隅にある眼洗いの井戸は、弘法大師が水不足に困っていた住民のために、錫杖で地面を突いて湧き出させたという霊水。眼病にご利益があるとされ、「宝医水」と名付けられている。祈願するために、実際にこの水で眼を洗う参拝者がいるので、賽銭などを井戸に入れるのは控えたい。

境内の見どころ

赤亀（梵鐘）

亀の背に乗っているのは「延喜十一年」の銘が刻まれた梵鐘。実物は寺宝として大切に保管されており、国の重要文化財。赤亀が竜宮城から持ち帰ったとされ、「赤亀山」という山号の由来にもなっている。この梵鐘は明治時代に県議会の開会・閉会合図に使用するため、高知県庁に出張していたというエピソードもある。

文化庁

JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

広い境内に本堂と大師堂が建つ静かな寺

第39番 赤亀山 寺山院 延光寺

しゃっきざん じさんいん えんこうじ

山村の寺で修行の道場を終える

歴史・全体像

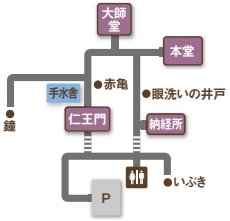
神亀元年（724）、聖武天皇の勅願を受けて行基が開基。当時は亀鶴山施薬院宝光寺と称していた。本尊は行基自らが刻んだ薬師如来。延暦14年（795）、弘法大師が来錫し、日光・月光の両脇侍を安置し、霊場に定めて再興した。延喜11年（911）、赤亀が梵鐘を背負い、海中から現れたので、その時に寺号を赤亀山寺山院延光寺と改める。その梵鐘は高知県内でもっとも古いとされる。中世に入り、大いに栄えたものの近世には衰退。さらに明治の廃仏毀釈で一時は廃寺となる。しかし、ほどなく再興された。寺から約500m離れた場所には奥の院・南光院がある。

境　内

仁王門の前には無人市が常設され、巡礼に便利な道具や地元のお土産品などが売られている。石段を上がり境内に入ると、右手には、竜宮伝説を象徴しているという、梵鐘を背中に乗せた赤亀が。本堂は広々とした境内の右奥にあり、その隣にはひとまわり小さな大師堂がある。本堂の向かって右手には庭園があり、その前に眼洗いの井戸が残されている。境内を抜けたところにある中庭には、周囲2.7m、高さ約10mの「いぶき」の木がある。幹は傾斜しているものの、樹齢約500年にして、波打つようなコブが強い生命力を感じさせてくれる。宿毛市指定の天然記念物。

御詠歌／なむ薬師諸病悉除の願こめて詣る我が身を助けましませ
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗智山派
開基／行基菩薩

整然としたフォルムが美しい本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第39番 延光寺 ▼ 第40番 観自在寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

きさらぎ旅館
山代屋旅館
40
かんじざいじ
観自在寺
宿坊
さくらや
フジ
南宇和病院
愛南町役場
南宇和高校
御荘中学校
城辺中学校
城辺小学校
ぶつがんいん
仏眼院
城辺ビジネスホテル
プラザ御荘
松乃家旅館
道の駅みしょうMIC
青い国ホテル
南レク城辺公園
城辺トンネル
蓮乗寺トンネル
蓮乗寺
鯛越トンネル
吉月
鯛越
深浦
垣内
東海小学校
岩水
深浦港
宿毛湾
豊田地区公衆
上大道休憩所
上大道
札掛の宿
広見
愛南町
満倉
赤木川
中川
ホテルセレクト
一本松温泉
あけぼの荘
一本松病院
一本松小学校
一本松中学校
一本松
小山春日神社
小山
大盛屋
まつおだいし
松尾大師
A地点
N
「四国遍路」巡礼マップ
第 39 番　延光寺 ▶ 第 40 番　観自在寺
25.8km ※赤い点線は遍路道の一例です
《凡 例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
店舗・スーパー
コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設の案内
1 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合　088-823-5941
39
えんこうじ
延光寺
民宿嶋屋
A地点
草木数
野地
篠川
新城山
〈高知県〉
〈愛媛県〉
草木越
松尾峠
へんろ石（道標）
へんろ石（道標）
へんろ石（道標）
大深浦
小深浦
錦
貝塚
宿毛高校
宿毛市役所
宿毛中学校
宿毛小学校
宿毛市立宿毛歴史館
宿毛
宿毛駅
東宿毛駅
大井田病院
秋沢ホテル
上村ビジネスホテル
ホテルアバン宿毛
まなべ旅館
旅館月昌館
宿毛フレックスホテル
松田川小学校
宿毛城
ビジネスホテル吉野屋
米屋旅館
宿毛
一ノ宮
中角
宿毛市
松田川
本城山
宿毛トンネル
和田
押ノ川
聖ヶ丘病院
聖ヶ丘トンネル
平田町申山
土佐くろしお鉄道宿毛線
白皇山
縮尺= 1:38,000
0
1000m
〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第40番 観自在寺
●愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城2253-1
☎0895-72-0416
●宿坊／あり（素泊りのみ、要予約）

第41番 龍光寺
●愛媛県宇和島市三間町戸雁173
☎0895-58-2186
●宿坊／なし

沿線の見どころ

津島やすらぎの里 熱田温泉

良質な湯に浸かれる「熱田温泉」。檜風呂を備えた「白鷺の湯」と岩風呂を備えた「菖蒲の湯」、露天風呂やサウナ、寝湯、ジェットバスなどが揃っており、家族風呂もある。温水を利用したプール、温泉を利用したジャグジーや歩行浴も併設。玄関前の足湯は自由に利用できるので、気軽に疲れを癒やそう。

所 愛媛県宇和島市津島町高田甲830-1
☎ 0895･20･8181
営 10:00～22:00（札止21:30）
休 第1･3月曜（祝日の場合は翌日）
料 大人650円

沿線の見どころ

宇和島城

築城の名手として知られる藤堂高虎が手がけたとされる、伊達氏十万石の城下町のシンボル。本丸や二之丸がある城山は国の史跡となっており、寛文6年（1666）頃に再建された天守は現存12天守の一つ。その秀麗な造りから、鶴島城とも呼ばれている。天守への入場は9時～17時（10月～3月は16時まで）。

所 愛媛県宇和島市丸ノ内1
☎ 0895･22･2832
営 6:00～18:30（10～3月は～17:00）
休 無休
料 天守大人200円

境内の見どころ

仁王門

火災などのため古い建物があまり残っていないが、威風堂々とした仁王門は約200年前に建立された総檜造りの門。天井にある十二支の方位盤は特に有名で、元禄2年（1689）の『寂本四国遍礼記』の中にも記されている。仁王像は下久家の大工の作で、額は高野山401世座主の筆によるものである。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内には芭蕉の句碑や天皇ゆかりの松などもある

第40番 平城山 薬師院 観自在寺

へいじょうざん　やくしいん　かんじざいじ

皇室や宇和島藩にゆかりのある寺

歴史・全体像

第51代平城天皇の勅願所として、大同2年（807）に弘法大師が開いた。本尊の薬師如来と脇仏の阿弥陀如来、十一面観音は、弘法大師が一本の霊木から作ったと伝えられている。全国各地、皇室から庶民まで、幅広い階層から信仰を集め、日本に4ヶ所しかない鎮守の一つでもあった。特に平城天皇、嵯峨天皇は親しく行幸され、御朱印を下し、一切経と大般若経を納められたという。寛永15年（1638）に、京都の空性（くうしょう）法親王が巡拝され、薬師院の号を受け、その後、宇和島藩主・伊達宗利の勅願所となった。第1番から最も遠いため「四国霊場の裏関所」といわれている。

境　内

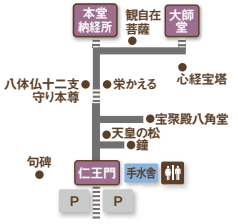
往時は七堂伽藍がそびえ、48坊の末寺を有する荘厳華麗な寺だった。しかし、火災によって本堂を全焼してしまったため、昭和39年（1964）に再建。創建当時の姿に復旧した。

大師堂は平成5年（1993）に改築され、廻廊には四国八十八ヶ所霊場のお砂が敷き詰められている。その大師堂の周りを歩くと、四国霊場のお砂巡りができ、大師一代の尊像が礼拝できる。

弘法大師が平城天皇の病気平癒を願って般若心経の祈祷をしたという故事にちなんで建立された心経宝塔や、宝物を収納展示する宝聚殿八角堂などもある。

御詠歌／しんがんやじざいの春に花さきてうき世のがれてすむやけだもの
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗大覚寺派
開基／弘法大師

本堂は入母屋造りの堂々とした佇まい



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第40番 観自在寺 ▼ 第41番 龍光寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第40番　観自在寺 ▶ 第41番　龍光寺

50.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

縮尺＝1:53,000　0　2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

A地点　須ノ川海岸　須ノ川公園　しみずだいし 清水大師　内海中学校　須ノ川　やなぎのみずだいし 柳水大師　DE・あ・い・21　内海支所　内海隧道　柏川　柏　柏崎漁港　柏小学校　かめや旅館　内海診療所　民宿ビーチ　室手海水浴場　菊川　御荘菊川　八戸坂　御荘平山　御荘長洲　御荘病院　よしもと民宿　御荘港　民宿磯屋　ホテルサンパール　南レク御荘公園　40　かんじざいじ 観自在寺　宿坊　平城小学校　きさらぎ旅館　山代屋旅館　青い国ホテル

B地点　祝森トンネル　祝森　松尾隧道　宇和島道路　新松尾トンネル　松尾トンネル　わん屋　津島高田ＩＣ　津島やすらぎの里　津島高校　永井内科　よしのや旅館　ビジネスホテル アイリン　岩松小学校　岩松川　相生橋　清満小学校　まんがんじ 満願寺　大畑旅館　新橋旅館　三好旅館　市立津島病院　津島中学校　天が森　津島町岩松　津島岩松ＩＣ　宇和島市　津島町増穂　津島町下畑地　津島・かも田　畑地小学校　保場川　津島町上畑地　山本商店　嵐坂ポケットパーク風園　嵐坂隧道　芳原川　四国のみち　小祝川　津島町浦知　津島町塩定　津島町柿之浦　A地点

41　りゅうこうじ 龍光寺　成妙小学校　山頂　三間高校　伊予宮野下駅　三間町成家　三間町曽根　道の駅「みま」　務田駅　民宿みま　三間ＩＣ　三間町務田　三間町是能　三間町道日　へんろ石（道標）・宇和島光満　松山自動車道　ＪＲ予土線　光満　愛和観光（宇和島シティホテル）　ＪＲ予讃線　高光駅　高光小学校　光満川　高串　宇和島北ＩＣ　へんろ宿 もやい　金龍荘　柿原　北宇和島駅　フジグラン　和霊小学校　宇和島オリエンタルホテル　城北中学校　和霊神社　ホテルクレメント宇和島　宇和島ターミナルホテル　宇和島駅　宇和島グランドホテル　宇和島国際ホテル　りゅうこういん 龍光院　旅館ほてい寮　ビジネスホテル寿　宇和島第一ホテル　宇和島市役所　ホテル鶴島　ホテルイシバシ　きさいや広場　宇和島城　宇和島リージェントホテル　市立宇和島病院　天赦園公園　まめきだいし 馬目木大師　城東中学校　しんばし　番城小学校　宇和島南ＩＣ　マルナカ　B地点

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1 愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合	089-931-0638
2 愛南町観光協会	0895-73-0444
3 宇和島市観光協会	0895-22-3934

第41番 龍光寺
●愛媛県宇和島市三間町戸雁173
☎0895-58-2186
●宿坊／なし

第42番 仏木寺
●愛媛県宇和島市三間町則1683
☎0895-58-2216
●宿坊／なし

沿線の見どころ

宇和島市中山池自然公園

三間町にある108のため池のうち最大規模の中山池を中心に整備された公園。秋のコスモスなど四季折々の花が、訪れる人の目を楽しませてくれる。冬季に園内を彩る10万個の電球を使ったイルミネーションも人気。また三間町出身の彫刻家・故藤部吉人氏の石の彫刻作品が多数置かれ、14tもある巨大な「森の魚 クエ」は見もの。

境内の見どころ

稲荷神社

かつては札所だった稲荷神社の社殿。京都の稲荷大明神を迎えたと伝えられている。毎年3月の第1日曜には初午祭が行われ、「お稲荷さんの大祭」として親しまれている。以前は旧暦2月の最初の午の日に行われていたが、平成4年（1992）から現在の開催日に変更された。五穀豊穣や商売繁盛を祈願する人で大いに賑わう。

境内の見どころ

石の鳥居

ここには霊場によく見られる仁王門はなく、石の鳥居が山門となっている。初めて訪れた人の中には「ここはお寺？」と不思議に思う人も少なくない。石の鳥居をくぐると、遠く視線の先には本堂や大師堂へと導く階段と稲荷神社の赤い鳥居が見える。参道沿いには和菓子や柑橘類などを売る店がある。

所 愛媛県宇和島市三間町黒井地1550番地外
☎ 0895・24・1111（宇和島市役所都市整備課）
開 見学自由
休 無休
料 無料

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

本堂や大師堂が建つ境内。後方には稲荷神社がある

第41番 稲荷山 護国院 龍光寺
いなりざん　ごこくいん　りゅうこうじ

稲荷大明神が祀られている霊場

歴史・全体像

大同2年（807）、弘法大師はこの地で稲を背負った白髪の老人に出会った。老人は「われこの地に住み、法教を守護し、諸民を利益せん」と大師に告げて姿を消した。大師は老人を五穀大明神の化身であろうと考え、尊像を刻んで稲荷大明神として安置し、開基した。その後、農家の守り神として信仰を集めたが、明治元年の神仏分離令により、旧本堂を稲荷神社の社殿にし、新しく本堂を建立。本尊は十一面観世音菩薩に変わり、脇士の不動明王・毘沙門天の傍らに大師勧請の稲荷大明神が祀られている。もとの本尊が稲荷大明神であったため、地元では「三間のお稲荷さん」の愛称で親しまれている。

境　内

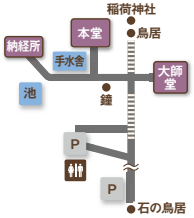
石の鳥居が山門となっている珍しい寺。鳥居をくぐり、石段を50段ほど上がると狛犬に迎えられるが、これも鳥居と同じく神仏習合の歴史を感じさせる。

寺の境内は三間平野を見下ろす小高い山の中腹にあり、向かって右手に大師堂があり、左手に本堂がある。本堂は町を見守るように佇んでおり、鐘楼や大師堂のあたりからの眺望も実に素晴らしい。

境内からはさらに石段が延び、その先にはひときわ目を引く赤い鳥居が建っている。この赤い鳥居は稲荷神社のもので、そこから石段を40段ほど上がったところに、緑に抱かれた稲荷神社の社殿がある。

御詠歌／この神は三国流布の密教を守り給わむ誓いとぞ聞く
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師

神仏分離令で明治時代に建てられた本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第41番 龍光寺 ▼ 第42番 仏木寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第42番 仏木寺
●愛媛県宇和島市三間町則1683
☎0895-58-2216
●宿坊／なし

第43番 明石寺
●愛媛県西予市宇和町明石205
☎0894-62-0032
●宿坊／なし

沿線の見どころ

愛媛県歴史文化博物館

見て楽しめる展示で愛媛県の歴史と民俗を紹介。歴史展示ゾーンでは、原始古代・中世・近世・近現代を象徴する建物や町並みを原寸大模型で再現。民俗展示ゾーンには、県内の祭りを彩る山車や神輿、海・山・里の家や四国遍路を紹介。空海の半生を和紙人形で表現した「密●空と海　―内海清美展―」も常設展示している。

所 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2
☎ 0894-62-6222
営 9:00～17:30（入館は17:00まで）
休 月曜（第1月曜または祝日の場合は翌日）
料 常設展大人510円

沿線の見どころ

道の駅 どんぶり館

みかんジュース「ムテンカ」や城川自然牧場のハム・ソーセージ、野村町ほわいとファームの乳製品、宇和茶など、西予市の特産品がバラエティ豊かに揃うお立ち寄り処。旬の野菜や果物、鮮魚が並ぶ「青空市」は新鮮さとお手頃価格で人気。地元産の食材でつくる料理が味わえるレストランやジェラートショップもある。

所 愛媛県西予市宇和町稲生118
☎ 0894-62-5778
営 8:00～18:00
休 無休

境内の見どころ

鐘楼

仏木寺の境内でひときわ目を引くのが茅葺き屋根の鐘楼。これは四国霊場のなかでここだけという珍しいものだ。元禄年間（1688～1704）に再建されたといわれており、300年以上もの歴史を誇っている。のどかな山里の景色と茅葺き屋根の風情が相まって実に情緒豊かだ。屋根は幾度も葺き替えられている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内には聖徳太子堂や道祖神、家畜堂なども並んでいる

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第42番 仏木寺 ▼ 第43番 明石寺

第42番 一堺山 毘盧舎那院 仏木寺

いっかざん　びるしゃないん　ぶつもくじ

病気平癒の「瓜封じ」で有名な寺

歴史・全体像

本尊が大日如来であることに由来し、地元の人から「大日さま」と親しまれている。

大同2年（807）、弘法大師が四国を巡錫中にこの地で牛を引いて歩く一人の老人に出会った。老人に誘われるままに、牛の背中に乗って行くと、楠の梢で光を放つ宝珠を見つけた。それは、大師が唐の国から帰る際に、「有縁の地が選ばれるように」と、三鈷杵とともに東方へ投げた宝珠だった。大師はこの地が霊地であると感得し、楠で大日如来を彫り、その眉間に宝珠を埋め、これを本尊として一寺を建立した。寺の起こりから、牛馬家畜の守り本尊としても信仰を集めている。

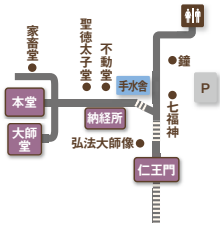
境　内

仁王門をくぐり石段を上ると、右側には珍しい茅葺き屋根の鐘楼がある。納経所は左側の石段を上ったところにあり、その奥に本堂と大師堂が並ぶ。

本堂は、享保13年（1728）に吉田藩主・伊達若狭守によって建立されたと伝えられている。本堂の大日如来坐像、大師堂の弘法大師坐像ともに県指定文化財。弘法大師坐像は、檜の寄木造りで、正和4年（1315）の銘が入っており、胎内銘入りの弘法大師像としては日本最古ではないかといわれている。「南予七福神」の一寺でもあり、境内には七福神の石像が祀られている。

御詠歌／草も木も仏になれる仏木寺
なお頼もしき鬼畜人天
本尊／大日如来
真言／おん　あびらうんけん　ばざらだとばん
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師

屋根の上に金色の宝珠が施された本堂



JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第42番　仏木寺 ▶ 第43番　明石寺

10.6km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	民宿みやこ	0894-62-5872
2	ビジネスホテルOOKI	0894-62-0100

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第43番 明石寺
●愛媛県西予市宇和町明石205
☎0894-62-0032
●宿坊／なし

第44番 大寶寺
●愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2-1173-2
☎0892-21-0044
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

臥龍山荘（がりゅうさんそう）

肱川随一の景勝地・臥龍淵を眼下に望む臥龍山荘は、明治の貿易商・河内寅次郎が造り上げた庵。臥龍院、知止庵、不老庵は見学可能。それぞれに数寄を凝らした匠の技が見られ、中でも不老庵は川面で反射する月光が天井を明るくする巧みな趣向が施されている。風光明媚な自然の景観を借景にした庭園も見事だ。

所 愛媛県大洲市大洲411-2
☎ 0893・24・3759
営 9:00～17:00（札止16:30）
休 無休
料 大人500円

沿線の見どころ

内子座

大正5年（1916）に建てられた木造2階建て、瓦葺き入母屋造りの芝居小屋。回り舞台や花道、枡席などを整えた本格的な造りで、歌舞伎独自の形式も見ごたえ十分。建築当時の姿を修復復原し、現在も内子座文楽や演劇などが開催されている。公演がない時は見学が可能で、数々の仕掛けが見られるほか、舞台に立ったり花道を歩いたりもできる。

所 愛媛県喜多郡内子町内子2102
☎ 0893・44・2840
営 9:00～16:30
休 12/29～1/2
料 大人400円、小中学生200円

境内の見どころ

しあわせ観音像

仁王門の手前を右手奥へと進んだ小高い場所に、左手に水瓶を持ち、慈悲深いお顔をした「しあわせ観音像」がある。この観音像は京都市在住の女性が寄進したもの。周囲には西国三十三所の石像を配しており、観音像まで歩いていくと、それらの石像を巡拝することができる。巡拝用のお札は納経所で受けられる。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

厳かな境内には、緑に抱かれるように本堂や大師堂が並ぶ

第43番 源光山 円手院 明石寺
げんこうざん　えんじゅいん　めいせきじ

武士が帰依した源頼朝ゆかりの寺

歴史・全体像

欽明天皇（539～571）の勅願により、円手院正澄という行者が千手観音を安置し、七堂伽藍を建立して開基した。天平6年（734）に、寿元行者が紀州熊野より十二社権現を勧請し、12坊を建立して修験道場とした。その後、荒廃した伽藍を弘法大師が再興し、霊場に定めた。建久5年（1194）には源頼朝が命の恩人である池の禅尼の菩提を弔って、阿弥陀如来を安置。同時に経塚を築き、堂宇の修繕を手がけたという。その後、武士の信仰を集め、室町時代には西園寺氏の祈願所となり、寛文12年（1672）には、宇和島藩主・伊達宗利が堂宇を建立したと伝えられている。

境　内

杉や松の老樹をはじめ自然林が生い茂る境内は、霊験あらたかな雰囲気に包まれている。石段を上ると、風格を漂わせる仁王門。門をくぐり、さらに石段を上った正面に唐破風造りの本堂がある。現在の本堂は明治時代に地元を中心とした信者の浄財によって建立されたもの。細工が美しく、めでたい絵柄を描いた天井絵が彩りを添えている。

見どころは多く、大師堂のすぐそばには夫婦杉と呼ばれる杉の巨木がそびえている。また、仁王門の手前を左に行くと弘法大師の行場跡だと伝えられる弘法井戸、右に行くとしあわせ観音像がある。

御詠歌／きくならく千手ちかいのふしぎにはだいばんじゃくもかろくあげいし
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく そわか
宗派／天台寺門宗
開基／円手院正澄

風格のある本堂は彫刻等の細工が優美

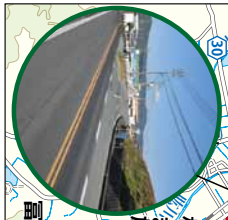
歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第43番 明石寺 ▼ 第44番 大寶寺

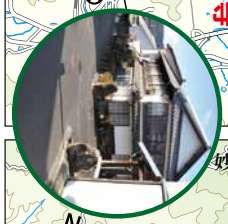
JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第43番　明石寺 ▶ 第44番　大寶寺

67.2km　※赤い点線は遍路道の一例です





《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1	愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合	089-931-0638
2	西予市観光協会	0894-62-6437
3	大洲市観光協会	0893-24-2664
4	内子町観光協会	0893-44-3790
5	久万高原町観光協会	0892-21-1192

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

縮尺= 1:80,000　2000m

第44番 大寶寺
●愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2-1173-2
☎0892-21-0044
●宿坊／あり（要予約）

第45番 岩屋寺
●愛媛県上浮穴郡久万高原町七鳥1468
☎0892-57-0417
●宿坊／なし

沿線の見どころ

国民宿舎 古岩屋荘

四国カルスト自然公園にある「名勝　古岩屋」を望む温泉宿。天然温泉は、自然石を使用した岩風呂で野趣満点だ。湯上がりには看板料理のキジ鍋をはじめ、イベントなどで人気のシシ肉料理をいただこう。古岩屋を彩る秋の紅葉など、四季折々の久万高原の自然に囲まれてリフレッシュできる。

所 愛媛県上浮穴郡久万高原町直瀬乙1636
☎ 0892-41-0431
営 日帰り入浴12:00～22:00
（1～3月は利用時間変更又は休館日あり）
料 日帰り入浴大人400円、1泊2食付7,350円～

沿線の見どころ

道の駅 天空の郷さんさん

みずみずしい高原野菜が揃う産直市、焼きたてパンがずらりと並ぶパン工房、地元の旬の食材をたっぷり使ったランチバイキングが人気のレストランなど、久万高原の旨いもんが集まる道の駅。トマトなど、地元産品を使ったご当地ソフトクリームが味わえるフードコーナー「でんこ」も要チェックだ。

所 愛媛県上浮穴郡久万高原町入野1855-6
☎ 0892-21-3400
営 9:00～17:00（季節により異なる）
休 元日のみ（季節・施設により異なる）

境内の見どころ

仁王門

仁王門は、駐車場から少し山道を下った場所にある。明治7年（1874）に焼失したため、昭和31年（1956）に再建した。内部には仁王尊が安置されている。この仁王門には、門に入りきらないほど大きな草鞋が吊るされているが、これは信者から寄進されたもの。草鞋は100年に一度取り替えられる。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

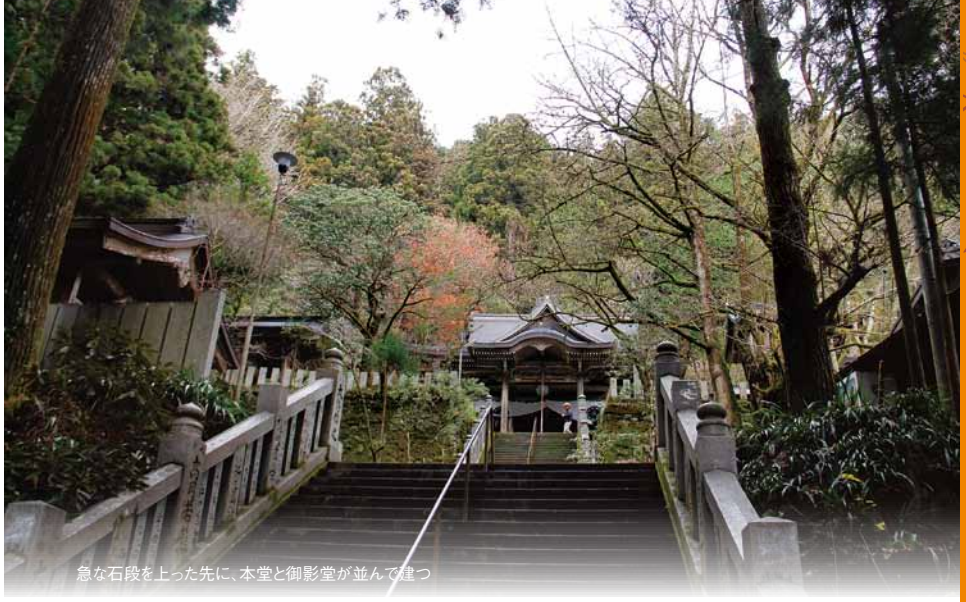
日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成


急な石段を上った先に、本堂と御影堂が並んで建つ

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第44番 大寶寺 ▼ 第45番 岩屋寺

第44番 菅生山 大覚院 大寶寺
すごうざん　だいかくいん　だいほうじ

老樹が風情を醸しだす山間の寺

歴史・全体像

百済からやってきた聖僧が十一面観世音菩薩を携えてきて、山中に安置。それを明神右京、隼人という猟師が発見、草庵に祀ったのが始まり。大寶元年（701）、文武天皇の勅願により寺院が建立された。弘法大師は弘仁年間（810～824）にここで密教三密を厳修し、第44番の霊場に定めた。仁平2年（1152）には失火により焼失。保元元年（1156）に脳の病に苦しむ後白河天皇の病気平癒を願って勅使がやってきた。病が治ったため、天皇は妹宮を住職として下向させ、勅願寺とした。その後、長宗我部氏の兵火、明治の失火により焼失するが、再興した。

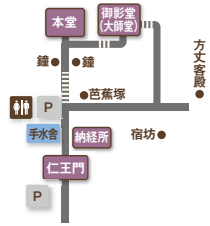
境　内

緑深い山の中にある大寶寺。石段の下から見上げると、青い銅板葺きの屋根が木々に映えて美しい。この建物は明治時代に焼失した後、大正時代に再建された。

鐘楼は二つあり、石段を上って右側にある鐘がもともとあった古いものだ。左側の鐘は「平和の鐘」と呼ばれており、これは第二次世界大戦で亡くなった地元の英霊を供養するために建てられた。本堂に向かって右側にある御影堂（大師堂）は、昭和59年（1984）に再建された比較的新しい建物で、総檜造り、宝珠寄棟銅板葺きという豪壮なもの。一見の価値がある見事な建物だ。

御詠歌／いまの世は大悲のめぐみすごうさんついにはみだのちかいをぞまつ
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん　まか　きゃろにきゃ　そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／明神右京・隼人

大正時代に再建された銅板葺きの本堂



JAPAN HERITAGE
日本遺産

へんろみち周辺の宿泊施設

1	大寶寺宿坊	0892-21-0044
2	和佐路	0892-41-0651
3	久万高原ふるさと旅行村	0892-41-0711
4	癒しのお宿「八丁坂」	0892-41-0678
5	民宿観光農園狩場苑	0892-41-0550
6	国民宿舎 古岩屋荘	0892-41-0431
7	民宿かどた屋	0892-57-0801
8	おもご旅館	0892-21-0024
9	民宿一里木	0892-21-0505
10	やすらぎの宿でんこ	0892-21-0092
11	桃李庵	0892-21-1075
12	長珍屋	089-963-0280

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第45番 岩屋寺
●愛媛県上浮穴郡久万高原町七鳥1468
☎0892-57-0417
●宿坊／なし

第46番 浄瑠璃寺
●愛媛県松山市浄瑠璃町282
☎089-963-0279
●宿坊／なし

沿線の見どころ

町立久万美術館

地元出身の林業家・故井部栄治氏からコレクションの寄贈を受けて開館した美術館。大正から昭和初期の洋画を中心に、近世から近代にかけての伊予の書画、砥部焼などの陶磁器、現代美術も展示されている。年に1～2回の企画展のほか、ギャラリートークやコンサートも開催。木の温もりあふれる木造建築も魅力だ。

所 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2-1442-7
☎ 0892-21-2881
営 9:30～17:00（入館は16:30まで）
休 月曜（祝日の場合は営業）、祝日の翌日、展示替期間中、等
料 大人500円
※企画展については別に定める額

沿線の見どころ

久万高原ふるさと旅行村

古民家や水車小屋など歴史ある建物を移築し、風情ある豊かな農村を再現。懐かしい景色の中で、農山村の暮らしを体感することができる。愛媛県産の食材を使った食事もできるので、お遍路さんの立ち寄りにもおすすめ。夜には村内にある久万高原天体観測館で、美しい星空の観察もできる。

所 愛媛県上浮穴郡久万高原町下畑野川乙488
☎ 0892-41-0711
営 8:30～17:00
休 月曜（祝日の場合は営業）、祝日の翌日
料 入村料無料、
ケビン宿泊4人用11,070円(税込)～

境内の見どころ

逼割禅定（せりわりぜんじょう）

大師堂奥の仁王門から狭い山道を300mほど上ると、かつての弘法大師の修行の場・逼割禅定がある。入り口には木製の扉があり、危険を伴うため普段は鍵が掛かっている。そそり立つ大岩の裂け目を抜け、鎖を頼りに約10m岩山を上る。さらに21段のはしごを上がれば、岩の頂上に祀られた白山権現にたどり着く。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

山中にあり、垂直の礫岩峰に抱かれた境内は荘厳な雰囲気

第45番 海岸山 岩屋寺

かいがんさん　いわやじ

法華仙人が住んだ幻想的な霊山

歴史・全体像

この地は法華仙人が修行をしていた場所。弘仁6年（815）、弘法大師が修行の霊地を探して入山。明王鈴の音を頼りに岩山に上がったところ、法華仙人に出会った。弘法大師に帰依した仙人は、山を弘法大師に献上して往生を遂げる。大師は木と石の不動明王を刻み、木像は本尊として本堂に安置して開創。石像は山に封じ込め、山そのものを本尊とした。寺の左右にある礫岩峰は、山に向かって左側が胎蔵界峯、右側が金剛界峯と呼ばれている。金剛界峯には、法華仙人の修行の跡と舎利塔が残っている。大師堂は、近代和風建築の傑作として、平成19年（2007）に国の重要文化財に指定された。

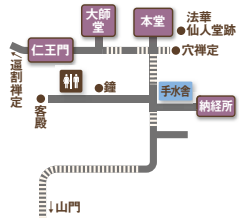
境　内

岩山に圧倒されるように建てられている本堂だが、実際には岩が本堂を守るように立っていることに気づく。山岳霊場の典型的な景観となっている。この本堂がある境内からの眺めは、実に幻想的。大師は「山高き谷の朝霧海に似て松吹く風を波にたとえむ」と詠んだといい、この歌は海岸山という山号の由来となった。

大正9年（1920）に建立された大師堂は、本堂から少し離れた場所にある。大師堂は本堂より大きく、また高い場所に位置している。これは本尊の一つでもある石像が山に封じ込められているため。山全体を本尊とする寺ならではのことだ。

御詠歌／だいしょうのいのる力のげにいわや石の中にもござくらくぞある
本尊／不動明王
真言／のうまく　さんまんだ　ばざらだん　せんだ　まかろしゃだ　そわたやうん　たらた　かんまん
宗派／真言宗豊山派
開基／弘法大師

本堂の横のはしごの上は法華仙人堂跡



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第45番 岩屋寺 ▼ 第46番 浄瑠璃寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

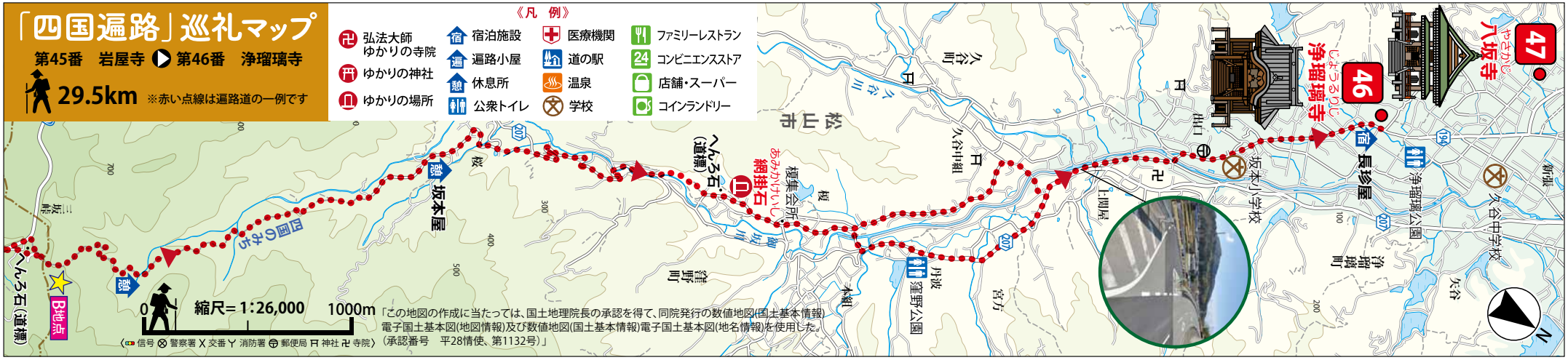
「四国遍路」巡礼マップ

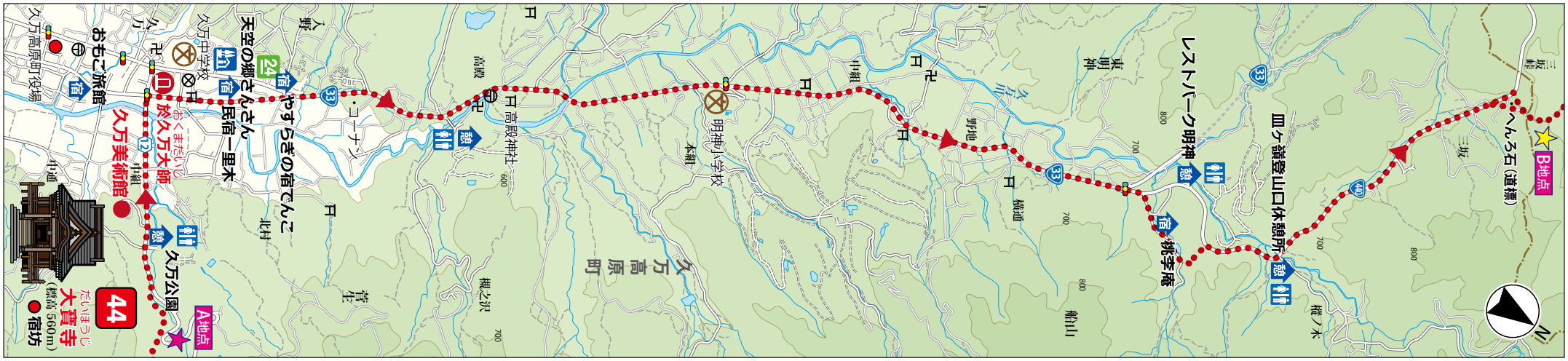
第45番　岩屋寺 ▶ 第46番　浄瑠璃寺

29.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー





へんろみち周辺の宿泊施設

1	民宿かどた屋	0892-57-0801	
2	国民宿舎 古岩屋荘	0892-41-0431	
3	民宿観光農園狩場苑	0892-41-0550	
4	癒しのお宿「八丁坂」	0892-41-0678	
5	和佐路	0892-41-0651	
6	大寶寺宿坊	0892-21-0044	
7	おもご旅館	0892-21-0024	
8	民宿一里木	0892-21-0505	
9	やすらぎの宿でんこ	0892-21-0092	
10	桃李庵	0892-21-1075	
11	長珍屋	089-963-0280	

第46番 浄瑠璃寺
●愛媛県松山市浄瑠璃町282
☎089-963-0279
●宿坊／なし

第47番 八坂寺
●愛媛県松山市浄瑠璃町八坂773
☎089-963-0271
●宿坊／なし

沿線の見どころ

とべ温泉 湯砥里館（ゆとりかん）

良質なナトリウム泉で入浴後は肌がスベスベになる「美人の湯」と評判。超音波風呂、気泡風呂、サウナ、水風呂の4種の風呂を楽しめる。高台にあって眺めがよく、開放感たっぷり。また、浴室には春秋窯の工藤省治氏が砥部の山や瀬戸内海の波をイメージしてデザイン・絵付けした陶壁画が飾られている。

境内の見どころ

仏手石・仏足石・仏手花判

境内の仏手石には、知恵や技能のご利益があり、文筆業の人の参拝が多い。健脚や交通安全にご利益のある仏足石は、素足になりこの上に立って祈願する。また、心身堅固と文筆達成に霊験あらたかといわれている仏手花判もある。ほかに、知恵、財宝、音楽にご利益のある一願弁天も祀られている。

境内の見どころ

籾大師（もみだいし）

緑豊かな境内に堂々とそびえ立つのは、樹齢約1000年の伊吹柏槙の大木。この木は弘法大師が加持したと伝えられており、松山市の天然記念物に指定されている。その根元には、延命・豊作にご利益があるといわれている「籾大師」が鎮座する。そのため、いつの時代も多くの人々から信仰を集めている。

所 愛媛県伊予郡砥部町宮内1902-3
浄瑠璃寺から西へ約5Km
☎ 089-962-7200
開 10:00～22:00（札止21:30）
休 毎月1・20日（土・日曜、祝日の場合は翌日）
拝 大人500円

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

石段を上ると、並木の正面に本堂がある

第46番 医王山 養珠院 浄瑠璃寺
いおうざん　ようじゅいん　じょうるりじ

仏の心に触れご利益に恵まれる寺

歴史・全体像

和銅元年（708）、奈良の大仏開眼に先だって、仏教を布教するために伊予国を旅していた行基が、この地を仏教流布の最適地と確信して伽藍を建立。この時、自ら本尊の薬師如来や脇仏の日光・月光菩薩像、十二将神像を刻んで安置した。寺号は薬師如来のいる場所が瑠璃光浄土ということ、薬師如来の別名が瑠璃光如来ということに由来する。大同2年（807）には弘法大師もこの寺を訪れ堂宇を創建し、第46番に定めた。戦国時代には荒廃・中興をくり返し、江戸時代には山火事が原因で、本尊、脇仏を除くほとんどの寺宝、伽藍を焼失。現在の堂宇は天明5年（1785）に再建されたものである。

境　内

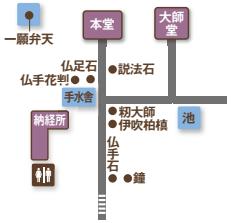
さまざまなご利益があるといわれる浄瑠璃寺。境内を入ってすぐの場所に仏手石があり、その向こうには樹齢約1000年の「伊吹柏槙（いぶきびゃくしん）」と呼ばれる大木がある。この木は松山市の天然記念物に指定されている。

本堂の手前には、お釈迦様が法華経などを説いた霊鷲山の石を埋め込んだという説法石がある。本堂は、天明5年（1785）に再建されたもの。その向かって右側には、古色蒼然とした大師堂が佇む。

また、左側には、仏足石や仏手花判（ほとけの指紋）があり、多くのお遍路さんがお参りしている。

御詠歌／ごくらくのじょうるり世界たくらえばうくる苦楽はむくいならまし
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／行基菩薩

木もれ日の向こうに美しい本堂の佇まい



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第46番 浄瑠璃寺 ▼ 第47番 八坂寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ
第46番　浄瑠璃寺 ▶ 第47番　八坂寺
0.9km　※赤い点線は遍路道の一例です
《凡　例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
店舗・スーパー
コインランドリー
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
縮尺＝1:17,000　1000m
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」
N
へんろみち周辺の宿泊施設
1　長珍屋　089-963-0280
48
さいりんじ
西林寺
たかい公園
高井町
下沖
至、松山IC
浮穴小学校
じょうのふち
杖ノ淵
杖ノ淵公園
須先
南高井町
至、川内IC
松山自動車道
南野田
重信川
久谷大橋
重信川河川敷
広瀬
大橋町
県立医療技術大学
上川原町
小村町
中野町
ふだはじめだいしどう
札始大師堂
今市
金澤整形外科
上野町今市公園
高尾田
上野町
松山市
六丁
政友
御坂川
町組
東方町
三本木
津吉町
南消防署久谷救急出張所
荏原小学校
サッカーニンジニアスタジアム
東明病院
Aコープ
愛媛県総合運動公園
荏原城
岡本
養下池
恵原公園
西野町
西大池
恵原町
もんじゅいん
文殊院
えひめこどもの城
えばら湖
新張
矢谷
久谷中学校
47
やさかじ
八坂寺
浄瑠璃公園
浄瑠璃町
砥部町
46
じょうるりじ
浄瑠璃寺
長珍屋

第47番 八坂寺
●愛媛県松山市浄瑠璃町八坂773
☎089-963-0271
●宿坊／なし

第48番 西林寺
●愛媛県松山市高井町1007
☎089-975-0319
●宿坊／なし

沿線の見どころ

愛媛県立とべ動物園

10のゾーンに約160種類の動物たちが暮らす、西日本有数の規模を誇る動物園。動物たちを自然に近い形で観察できる展示が人気で、モンキータウンでは空中散歩するオランウータンを眺め、リトルワールドでは橋を渡る愛らしいレッサーパンダの姿を見ることができる。各所に設置されたエサやり体験も人気。

所 愛媛県伊予郡砥部町上原町240
八坂寺から国道33号線経由、北西へ約4Km
☎ 089-962-6000
営 9:00～17:00（入園は16:30まで）
休 月曜（祝日の場合は開園）
料 一般500円

境内の見どころ

いやさか不動尊

八坂寺の駐車場の一角に立つ、高さ4mもある不動明王像。平成17年（2005）に衰退していた修験道を再興するために造られた像で、「いやさか」には、ますます栄えるという願いが込められている。同時に柴燈護摩道場も建立され、それ以降、毎年4月29日に「柴燈大護摩供火生三昧火渡り修行」が行われている。

境内の見どころ

閻魔堂

閻魔堂の左右にはトンネルがある。まず左の「地獄の途」に入り、右の「極楽の途」から出ると、極楽浄土へ行けるといわれている。「極楽の途」には美しい浄土が、「地獄の途」のほうには餓鬼道や畜生道が描かれており、迫力ある地獄絵は見ものだ。また、橋門の天井画も鮮やかな彩色で参拝者を魅了している。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

石段を上ると、その先に本堂がある

第47番 熊野山 妙見院 八坂寺
くまのざん　みょうけんいん　やさかじ

秘仏の本尊は50年に一度開帳

歴史・全体像

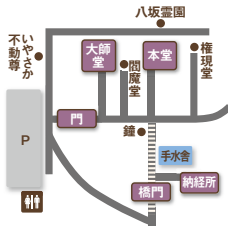
役行者小角（えんのぎょうじゃおづぬ）によって開基され、大宝元年（701）、文武天皇の勅願で伊予の国司・越智玉興（たまおき）が創建。伽藍の建立のために、8つの坂を切り開いたことに由来して寺号が付けられた。後に寺は荒廃するが、弘仁6年（815）に弘法大師が来錫して再興し、第47番に定めた。その後、隆盛を極めた寺は、末寺48ヶ寺を所有する修験道の根本道場として栄える。しかし、天正年間（1573～1592）の長宗我部氏の兵火により伽藍の多くを焼失してしまう。現在の堂宇はその後に再建されたもので、全盛時に比べると、その規模はかなり縮小されているという。

境　内

橋門をくぐり、やや急な石段を上って行くと、その途中に鐘楼がある。正面には、鉄筋コンクリート造りの美しい本堂が建ち、その左には大師堂が並ぶ。戦国時代以来、再興と焼失を繰り返したため、本堂と大師堂は近年再建されたもの。周囲の自然と相まって凛とした佇まいを見せる。　本尊は平安時代中期の名僧・恵心僧都（えしんそうず）作といわれる御丈三尺、寄木造りの阿弥陀如来。秘仏とされ、開帳は50年に一度に限られている。本堂と大師堂の間には閻魔堂、本堂の向かって右奥へ進むと、紀州の熊野権現や十二社権現を祀る権現堂がある。

御詠歌／花をみてうたよむ人は八坂寺三仏じょうの縁とこそきけ
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていせい からうん
宗派／真言宗醍醐派
開基／役行者小角

自然に溶け込んだ、風格のある本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第47番 八坂寺 ▼ 第48番 西林寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第47番　八坂寺 ▶ 第48番　西林寺

4.4km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

縮尺＝1:17,000　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

へんろみち周辺の宿泊施設

1　長珍屋　089-963-0280

48 さいりんじ 西林寺

じょうのふち 杖ノ淵

杖ノ淵公園

浮穴小学校

須先

下沖

たかい公園

高井町

南高井町

至 松山IC

至 川内IC

松山自動車道

南野田

重信川

久谷大橋

重信川河川敷

広瀬

大橋町

県立医療技術大学

上川原町

小村町

中野町

ふだはじめだいしどう 札始大師堂

金澤整形外科

今市

上野町今市公園

高尾田

上野町

松山市

政友

六丁

御坂川

町組

東方町

二本木

津吉町

南消防署久谷救急出張所

荏原小学校

東明病院

Aコープ

荏原城

岡本

養下池

サッカー・ニンジニアスタジアム

愛媛県総合運動公園

西大池

西野町

恵原公園

恵原町

もんじゅいん 文殊院

えひめこどもの城

えばら湖

新張

矢谷

久谷中学校

47 やさかじ 八坂寺

浄瑠璃公園

浄瑠璃町

砥部町

46 じょうるりじ 浄瑠璃寺

宿 長珍屋

第48番 西林寺
●愛媛県松山市高井町1007
☎089-975-0319
●宿坊／なし

第49番 浄土寺
●愛媛県松山市鷹子町1198
☎089-975-1730
●宿坊／なし

沿線の見どころ

たかのこの湯

開湯から1200年、弘法大師ゆかりの温泉「たかのこ温泉」が平成24年（2012）にリニューアルをしてグランドオープン。旧源泉に加え、天然の炭酸を含んだ新源泉はかけ流し。温泉に隣接するホテル「たかのこのホテル」は、木の温もり溢れるモダンな客室。滞在中何度でも温泉に入浴できるサービスもうれしい。

所 愛媛県松山市鷹子町737-2、736-4
☎ 温泉089・997・7777、ホテル089・960・1588
営 温泉は5:00～翌1:00、札止24:00
ホテルはIN13:00、OUT11:00
休 無休（温泉はメンテナンス休館あり）
料 ホテル宿泊5,800円～、温泉大人650円

沿線の見どころ

杖ノ淵公園

日本名水百選の一つに認定された清らかな水が湧く公園。旱魃で苦しむ村人を救うために、この地を訪れた弘法大師が錫杖で水脈を発見したといわれている。現在は公園として整備され、大師像が建つ湧水池を中心に、水遊びのできる親水広場や遊具のある広場、多目的広場などがあり、市民の憩いの場となっている。

所 愛媛県松山市南高井町1346-1外
☎ 089・948・6497（松山市公園緑地課）

境内の見どころ

仁王門

境内は門前を流れる川の土手よりも低い位置にある。そのため罪人が門をくぐると無間地獄に落ちるという言い伝えがある。天保14年（1843）に再建された仁王門前の川には弧を描いた石橋が架かっており、その左側には「秋風や高井のていれぎ三津の鯛」と書かれた正岡子規の句碑が建っている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

大同2年（807）に弘法大師により現在の場所に移された

第48番 清滝山 安養院 西林寺
せいりゅうざん　あんよういん　さいりんじ

「杖ノ淵」の湧水伝説が残る場所

歴史・全体像

天平13年（741）、四国を旅していた行基は伊予の国司・越智玉純と出会い、語り合った末に一寺を建立。本尊の十一面観世音菩薩は行基が刻んだものといわれている。大同2年（807）、四国巡錫中の弘法大師がこの寺に逗留。当時の国司・越智実勝とともに寺を現在地に移し伽藍を再興した。寛永年間（1624～1644）、火災により堂宇を焼失。元禄13年（1700）に松平隠岐守をはじめとする代官や奉行により一部を再建。宝永4年（1707）、西林寺中興の祖・覚栄法印により堂宇と鐘楼が、文化10年（1813）に前大師堂、天保14年（1843）には仁王門が再建された。

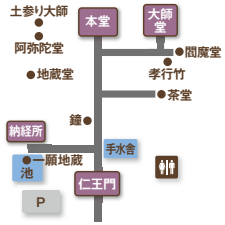
境　内

大師ゆかりの湧水で、名水として知られる杖ノ淵がそばにある西林寺。門前には小さな川が流れており、弧を描いた石橋がかけられている。罪人がくぐると無間地獄（むげんじごく）に落とされるという仁王門をくぐり境内へ。正面には大屋根の立派な本堂、その横には近年再建された大師堂がある。その近くには閻魔堂と茶堂が並び建っている。本尊の十一面観世音菩薩は秘仏である。

納経所近くの池には、一つだけ願を叶えてくれるという一願地蔵、大師堂近くの閻魔堂前には家庭円満の象徴として信仰される孝行竹がある。災厄除けにご利益があるという土参り大師など、見どころの多い寺だ。

御詠歌／みだぶつの世界をたずねゆきたくば西の林の寺にまいれよ
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／行基菩薩

大師堂は近年建て替えられた



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第48番 西林寺 ▼ 第49番 浄土寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第48番　西林寺 ▶ 第49番　浄土寺

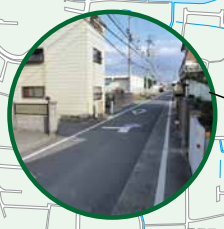
3.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

49 浄土寺（じょうどじ）

48 西林寺（さいりんじ）



へんろみち周辺の宿泊施設

1	たかのこのホテル	089-960-1588

縮尺＝1:10,000　0　500m

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 ⊕ 郵便局 〒 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。〈承認番号　平28情使、第1132号〉」

第49番 浄土寺
●愛媛県松山市鷹子町1198
☎089-975-1730
●宿坊／なし

第50番 繁多寺
●愛媛県松山市畑寺町32
☎089-975-0910
●宿坊／なし

沿線の見どころ

東道後のそらともり

美肌の湯として知られる氣養生の癒し処。入浴だけでなく、岩盤浴やボディケア、家族風呂、湯宿、休憩処、本格レストランなどを完備する。お遍路さんの荷物をフロントで預かってくれるサービスや、予約なしでも仮眠できるオーバーナイトステイも好評で、体の疲れだけでなく心も癒されそう。

所 愛媛県松山市南久米町3-1
☎ 089-970-1026
営 5:00～翌1:00（最終入館24:00）
休 無休
料 非会員1,080円（タオルセット、館内着、岩盤浴利用料込み）
※会員または時間帯により割引あり
オーバーナイトステイ2,700円～

沿線の見どころ

東道後温泉 久米之癒

檜風呂、月之岩盤浴（サウナ）、日之岩盤浴（高温手足湯）など様々な風呂が揃う温泉施設。屋外には岩から湯が流れ落ちる源泉かけ流しの湯や寝転び足湯なども完備している。泉質はアルカリ性単純泉で、肌にやさしく、やわらかな良質のお湯。22時間営業なので、いつでも気が向いた時に利用できるので便利だ。

所 愛媛県松山市南久米町325-1
☎ 089-970-1126
営 11:00～翌9:00
休 無休
料 大人450円

境内の見どころ

仁王門

大正11年（1922）に建立された仁王門。ダイナミックなこの門の両側には、迫力ある金剛力士像が建つ。右側の阿形像には一時、目玉のない時があった。目玉が失われた理由については「心ない人が盗んだ」ともいわれている。現在は両目とも修理され、澄んだ鋭い眼で、訪れるお遍路さんを見守ってくれている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

山を借景にした境内は凜とした空気が漂う

第49番 西林山 三蔵院 浄土寺
さいりんざん　さんぞういん　じょうどじ

五百年の歴史を見守る荘厳な本堂

歴史・全体像

天平勝宝年間（749～757）に孝謙天皇の勅願で、恵明上人が行基作の釈迦如来を祀り創建したと伝えられている。後に弘法大師がこの寺を訪れた時には荒廃しており、大師により伽藍が再興された。最盛期には66坊もの末寺を持つ大寺院だった。

鎌倉時代には源頼朝によって再興されたが、応永23年（1416）に兵火によって堂宇のほとんどを焼失。文明14年（1482）には、伊予の豪族・河野通宣が再建し再び寺勢を盛り返す。現在の本堂はこの時に建てられたもの。慶安2年（1649）の大修理などを経て、今日に至っている。本堂は国の重要文化財。

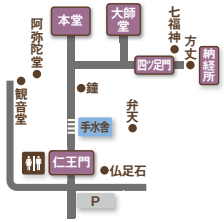
境　内

静寂な空気に包まれた境内の中央には、簡素ながらも堂々とした風格をたたえた本堂が佇んでいる。これは文明14年（1482）に創建された、和様と唐様が折衷した建物。本瓦葺き、寄棟造りで、国の重要文化財に指定されている。

本堂の内陣にある一間厨子も再建時そのままの貴重な建造物。本堂・厨子ともに、昭和36年（1961）に解体・修理が行われた。本堂に向かって右手に、大師堂と鐘楼がある。千社札や幟旗、わらじなど様々な奉納物が納められている大師堂は、親しみやすい雰囲気だ。本堂に向かって左側には阿弥陀堂、観音堂がある。

御詠歌／十悪のわがみをすてずそのままにじょうどの寺へまいりこそすれ
本尊／釈迦如来
真言／のうまく　さんまんだ　ぼだなん ばく
宗派／真言宗豊山派
開基／恵明上人

様々な奉納物で飾られている大師堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第49番 浄土寺 ▼ 第50番 繁多寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第49番　浄土寺 ▶ 第50番　繁多寺

1.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

50 繁多寺（はんたじ）

49 浄土寺（じょうどじ）

宿 東道後のそらともり

東道後温泉 久米之癒

たかのこの湯

宿 たかのこのホテル

畑寺（一）

畑寺（二）

畑寺（四）

桑原八幡神社

媛彦温泉

新池

古池

畑寺福祉センター

松山市

かんだ内科

北野

仙波農園・

上池

山田池

北久米小学校

北久米駅

南組

北久米町

日尾公園

日尾八幡神社

伊予鉄道横河原線

久米駅

南久米町

原

堀越川

鷹子町

斎院

久米公民館

へんろみち周辺の宿泊施設

1	たかのこのホテル	089-960-1588
2	東道後のそらともり	089-909-7117

N

縮尺= 1:7,000

0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第50番 繁多寺
●愛媛県松山市畑寺町32
☎089-975-0910
●宿坊／なし

第51番 石手寺
●愛媛県松山市石手2-9-21
☎089-977-0870
●宿坊／なし

沿線の見どころ

媛彦温泉

地下1000mから湧き出るアルカリ性単純温泉で、湯冷めしにくいと評判。美肌効果もあるという。浴室の壁や床には遠赤外線セラミックを多く含む麻照（マテラ）鉱石を敷き詰め、発汗・デトックス効果をもたらす。様々な趣の露天でくつろぐ家族風呂もある。入浴とレストランでの食事がセットになったお得なプランもある。

所 愛媛県松山市畑寺3-4-5
☎ 089-960-1441
営 9:00～翌7:00（家族風呂は24時間営業）
休 年1回点検休業あり
料 大人550円、家族風呂1室60分2,500円～（1室4名までの場合）

境内の見どころ

鐘つき堂の天井絵

元禄の鐘をそのまま利用して再建された鐘つき堂には、お遍路さんの注目を集める天井絵がある。これは中国において孝行が特に優れた人物24名を賞して、後世の模範とした「二十四孝」をモチーフに描かれたもの。枠組みの一つひとつに表現された、色彩豊かな二十四孝の世界をじっくりと鑑賞しよう。

境内の見どころ

歓喜天堂

天和年間（1681～1684）、名僧・龍瑚が住職となる。徳川家の帰依を受けることになり、寺運は大いに栄えた。この時に、第四代将軍家綱の念持仏三体の一つである歓喜天を祀った。本堂に向かって左にある歓喜天堂は、平成18年（2006）に再建されたもの。厄除けや商売繁盛、合格祈願に多くの人が訪れる。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

郊外の高台にあり、里山の風景になじむ境内

第50番 東山瑠璃光院 繁多寺
ひがしやま るりこういん はんたじ

水と緑が彩るのどかな風情の古刹

歴史・全体像

天平勝宝年間（749～757）に孝謙天皇勅願により行基が開基したといわれる。本尊の薬師如来像はこの時に行基によって刻まれたと伝わり、一時、光明寺と称された。その後、伊予の国司・源頼義や堯蓮が再興。弘仁年間（810～824）には、弘法大師が巡錫。この寺を四国八十八ヶ所に定め、名前を繁多寺に改めたという。しかしその後、寺は荒廃。それを弘安2年（1279）、元寇の退散祈願の勅使を受けて聞月上人が再興する。さらに、応永2年（1395）には、後小松天皇の意向で七皇室の菩提寺・京都泉涌寺の快翁和尚が第七世住職となった。以来、高僧が住職となったことで知られる。

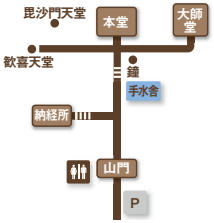
境　内

淡路山の中腹、町を見下ろす高台に位置する境内。山門に向かって右側には県の工業用水池があり、穏やかな水面と寺の風景が相まって、のどかで風情のある景観を見せている。鬱蒼と緑が生い茂る森を借景にした堂宇はひときわ風情があり、鐘楼（鐘つき堂）には、元禄9年（1696）に信者の浄財により作られた梵鐘が吊るされている。本堂に向かって右側には大師堂がある。

境内の周辺は、景観樹林保護地域に指定された美しい自然の宝庫。境内からの眺望もよく、松山市街はもとより、天気の良い日には瀬戸内海まで見渡すことができる。

御詠歌／よろずこそはんたなりともおこたらずしょぴょうなかれとのぞみいのれよ
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／行基菩薩

境内を一段上がったところに建つ本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第50番 繁多寺 ▼ 第51番 石手寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第50番　繁多寺 ▶ 第51番　石手寺

2.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	ホテル メルパルク松山	089-945-6411
2	松山ユースホステル	089-933-6366
3	にぎたつ会館	089-941-3939
4	民宿みよし	089-977-2581

縮尺＝1：10,000　0　500m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
〈承認番号　平28情使、第1132号〉」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第51番 石手寺
●愛媛県松山市石手2-9-21
☎089-977-0870
●宿坊／なし

第52番 太山寺
●愛媛県松山市太山寺町1730
089-978-0329
●宿坊／なし

沿線の見どころ

松山城

加藤嘉明が築城を開始した日本を代表する連立式天守を持つ平山城の一つ。日本では12ケ所しか残っていない江戸時代以前に建造された天守や乾櫓など、21の建造物が国の重要文化財に指定。土・日曜と祝日の朝9時からは、一ノ門前にて登城太鼓と天守開門セレモニーを開催。8合目まではロープウェイとリフトがある。

所 愛媛県松山市丸之内1
☎ 089-921-4873（松山城総合事務所）
営 天守9:00～17:00（30分前札止め）、ロープウェイ8:30～17:30（リフトは～17:00）
※季節により異なる
休 12月第3水曜（天守）
料 天守入場料、ロープウェイ・リフト往復とも大人510円

沿線の見どころ

道後温泉本館

アルカリ性単純温泉で、約3000年の歴史を誇る日本最古の湯。平成26年（2014）に改築120周年を迎えた本館は、明治27年（1894）に建設された木造三層楼の公衆浴場で、国の重要文化財に指定されたことでも有名。浴室は神の湯と霊の湯の2つ。入浴コースに応じて休憩や湯茶のサービスあり。

所 愛媛県松山市道後湯之町5-6
☎ 089-921-5141
営 6:00～23:00
（入浴コースにより異なる）
休 無休（12月に1日のみ臨時休館あり）
料 大人410円～

境内の見どころ

宝物館

1100余点あるという寺宝の中から、常時約100点を展示している。弘法大師を追いかけた衛門三郎が焼山寺で倒れた際、大師によって握らされたとされる「衛門三郎再来」と書かれた小石もここに収蔵されている。出土品をはじめ、古文書、刀剣など、いずれも開基以来の歴史を物語る貴重な品ばかりだ。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

国の重要文化財の三重塔が威容を誇る境内はお遍路さんで賑わう

第51番 熊野山 虚空蔵院 石手寺

くまのさん　こくうぞういん　いしてじ

香煙絶えぬ四国を代表する名刹

歴史・全体像

聖武天皇の時代、神亀5年（728）に伊予大守越智玉純が霊夢を賜り、この地を浄域とし、12社権現を祀って勅願所とした。本尊の薬師如来は、翌年の天平元年（729）に行基が開眼、寺を創建した。当時は安養寺と名付けられ、法相宗に属していたが、弘仁4年（813）に弘法大師が来錫し、真言宗に改めた。石手寺と称するようになったのは寛平4年（892）から。改称にあたり、遍路の元祖といわれる衛門三郎の伝説が残っている。

平安時代の末には七堂伽藍を備えており、鎌倉時代の末期には河野氏らによって相次いで堂塔が再建された。現在の堂塔はいずれもこの時代のものである。

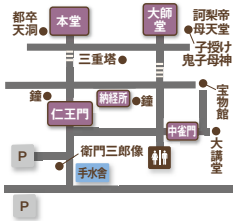
境　内

二層入母屋造り本瓦葺きの仁王門は、文保2年（1318）に河野通継が建造したもので、国宝に指定されている。仁王門の高さは7m、仁王像も2・5mと大きく、こちらは13世紀後半の作といわれている。

また、広い境内に建つほとんどの堂塔が文化財と、見どころ満載。鎌倉時代に建立された本堂と三重塔、元弘3年（1333）建立の鐘楼、「建長3年」（1251）の銘が刻まれた銅鐘、室町初期に建立された護摩堂、建久元年（1190）に建立された石造五輪塔は、いずれも国の重要文化財に指定されている。お遍路さんだけでなく、観光客も数多く訪れる名刹だ。

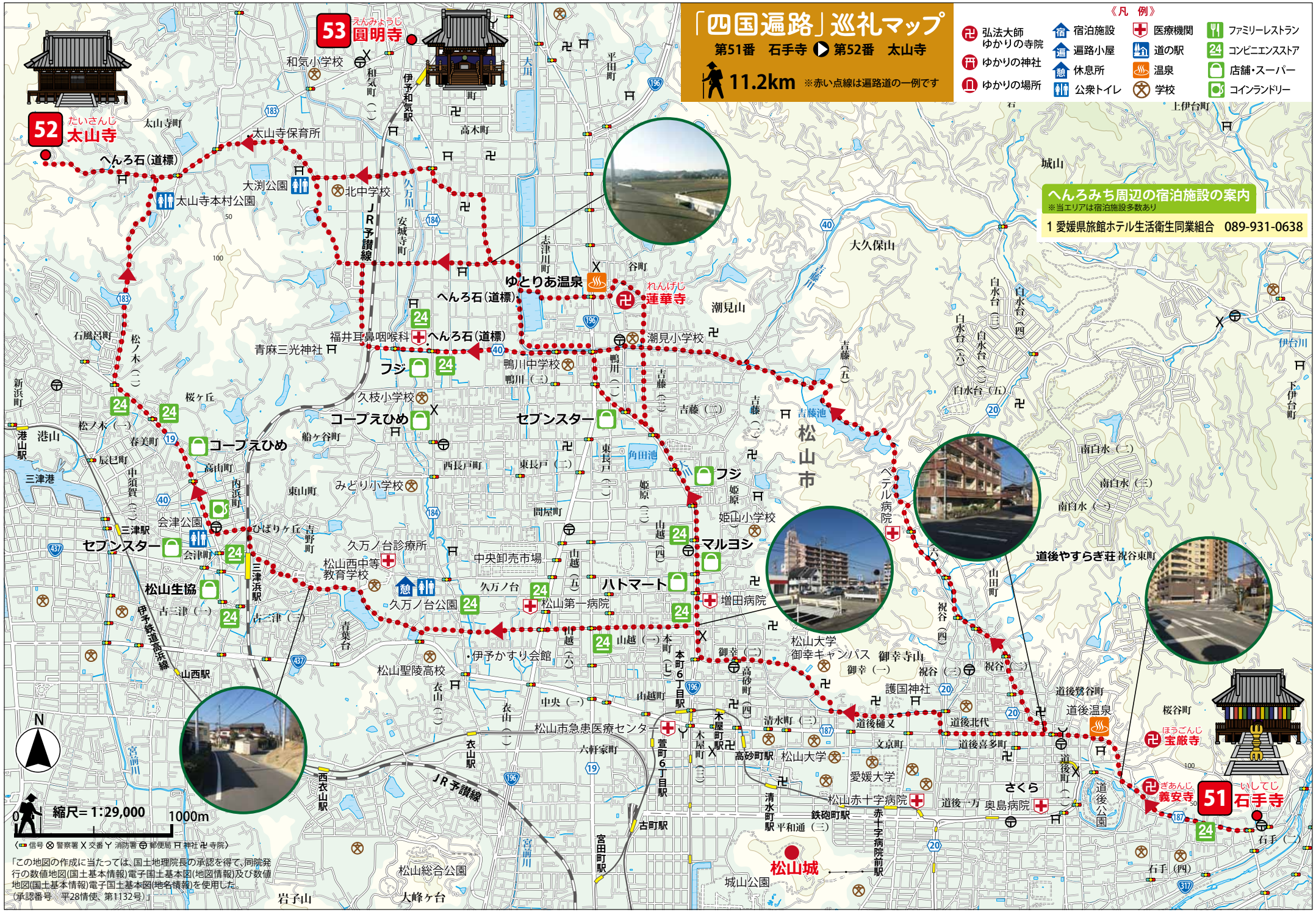
御詠歌／西方をよそとは見まじあんようのてらにまいりてうくる十らく
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／行基菩薩

本堂前には大きな五鈷が建つ



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第51番 石手寺 ▼ 第52番 太山寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産


「四国遍路」巡礼マップ
第51番 石手寺 第52番 太山寺
11.2km ※赤い点線は遍路道の一例です
《凡 例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
店舗・スーパー
コインランドリー
へんろみち周辺の宿泊施設の案内
※当エリアは宿泊施設多数あり
1 愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合 089-931-0638
53 圓明寺
52 太山寺
51 石手寺
ゆとりあ温泉
蓮華寺
松山市
松山城
松山生協
セブンスター
コープえひめ
フジ
マルヨシ
ハトマート
松山第一病院
松山市急患医療センター
松山大学
松山赤十字病院
奥島病院
道後温泉
宝厳寺
義安寺
道後やすらぎ荘
縮尺=1:29,000
1000m
〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」
各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第52番 太山寺
●愛媛県松山市太山寺町1730
089-978-0329
●宿坊／なし

第53番 圓明寺
●愛媛県松山市和気町1-182
☎089-978-1129
●宿坊／なし

沿線の見どころ

権現温泉

古くから湯治場として愛されてきた温泉郷に、自然に囲まれてひっそりと佇む。大浴場や薬湯、ジェット風呂、泡風呂、サウナなどバラエティ豊かだ。春にはうぐいすをはじめとする鳥のさえずり、桜の開花、初夏には蛍の乱舞や木々の深緑がまぶしく、秋には紅葉など四季折々の自然も楽しめる。

所 愛媛県松山市権現町670
円明寺から県道39号線経由、北東へ約3.5Km
☎ 089-978-0334
営 10:00～23:00（札止22:30）
休 第4木曜
（祝日の場合は営業、代替日は事前告知）
料 大人600円

境内の見どころ

聖徳太子堂

かつて伊予の国に来た聖徳太子は、この寺と縁を結んだ。境内の一角にある聖徳太子堂・夢殿には、法隆寺の夢殿にあるのと同じ聖徳太子像が祀られており、太子の聡明さにあやかろうとお参りする人が多い。特に毎年成人の日に行われる太子祭りには、合格祈願に県内外から大勢の人が訪れる。

境内の見どころ

亀の石

昔の人が力比べに使った石の一つ。大中小の石があるというが、現在残っているのは「中」の石。村祭りの時に若者はこの石をどのくらい遠くまで運べるかで、力比べをしたという。また、大師堂そばに残る三重塔の礎石の一つを新しい亀の子たわしで洗うと、痔の痛みが和らぎ完治するといわれている。

坂道や石段は多いが、整備されており歩きやすい

第52番 瀧雲山 護持院 太山寺
りゅううんざん ごじいん たいさんじ

参道から境内まで見どころ多数

歴史・全体像

平安時代後期から歴代天皇の帰依を集めたといわれる太山寺の創建者は、豊後国の真野長者。用明2年（587）、長者が大阪に向かう途中、高浜沖で風雨に襲われた時、観音菩薩に祈って海難を逃れた。その御礼として自国で木組みした建材を運び、一夜で寺を建立したと伝えられている。

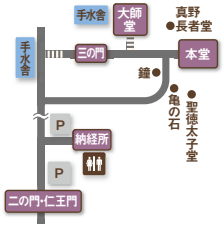
天平11年（739）には、聖武天皇の勅願により、行基が十一面観音を刻んで本尊として安置した。次いで、弘法大師が巡錫されたのは天長年間（824～834）のこと。それまでの法相宗から真言宗に改宗した。後に寺は荒廃の憂き目にあうが、嘉元3年（1305）、領主河野氏によって再建された。

境　内

仁王門は三間一戸の八脚門で、金剛力士像が安置されている国の重要文化財。四国霊場の中では二番目に古いといわれる本堂は、嘉元3年（1305）に建てられた国宝。入母屋造り、本瓦葺きで重厚な屋根の広がりが美しい。須弥壇に安置されている七体の十一面観音像は、代々の天皇が納めたもので国の重要文化財だ。本堂の左手奥にある真野長者堂は、太山寺の創建者とされる真野長者を祀っている。参道は風情があり、美しい景観が訪れる人々の目を楽しませてくれる。樹木に覆われた参道沿いの民家は、遍路宿の面影を残している。奥の院までの道はハイキングコースになっている。

御詠歌／たいさんへのぼれば汗のいでけれどのちの世おもへばなんの苦もなし
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗智山派
開基／真野長者

国宝に指定されている本堂



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ
第52番　太山寺 ▶ 第53番　圓明寺
2.5km ※赤い点線は遍路道の一例です
《凡　例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
宿泊施設
遍路小屋
休息所
店舗・スーパー
コインランドリー
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
へんろみち周辺の宿泊施設
1　民宿の上松　089-979-1500
勝岡町
南勝岡
清和公園
・太山寺幼稚園
久万川
和気町（一）
39
184
53 えんみょうじ 圓明寺
宿 民宿の上松
・和気幼稚園
和気小学校
和気公園
白形医院
伊予和気駅
馬木町
183
松山市
小山
太山寺小山公園
・和気公民館
100
50
太山寺町
・太山寺保育園
大淵
52 たいさんじ 太山寺
へんろ石（道標）
片廻
大将軍神社
大渕公園
北中学校
JR予讃線
安城寺町
太山寺本村公園
0
縮尺= 1:9,000
500m
〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉
N
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」
各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第53番 圓明寺
●愛媛県松山市和気町1-182
☎089-978-1129
●宿坊／なし

第54番 延命寺
●愛媛県今治市阿方甲636
☎0898-22-5696
●宿坊／なし

沿線の見どころ

道の駅 風早の郷 風和里

週末ともなれば多くのツーリング客やドライブ客、夏場は海水浴客で賑わう海辺の道の駅。北条産の新鮮野菜や果物が並ぶ産直市の奥には、とれたての鮮魚コーナーが。手づくり弁当やお惣菜は、お昼には売り切れてしまうことがあるので、午前中がねらい目。夏場は販売店「モンテサント」のアイスクリームをぜひ。

所 愛媛県松山市大浦119
電 089-911-7700
営 8:30～18:00
休 無休（レストランは第2・4木曜）

境内の見どころ

本堂の龍の彫り物

参道の中門の先正面に建つ本堂の中には、長さ4mはあろうかという巨大な龍の彫り物が、まるで本尊を守っているかのように施されている。今にも動き出しそうな躍動感に満ちた龍の彫刻は、一説には名工・左甚五郎の作といわれている。日頃の行いが悪い人がその姿を見ると、目が光って見えるそう。

境内の見どころ

キリシタン灯籠

寛永年間（1624～1644）に建立された、高さ40cmほどの灯籠。山門を入ってすぐの左側にあり、一見したところはわかりにくいが、その形状は十字架のようになっており、聖母マリアらしき女性の姿が刻まれている。キリシタン禁制であった江戸時代、寺では信者の礼拝を黙認していたと思われる。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

民家が建ち並ぶ街なかにありながら、趣のある境内

第53番 須賀山 正智院 圓明寺

すがさん　しょうちいん　えんみょうじ

日本最古の納札とキリシタン灯籠

歴史・全体像

「和気の圓明さん」の愛称で親しまれている。開基は天平勝宝元年（749）、聖武天皇の勅願を受けた行基が、自ら阿弥陀如来を彫って安置したのが始まりといわれている。当時は西山という海岸にあり、弘法大師が巡錫して、四国霊場53番と定めるが、鎌倉時代には度重なる兵火によって焼失してしまう。この地に引っ越してきたのは、元和元年（1615）のこと。この地の豪族であった、須賀重久が伽藍を再興した。

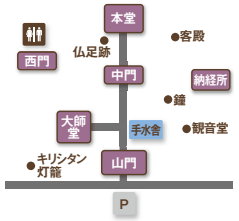
「四国仲遍路同行二人今月今日平人家次」と書かれた銅製の納札が、アメリカ人の教授によって発見されており、それは慶安3年（1650）のものといわれている。

境　内

周囲に民家が立ち並ぶ市井の賑わいの中にある圓明寺。ご近所さんが気軽にお参りに訪れるなど、その庶民的な雰囲気が、歩き疲れた遠来のお遍路さんたちの心をほっと和ませてくれる。愛媛県指定有形文化財に指定されている山門（八脚門）をくぐると、大師堂、中門、本堂、観音堂が整然と並んでいるのが見える。十一面観音像が安置されている観音堂は、断絶した国主・河野家の遺臣たちが関ヶ原の戦いに敗れた際、その追善供養のために建立したといわれている。境内の片隅には聖母マリアの像を彫ったキリシタン灯籠があり、キリシタン禁制の名残を今に残している。

御詠歌／らいごうのみだのひかりの
圓明寺てりそふかげはよなよなの月
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていせい からうん
宗派／真言宗智山派
開基／行基菩薩

美しい中門をくぐると真正面が本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第53番 圓明寺 ▼ 第54番 延命寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ
第53番 圓明寺 ▶ 第54番 延命寺
34.4km ※赤い点線は遍路道の一例です
《凡 例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
店舗・スーパー
コインランドリー
A地点
B地点
マルナカ
風早の郷 風和里
北条スポーツセンター
あさなみマート
浅海駅
浅海小学校
鎌大師
かまだいし
鎌大師
遍照院
へんじょういん
マリーナシーガル
リーベンス安永
Aコープ
あおのクリニック
菊間小学校
青木地蔵
あおきじぞう
圓明寺
えんめいじ
53
延命寺
54
リゾートイン マーメイド
佐伊知
海の駅 うみてらす
堀江港
松山生協
堀江病院
堀江小学校
堀江中央公園
堀江東公園
内宮中学校
伊予和気駅
JR予讃線
光洋台駅
大手前高松線
小三
和田
粟井河原
北条病院
河野公園
鹿峰
粟井駅
フジ
柳原
柳原末広第1公園
中央消防署北条支署
新開公園
文化の森公園
北条中学校
北条小学校
北条高校
伊予北条駅
聖カタリナ大学
北条港
北条水軍ユースホステル
新開浜公園
太田屋旅館
シーパMAKOTO
ようこいん
養福院
松山市
今治市
波妻ノ鼻
こもが鼻
帆立岩
汐出磯
大浦駅
大浦
JR予讃線
京ヶ森
浅海原
真砂
小竹
菊間町田之尻
岩童子
松ヶ崎
菊間港
菊間町浜
菊間駅
菊間町
明田
友政
宮本
北浜
大宮
葉山
高田
隋島
JR予讃線
石風呂
味酒
浅海本谷
鴻之坂
下難波
腰折山
名石山
恵良山
斎灘
諏訪ノ鼻
大西町新町
あさひや旅館
ホテルニュースガノヤ
大西中学校
大西町紺原
大西駅
鴨頭病院
堀切
大池
水泥
佐古
阿方
延喜
延喜店
大西クリニック
東谷
西ノ谷
乃万小学校
マックスバリュ
今治明徳短期大学
下欠田
ますや旅館
藤山健康文化公園
ドラッグストアmac
ビジネスホテルつよし
星の浦海浜公園
新開
原
天神
新田
岩谷
大門
佐方海岸
高城
JR予讃線
大西町別府
大西町星浦
幟立
西之谷
奥
本谷
立
大西町脇
中脇
脇屋
大西小学校
宮脇町
亀岡小学校
伊予亀岡駅
菊間町佐方
菊間町種
藤原
里の側
城ノ上
峠店
へんろ石（道標）
縮尺＝1:40,000
0
1000m
〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号 平28情使、第1132号）」
へんろみち周辺の宿泊施設の案内
1 愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合 089-931-0638
各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第54番 延命寺
●愛媛県今治市阿方甲636
☎0898-22-5696
●宿坊／なし

第55番 南光坊
●愛媛県今治市別宮町3-1
☎0898-22-2916
●宿坊／なし

沿線の見どころ

みなと交流センター（はーばりー）

2016年7月に、今治の賑わいの拠点として海の玄関口にオープン。建築家・原広司氏の設計による大きな船を模したデザインの建物は「港町・今治」を象徴している。「はーばりー」の愛称で親しまれており、フェリー待合・発券所、FMラジオ放送局やレンタサイクルターミナル、飲食店などで構成され、イベントも多数開催。

所 愛媛県今治市片原町1-100-3
南光坊から北東へ約1.2Km
☎ 0898･22･4120（今治市港湾振興課）
営 施設により異なる
休 施設により異なる

境内の見どころ

越智孫兵衛供養塔

江戸時代の庄屋・越智孫兵衛は、農民たちを餓死から救った郷土のヒーローである。農民の生活向上に寄与し、享保の大飢饉の際には、一人の餓死者も出さなかったという。境内には、そんな彼の功績を偲ぶために、越智孫兵衛供養塔が建立されており、毎年8月7日には盛大に慰霊祭が行われている。

境内の見どころ

銘木つぶらじい

山門を入ってすぐ右手にあるつぶらじいは、今治市の指定保存樹。延命寺が兵火で焼失した後、享保12年（1727）にこの地に移転・再興された時に植えられたと伝えられている。樹齢はおよそ200年以上といわれており、目通り3m、高さ20余mにも及ぶ。風格のあるこの木は、近辺では珍しい銘木である。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内には、元禄4年（1691）に没した真念法師の道しるべが残されている

第54番 近見山 宝鐘院 延命寺

ちかみさん　ほうしょういん　えんめいじ

行基により開かれたとされる古刹

歴史・全体像

奈良時代の天平年間（729～749）、行基が不動明王を刻み、今治市の西北にある近見山の頂に七堂伽藍を建立したのが始まり。平安時代になって、嵯峨天皇の勅願によって弘法大師が来錫。当時、かなり荒れていたという堂宇を再建した。そして、近見山円明寺と名付けて、信仰と学問の中心道場にした。その後、寺は幾度となく兵火を受けたため場所を移動。享保12年（1727）には現在の場所に移る。明治時代に入って延命寺に改称する。本堂は昭和3年（1928）に移転・新築された。文永5年（1268）には、この寺の西谷坊で華厳宗の学僧・凝然が八宗要綱1200余巻を書き上げた。

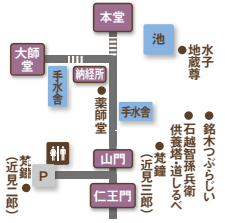
境　内

総欅造りの立派な佇まいがひときわ目を引く山門は、今治城門の一つを譲り受けたもの。含霊堂（霊拝堂）には、明治初期より全国永代供養の霊碑が祀られており、往時の寺運を物語っている。堂内には不動明王、十二諸尊西国三十三ヶ所の観音様、薬師如来坐像、阿弥陀如来像、びんずりさんが祀られているほか、古文書も収蔵されている。

また、境内には生国不明、元禄4年（1691）に四国巡礼中に没したとされる真念法師の道しるべ石や、宝永元年（1704）に住職が私財を投じて鋳造した梵鐘・近見二郎、農民たちを飢餓から救った越智孫兵衛を偲ぶ供養塔が建てられている。

御詠歌／くもりなきかがみのえんとながむればのこさずかげをうつすものかな
本尊／不動明王
真言／のうまく さんまんだ ばざらだん せんだ まかろしゃだ そはたや うん たらた かんまん
宗派／真言宗豊山派
開基／行基菩薩

昭和3年（1928）移転・新築された本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第54番 延命寺 ▼ 第55番 南光坊

JAPAN HERITAGE
日本遺産

へんろみち周辺の宿泊施設

1	しまなみゲストハウス「シクロの家」	0898-35-4496
2	今治アーバンホテル	0898-22-5311
3	クラウンヒルズ今治	0898-23-0005
4	ホテル福亭	0898-22-1285
5	今治ステーションホテル	0898-22-5340
6	今治第一ホテル	0898-22-1320
7	今治プラザホテル	0898-25-2500

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第55番 南光坊
●愛媛県今治市別宮町3-1
☎0898-22-2916
●宿坊／なし

第56番 泰山寺
●愛媛県今治市小泉1-9-18
☎0898-22-5959
●宿坊／なし

沿線の見どころ

今治城

築城の名手として有名な藤堂高虎が築いた海城で、日本三大海城の一つ。広大な内堀と高石垣がほぼ完全に残り、堀の水は現在でも海水。再建された天守や櫓は歴史資料館や郷土美術館などとして公開され、今治の歴史と文化に触れられる。天守最上階の展望台からは瀬戸内海の絶景が広がる。

境内の見どころ

菅笠

川村驥山（きざん）は、昭和25年（1950）に書道家として初めて、芸術院賞を受けた人物。昭和29年（1954）より娘を伴って遍路行へ。その時に被っていた菅笠が、納経所に保存されている。笠には金剛経の一節「應無所住而生其心」と書かれている。どこにもとどまらず自由自在であれという意味だそう。

境内の見どころ

高僧・天野快道の墓

金毘羅堂と薬師堂の間には、南光坊中興の祖・天野快道大僧正（1846～1923）の墓がある。天野快道は今治に伝わる「大楠と三匹の狸」という話にも登場する人物。姿を見せずに悪さをしていた狸の三姉妹がいたが、快道にだけは見え、話ができたという。「頭脳明晰で体格にも恵まれた傑物」であったといわれている。

所 愛媛県今治市通町3-1-3
南光坊から南東へ約1.5Km
☎ 0898-31-9233
営 9:00～17:00
休 12/29～12/31
拝 大人500円

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

広々とした境内にある松尾芭蕉の句碑は見どころの一つ

第55番 別宮山 金剛院 南光坊
べっくさん　こんごういん　なんこうぼう

有名書家の足跡が残る寺

歴史・全体像

かつては別宮大山祇神社と隣接しており、明治初年までは大山祇神社の別当寺であったという。

その縁起は今から約1300年前にさかのぼる。河野氏の始祖・越智玉輿の弟である玉澄は、文武天皇の勅願を受けて大三島の大山積明神を勧請。法楽所として大三島の24坊中8坊をこの地に移転し、「日本総鎮守三島地御前」と称し、奉祭した。

以後、別宮大山祇神社の別当寺として興隆してきたが、天正年間（1573～1592）、伊予の全土を襲った長宗我部氏の兵火によって焼失した。慶長5年（1600）、この南光坊だけは大山祇神社の別当寺として再建された。

境　内

四国霊場のうち「坊」がつく寺院はこの南光坊だけ。今治市の中心部にあり、昭和20年（1945）の大空襲で大師堂と金毘羅堂以外の建造物は焼失した。現在の本堂は昭和56年（1981）に建てられたものである。金毘羅堂は、文化年間（1804～1818）建立の歴史のある建物。大正5年（1916）に再建された大師堂は、屋根の四隅が軽やかに跳ね上がり、その上にある相輪塔と相まって、荒波の中を走る船のような様相を呈している。
平成10年（1998）に再建された立派な山門は四天王が守護している。この山門の形式は四国霊場の中ではこの寺だけである。

御詠歌／このところ三島に夢のさめぬればべつぐうとてもおなじすいじゃく
本尊／大通智勝如来
真言／なむ だいつうち しょうぶつ
宗派／真言宗御室派
開基／行基菩薩

再築された本堂は山門の正面に佇む

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第55番 南光坊 ▼ 第56番 泰山寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

54 えんめいじ 延命寺
へんろ石（道標）
引地
至、今治北IC
西瀬戸自動車道
いこいの丘
宮下町（三）
宮下町（二）
宮下町（一）
木原病院
べっくおおやまずみじんじゃ 別宮大山祇神社
森見公園
55 なんこうぼう 南光坊
今治プラザホテル
今治市役所
今治第一病院
瀬戸内海病院
今治ステーションホテル
今治第一ホテル
クラウンヒルズ今治
ホテル福亭
今治アーバンホテル
シクロの家
今治駅
浅川
山方町（一）
山方町（二）
姫坂神社
今治北高校
大谷墓園
忠霊塔
北宝来町（二）
放射線第一病院
今治第二病院
今治明徳高校
北日吉町（二）
北日吉町（一）
キスケのゆ
南宝来町（一）
旭町（一）
中日吉町（一）
日吉中学校
常盤公園
藤井病院
中日吉町（二）
今治精華高校
常盤小学校
常盤町（五）
南日吉町（一）
南宝来町（二）
阿方店
阿方貝塚史跡公園
山方公開緑地
マックスバリュ
今治明徳中学校
今治明徳高校矢田分校
今治明徳短大
真部クリニック
山路
今治市
山路公開緑地
山路町（一）
北日吉町（三）
中日吉町（三）
平山
馬越町（一）
安養寺
西中学校
今治西高校
常盤町（六）
常盤町（七）
泉川町（一）
泉川町（二）
蒼社町（一）
下矢田
蓑越
馬越町（三）
馬越公園
イオン
井出病院
今治南高校
今治IC
馬越町（二）
馬越町（四）
ひねのクリニック
常盤町（八）
南日吉町（二）
蒼社町（二）
市制50年記念公園
片山
56 たいさんじ 泰山寺
片山（一）
片山（二）
山内病院
鯉池（一）
鯉池（二）
鯉池（三）
河南町（三）
りゅうせんじ 龍泉寺
小泉
小泉（一）
N
「四国遍路」巡礼マップ
第55番 南光坊 ▶ 第56番 泰山寺
3.0km ※赤い点線は遍路道の一例です
《凡 例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
公衆トイレ
医療機関
道の駅
ファミリーレストラン
店舗・スーパー
温泉
コンビニエンスストア
コインランドリー
学校
0 縮尺＝1:12,000 500m
〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」
へんろみち周辺の宿泊施設
1 しまなみゲストハウス「シクロの家」 0898-35-4496
2 今治アーバンホテル 0898-22-5311
3 クラウンヒルズ今治 0898-23-0005
4 ホテル福亭 0898-22-1285
5 今治ステーションホテル 0898-22-5340
6 今治第一ホテル 0898-22-1320
7 今治プラザホテル 0898-25-2500
各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第56番 泰山寺
●愛媛県今治市小泉1-9-18
☎0898-22-5959
●宿坊／なし

第57番 栄福寺
●愛媛県今治市玉川町八幡甲200
☎0898-55-2432
●宿坊／なし

沿線の見どころ

竹庭 清正乃湯

ナトリウム泉や炭酸水素塩泉など、効能豊かな湯が揃う温泉施設。広大な竹林の中に露天風呂が点在しており、散策気分で温泉を満喫しながら、旅の疲れを癒やすことができる。内湯や備長炭サウナのほか、家族やグループでのんびりと過ごせる温泉付きの貸別荘も完備している。

所 愛媛県今治市高橋甲1350-1
泰山寺から南西へ約1.6Km
☎ 0898-34-0034
営 13:00～24:00
休 無休
料 1,000円（15歳未満は入場不可）

境内の見どころ

地蔵車

六道輪廻を現した地蔵車。石塔に輪があり、これを回すと六道輪廻の絆を断てるといわれている。参拝者は、一回一徳を願って車輪を手前に回転させ、手を合わせて拝むのだそう。この車輪は人生の時計を意味しているといわれ、回り巡ってくる輪廻思想に基づいて名付けられたものだとも伝えられている。

境内の見どころ

不忘松（忘れずの松）

大師堂のそばにあった不忘松は、弘法大師が一寺を建立した際に御手植えされたという松の木。一度枯れてしまい、今は古い切り株が残っている。この切り株は腰痛に霊験あらたかだといわれている。その横には子株として育っていた4株のうちの1株が植えられている。小さいながらも見事な枝ぶりだ

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

もとは金輪山の山頂にあった泰山寺

第56番 金輪山 勅王院 泰山寺
きんりんさん　ちょくおういん　たいさんじ

川の氾濫を鎮めた弘法大師が建立

歴史・全体像

弘法大師がこの地を巡錫していた弘仁6年（815）、豪雨のために蒼社川が氾濫した。当時、この川は毎年のように氾濫しており、地元の人は「人取川」と呼び、「氾濫は悪霊の祟りによっておこる」と恐れていた。そこで大師は村人たちを指導して堤防を建設。土砂加持の秘法を七座厳修された。その満願の日に延命地蔵が空中に出現。大師は示現した地蔵尊を刻んで本尊とし、一寺を建立した。寺名は『延命地蔵経』十大願の第一「女人泰産」からとって、泰山寺と名付けられた。当初は山頂に位置していたという。

天長元年（824）には、淳和天皇の勅願所として七堂伽藍が完成した。

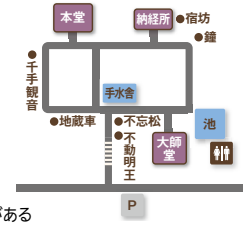
境　内

のどかな田園地帯の高台に、石垣に囲まれて建つ泰山寺。山門はなく、細い路地から階段を上った境内には、本堂、納経所、宿坊が一列に並んでいる。秘仏である本尊の木彫地蔵座像は、当地方屈指の巨像。

宿坊の前にある大師堂は、昭和60年（1985）に建立された比較的新しい建物。そばには金剛杖を持ち、菅笠をかぶった大師像がたち、訪れたお遍路さんを見守っている。鐘楼、通夜堂、納経所も趣のある佇まいだ。鐘楼は、明治14年（1881）、今治城内にあった太鼓楼の古材で再建されたといわれており、四国霊場と今治城の縁の深さが感じられる。

御詠歌／みな人のまいりてやがて泰山寺来世の引導たのみおきつつ
本尊／地蔵菩薩
真言／おん かかかび さんまえい そわか
宗派／真言宗醍醐派
開基／弘法大師

境内の左端にある本堂。目の前に地蔵車がある



JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第56番　泰山寺 ▶ 第57番　栄福寺

3.1km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

56 泰山寺（たいさんじ）

龍泉寺（りゅうせんじ）

57 栄福寺（えいふくじ）

縮尺=1:10,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第57番 栄福寺
●愛媛県今治市玉川町八幡甲200
☎0898-55-2432
●宿坊／なし

第58番 仙遊寺
●愛媛県今治市玉川町別所甲483
☎0898-55-2141
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

今治市玉川近代美術館

今治市（旧玉川町）出身の故徳生忠常氏が全資金を提供し「心温まる名画の美術館」として昭和61年に設立、ふるさとに寄贈した。明治以降の日本近代洋画の大家・黒田清輝、藤島武二や、近代美術史を彩る中村彝（つね）、郷土出身の野間仁根（ひとね）などのほか、海外作家のピカソ、ルオー、ユトリロらの作品を所蔵。

所 愛媛県今治市玉川町大野甲86-4
栄福寺から西へ約3.8Km
☎ 0898-55-2738
開 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は原則翌日振替）、12/29～1/3
料 一般500円

境内の見どころ

大師堂の干支

大師堂はかつてこの寺が山頂にあった時の建物を移築したもの。建物の外回りにぐるりと施された十二支の干支の彫刻は、一見の価値あり。正面には玉をくわえた龍が、睨みつけるようにこちらを見ており、側面には虎などが彫られている。羊だけ姿が見えないが、実は隠し彫りされているという伝説がある。

境内の見どころ

お願い地蔵尊

境内の片隅に建つお願い地蔵尊は、願いごとを叶えてくれるといわれている。ふっくらとしたかわいらしいお顔をしているが、「見る度に表情が違う」と地元の人たちから信仰を集めている。また、栄福寺には江戸中期のお遍路さんの納経帳が残されており、四国遍路の貴重な資料として注目されている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

緑に抱かれ、石清水八幡宮への参道を背にして建つ本堂

第57番 府頭山 無量寿院 栄福寺

ふとうさん　むりょうじゅいん　えいふくじ

海の中から出現した御本尊

歴史・全体像

開基は弘法大師で、嵯峨天皇の勅願によって弘仁年間（810～824）に開かれた。周辺で海難事故が相次いでいることを知った大師は、府頭山の山頂で海神供養の護摩供を厳修。その満願の日に、海の中から阿弥陀如来が出現。この阿弥陀如来を本尊として堂宇を創建したという。

貞観元年（859）には、大安寺の行教上人が暴風雨に遭遇し、この地に漂着。府頭山が男山に似ていることに気づき、また阿弥陀如来が八幡大菩薩の本地仏であることにも縁を感じて、境内に社殿を建立。神仏習合の八幡宮を創建した。その後、明治元年の神仏分離令によって寺は現在の地に移転した。

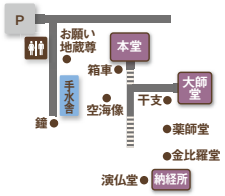
境　内

駐車場から延びる参道の先には石清水八幡宮があり、本堂は八幡宮への参道を背にした場所に建っている。本堂には一寸法師、大師堂には十二支の彫刻が施されている。

古社の趣がある本堂の廻廊には、霊験によって難病が平癒した少年遍路が奉納したという箱車が置かれている。昭和8年（1933）、足が不自由なため箱車で四国巡礼していた少年が、この寺を訪れた際に不注意で転倒。しかしその時、それまで立たなかった足腰がすっかり治っていたことから、箱車を奉納してお遍路を続けたという。この話にあやかってか、足腰守りの寺としても知られ、病気平癒の祈願をする人も多い。

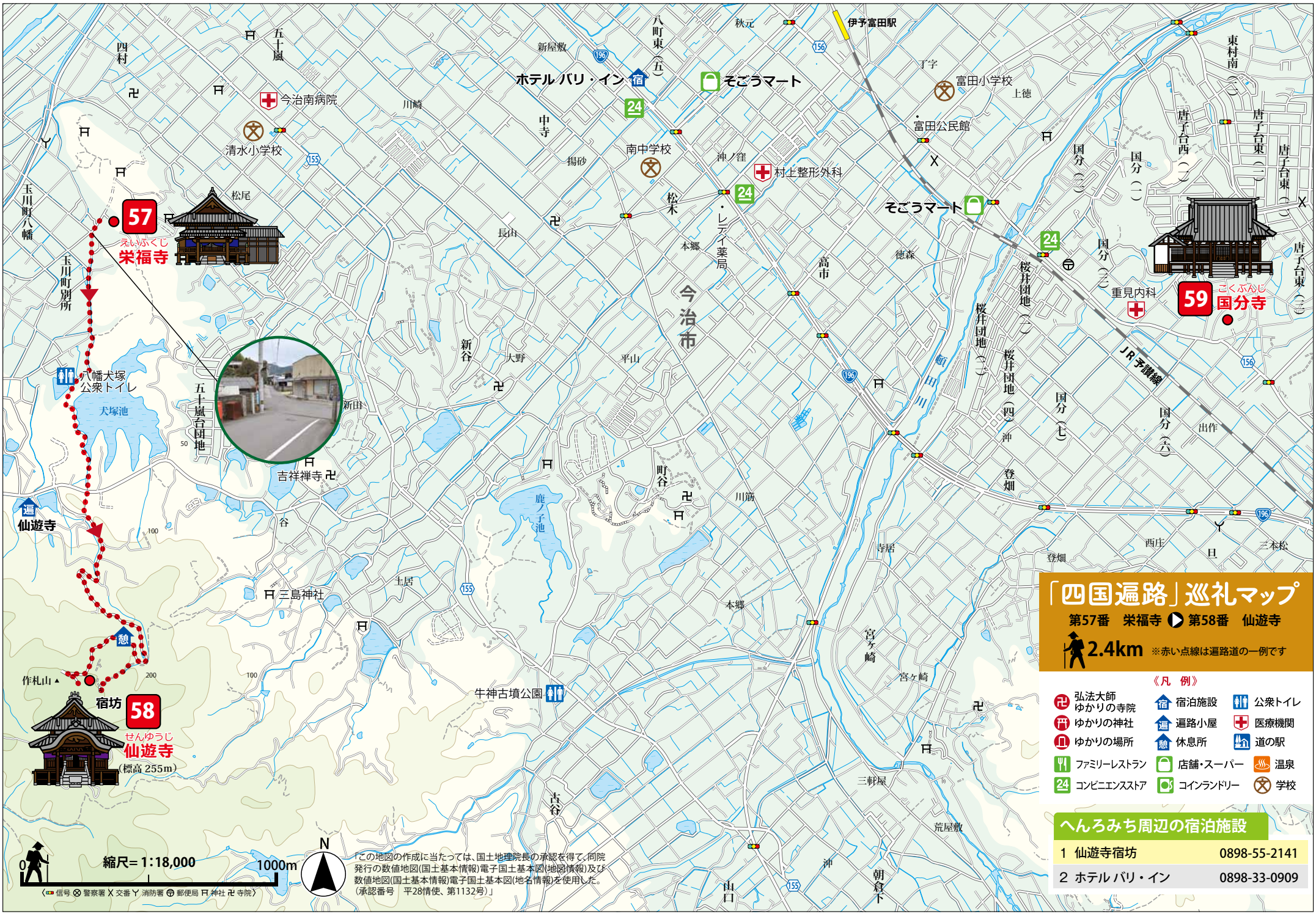
御詠歌／この世には弓矢を守る八幡なりらいせは人をすくうみだぶつ
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていせい からうん
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

本堂と廻廊で結ばれている大師堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第57番 栄福寺 ▼ 第58番 仙遊寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産


「四国遍路」巡礼マップ
第57番 栄福寺 ▶ 第58番 仙遊寺
2.4km ※赤い点線は遍路道の一例です
《凡 例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
店舗・スーパー
コインランドリー
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
へんろみち周辺の宿泊施設
1 仙遊寺宿坊 0898-55-2141
2 ホテル バリ・イン 0898-33-0909
57 栄福寺
58 仙遊寺
59 国分寺
ホテル バリ・イン
そごうマート
今治南病院
清水小学校
南中学校
村上整形外科
富田小学校
富田公民館
重見内科
八幡犬塚公衆トイレ
吉祥禅寺
三島神社
牛神古墳公園
伊予富田駅
JR予讃線
今治市
縮尺= 1:18,000
1000m
N
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」
各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第58番 仙遊寺
●愛媛県今治市玉川町別所甲483
☎0898-55-2141
●宿坊／あり（要予約）

第59番 国分寺
●愛媛県今治市国分4-1-33
☎0898-48-0533
●宿坊／なし

沿線の見どころ

伊予桜井漆器会館

約250年の歴史を持つ愛媛の伝統工芸、桜井漆器。伊予桜井漆器会館では、箸や小皿、弁当箱などの日用品から、ガラスに蒔絵を施したアート感覚の「花クリスタル」まで、幅広い商品が展示販売されている。製造工程を見学できるほか、併設の喫茶ルーム「花ぬり」ではカップやスプーンなど食器に漆器製品を取り入れている。

所 愛媛県今治市長沢甲340-1
仙遊寺から南東へ10Km
☎ 0898･48･0418
営 10:00～18:00
休 火曜（祝日の場合は翌日）

境内の見どころ

千体地蔵

本堂脇に並ぶのは、昭和の中頃から数多くの人たちが願を掛けて設置してきたというお地蔵様。大切な人の供養のためだったり、先祖供養のためだったりと、その理由は様々だ。お地蔵様は、一つひとつ表情や形が違っている。中央には、それらを見守るかのように弘法大師像が祀られている。

境内の見どころ

八十八ヶ所御砂踏

急な山道を上りきった境内の片隅には、修行大師像が祀られており、その周りを四国八十八ヶ所霊場の本尊の石仏がぐるりととり囲んでいる。すべての霊場をまわれないという人も、このお砂踏でじっくりとお参りをすればご利益があるという。また、大師像や石仏の醸し出す風情も、幽玄の趣に満ちている。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

四季折々の表情を見せる境内からは市街や瀬戸内海が一望できる

第58番 作礼山 千光院 仙遊寺
されいざん　せんこういん　せんゆうじ

仙人が遊んだという伝説が残る寺

歴史・全体像

海抜約300mの作礼山（されいざん）の山上にあり、「おされさん」の愛称で親しまれている。天智天皇（626～672）の勅願により国主・越智守興が堂宇を建立。海からあがった竜女が彫り上げたという千手観世音菩薩が本尊。竜女は竜登川を伝って作礼山にやってきたが、一刀刻むごとに三度礼拝していた。作礼山の名は、このエピソードに由来している。養老2年（718）までは、阿坊仙人が読経三昧の日々を送り、諸堂を整えた。平安時代には弘法大師が巡錫、荒廃した寺を再興して寺運を盛り上げた。明治時代には、宥蓮（ゆうれん）上人という高僧が山主となり信仰を集めたという。

境　内

境内には、宥蓮上人を供養する五輪塔が建立されている。また、水神さんをお祀りした放生池のそばには真新しい山門があり、これは子息の菩提を弔うために、ある夫婦が建立したもの。昭和22年（1947）の山火事で全堂が灰になったが、本堂は昭和28年（1953）に再建された、二層屋根の堂々とした建物である。本堂裏にある西浄は、身体障害者用のトイレを備えた立派なもの。境内からは今治市街や瀬戸内海の多島美が一望できる。山門からの歩き参道は、シャクナゲや紅葉など、四季折々の自然が目を楽しませてくれる。裏山には西国三十三所の観音石仏が点在している。

御詠歌／たちよりてされいの堂にやすみつつ六字をとなえ経をよむべし
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／高野山真言宗
開基／越智守興

焼失した本堂は昭和28年（1953）に再建

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第58番 仙遊寺 ▼ 第59番 国分寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第59番 国分寺
●愛媛県今治市国分4-1-33
☎0898-48-0533
●宿坊／なし

第60番 横峰寺
●愛媛県西条市小松町石鎚甲2253
☎0897-59-0142
●宿坊／なし

沿線の見どころ

道の駅 今治湯ノ浦温泉

今治市の東の玄関口ともいえる場所に位置する情報拠点。休憩コーナー、レンタサイクル（9時～17時）などが利用できるほか、瀬戸内の新鮮な海の幸を使った料理などが味わえるフードコーナーも人気。地元の特産品が並ぶ物産コーナーや、全国でも珍しい、湯ノ浦温泉の源泉をセルフで購入することができる温泉スタンドもある。

所 愛媛県今治市長沢甲252-2
☎ 0898･47･0990
営 9:00～18:00（7･8月のみ8:30～18:30）
休 無休

境内の見どころ

唐椿

境内には唐椿が植林されており、開花時期には艶やかな花でお遍路さんの心を和ませてくれる。菊にも似た大輪の花は、一見の価値あり。この花を見るために訪れる人もいる。また、創建当時の寺は現在の場所から東に100mほどのところにあった。「伊予国分寺塔跡」は国指定の史跡になっている。

境内の見どころ

握手修行大師

境内に入って右手にあるのは、等身大だといわれている握手修行大師像。左手に鉄鉢を持ち、右手で握手ができるようになっている。この大師像と握手をして祈願すると願いが叶うといわれ、多くの参拝者がこの大師像の手を握り、手を合わせている。ただし、一つしかお願いできないので注意を。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

創建当時は100m東にあり、その場所は国指定の史跡になっている

第59番 金光山 最勝院 国分寺
こんこうざん　さいしょういん　こくぶんじ

幾度も復興を遂げた伊予の国分寺

歴史・全体像

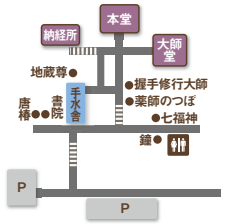
伊予の国分寺は天平13年（741）に行基が開基。当時は、七堂伽藍を備えた壮大な大寺院だった。弘法大師は第三世住職智法立師の時代に来錫。長く留まって五大尊の絵像一幅を残した。また、大師十大弟子の一人で、かつて高岳親王であった真如も2年ほど滞在した。天慶2年（939）には藤原純友の乱で堂宇が焼失。国主の援助で再興したが、元暦元年（1184）の源平合戦で再び焼失する。貞治3年（1364）には讃岐の細川右馬頭頼之が侵入し、三度、寺は焼かれた。その後も焼失と復興を繰り返した。現在の本堂は、寛政元年（1789）に43代住職の恵光上人が金堂として建立した。

境　内

風光明媚な唐子浜（からこはま）からほど近い、唐子山の麓に佇む寺。広々とした境内には石門を入って正面に本堂、大師堂、毘沙門天、書院などが並んでいる。書院には、奈良時代から平安初期にかけての寺宝や文化財、旧国分寺からの出土品などが、貴重な歴史資料として保存されている。県指定の文化財であり、寺宝でもある国分寺文書3巻は南北朝時代のものとされている。弘法大師像、大般若経なども興味深い。この寺の後は60番の横峰寺へと続くが、地理的には61番の香園寺と63番の吉祥寺を打ち終えてから、60番へと回るのがよいだろう。

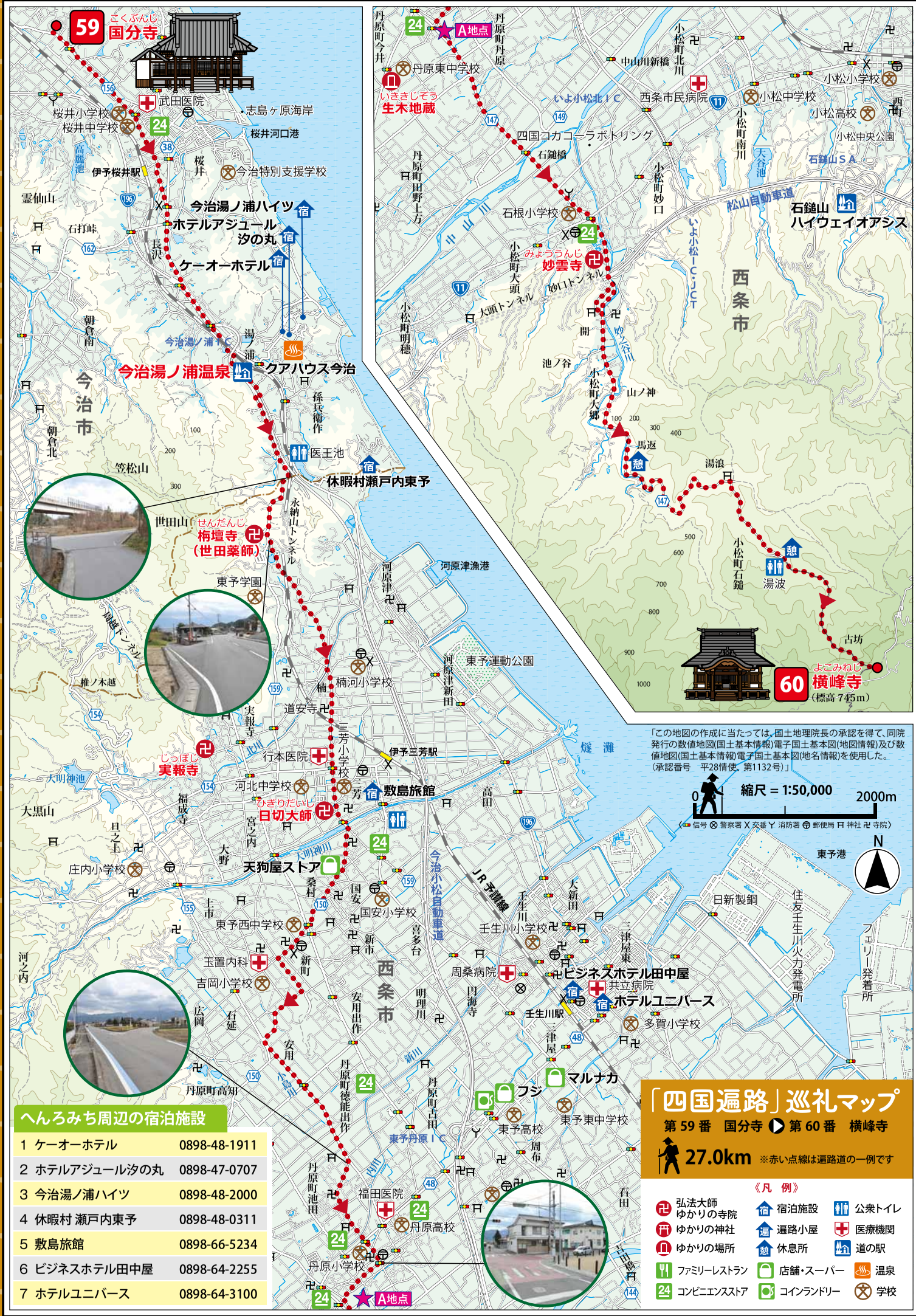
御詠歌／しゅごのためたててあがむる国分寺いよいよめぐむ薬師なりけり
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言律宗
開基／行基菩薩

本堂は寛政元年（1789）に建立



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第59番 国分寺 ▼ 第60番 横峰寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

「四国遍路」巡礼マップ

第 59 番　国分寺 ▶ 第 60 番　横峰寺

27.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	ケーオーホテル	0898-48-1911
2	ホテルアジュール汐の丸	0898-47-0707
3	今治湯ノ浦ハイツ	0898-48-2000
4	休暇村 瀬戸内東予	0898-48-0311
5	敷島旅館	0898-66-5234
6	ビジネスホテル田中屋	0898-64-2255
7	ホテルユニバース	0898-64-3100

第60番 横峰寺
●愛媛県西条市小松町石鎚甲2253
☎0897-59-0142
●宿坊／なし

第61番 香園寺
●愛媛県西条市小松町南川甲19
☎0898-72-3861
●宿坊／なし

沿線の見どころ

石鎚ふれあいの里

名峰・石鎚山の麓にある廃校を利用した宿泊施設。木造のケビン、キャンプ場、バーベキュー施設があり、夏は家族連れで賑わう。併設の食堂では日替わりの定食のほか、春には地元で採れた山菜料理、夏は流しそうめんなどが味わえる。食堂は11時から15時の営業、12月29日から2月末は休み。

所 愛媛県西条市中奥1号25-1
横峰寺から東へ13.4Km
☎ 0897-59-0203
営 9:00～18:00
休 12/29～1/3

境内の見どころ

仁王門

四国霊場で三番目の高地にある横峰寺。緑濃い木々に囲まれた本来の参道（遍路道）を行くと、堂々とした仁王門が現れる。元々、仁王像は寺から500mほど下った古坊という土地にあったものを現在の場所に移した。県内でも古い方に数えられる貴重なもので、造りも立派で見ごたえがある。

境内の見どころ

妻白大明神

寺に続く山道の途中には、横峰寺の氏神として開山以来、信仰をあつめている妻白大明神を祀った社がある。妻白大明神は豊作、商売繁盛、延命息災、家運隆昌など、諸願を叶えてくれるといわれる霊験あらたかな大明神。全国各地から多くの人が訪れ、ご縁を結びたいと祈念している。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

深山の趣あふれる境内は石楠花の名所としても知られる

第60番 石鉄山 福智院 横峰寺
いしづちさん　ふくちいん　よこみねじ

霊峰・石鎚山の中腹にある霊場

歴史・全体像

西日本最高峰・石鎚山（1982m）の山系中腹にある霊場。白雉2年（651）、星ヶ森（石鎚山遥拝所）で修行中の役行者小角は、石鎚山頂に蔵王権現の姿を見て、その姿を石楠花の木に刻んで小堂に安置した。

大同年間（806～810）には弘法大師も来錫。42歳の厄除け開運祈願のために石鎚山へ上った。星ヶ森で星祭りの修行をしていたが、結願の日に役行者と同じく蔵王権現の姿を見た。そこで、大師は本尊として大日如来を刻んで安置。第60番に定められた。その後、明治元年の神仏分離令で、石鎚山西遥拝所横峰社となるが、明治42年（1909）に横峰寺に戻った。

境　内

標高約750mに位置する寺に至る道は、途中の平野からは有料道路になっている。山頂の駐車場までは、登山専用のマイクロバスも運行している。駐車場からは約500mの道のりを徒歩で下って10分ほど。狭い山道を歩いていると、いにしえの遍路行の苦労が偲ばれる。境内の山際には石楠花が植えられており、花の名所としても名高い。5月には美しい花でお遍路さんの心をなごませている。本堂は神社風の権現造りで、どっしりとした風情と美しさを漂わせている。堂内には「神も仏も有り難いのは同じである」と説いた弘法大師の教義そのままに、左右大臣を祀っている。また、狛犬も一対ある。

御詠歌／たてよこにみねや山べに寺たててあまねく人をすくうものかな
本尊／大日如来
真言／おん　あびらうんけん　ばざらだとばん
宗派／真言宗御室派
開基／役行者小角

堂内には左右大臣や狛犬などもある

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第60番 横峰寺 ▼ 第61番 香園寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第60番　横峰寺 ▶ 第61番　香園寺

9.6km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第61番 香園寺
●愛媛県西条市小松町南川甲19
☎0898-72-3861
●宿坊／なし

第62番 宝寿寺
●愛媛県西条市小松町新屋敷甲428
☎0898-72-2210
●宿坊／なし

沿線の見どころ

湯の里 小町温泉 しこくや

第61番香園寺より車で10分足らずの温泉宿。露天風呂やジェットバス、サウナを備えた大浴場があり、日帰り利用もできる。天然温泉にゆったりと浸かりたい。宿泊は1名から可。隣接する「りんりんパークー」には、レストランや、美しい錦鯉や四季折々の花々に彩られた庭園がある。

所 愛媛県西条市小松町明穂甲47
香園寺から西へ4.5Km
電 0898-76-3388
営 入浴10:00～22:00
休 無休
料 入浴のみ大人480円

境内の見どころ

本堂・大師堂

大聖堂は、本堂と大師堂を兼ねた鉄筋コンクリート造りの建物。1階が大講堂、2階が本堂と大師堂になっており、境内中央奥に本尊が祀られている。大聖堂は正面から本尊を拝むことができるほか、横の入り口から内陣に入ることもできる。本堂だけでも600余りの固定席があり、まるでコンサートホールのようだ。

境内の見どころ

子安大師像

安産祈願所として知られる香園寺。門前で苦しんでいる身重の婦人を見つけた大師が、栴檀の香を焚いて加持祈祷をすると、婦人は元気な男子を無事に出産したという伝説が残っている。背中にゴザを背負い、右手に錫杖を持ち、左手に赤ちゃんを抱いた子安大師像は、子を想うやさしさに溢れている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

広々とした境内にはモダンな建物が並ぶ

第61番 梅檀山 教王院 香園寺
せんだんさん　きょうおういん　こうおんじ

聖徳太子ゆかりのモダンな寺

歴史・全体像

用明天皇（585～587）の病気平癒を祈願して聖徳太子が創建したと伝えられている。この時、金衣白髪の老翁が飛来、本尊の大日如来を安置した。天平年間（729～749）には行基が、大同年間（806～810）には弘法大師が来錫。一時は七堂伽藍、6坊を備えていたが、長宗我部元親による天正の兵火で堂宇を焼失。大正2年（1913）に再建された。大正の初期には当時の住職・山岡瑞園師が子安講を創始。子安大師の四請願を旗印に、国内及び海外を行脚。全国に20万人の講員を獲得した。子安大師は、現在も多くの人から「子安の大師さん」と呼ばれ、信仰を集めている。

境　内

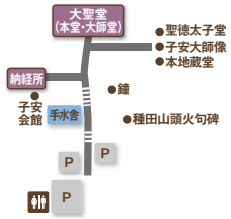
小松町のはずれ、山の麓に約1万坪の敷地を誇る香園寺は、聖徳太子ゆかりの寺である。お遍路さんを迎えるのは、鉄筋コンクリート造りの大聖堂（本堂・大師堂）だ。モダンな建物で、1階は大講堂、2階に本堂と大師堂があり、設備も行き届いている。

この寺をお詣りして子宝に恵まれたという夫婦から奉納された赤ん坊の写真が、寺の建物のいたるところに飾られている。その数は年間数千にも及ぶそうで、篤い信仰を集めていることを物語っている。

奉納された写真の数だけ、元気な赤ちゃんが誕生したと想像すると、微笑ましくなる。

御詠歌／のちのよを思へばまいれ香園寺とめてとまらぬしらたきの水
本尊／大日如来
真言／おん　あびらうんけん　ばざらだとばん
宗派／真言宗御室派
開基／聖徳太子

大聖堂に祀られている黄金色の大日如来



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第61番 香園寺 ▼ 第62番 宝寿寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第61番　香園寺 ▶ 第62番　宝寿寺

1.3km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	同行民宿「鈴」	0898-72-6123
2	ビジネス旅館小松	0898-72-5881

縮尺= 1:10,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第62番 宝寿寺
●愛媛県西条市小松町新屋敷甲428
☎0898-72-2210
●宿坊／なし

第63番 吉祥寺
●愛媛県西条市氷見乙1048
☎0897-57-8863
●宿坊／なし

沿線の見どころ

石鎚山ハイウェイオアシス館

松山道石鎚山SAと国道11号のどちらからもアクセス可能。地域の旬の野菜や果物が揃う市場やお土産コーナー、レストラン、石鎚山の四季折々の写真を展示する写真美術館がある。隣接する「椿交流館（椿温泉こまつ）」は、自慢の天然温泉や地元料理を満喫できる癒やし処。展望デッキには足湯もあり、無料で利用できる。

所 愛媛県西条市小松町新屋敷乙22-29
☎ 0898-76-3111
営 9:00～18:00
（椿交流館10:00～22:00、札止21:30）
休 無休（椿交流館は水曜（祝日の場合は営業））
料 入浴料大人400円

境内の見どころ

一宮稲荷

明治10年（1877）、四国遍路の行者・大石竜遍上人が寺の再興にあたり、京都の伏見稲荷、岡山の最上稲荷、愛知の豊川稲荷の三神を護法神として迎え、寺門の興隆、諸人の護世安楽を祈願して建立した。以来、多くの人々から信仰を集めている。参道を入って右側にあるので忘れずに参拝をしよう。

境内の見どころ

安産観音像

弘法大師が留錫していた時、国司越智公夫人が難産で苦しんでいた。大師が境内の玉の井の霊水で加持されたところ、見事に玉のような男児が誕生したという。以来、本尊は安産の観音として篤い信仰を集めている。おだやかな顔をした安産観音像の周りには木が植えられており、やさしく枝を広げている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

参道の左側には趣のある石庭が見られる

第62番 天養山 観音院 宝寿寺
てんようざん　かんのんいん　ほうじゅじ

国道沿いの賑わいの中に佇む寺

歴史・全体像

聖武天皇は天平年間（729～749）に大己貴尊の神託を受け、諸国に一の宮を建立した。宝寿寺は伊予国一の宮の法楽所として建立され、当初は金剛宝寺と称していた。大同年間（806～810）には弘法大師が来錫。光明皇后をかたどった十一面観音を刻んで本尊とし、四国霊場の第62番に定めた。当時は山手川・中山川の近くにあったため、幾度となく河川の氾濫に遭い、破損・再建を繰り返す。天正13年（1585）に豊臣秀吉の四国征伐で壊滅された後、寛永13年（1636）に宥伝上人により再建されたが、明治の神仏分離令による廃仏毀釈で廃寺に。明治10年（1877）に再建された。

境　内

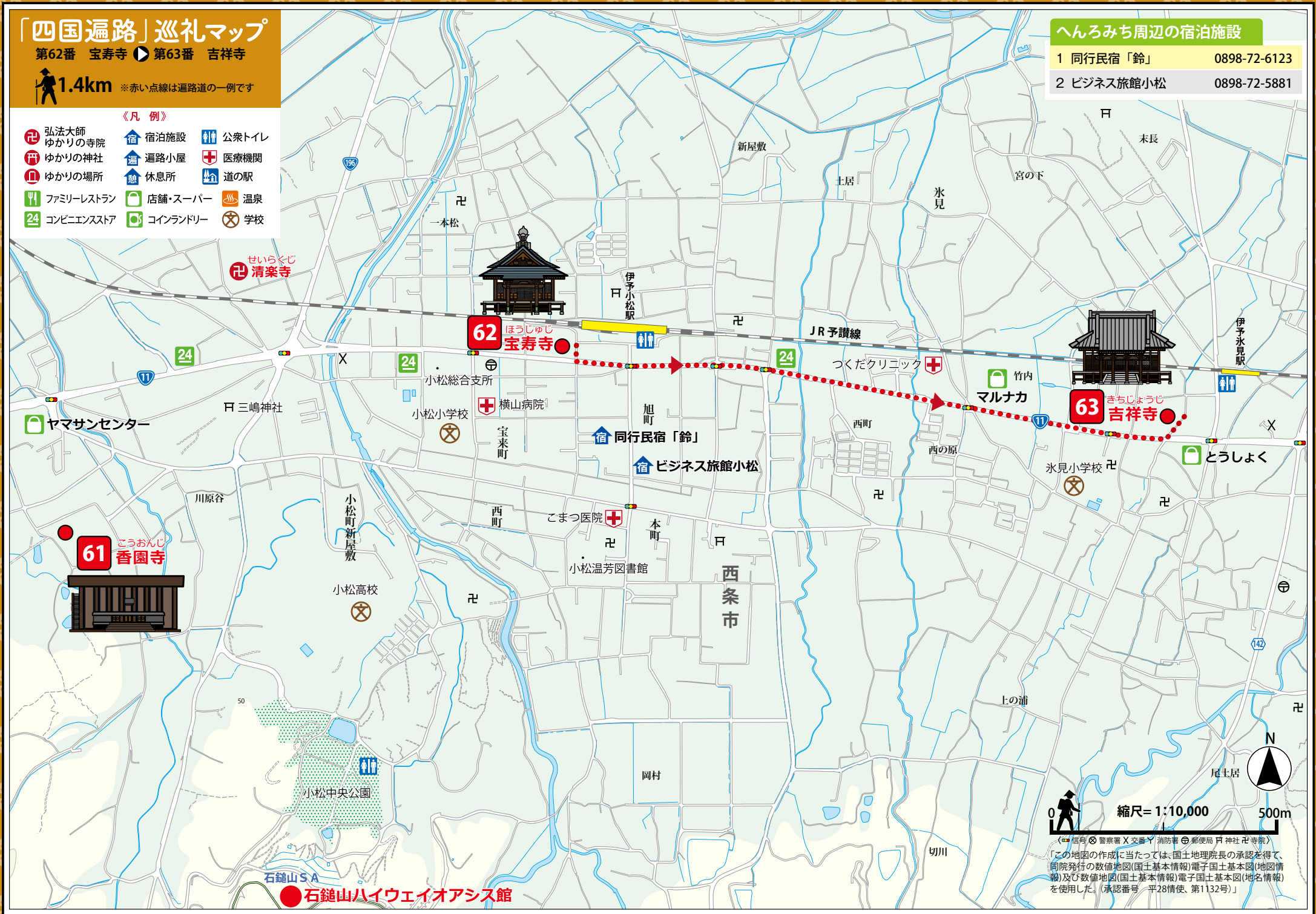
大正10年（1921）にJR予讃線の開通にともなって、もともと境内があった場所から100mほど西に位置する現在地に移された。JR伊予小松駅からほど近く、国道11号沿いという賑わいの場所にあるが、境内はしっとりとした風情を漂わせている。門前には、「一国一宮別当宝寿寺」の石碑が建てられている。真念が建てたという道標も残されていたが、現在は愛媛県歴史文化博物館にて保管中。参道の正面にある建物は旧本堂で、正面右奥が本堂、右手前が大師堂となっている。なお、弘法大師が刻まれた十一面観音は秘仏のため拝観はできない。このほか、安産観音像や一宮稲荷などもある。

御詠歌／さみだれのあとにいでたる玉の井はしらつぼなるや一の宮かは
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／高野山真言宗
開基／聖武天皇

大師堂が本堂に。旧本堂は参道正面に

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第62番 宝寿寺 ▼ 第63番 吉祥寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第63番 吉祥寺
●愛媛県西条市氷見乙1048
☎0897-57-8863
●宿坊／なし

第64番 前神寺
●愛媛県西条市洲之内甲1426
☎0897-56-6995
●宿坊／なし

沿線の見どころ

湯之谷温泉

霊峰石鎚山の"ご縁"から始まった温泉。良質の源泉（療養泉）が湧き出る。宿泊は一般和室客室のほか、露天風呂付宿泊棟やゲストルームも新設。日帰り入浴、ランチカフェ、無料の足湯も楽しめる。泉質はナトリウム・塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉。伊予の三古湯の一つといわれている。

所 愛媛県西条市洲之内甲1193
吉祥寺から東へ3.4Km
☎ 0897･55･2135
営 8:30～22:00
休 無休
料 入浴のみ大人400円

沿線の見どころ

石鎚神社

前神寺の西方に本社、石鎚山中腹に成就社と土小屋遥拝殿、標高1982ｍの山頂に頂上社があり、この4社を総称して石鎚神社という。弘法大師空海も修行したと言われ、山岳信仰の霊場として崇拝されてきた。7月1日～10日の夏季大祭では、御神像は頂上社に移され、多くの信者が登山参拝している。

所 愛媛県西条市西田甲797
☎ 0897･55･4044

境内の見どころ

くぐり吉祥天女

成就石のすぐ横にあるのは、本尊・毘沙聞天の妃である吉祥天の像。あらゆる貧困を取り除き、大富貴をもたらす仏様として篤い信仰を集めている。この像の下をくぐるとご利益があると伝えられており、「くぐり吉祥天女」の名で多くの人に親しまれている。優雅な立ち姿が印象的だ。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内には「四国唯一体毘沙聞天王鎮座」の門柱もある

第63番 密教山 胎蔵院 吉祥寺
みっきょうざん　たいぞういん　きちじょうじ

四国霊場で唯一毘沙聞天が御本尊

歴史・全体像

四国霊場の中で唯一、毘沙聞天を本尊としている寺。門柱にも「四国唯一体毘沙聞天王鎮座」と刻まれている。

弘仁年間（810～824）、弘法大師が坂元山山中（現在の寺の南東に位置する山）を通っていた時に、光を放っている檜を発見した。その木に一刀三礼して毘沙聞天と脇仏の吉祥天、善膩師童子を刻んだと伝えられている。弘法大師によって開かれた寺は、天正13年（1585）に豊臣秀吉の四国征伐による兵火で全山を焼失してしまう。

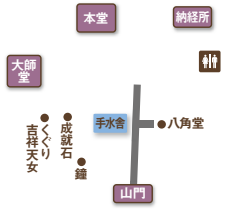
万治2年（1659）には、末寺の檜木寺と合わせて、現在の場所に移され再興した。

境　内

まるで城門を思わせる立派な造りの山門を入ると、正面が本堂。大師堂はその左側にあり、いずれも素朴ながら歴史を感じさせる建物だ。境内はこぢんまりとしており、ひと目で全体が見渡せる。この寺には秘仏のマリア観音（非公開）という珍しい観音像が保管されている。これはキリストを従えたマリア様の高麗焼の純白像で、高さは30cmほど。長宗我部元親がイスパニア船の船長から貰い受けたものといわれている。また、山門から入って右手にある八角堂には、本尊の毘沙聞天を除く七福神のうちの六福神が祀られているので、こちらにもお参りしておきたい。

御詠歌／身の中の悪しき悲報をうちすててみな吉祥をのぞみいのれよ
本尊／毘沙聞天
真言／おん　べい　しらまんだや　そわか
宗派／真言宗東寺派
開基／弘法大師

歴史を感じさせる流麗な造りの本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第63番 吉祥寺 ▼ 第64番 前神寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

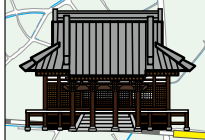
「四国遍路」巡礼マップ

第63番　吉祥寺 ▶ 第64番　前神寺

3.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校



伊予氷見駅

63 きちじょうじ 吉祥寺

とうしょく

ヤマサンセンター

休日夜間急患センター

西中学校

相生

末長

朝日町

楢木

石鎚山駅

JA

西条市

野々市

橘小学校

西泉

西田

棚林

坂元

尾土居

北山

長谷

石鎚神社

64 まえがみじ 前神寺

N

0　縮尺= 1:11,000　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

至、いよ小松ＩＣ

松山自動車道

至、西条ＩＣ

湯之谷トンネル

第64番 前神寺
●愛媛県西条市洲之内甲1426
☎0897-56-6995
●宿坊／なし

第65番 三角寺
●愛媛県四国中央市金田町三角寺甲75
☎0896-56-3065
●宿坊／なし

沿線の見どころ

マイントピア別子

鉱山の町として栄えた新居浜市・別子地区の歴史を学び、体感できるテーマパーク。産業遺産が点在し、"東洋のマチュピチュ"と呼ばれ人気を集めている「東平（とうなる）ゾーン」や鉱山観光をはじめとする体験型施設やレストランなどを擁する「端出場ゾーン」があり、大人も子どもも一日中楽しめる。

所 愛媛県新居浜市立川町707-3
☎ 0897-43-1801
営 施設により異なる
休 無休（2月に1週間程度の休みあり）
料 入館無料、鉱山観光大人1,200円

沿線の見どころ

四国鉄道文化館

JR伊予西条駅のそばに佇む。館内では、初代0系新幹線の先頭車両や準鉄道記念物に指定されているDF50型ディーゼル機関車1号機など貴重な鉄道車両6両や、昔懐かしの鉄道グッズを展示。また、予讃線を走る列車や、駅の構内に残る大正時代に建てられた給水塔を望むことができる。

所 愛媛県西条市大町798-1
☎ 0897-47-3855（十河信二記念館）
営 9:00～18:00（入館は17:30まで）
休 水曜（祝日の場合は翌日）
P あり（50台）

境内の見どころ

御滝不動尊

大師堂から本堂へと向かう参道の途中、石段の右側にあるのが、御滝不動尊だ。かつてはここで滝打修行が行われていたそうだが、現在の水量はごくわずか。たくさんの1円玉が張り付いているが、これは1円玉を投げ入れて、見事にくっつくと、ご利益があるといわれているため。多くの人が運試しを行っている。

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

小高い丘に位置する前神寺は、春になると桜の花が咲き乱れる

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第64番 前神寺 ▼ 第65番 三角寺

第64番 石鉄山 金色院 前神寺

いしづちさん　こんじきいん　まえがみじ

霊峰に抱かれて静かに佇む寺

歴史・全体像

奈良時代の初期に役行者小角が開基したと伝えられている。もとは常住（成就）にあり、石鉄大権現が祀られていたことから、桓武天皇（781～806）が病気平癒を祈願。見事に成就したため、七堂伽藍を建立して金色院前神寺と称し、勅願所とした。弘法大師は2度も石鎚山に登山し、求聞持法を修した。文徳天皇をはじめ歴代天皇が帰依したことでも知られる。中世には領主河野氏、江戸時代には西条藩主松平氏らが信仰。松平氏は東照宮を祀り、三葉葵の寺紋を許した。石鎚山の別当寺を務めたが、明治の神仏分離で寺は廃寺に。その後、明治11年（1878）に現在地に移され、再興された。

境　内

境内には古い灯籠が何基もあり、老木とともに寺の歴史を物語る。参道には鬱蒼と杉木立が生い茂り、深山幽谷の趣。桜の時期には周辺がピンクに染まる。参道奥にある本堂は、昭和47年（1972）に再建された。入母屋造り、青い銅板屋根の美しい建物である。本尊は阿弥陀如来。大師堂は方形造りの建物。このほかに境内には蔵王大権現の社である権現堂、金毘羅堂、薬師堂、護摩堂などもあり、見ごたえたっぷりだ。

毎年7月1日～10日（1日のみ女人禁制）の「お山開き」には、白装束を身にまとった信者たちが集まる。石鎚山の山頂近くには奥の院・奥前神寺がある。

御詠歌／前は神うしろは仏ごくらくのよろづの罪をくだくいしづち
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていせい からうん
宗派／真言宗石鉄派
開基／役行者小角

青い銅板屋根の本堂は昭和47年再建

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第64番　前神寺 ▶ 第65番　三角寺

45.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

64 まえがみじ 前神寺

65 さんかくじ 三角寺（標高 353m）

《凡例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1	愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合	089-931-0638
2	(一社) 西条市観光物産協会	0897-56-2605
3	(一社) 新居浜市観光協会	0897-32-4028
4	四国中央市観光協会	0896-28-6187

縮尺= 1:50,000　0　2000m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第65番 三角寺
●愛媛県四国中央市金田町三角寺甲75
☎0896-56-3065
●宿坊／なし

第66番 雲辺寺
●徳島県三好市池田町白地ノ口ウチ763-2
☎0883-74-0066
●宿坊／なし

沿線の見どころ

椿堂 常福寺

弘法大師の杖立て伝説にまつわる大きな椿の木が茂る寺院。三角寺で修行した弘法大師がこの地の地蔵堂へ立ち寄った際、熱病に苦しむ村人のために椿の杖を土にさし、病魔を土へ封じ込めた。後にこの椿が芽を吹いて成長したことから「椿堂」と呼ばれるようになったという。現在は近くにあった常福寺と合併。

所 愛媛県四国中央市川滝町下山1894
☎ 0896･56･4523
営 7:00～17:00（納経時間）

境内の見どころ

小林一茶ゆかりの山桜

寛永7年（1795）、この寺を訪れた小林一茶があまりの美しさに感嘆して「これでこそ登りかひあり山桜」と詠んだといわれる山桜は、鐘楼門をくぐった左奥にある。樹齢は300～400年にもなるといわれ、春は桜花を見に訪れる人も多い。大きく広がった枝は、何ヶ所も棒で支えられている。

境内の見どころ

三角の池

薬師堂に向かって右側にある三角の池。弘法大師は、この寺で21日間の秘法を修めたとされ、その時の三角形の護摩壇の跡が三角の池になったといわれている。寺名もこの護摩壇が三角形であったことに由来している。周囲十数ｍの池の中には三角形の島があり、七福神の唯一の女神・弁財天が祀られている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

木々に囲まれた境内は春には桜に彩られる

第65番 由霊山 慈尊院 三角寺
ゆれいざん　じそんいん　さんかくじ

伊予の関所寺は子授け祈願で人気

歴史・全体像

天平年間（729～749）、聖武天皇の勅願により、弥勒菩薩の浄土を現して行基が開基した。本尊の十一面観音は、弘法大師が弘仁6年（815）に巡錫した際に安置した。同時に不動明王像も刻まれ、護摩壇を作り降伏護摩の法を修めたという。

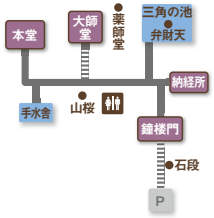
後に嵯峨天皇（在位809～823）が寺領三百町歩を下賜し、七堂伽藍が建立されるなど寺運は大いに栄えた。しかし、天正年間（1573～1592）になって、兵火のために堂宇を焼失。現在の本堂は、嘉永2年（1849）に再建されたものだ。また、子授け祈願の寺としても知られ、多くの人が訪れている。

境　内

72段の石段を上って寺の入り口へ。伊予最後の霊場は標高約430m、平石山の中腹にある静かな寺だ。本堂には「安産御腹帯授与所」の札がかかっており、これは本尊の十一面観音が安産、子育て、厄除けの仏様であることから。特に妊娠中の女性やその家族のお参りが多く、ご祈祷をうけた腹帯とお守りを授かることができる。このほか、足腰健康やぼけ封じとしても信仰されている。なお、檜材を使った一木造りの本尊・十一面観音は、平安前期の作と推定されている。大師堂は本堂からさらに上の高台にある。いずれも緑に囲まれて、風情のある眺めである。

御詠歌／おそろしや三つのかどにもいるならば心をまろく慈悲をねんぜよ
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん　まか　きゃろにきゃ　そわか
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩

安産を祈願し腹帯とお守りを受け取る



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第65番 三角寺 ▼ 第66番 雲辺寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

へんろみち周辺の宿泊施設

1	一野屋旅館	0896-56-3179
2	民宿岡田	0883-74-1001

「四国遍路」巡礼マップ

第 65 番　三角寺 ▶ 第 66 番　雲辺寺

19.3km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第66番 雲辺寺
●徳島県三好市池田町白地ノ口ウチ763-2
☎0883-74-0066
●宿坊／なし

第67番 大興寺
●香川県三豊市山本町辻4209
☎0875-63-2341
●宿坊／なし

沿線の見どころ

雲辺寺ロープウェイ

全長2594m、高低差は657m、雲辺寺のある山頂と香川県側の麓を約7分で結ぶ。定員101名のスイス製ゴンドラからは、三豊平野や瀬戸内海、晴れた日には岡山も望める。シーズンには山桜やツツジ、モミジが楽しめる。お遍路さんだけでなく、冬季営業のスキー場を訪れる客にも欠かせない足だ。

所 香川県観音寺市大野原町丸井1974-57
☎ 0875・54・4968
営 7:20～17:00（12～2月は8:00～）
休 無休
料 大人往復2,060円

沿線の見どころ

豊稔池堰堤

中世ヨーロッパの古城を思わせる、堤長145.5m、堤高30mの巨大なアーチダム。日本に2基のみ存在するマルチプル（多連式）アーチダム形式のうちのひとつで、5連の石積み形式は国内唯一。平成18年には国の重要文化財として登録された。毎年7月中旬から下旬に行われる「ゆるぬき」（放流）の風景は、讃岐の初夏の風物詩として知られている。

所 香川県観音寺市大野原町田野々
☎ 0875・54・2035（豊稔池土地改良区）
営 見学自由

境内の見どころ

五百羅漢像

羅漢とは釈迦の弟子となり悟りを開いた高僧のこと。ロープウェイ山頂駅より境内に向かう参道には、500体にも及ぶ羅漢像が並ぶ。その表情は一体ごとに異なり、参拝客を見つめる様は迫力がある。これらは、弘法大師入唐の際、初めて上陸した福建省赤岸鎮にある五百羅漢院の像を模して作られた。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

広々とした境内は見どころも多数。ゆっくりと散策したい

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第66番 雲辺寺 ▼ 第67番 大興寺

第66番 巨鼇山 千手院 雲辺寺
きょごうざん　せんじゅいん　うんぺんじ

「涅槃の道場」はここから始まる

歴史・全体像

香川と徳島の県境をまたぐ雲辺寺山（標高927m）の山頂にある雲辺寺は、霊場の中で最高峰に位置し、僧侶の学問修行の場として栄えたことから、別名「四国高野」とも呼ばれている。所在地は徳島県だが、讃岐「涅槃の道場」最初の霊場。この険しい山中に寺が創建されたのは延暦8年（789）、弘法大師が16歳の頃、善通寺建立の材木を求めて登山したところ、霊山の趣に惹かれ、一夜にして堂宇を建立。鎌倉時代には関所の役割も兼ねた大寺院であった。戦国時代に土佐の長宗我部元親がこの寺を訪れ、四国統一の野望を住職に打ち明けたが、土佐の国造りに専念するよう説かれた話は有名だ。

境　内

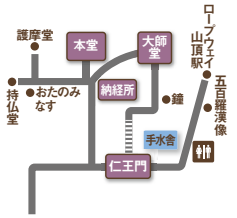
杉や檜などの古木に囲まれた広大な境内には、かつての繁栄ぶりを偲ばせる堂宇が建ち並び、山岳霊場独特の幽玄な世界を感じさせる。

本尊は平安時代、経尋作の千手観音。寺にはこの木造千手観音坐像のほか、木造毘沙門天立像、絹本著色聖衆来迎図といった国の重要文化財が安置されている（非公開）。また、新たな本堂が平成21年（2009）に完成。納経所は本堂と大師堂をつなぐ参道の間にある。

初夏には、アジサイが参道沿いに咲き誇り、参拝客の目を楽しませる。

御詠歌／はるばると雲のほとりの寺に来て月日を今は麓にぞ見る
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師

平成21年（2009）に完成した本堂



JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第66番　雲辺寺 ▶ 第67番　大興寺

9.4km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1　民宿おおひら　0875-63-2622

67 だいこうじ 大興寺

宿 民宿おおひら

はぎわらじ 萩原寺

豊稔池堰堤

66 うんぺんじ 雲辺寺（標高 911m）

観音寺市　三豊市　三好市　徳島県

縮尺＝1：30,000

0　500　2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第67番 大興寺
●香川県三豊市山本町辻4209
☎0875-63-2341
●宿坊／なし

第68番 神恵院
●香川県観音寺市八幡町1-2-7
☎0875-25-3871
●宿坊／なし

沿線の見どころ

道の駅 ことひき

琴弾公園内にある道の駅。観音寺市や香川県の物産品・土産品が購入できる。また、世界各地の珍しいコインや紙幣など約2,000点を展示した「世界のコイン館」、2016年にオープンした「太平正芳記念館」がある。観音寺市の祭りで登場する太鼓台の展示施設「観音寺市総合コミュニティセンター」や「郷土資料館」もあり、歴史や文化を学ぶことができる。

所 香川県観音寺市有明町3-37
☎ 0875・24・2150（観音寺市総合コミュニティセンター）、0875・23・0055（世界のコイン館）
営 9:00～17:00
休 月曜（世界のコイン館、郷土資料館）（祝日の場合は翌日）
料 世界のコイン館・太平正芳記念館共通入館料 大人300円、小中学生150円、郷土資料館無料

境内の見どころ

金剛力士像

仁王門で参拝客を出迎えるのは、高さが約3ｍある金剛力士像。四国の寺院の中では最大といわれている。寺伝によると高名な仏師であった運慶作。ただし、頭部だけは江戸時代に替えられたもの。カッと見開かれた目、阿吽の口元、たくましい腰の線など全体的に力強く、その迫力は見る者を圧倒する。

境内の見どころ

天台大師堂

本堂に向かって右手にあるのが中国の天台宗第三祖天台大師智顗（ちぎ）を祀る天台大師堂。中に納められている大師坐像は、彩色を施した檜材の寄木造りで鎌倉時代の作。頭巾をかぶり、納衣の上に袈裟をかけ、両手は腹の前で禅定印を結んでいる。天台大師の古い像は全国でも少なく、県の文化財に指定されている。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

長い石段を上りきった先に開ける広々とした境内

第67番 小松尾山 不動光院 大興寺

こまつおざん　ふどうこういん　だいこうじ

二大宗派が共存した異色の寺院

歴史・全体像

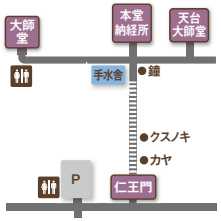
東大寺末寺として建立されたと伝えられる大興寺の歴史は古く、境内からは奈良時代のものを示す十四葉素弁の蓮華文軒瓦が出土している。後年、嵯峨天皇の勅願により弘法大師が熊野三所権現鎮護の霊場として再建した。現在は真言宗だが、本堂に向かって左側に弘法大師堂、右側に天台大師堂が並び、かつては天台と真言の二大宗派が共存する異色の寺院であった。修験者たちの道場として栄え、最盛期には真言宗24坊、天台宗12坊が境内に軒を連ねていたほど。薬師如来坐像、金剛力士像など香川県の文化財に指定されたものも多い。のどかな田園の中にあり、地元では「小松尾さん」の名で親しまれている。

境　内

寺の前の小川にかかった橋を渡り、仁王門をくぐると、樹齢1200年余りといわれるカヤとクスノキの大木が迎えてくれる。
長い石段を上りきった正面には本堂があり、その左右に二大宗派が共存していたことを示す二つの大師堂が建っている。現在の本堂は江戸時代の初期に再建されたもの。その中では何本もの赤いロウソクの火がゆらめく。これは「七日燈明」と呼ばれる秘法で、赤い大ロウソクに願いごとを書いて奉納すると、7日間ロウソクを灯し祈願してくれる。参拝できない遠方の人の奉納も多い。

御詠歌／植えおきし小松尾寺を眺むれば法の教えの風ぞ吹きぬる
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／弘法大師

七日燈明が行われる本堂



JAPAN HERITAGE
日本遺産

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第68番 神恵院
●香川県観音寺市八幡町1-2-7
☎0875-25-3871
●宿坊／なし

第69番 観音寺
●香川県観音寺市八幡町1-2-7
☎0875-25-3871
●宿坊／なし

沿線の見どころ

山口の井戸

琴弾公園内にある地下水。平安時代、日照りが続いて飲み水にも苦しんでいる人々を救おうと、観音寺の住職だった弘法大師が掘ったと伝えられている。昭和初期まで水源として使われていたものを整備、復元した。琴弾公園には美しい緑と朱塗りのそり橋を映す琴柱池（ことじいけ）もあり、四季折々の風景も壮観だ。

所 香川県観音寺市有明町琴弾公園内
☎ 0875･23･3933（観音寺市商工観光課）

沿線の見どころ

琴弾廻廊

外湯と内湯を合わせて8種類の風呂を備える温泉施設。広々とした野天風呂からは、有明浜を眺めることができる。内湯の古代檜漆風呂や海水を利用した潮風呂などがあり、どれも個性的。じんわりと汗をかく低温サウナの釜風呂（男女日替わり）は、岩盤浴感覚で楽しめる。旬の食材を使った料理を味わえる食事処「暈亭」も併設。

所 香川県観音寺市有明町6-6
☎ 0875･24･4567
営 10:00～23:00（札止22:00）
休 無休
料 大人650円

境内の見どころ

沓音天神（くつおとてんじん）

仁王門から境内に向かって行くと、左側にある天神様の社は、注意していないと見落としそうなほど小さい。一夜庵主であり、俳諧の祖・山崎宗鑑が尊崇していた。名前の由来は、ある夜、庵に誰かが訪ねてきたが、沓の音だけで姿形は見えず、後を追って行くと、この社で沓音が消えたという伝説から。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

仁王門から階段を上ると二寺院の堂宇が並び立つ

第68番 七宝山 神恵院

しっぽうざん　じんねいん

四国霊場唯一の「一山二霊場」

歴史・全体像

大宝3年（703）、法相宗の日証上人が琴弾山で修行をしていた時、宇佐八幡大神の神託を授かり、琴を積んだ神舟を発見した。上人は舟を引き上げ、琴弾山の山頂に社殿を造ってこれを祀り、琴弾八幡宮とその神宮寺を建立した。のちに弘法大師がこの地を訪れ、神宮寺第七世住職を務めた際、琴弾八幡宮の本地仏である阿弥陀如来を描いて本尊とし、寺号を神恵院と定めた。

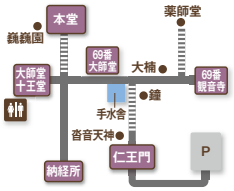
時が移り、明治時代の神仏分離令により琴弾八幡宮と神恵院は分離。神恵院は、社殿に安置されていた阿弥陀如来とともに、山の中腹にある観音寺の境内に移され、現在の形となった。

境　内

第69番札所である観音寺と境内を同じくし、四国霊場唯一の一山二霊場となっている。仁王門をくぐって左に神恵院、右に観音寺の本堂があり、納経は同じ場所で二ヶ寺分を一度に行う。平成14年（2002）に本堂を新築。一見、堂宇に見えないコンクリートの外壁に本堂への入り口がある。階段を上がり中に入ると、白木の本堂があり、現代的な素材と温もりのある木の組み合わせに驚かされる。以前本堂だった堂宇は、現在は薬師堂となっており、薬師如来像が安置されている。毎月8日には護摩祈祷が行われ、多くの参拝者が訪れる。

御詠歌／笛の音も松吹く風も琴弾くも歌うも舞うも法のこえごえ
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていぜい からうん
宗派／真言宗大覚寺派
開基／日証上人

階段を上ったところにあるモダンな本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第68番 神恵院 ▼ 第69番 観音寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第69番 観音寺
●香川県観音寺市八幡町1-2-7
☎0875-25-3871
●宿坊／なし

第70番 本山寺
●香川県三豊市豊中町本山甲1445
☎0875-62-2007
●宿坊／なし

沿線の見どころ

銭形砂絵

瀬戸内海国立公園内、琴弾公園の有明浜に描かれた巨大な砂絵。東西122m、南北90mもの大きさながら、江戸時代に領民が藩主を迎えるために一夜で造ったといわれている。「銭形を見た人は健康で長生きし、お金に苦労しない」という言い伝えがあり、琴弾山の山頂から全景を見ることができる。

境内の見どころ

釈迦涅槃像

お釈迦様が沙羅双樹の下で頭を北に向けて身を横たえている像で、臨終の姿を彫ったもの。同じ場面を描いた絵（涅槃図）は様々な寺院で見られるが、彫刻されたものは日本では数少ない。藤原時代の作とされ、国指定の重要文化財。通常は非公開だが、年に一度、2月15日の涅槃会の時のみ公開される。

境内の見どころ

十王堂と閻魔会

十王堂には閻魔大王をはじめとする地獄の審判「十王」が祀られている。閻魔会は観音寺の行事の一つで、1月16日と8月16日に十王堂で行われる先祖供養の法要。いつもはお遍路さんが目立つ境内だが、この日は近隣の人たちで賑わう。地獄の様子を描いた地獄絵図の軸画も公開され、供養の大切さを教えてくれる。

所 香川県観音寺市有明町14
☎ 0875・23・3933
（観音寺市商工観光課）

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

琴弾山を背景に、朱塗りの建物が映える

第69番 七宝山 観音寺

しっぽうざん　かんのんじ

朱塗りの堂が映える琴弾山麓の寺

歴史・全体像

大同2年（807）、弘法大師が琴弾八幡宮神宮寺（のちの神恵院）の第七世住職を務めていた時、寺の起源となった宇佐八幡大神の神舟は神功皇后ゆかりのものであり、観音の化身であると感得した。そこで、琴弾山の中腹に寺を建立、聖観世音菩薩像を彫って本尊とし、寺号を観音寺と定めた。寺の様式は奈良の興福寺に倣い、中金堂、東金堂、西金堂を備えた。中金堂を本堂として聖観世音菩薩を安置。西金堂には薬師如来像と十二将神像を、東金堂には弥勒菩薩を安置していた。

明治時代の神仏分離令により、観音寺の境内に神恵院が移され、現在の形となった。

境　内

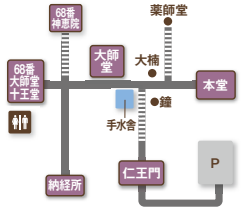
神恵院と敷地を同じくする境内は、背後に琴弾山がそびえ、立体感と奥行きがある。

仁王門から階段を上るとすぐ右側に見えるのは、本堂である中金堂。室町時代の部材を残し、江戸中期に建立されたもので、国の重要文化財に指定されている。そばには樹齢800年を超える大楠が枝を広げ、歴史の息遣いを感じさせる。

本堂の周囲には西国三十三所の三十三観音がずらりと並び、参拝者と地域の人々の平穏を見守っている。納経所は平成14年（2002）年に改修。神恵院大師堂の近くにあり、二ヶ寺分の納経を行っている。

御詠歌／観音の大悲の力強ければ
重き罪をも引き上げてたべ
本尊／聖観世音菩薩
真言／おん あろりきゃ そわか
宗派／真言宗大覚寺派
開基／日証上人

本堂は雅な室町時代の面影をたたえる



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第69番 観音寺 ▼ 第70番 本山寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第69番　観音寺 ▶ 第70番　本山寺

4.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

へんろみち周辺の宿泊施設

1	琴弾荘	0875-23-1111
2	ワカマツヤ（若松家本館）	0875-25-4501
3	旅館晩翠	0875-25-2158
4	ビジネスホテル観音寺	0875-23-1251
5	本大ビジネスホテル	0875-24-1384
6	一富士旅館	0875-25-3310

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第70番 本山寺
●香川県三豊市豊中町本山甲1445
☎0875-62-2007
●宿坊／なし

第71番 弥谷寺
●香川県三豊市三野町大見乙70
☎0875-72-3446
●宿坊／なし

沿線の見どころ

枯木地蔵堂

本山寺建立の大師伝説と結びついた小堂。弘法大師が祖谷山から切り出した用材を運ぶ途中、天邪鬼のイタズラによりその中の一本を落としてしまった。それを見つけた土地の人々は小堂を建て、地蔵を安置して祀るようになったという。今でも小堂の裏を覗くと、地蔵の下に古柱が祀られている。

所 香川県三豊市豊中町本山甲1835-3
☎ 0875・24・9231
（三豊市観光コンシェルジュ）

沿線の見どころ

ふれあいパークみの

弥谷寺のふもとにある道の駅。駅内にある「天然いやだに温泉大師の湯」は手ぶらで立ち寄れる手軽さが人気。毎日お湯を完全入れ替えし衛生的。広々とした浴槽でゆったりとくつろげる。プール利用の場合は、水着と水泳帽子の持参が必要。アスレチック公園も隣接しており、家族で1日遊べるスポットだ。

所 香川県三豊市三野町大見乙74
☎ 0875・72・2601
営 10:00～23:30（入浴・プール）
休 第2水曜

境内の見どころ

五重塔

寺の創建当初に弘法大師が建立。明治43年（1910）に、損傷が激しく見る影もない有様だった塔を復興。当時の住職であった盲目の頼富実毅僧正は、霊場巡りで59番国分寺を出て歩く途中、霊験を得て目が見えるようになった。その恩返しのために復興したと伝えられている。現在修復工事中（2018年まで）。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

仁王門から境内全体を見渡すことができる

第70番 七宝山 持宝院 本山寺

しっぽうざん　じほういん　もとやまじ

弘法大師による「一夜建立」の寺

歴史・全体像

大同2年（807）、本山寺は平城天皇の勅願で弘法大師が一夜ほどの短い間に建てたと伝えられることから、「一夜建立」の寺として知られている。この時大師は本尊の馬頭観音、脇士の薬師如来と阿弥陀如来を一刀三礼にて刻んだ。阿弥陀如来は「太刀受けの弥陀」とも呼ばれていて、その由来は戦国時代にさかのぼる。長宗我部元親が讃岐に攻め入った時、本山寺にも軍勢が押し寄せた。当時の住職が境内に押し入ろうとする兵を押し留めたが、斬られてしまう。兵が境内に入ると、阿弥陀如来の右の肘から血が滴り落ちていた。驚いた兵が境内から退いたことで、本山寺は兵火を免れたという。

境　内

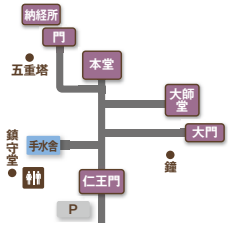
仁王門を入ると、正面にどっしりと構える本堂と五重塔が見え、その景色は壮観だ。

国宝に指定されている本堂は、寄棟造り、本瓦葺きの重厚な建物。正安2年（1300）に建てられた鎌倉時代の傑作とされている。

四国八十八ヶ所霊場で唯一の本尊、馬頭観音は、馬が盛んに草を食べるように、人間が持っている悪心や欲心、怒り、悩みをなくしてくれるという。それにちなんで、本堂右手に建つ大師堂の隣には、実物大の2頭の馬の像が立っている。

御詠歌／本山に誰か植えける花なれや春こそ手折れ手向けにぞなる
本尊／馬頭観世音菩薩
真言／おん あみりとう どはんば うん ぱった そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

建立当時の姿を残す本堂



JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第70番　本山寺 ▶ 第71番　弥谷寺

11.3km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	ほ志川旅館	0875-72-5041
2	ふれあいパークみの	0875-72-2601

縮尺＝1:20,000　0　1000m

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 〒 郵便局 ⛩ 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第71番 弥谷寺
●香川県三豊市三野町大見乙70
☎0875-72-3446
●宿坊／なし

第72番 曼荼羅寺
●香川県善通寺市吉原町1380-1
☎0877-63-0072
●宿坊／なし

沿線の見どころ

史跡曼荼羅寺道

弥谷寺と72番札所曼荼羅寺を結ぶ遍路道は曼荼羅寺道と呼ばれ、平成26年10月6日、国指定史跡讃岐遍路道に追加指定された。弥谷寺への石段を上った分岐のあたりから善通寺市碑殿町の蛇谷池の堤までの区間は、約0.9kmの山間部を通る未舗装の道で、江戸時代や明治時代の地形図などと比較してもほとんど変わらない姿を留めていることがわかる。

所 弥谷寺から曼荼羅寺までの遍路道のうち、史跡指定は三豊市三野町大見から善通寺市碑殿町蛇谷の区間
☎ 0877-63-6328（善通寺市生涯学習課）

境内の見どころ

阿弥陀三尊磨崖仏

大師堂から本堂に向かい石段を上る途中に見られる、岩壁に浮き彫りにされた磨崖仏。像高約1mにも及ぶ阿弥陀三尊で、大師が刻んだものと伝えられている。舟形光背に包まれたその表情はとても柔和だ。念仏を捧げると未来に極楽往生が約束されるともいわれており、厳かな気持ちにさせてくれる。

境内の見どころ

獅子の岩屋

大師堂の本尊の裏にある奥の院「獅子の岩屋」は、弘法大師が7歳の頃に学問に励み、再び入山した時に真言密教の修行をした場所と伝えられている。ここには、獅子が口を開いた形の岩窟があり、中には、厄除大師（四十二歳御姿）と佐伯善通卿（父君）、玉依御前（母君）など、数々の仏像が安置されている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

背後の岩壁からせり出すように建つ本堂

第71番 剣五山 千手院 弥谷寺
けんござん　せんじゅいん　いやだにじ

540もの石段は遍路有数の難所

歴史・全体像

古より「仏の山」として信仰されてきた弥谷山。天然痘の流行を鎮めるため行基が堂宇を建立し、聖武天皇の勅願により「大方広仏華厳経」を奉納したのが始まりとされる。遥か八国まで見渡せたことから、蓮華院八国寺と名付けられた。後に弘法大師が7歳の時、この山を訪れ、獅子の岩屋で苦行した。大同2年（807）、再び大師が修行したところ、天より剣が5本降り、金剛蔵王権現のお告げを聞いた。大師は千手観音を刻んで安置し、伽藍を再興。その際に山号を剣五山に、寺名を弥谷寺に改めたという。戦国時代に一度焼失。現在の寺は慶長5年（1600）に再興されたものである。

境　内

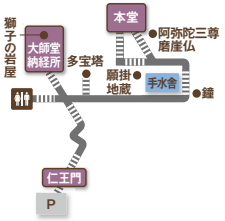
仁王門をくぐって勾配の急な石段をひたすら上る。納経所のある大師堂までは262段＋108段で、合計370段もある。

石段の脇には、地蔵尊や五輪塔があちこちに置かれている。大師堂は岩山に取り込まれたかのように建っており、そこからさらに170段上がったところに本堂が佇んでいる。こちらも大師堂と同じく、まるで岩壁を削って建っているかのようである。

途中、岩壁に阿弥陀三尊などの仏が浮き彫りにされている磨崖仏を数多く見ることができ、霊気漂う山であることをうかがわせる。

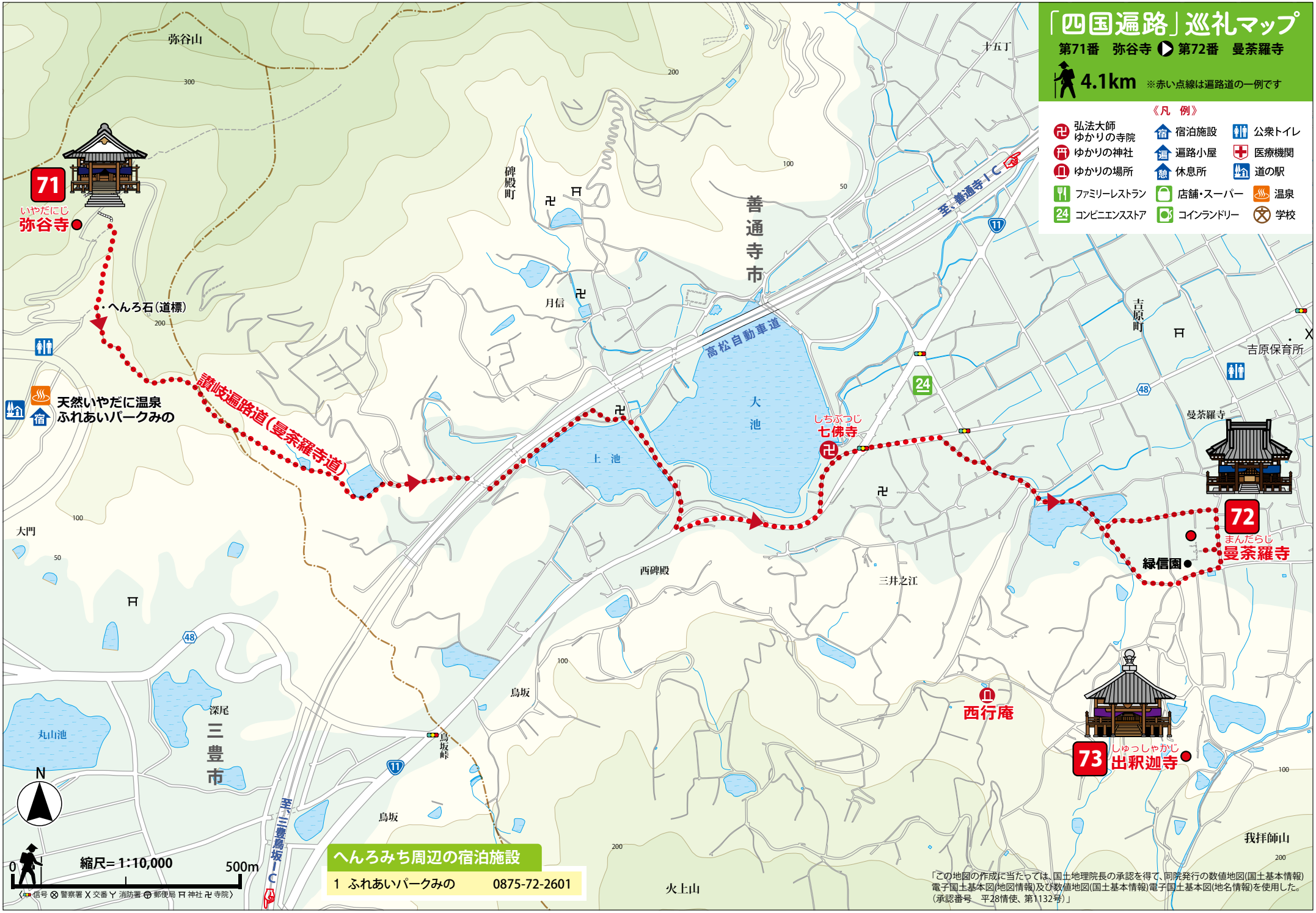
御詠歌／悪人と行き連れなんも弥谷寺ただかりそめも善き友ぞよき
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗善通寺派
開基／行基菩薩

大師堂の中に納経所と獅子の岩屋がある



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第71番 弥谷寺 ▼ 第72番 曼荼羅寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産


「四国遍路」巡礼マップ
第71番　弥谷寺 ▶ 第72番　曼荼羅寺
4.1km　※赤い点線は遍路道の一例です
《凡　例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
店舗・スーパー
コインランドリー
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
71
いやだにじ
弥谷寺
弥谷山
・へんろ石（道標）
讃岐遍路道（曼荼羅寺道）
天然いやだに温泉
ふれあいパークみの
碑殿町
月信
善通寺市
高松自動車道
至、善通寺IC
大池
上池
しちぶつじ
七佛寺
吉原町
吉原保育所
曼荼羅寺
72
まんだらじ
曼荼羅寺
縁信園
大門
西碑殿
三井之江
深尾
三豊市
丸山池
烏坂
烏坂峠
至、三豊鳥坂IC
西行庵
しゅっしゃかじ
73
出釈迦寺
我拝師山
火上山
N
縮尺= 1:10,000
0
500m
〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉
へんろみち周辺の宿泊施設
1　ふれあいパークみの　0875-72-2601
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」
各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第72番 曼荼羅寺
●香川県善通寺市吉原町1380-1
☎0877-63-0072
●宿坊／なし

第73番 出釋迦寺
●香川県善通寺市吉原町1091
☎0877-63-0073
●宿坊／なし

沿線の見どころ

西行庵

西行は、保元の乱（1156）に敗れ讃岐に流されて憤死した崇徳上皇の霊を慰めるため、弘法大師生誕の地である讃岐を訪れ滞在していた。善通寺西方の丘陵に結んだ「西行庵」から、しばしば曼荼羅寺を訪れていたという。また、善通寺近くにも「玉泉院西行庵」を結び、そこには『山家集』に詠んだ松の切り株が残っている。

所 香川県善通寺市吉原町
☎ 0877-63-6315（善通寺市商工観光課）

沿線の見どころ

緑信園

曼荼羅寺駐車場横にあるお接待所。冬は熱い煎茶、夏は甘くて冷たいグリーンティーが無料で頂ける。高瀬町の茶葉を使用し、グリーンティーはなんと自家製。心のこもったお茶を味わえば、疲れも取れるというもの。ベンチもあり、お遍路さんにとってありがたい休憩所だ。お土産に手頃な新茶なども販売している。

所 香川県善通寺市吉原町1380-1
☎ 0877-63-2395
営 7:00～17:00（季節により変更あり）
休 無休

境内の見どころ

笠松大師

平成14年（2002）の春に松くい虫のために枯死した、樹齢1200年の老松、通称「笠松」の幹の部分を使い、香川名物の一刀彫りで作られた弘法大師の像。笠松は菅笠を二つすっぽり伏せたような形だったため、そう呼ばれていた。古くは寺号を改めた記念に、弘法大師が手植えしたという伝説が残っている。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内では、時季になるとミカンなどの無人販売所が見られる

第72番 我拝師山 延命院 曼荼羅寺

がはいしざん　えんめいいん　まんだらじ

真言密教の根本を表す曼荼羅の寺

歴史・全体像

推古4年（596）、弘法大師の先祖である佐伯家を祀る寺として世坂寺が建立された。その後、大同2年（807）に、唐から帰国した弘法大師は母の仏果菩提を祈るためにこの寺を訪れ、青龍寺を模した伽藍を建てた。大日如来を刻んで本尊とし、さらに唐から持ち帰った金剛界と胎蔵界の曼荼羅も安置したことから、寺号を曼荼羅寺と改めたといわれる。

また、平安末期の歌人・西行法師が、讃岐に流され憤死した崇徳上皇の霊を慰めるために、弘法大師生誕の地である讃岐を訪れて滞在。しばしば境内で休んでいたという話があり、西行が詠んだ歌も残されている。

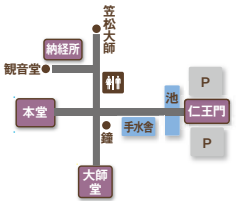
境　内

仁王門をくぐり石橋を渡ると、左には大師堂、目の前には本堂が見える。

本堂の中は、真言密教の根本となる曼荼羅の空間が広がっている。仏教の宇宙観を具現化した曼荼羅は、大日如来を中心に輪を描く仏の世界を表したもので、真ん中に大日如来が安置されている。さらに天井には、星座、法輪などが描かれた内陣と外陣の合計370枚からなる格天井が、仏の荘厳な世界を創り出している。また、駐車場の横にはお接待所の緑信園があり、香川県の茶どころ・三豊市高瀬町の香り豊かな茶葉で淹れた緑茶が無料で頂けるのがうれしい。

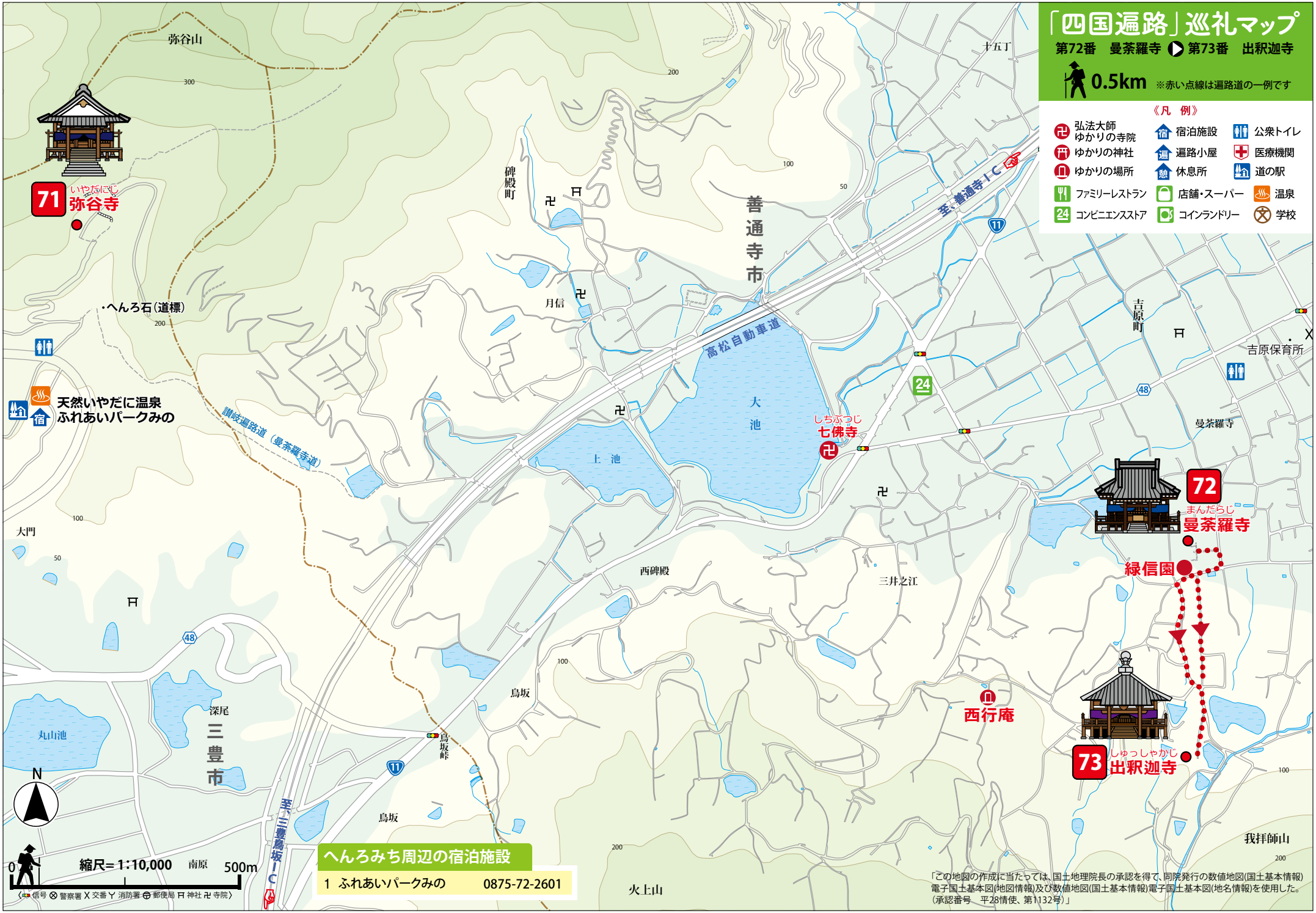
御詠歌／わずかにも曼荼羅おがむ人はただふたたびみたびかえらざらまし
本尊／大日如来
真言／おん　あびらうんけん　ばざらだとばん
宗派／真言宗善通寺派
開基／弘法大師

大師が学んだ曼荼羅世界が広がる本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第72番 曼荼羅寺 ▼ 第73番 出釋迦寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

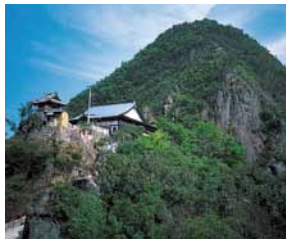


各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第73番 出釈迦寺
●香川県善通寺市吉原町1091
☎0877-63-0073
●宿坊／なし

第74番 甲山寺
●香川県善通寺市弘田町1765-1
☎0877-63-0074
●宿坊／なし

沿線の見どころ



我拝師山（がはいしさん）

標高481mの我拝師山。弘法大師が身を投げ、西行法師も歩いたといわれ、道沿いには石仏が点在している。奥の院禅定への山道は距離も長く、その斜度は相当なもの。整備されていない所もあるので、登山は体力と時間に余裕のある人におすすめ。写真は奥の院禅定から見た捨身ヶ嶽の眺め。

所 香川県善通寺市吉原町
☎ 0877-63-0073（出釈迦寺）

沿線の見どころ

柳の清水

出釈迦寺境内から捨身ヶ嶽禅定へ続く山道の途中にある湧き水。日照りでも涸れることがないとか。昔、病に倒れた堺の庄屋の娘が、お遍路さんの持っていた「柳の清水」を飲むことにより完治したという伝説がある。今でも、この水で薬を飲むと病気が治るといわれており、遠くからも水を汲みに来る人が後を絶たない。

所 香川県善通寺市吉原町
☎ 0877-63-0073（出釈迦寺）

境内の見どころ

奥之院遥拝所

我拝師山の頂上には大師が身を投げた岩場がある奥之院、捨身ヶ嶽禅定（しゃしんがたけぜんじょう）が建っている。境内から歩いて約40分もかかるため、登れない人は本堂横の階段を少し上がったところにある奥之院遥拝所を参拝する。ここで念仏を唱えれば、登ったのと同じご利益が得られるそう。

本堂、大師堂、納経所がまとまって建っている

第73番 我拝師山 求聞持院 出釈迦寺

がはいしざん　ぐもんじいん　しゅっしゃかじ

弘法大師が仏道入りを決意した寺

歴史・全体像

幼少の頃、弘法大師は八葉蓮華の中に座って諸仏と語らう夢を頻繁に見ていた。そして7歳の時、仏道に入って救世の大誓願を立てようと倭斬濃山（わしのやま）の山頂に立った大師は、「仏門に入って多くの人を救いたい。釈迦如来よ、この願いが叶うなら現れたまえ。叶わぬならば、一命を捨ててこの身を諸仏に捧げる」と願をかけ、身を投げた。すると、釈迦如来と天女が現れ、落下する大師を抱きとめ、「一生成仏」の旨を告げた。感激した大師は、後に釈迦如来の像を刻み、これを本尊として出釈迦寺を造った。倭斬濃山は、この時に我拝師山という名に改められ、頂上に奥之院が建てられたという。

境　内

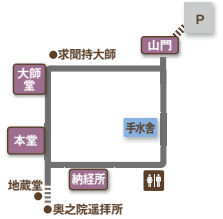
標高481mの我拝師山を背に建つ出釈迦寺。駐車場から山門の方を見上げると、全長6.5mもの高さがある修行大師像が立っている。

石段を上り、平成20年（2008）春に改修されて新しくなった山門をくぐると、こぢんまりとした境内に本堂と大師堂が軒続きで並ぶ。

大師堂に向かって右側には、求聞持大師の像が鎮座していて、弘法大師が虚空蔵菩薩の真言を百万回唱え、求聞持の法を修行する姿を表している。大師像は各地にいくつもあるが、この姿をした大師像があるのは出釈迦寺のみである。

御詠歌／迷いぬる六道衆生救わんと尊き山にいずる釈迦寺
本尊／釈迦如来
真言／のうまく　さんまんだ　ぼだなん ばく
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師

蒋と巻物を彫刻した欄間がある本堂



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁　JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第73番　出釈迦寺 ▶ 第74番　甲山寺

3.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

74 こうやまじ 甲山寺

75 ぜんつうじ 善通寺 宿坊

72 まんだらじ 曼荼羅寺

73 しゅっしゃかじ 出釈迦寺

ぜんゆうじ 仙遊寺

かんちいん 観智院

みえどう 善通寺御影堂

善通寺グランドホテル

魚勘旅館

マルナカ

善通寺養護学校

四国こどもとおとなの医療センター

吉原小学校

吉原保育所

吉原ボランティア公園

市営野球場

弘田川

弘階池

善通寺五岳の里 市民集いの丘公園

善通寺市

筆ノ山

北西山

南西山

香色山

陸上自衛隊善通寺駐屯地

西部小学校

我拝師山

柳の清水

へんろみち周辺の宿泊施設

1	善通寺グランドホテル	0877-63-2111
2	魚勘旅館	0877-62-0585

N

縮尺= 1:10,000

0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

第74番 甲山寺
●香川県善通寺市弘田町1765-1
☎0877-63-0074
●宿坊／なし

第75番 善通寺
●香川県善通寺市善通寺町3-3-1
☎0877-62-0111
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園

善通寺自慢の五岳山を背景に、約4haもの緩やかな丘陵地が広がる広大な公園。園内は四季折々の花々や木々で彩られており、「さくら街道」で花見を楽しんだり、芝生の「はらっぱ広場」でお弁当を広げたりもできる。自然に親しむ各種イベントや体験教室なども頻繁に開催され、市民をはじめ多くの人々が集い楽しむ場所となっている。

所 香川県善通寺市吉原町918-1
☎ 0877-63-8753（「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園管理室）
営 9:00～17:00（7～9月は～18:00）
休 火曜
料 無料

境内の見どころ

岩窟の毘沙門天

岩窟のお堂に安置された、弘法大師が石を割って刻んだという毘沙門天。甲山寺建立のきっかけを作ったという不思議な翁がこの岩窟から姿を現し、大師に暗示を与えたという。数年前までは大師堂の隣でひっそりと口を開けていたが、現在は周囲を改修して、山門からでもはっきりと毘沙門天堂を見ることができる。

境内の見どころ

子安地蔵尊

大師堂へ続く石段の横に祀られているお地蔵様で、側に「ありがたや　めぐみもふかき血をわけて　家のよつぎを守るみ仏」とある。子どもに恵まれない女性がお参りし、前掛けを持ち帰ったところ懐妊し、お礼に新しい前掛けを作ってお供えしたという話から、子どもを授かる地蔵として参拝者が絶えない。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

白壁に囲まれた境内には、霊地らしい清浄な空気が流れる

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第74番 甲山寺 ▼ 第75番 善通寺

第74番 医王山 多宝院 甲山寺

いおうざん　たほういん　こうやまじ

満濃池治水の成功を祈願した寺

歴史・全体像

平安時代初期、善通寺と曼荼羅寺の間に寺を建立しようと霊地を探していた弘法大師は、甲山の麓で一人の翁に出会った。翁は「私は昔からこの地に住み、人々に仏の教えを広め、人々に幸福と利益を与えてきた聖者である」と言い、この地で寺を建立するよう告げたという。大師はすぐに毘沙門天像を彫り、山の岩窟に安置した。

その後、巨大なため池である満濃池が決壊。大師は朝廷から満濃池造りの別当に任命され、工事を指揮し、わずか3ヶ月で完成させたという。朝廷から報奨金を賜った大師は、工事の無事を祈願して刻んだ薬師如来を本尊として堂宇を建立、寺号を甲山寺とした。

境　内

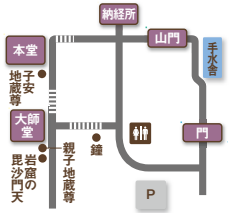
境内はそれほど広くはないが、山門の正面に建つ本堂の背後には甲山がそびえ、圧倒される。

本堂に安置されている薬師如来像は檜の一木造りで、重厚で力強い姿を見せている。本堂の左側の石段を上ったところには大師堂があり、中には黒衣をまとった大師像が建っている。大師堂の左側には毘沙門天像を安置している岩窟があり、周りはいかにも霊地らしい雰囲気が漂う。

また、岩窟の脇には甲山の山道が続き、江戸時代に開かれたという西国三十三ヶ所の札所や子どもの広場などを巡るトリムコースに続いている。

御詠歌／十二神味方に持てる戦には己れと心かぶと山かな
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／弘法大師

短い石段の上に、山の威厳を背負う本堂



JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第74番　甲山寺 ▶ 第75番　善通寺

3.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	善通寺グランドホテル	0877-63-2111
2	魚勘旅館	0877-62-0585

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 〒 郵便局 ⛩ 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

金堂上層部に掲げられた「大宝楼閣陀羅尼」の筆跡が美しい

第75番 五岳山 誕生院 善通寺
ごがくさん たんじょういん ぜんつうじ

大師が誕生した善通寺派の総本山

歴史・全体像

真言宗善通寺派の総本山・善通寺は高野山、東寺とともに大師三大霊跡の一つに数えられ、弘法大師誕生の地でもある。創建は大同2年（807）、唐から帰国した弘法大師が生まれ故郷に真言密教の根本道場を建立したのが始まり。讃岐の豪族だった父・佐伯直田公善通から荘田を貰い受けた弘法大師は、この地にインドの八大仏跡の土砂を撒き、唐の青龍寺伽藍の雰囲気を再現しようとした。弘仁4年（813）に金堂（本堂）などの七堂伽藍が完成。大師は本尊として薬師如来像を刻んだが、現在、金堂には運長作の薬師如来坐像が安置されており、大師が刻んだものは胎内仏として祀られている。

境　内

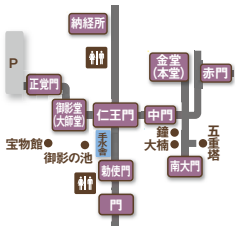
4万5000㎡もの広さを誇る境内は、「伽藍」と呼ばれる東院と、「誕生院」と呼ばれる西院に分かれる。東院は、創建以来の寺域であり、金堂と呼ばれる本堂や、五重塔、釈迦堂などが建っている。

東院から参道を通って、仁王門をくぐると西院に入る。西院は、大師が誕生された佐伯家の邸宅跡にあたり、拝殿、中殿、供養殿、奥殿を有する御影堂（大師堂）が佇んでいる。大師は奥殿のある場所で誕生したと伝えられている。

御影堂の近くにある宝物館では、重要文化財に指定されている吉祥天立像や、地蔵菩薩立像などの多くの寺宝を拝観できる。

御詠歌／我れ住まばよも消え果てじ 善通寺深き誓いの法のともし火
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／弘法大師

拝殿、中殿、供養殿、奥殿を有する御影堂



第75番 善通寺
●香川県善通寺市善通寺町3-3-1
☎0877-62-0111
●宿坊／あり（要予約）

第76番 金倉寺
●香川県善通寺市金蔵寺町1160
☎0877-62-0845
●宿坊／なし

沿線の見どころ

乃木館

明治時代、旧軍第11師団司令部があった場所に建てられたルネッサンス様式の建築。初代師団長を務めた乃木将軍以下、歴代の師団長が実際に執務をしていた部屋があり、各将軍にまつわる品を展示。特に、日露戦争で活躍した乃木将軍の写真「水師営の会見」は歴史的なひとコマ。海軍や旧陸軍の資料展示室もある。

所 香川県善通寺市南町2-1-1
善通寺から南東に約1.2km
☎ 0877-62-2311（善通寺駐屯地広報）
開 見学時間9:00～12:00、13:00～16:00
休 水曜
料 無料

境内の見どころ

戒壇めぐり

御影堂の地下にある約100mの通路。いったん中に入ると静寂と暗闇に包まれ、まるで胎内にいるかのよう。闇の中を壁づたいに歩いていく。「悪行のある者は出られない」といわれるが、大師を慕い、精進して歩けば、いずれは大師が明るい灯をともしてくれる。宝物館の拝観と合わせて大人500円。

境内の見どころ

御影の池

御影堂の前に弘法大師と両親の像を祀った小さな池がある。大師が唐への留学を前に京より帰宅した時、名残を惜しむ母・玉寄御前に贈るために、自分の姿をこの池に映して自画像を描いたといわれている。池の前には、かつてこの池を覆っていた松の枯木が「御影の松」として保存されている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第75番　善通寺 ▶ 第76番　金倉寺

3.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	魚勘旅館	0877-62-0585
2	善通寺ステーションホテル	0877-62-6222
3	善通寺グランドホテル	0877-63-2111
4	お遍路宿 ゲストハウス風のくぐる	0877-63-6110
5	ゲストハウスミカサスカサ	0877-63-1353

76 こんぞうじ 金倉寺

ゲストハウスミカサスカサ　金蔵寺駅　多度津町　稲木北部　稲木町　本村　金蔵寺町　金倉川　谷病院　上居　下所　JR土讃線　東部池ノ前ボランティア公園

至、坂出ＩＣ

至、善通寺ＩＣ　高松自動車道　善通寺ＩＣ

下所　下吉田町　宮東　本村　善通寺市　九頭神　石川　村上池　あおぞら保育園　ファンキータイム　善通寺市民体育館　善通寺市民プール　パワーシティ　しまむら　お遍路宿ゲストハウス風のくぐる

東部小学校　上吉田町　上吉田町（七）　上吉田町（八）　明光義塾　上吉田東部

仙遊町（一）　養護学校　マルヨシ　善通寺グランドホテル　大西寝具店　善通寺駅　皇子児童公園　吉田医院　東務主

上吉田町（四）　上吉田町（五）　マルナカ　本郷通公園　藤田医院　善通寺ステーションホテル　本郷通り　善通寺町（六）　善通寺市役所

郷土館　市民会館　善通寺第一高校　尽誠学園高校　西務主

75 ぜんつうじ 善通寺　宿坊　魚勘旅館　弘田川　善通寺町（四）　かんちいん 観智院　にぎわい広場　四国学院大　文京町（二）　生野本町（二）　善通寺東中学校

みえどう 善通寺御影堂　南町（三）　善通寺中央小学校　文京町（四）　善通寺西中学校

縮尺＝1：11,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。〈承認番号　平28情使、第1132号〉」

第76番 金倉寺
●香川県善通寺市金蔵寺町1160
☎0877-62-0845
●宿坊／なし

第77番 道隆寺
●香川県仲多度郡多度津町北鴨1-3-30
☎0877-32-3577
●宿坊／なし

沿線の見どころ

県立桃陵公園

多度津町の街並みと海が一望できる小高い丘の上に広がる公園で、春になると約2,500本ものソメイヨシノが咲き乱れる桜の名所。秋には萩、冬には椿などで彩られる景観は、香川新50景及び香川のみどり百選に選定されている。展望台からは瀬戸内海を見渡せ、四季それぞれの童謡で時を告げるメロディー時計の「カリヨン」は公園のシンボル的存在。

所 香川県仲多度郡津町桃山
金倉寺から北西へ4.5Km
☎ 0877･33･1113（多度津町産業課）

境内の見どころ

訶利帝堂（かりていどう）

本堂の隣に建つ、訶利帝母尊を祀ったお堂。金倉寺で生まれた智証大師は霊感が強く、今でいう大霊能者であった。大師が5歳の時、目の前に訶利帝母尊が現れ、大師への衛護を伝えたといわれる。訶利帝母尊とは鬼子母神のことで、500人の子を持ちながら人の子をさらって食べていたが、改心し後に仏となった。

境内の見どころ

大黒天像

境内に点在する七福神の中でもひときわ目立つ金色の大黒天で、本堂の前に置かれている。元はほかの像と同じく石肌をあらわにしていた。おみくじに付いている1.5cm角の金箔を、願いを唱えながら像に貼るとご利益があるということから、多くの人の願いを受け止めて、石造りの像は今やきらきらと輝いている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

盛衰を繰り返した境内だが、今はとてものどかな雰囲気

第76番 鶏足山 宝幢院 金倉寺
けいそくざん　ほうどういん　こんぞうじ

智証大師ゆかりの歴史ある寺

歴史・全体像

天台寺門宗の宗祖・智証大師円珍が誕生した地として知られる。善通寺より半世紀近く古い宝亀5年（774）、智証大師の祖父にあたる和気道善が一堂を建立、道善の子の宅成が道善寺と名付けた。智証大師は唐から帰国した後、故郷であるこの寺に滞在し、唐の青龍寺を模した伽藍を造営。自ら刻んだ薬師如来を本尊として安置した。その後、延長6年（928）、醍醐天皇の勅命により、地元の郷名「金倉」をとって金倉寺と改められた。

また、明治31年（1898）から約3年間、善通寺第十一師団長を務めていた乃木将軍が客殿を仮住居としていた。今でも寺には将軍愛用の品々が残されている。

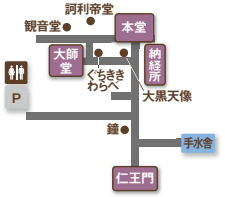
境　内

最盛期には広大な境内に132坊を有していたが、幾多の兵火によりすべて焼失。無事だったのは、智証大師が唐へ渡る前に両親に贈った自画像と本尊のみである。

現在の本堂は昭和の時代に再建されたもの。本堂を正面にして左を向くと大師堂があり、中には智証大師像とともに弘法大師の像も安置されている。「大師」の称号を得るということは当時の最高の名誉で、智証大師と弘法大師は「讃岐の五大師」に数えられている。境内には、子授け・安産の神様として「おかるてんさん」の愛称で親しまれてきた訶利帝母尊（かりていもそん）の御堂や、かわいらしい七福神の像もある。

御詠歌／まことにも神仏僧をひらくれば真言加持の不思議なりけり
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／天台寺門宗
開基／和気道善

本堂入り口でお守りなどを授与している



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第76番 金倉寺 ▼ 第77番 道隆寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

へんろみち周辺の宿泊施設

1　ゲストハウスミカサスカサ　0877-63-1353

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第77番 道隆寺
●香川県仲多度郡多度津町北鴨1-3-30
☎0877-32-3577
●宿坊／なし

第78番 郷照寺
●香川県綾歌郡宇多津町1435
☎0877-49-0710
●宿坊／なし

沿線の見どころ

丸亀城

慶長2年（1597）に高松城の支城として生駒親正が築城を始め、5年後に完成、元和元年（1615）の一国一城令により廃城となったが、寛永18年（1641）に山崎家治が再建、万治3年（1660）に京極高和が現在の天守を完成させた。「石垣の城」とも称され、美しい石垣は高さ日本一。風格の漂う三層三階の天守は現存木造12天守のひとつとしても知られる。

所 香川県丸亀市一番丁
☎ 0877-22-0331（丸亀市観光協会）
営 見学自由
休 無休
料 大人200円、小人（中学生以下）100円、20人以上の団体は2割引

沿線の見どころ

中津万象園・丸亀美術館

丸亀藩京極家の二代目藩主京極高豊が築いた、約1万5000坪の池泉回遊式大名庭園。八景池に配した8つの島や茅葺き屋根の母屋などが雅な風景だ。「味処　懐風亭」からも風情を楽しめる。園内にある「丸亀美術館」には、フランス絵画を常設する絵画館、古代オリエントの陶器を展示した陶器館があり、見どころ満載。

所 香川県丸亀市中津町25-1
金倉寺から県道33号線経由、北方向に約4.3km
☎ 0877-23-6326
営 9:30～17:00
休 水曜
料 中津万象園：入園料大人700円、絵画館：大人500円

境内の見どころ

びんずるさま

真っ赤な姿が目をひく「びんずるさま」は、釈迦の直弟子であり、自らも1000人ほどの弟子を育てた羅漢の一人。「なで仏」とも呼ばれ、病気の人が「びんずるさま」の像をなで、その手で自分の悪いところをさすると、平癒するといわれている。本堂入り口の左側にあり、誰でも触れることができる。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

参道沿いから本堂脇、裏まで観音像がずらりと並ぶ

第77番 桑多山 明王院 道隆寺
そうたざん　みょうおういん　どうりゅうじ

眼なおしの秘仏「二体薬師」の寺

歴史・全体像

和銅5年（712）、当時の領主・和気道隆が、夜ごと怪光を放つ桑の木で薬師如来の小像を刻み、堂を建てて安置したのが始まり。道隆の子・朝祐は、唐から帰国した弘法大師に師事した。大師は自ら刻んだ薬師如来の胎内に道隆の薬師如来を納め、本尊とした。一体の像の中にもう一体の像があることから、この薬師如来は腹ごもり薬師、二体薬師とも呼ばれ、50年に一度開帳される秘仏となっている。また、「眼なおし薬師さま」とも呼ばれ、全国から眼病平癒祈願の信者が訪れる。その由来には、幼少の頃に盲目だった丸亀京極藩の京極左馬造公がこの薬師如来に祈願したところ、全快したという話が残る。

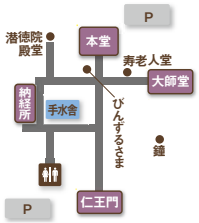
境　内

かつては広大な寺域を誇ったが幾多の戦禍に遭い、現在の諸堂は江戸時代に歴代住職の尽力によって再建されたものである。県道沿いに本堂、大師堂、鐘楼、多宝塔などの伽藍が配置されているが、300mほど離れた畑の中には本坊と護摩堂が残っている。参道沿いには、255体の観音像がずらりと並んでいる。

本堂に向かって右手にある大師堂は寛永7年（1630）に建立したもの。堂の前には、弘法大師と衛門三郎の像がある。納経所は本堂に向かって左側、参道から少しそれたところにある。本堂を左にまわって歩くと、潜徳院殿堂（せんとくいんでんどう）が見える。

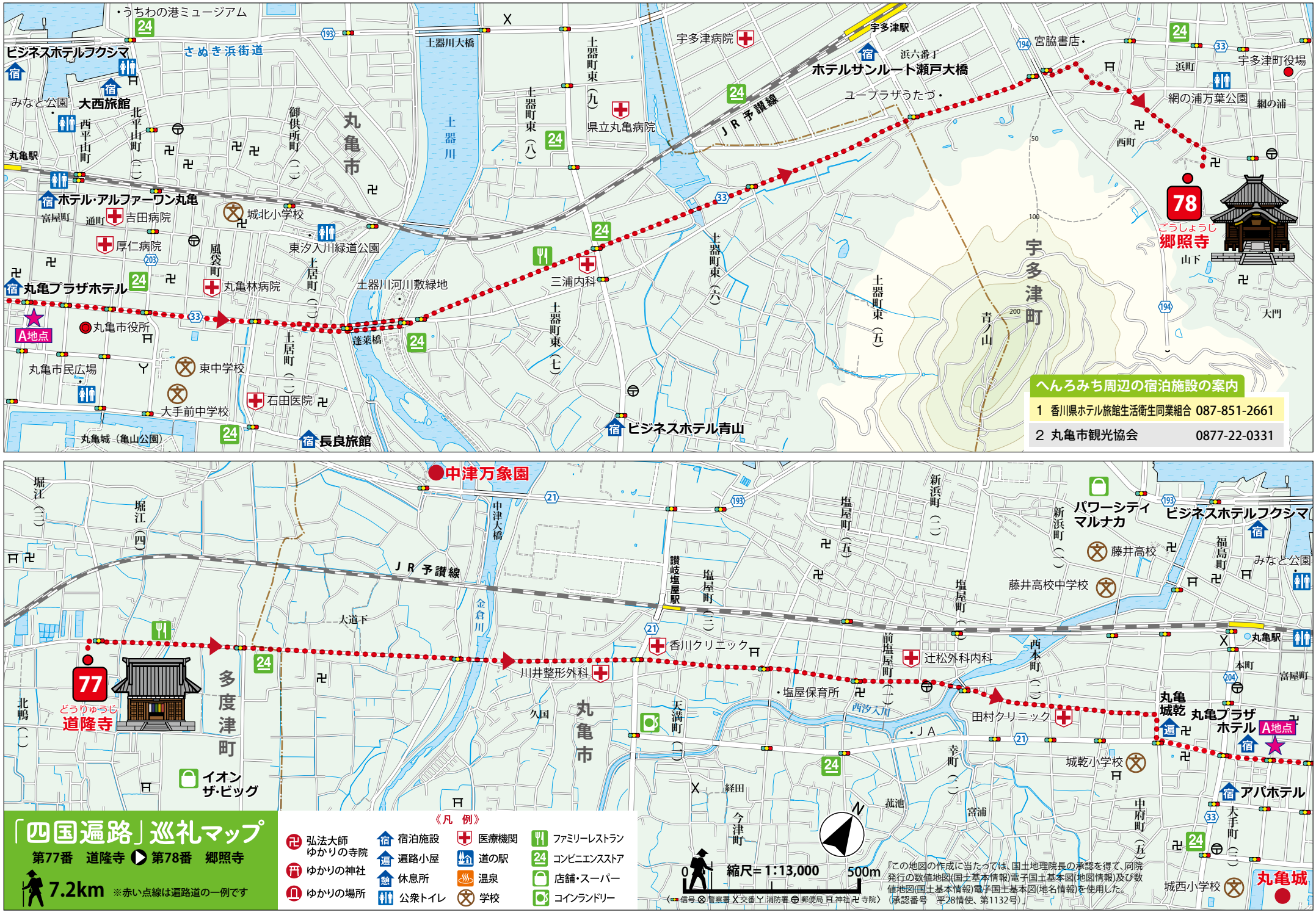
御詠歌／願いをば仏道隆に入りはてて菩提の月を見まくほしさに
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗醍醐派
開基／和気道隆

本堂左には、「びんずるさま」が鎮座



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第77番 道隆寺 ▼ 第78番 郷照寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。〈承認番号 平28情使、第1132号〉」

第78番 郷照寺
●香川県綾歌郡宇多津町1435
☎0877-49-0710
●宿坊／なし

第79番 天皇寺
●香川県坂出市西庄町1713-2
☎0877-46-3508
●宿坊／なし

沿線の見どころ

宇多津 古街(co-machi)

室町幕府3代将軍足利義満を補佐した管領・細川頼之が居を構え、中世以降は港町、塩の町として繁栄した宇多津。町役場の南側一帯は「古街(こまち)」と呼ばれ、由緒ある神社仏閣や町家、洋館などが建ち並ぶノスタルジックエリア。界隈の道路はエリアの雰囲気に合わせて燻しレンガを使って整備されており、起伏もなく散策に適している。

所 香川県綾歌郡宇多津町
☎ 0877-49-8009(宇多津町まちづくり課)

境内の見どころ

瀬戸大橋を望む風景

境内から一番間近に瀬戸大橋が眺められる霊場がここ。境内北側からは、吊り橋の南備讃瀬戸大橋がよく見え、天気のいい日には塩飽(しわく)諸島を見ることもできる。この瀬戸大橋を望むポイントのほか、池の周囲に様々な樹木が植えられた庭園など、境内には記念撮影に最適なスポットが点在する。

境内の見どころ

庚申堂

民間信仰の「庚申信仰」を伝えるお堂で、本尊は6本の手を持つ青面金剛。庚申信仰は、人間の体の中にいる「三尸」という霊が庚申の夜、眠っている間に体から抜け出て天に昇り、天帝にその人の罪状を告げるというもの。そのため庚申の夜は人々が庚申堂に集まり、眠らず語り明かすという風習があった。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

見どころの多い境内はゆっくりと散策したい

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第78番 郷照寺 ▼ 第79番 天皇寺

第78番 仏光山 広徳院 郷照寺

ぶっこうざん　こうとくいん　ごうしょうじ

瀬戸大橋を望む厄除けの寺

歴史・全体像

宇多津町の南、青ノ山のふもとの高台に建ち、境内からは臨海に広がる宇多津の町と瀬戸大橋を望む。奈良時代、行基が「道場寺」の名で開創した古刹で、後に弘法大師が42歳の時、自作の尊像を刻み、厄除けの誓願をしたことから「厄除けうたづ大師」として信仰を集めている。その後、時宗の開祖である一遍上人により中興され、室町時代には守護大名の庇護を得て栄えたが、長宗我部軍の兵火により伽藍を焼失。江戸時代に入り、高松藩主松平頼重により再興された。その際、宗派を真言宗とともに一遍上人を偲んで時宗も奉持することにした、四国霊場中、唯一の特別霊場となる。

境　内

本堂は江戸初期に再興されたもので、二層になった屋根の形が特徴。これは東大寺など、奈良の寺院によく見られる奈良様式の造りで、霊場の中でも珍しい。

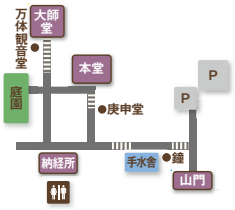
本堂脇の石段を上ったところに大師堂があり、厄除け祈願に訪れる人が絶えない。

参道脇には地下のお堂に信者が寄進した1万体以上の観音像を納めた万体観音堂がある。

そのほか、県内では珍しい庚申堂や、女性の守り神である淡島明神堂、本坊の裏手にある池泉観賞式の庭園など、見どころも多く、宗派を越えて信仰を集めている寺院である。

御詠歌／踊りはね念仏申す道場寺
拍子をそろえ鉦を打つなり
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていせい からうん
宗派／真言宗・時宗
開基／行基菩薩

本堂は二層屋根で霊場では珍しい奈良様式



JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第78番　郷照寺 ▶ 第79番　天皇寺

5.9km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

縮尺= 1:11,000　0　200　500m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

へんろみち周辺の宿泊施設

1	寿美久満	0877-49-0358
2	旅館公楽	0877-49-0334
3	ビジネスホテルうたづ	0877-49-4146
4	川久米旅館	0877-46-2119
5	旅館みき	0877-46-5441
6	ビジネスホテル三中井	0877-45-2209

第79番 天皇寺
●香川県坂出市西庄町1713-2
☎0877-46-3508
●宿坊／なし

第80番 國分寺
●香川県高松市国分寺町国分2065
☎087-874-0033
●宿坊／なし

沿線の見どころ

おへんろの駅こくぶ

お遍路さんや地元の人々に愛されている接待所。日替わり定食（500円）は、旬の食材を使った家庭料理で、そのボリュームも魅力。「てっぱい」「マンバのけんちゃん」など讃岐の郷土料理が並ぶこともある。オーダー後に豆を挽いて淹れるコーヒーも美味。5月にはうどんの無料接待も行っている。

境内の見どころ

三輪鳥居

天皇寺境内には三輪鳥居をくぐり進む。この鳥居は嵯峨天皇と空海により生み出された両部神道を根本とする三輪神道を象徴するため、正面鳥居から境内へ入ることが重要とされる。三輪鳥居は別名三口鳥居といわれ、向かって右口は胎蔵界を、左口は金剛界を、そして正面口は天照大神を象徴する。

境内の見どころ

白峰宮

讃岐の地で崩御した崇徳上皇ゆかりの神社。後嵯峨天皇が崇徳上皇の御霊を慰めるために崇徳天皇社を建立し、明治元年（1868）の神仏分離により白峰宮となった。拝殿前には香川県の保存木にもなっている樹高26m、樹齢約500年とみられる楠の大木がそびえ、御神木として崇められている。

所 香川県高松市国分寺町国分959
☎ 087-874-0207
営 10:30～15:00
休 月・火曜

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

本堂は江戸時代に再建されたもの

第79番 金華山 高照院 天皇寺
きんかざん　こうしょういん　てんのうじ

三輪神道により構築された神仏習合境内

歴史・全体像

奈良時代に行基が金山中腹に建立した本尊を薬師如来とする金山摩尼珠院は、弘仁6年（815）に空海が新たに本尊十一面観音・阿弥陀如来・愛染明王の三尊像を彫像して安置し、金華山妙成就寺摩尼珠院として現在の地で中興された。保元の乱（1156）の後に讃岐へと移った崇徳天皇が守護仏として信仰した阿弥陀如来と、天照大神御法楽仏は十一面観音であるとする古からの信仰を縁に、境内に崇徳天皇の霊を鎮める崇徳天皇社を建立、崇徳天皇永代供養の詔を受けて天皇寺と呼ばれるようになった。明治時代の廃仏毀釈により境内は寺院と神社に二分されたが、かつての神仏習合思想は現在にもなお受け継がれている。

境　内

境内正面には、俗世と霊地との結界を意味する朱色の鳥居がそびえ立ち、その右手には天皇寺を示す大きな石碑が建つ。鳥居の先には広大な境内が広がり、真正面に見える崇徳天皇社は、明治時代に崇徳天皇御魂が京都白峰神社へ帰り、現在は天照大神と金山権現を祀る白峰宮となっている。そして左手には本堂と大師堂が配置されている。

なお、崇徳天皇御法楽の役割を担う十一面観音は、金剛界説法と胎蔵界説法を用いて衆生救済をするとの発心のため、本堂正面（金剛界説法）と本堂背面（胎蔵界説法）を拝むことが習いとされる。

御詠歌／十楽の浮世の中をたずぬべし天皇さえもさすらいぞある
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗御室派
開基／行基菩薩

朱塗りの鳥居から広々とした境内に入る

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第79番 天皇寺 ▼ 第80番 國分寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第79番　天皇寺 ▶ 第80番　國分寺

6.9km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

79 てんのうじ 天皇寺

80 こくぶんじ 國分寺

へんろみち周辺の宿泊施設

1	城山温泉	0877-48-0211
2	えびすや旅館	087-874-0567

縮尺= 1:20,000　0　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第80番 國分寺
●香川県高松市国分寺町国分2065
☎087-874-0033
●宿坊／なし

第81番 白峯寺
●香川県坂出市青海町2635
☎0877-47-0305
●宿坊／あり（団体のみ宿泊可能）

沿線の見どころ

五色台温泉

周囲を深い緑に囲まれた、知る人ぞ知る秘湯。足湯に浸かりながら、同時に森林浴気分も味わえる情緒豊かな癒しスポットだ。足湯の後の足裏マッサージもあるので、旅の疲れをじっくり癒すのに最適。療養泉として評判の温泉水は販売もされている。瀬戸内を望む景勝地のひとつである五色台のふもとで、季節ごとの自然を楽しみながら過ごしたい。

所 香川県高松市国分寺町国分2956-12
☎ 087-874-4535
営 10:00～16:00
休 水曜
料 足湯200円

沿線の見どころ

讃岐国分寺跡資料館

讃岐国分寺跡は聖武天皇により全国に建立された官営僧寺跡の一つ。現國分寺を含む東西330m、南北240mが国指定の特別史跡。資料館では発掘調査での出土品や国分寺金堂模型を展示。館の西側は史跡公園として整備され、一部復元した僧房跡や10分の1サイズの伽藍配置模型を設置し、創建当時を垣間見られる。

所 香川県高松市国分寺町国分2177-1
☎ 087-874-8840
営 9:00～16:30
休 月曜（祝日の場合は翌日）
料 史跡整備地は見学自由、資料館は大人100円

境内の見どころ

梵鐘

創建から近い時期に鋳造された銅鐘は四国最古級といわれ、国の重要文化財。昔、百々渕にいた大蛇がかぶっていたものを、弓の名人が退治し寺に寄進したという伝説を持つ。また、生駒一正が高松城に持ち帰ったが、鐘は鳴らず、悪病が流行。毎夜、鐘が夢に「いぬ（帰る）、いぬ」と現れ、慌てて返したという話もある。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内には見事な枝振りの松が生い茂っている

第80番 白牛山 千手院 國分寺
はくぎゅうざん　せんじゅいん　こくぶんじ

千年の歴史を伝える讃岐国分寺

歴史・全体像

天平13年（741）、聖武天皇の勅願により全国に建立された国分寺の一つ。行基が十一面千手観世音菩薩像を安置して開基した。その後、弘法大師が本尊や伽藍を補修し、霊場に定めた。当時は東西220m、南北240mの広大な寺域をもち、金堂や鐘楼、七重塔、僧房などが建ち並ぶ大寺院であった。戦国時代には兵火にかかり、本堂と鐘楼を残して焼失。後に讃岐国守の生駒家や高松藩主松平家によって庇護された。境内には、国の重要文化財に指定された入母屋造りの本堂や国の特別史跡指定の理由となった旧金堂の礎石があり、往時の隆盛を今に伝える。北東2kmの場所には国分尼寺跡（現法華寺）がある。

境　内

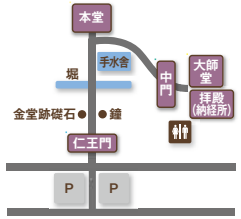
JR予讃線「国分駅」から歩いて3分ほど。見事な枝ぶりの松に迎えられ、仁王門をくぐると、参道の両側には八十八ヶ所本尊の石仏が並んでいる。

正面に佇むのは鎌倉中期の建築で、国指定の重要文化財である本堂。欅の一木造りの本尊は、60年に一度開帳される。本堂に向かって右手には多宝塔形式の大師堂が見える。大師堂は中門をくぐり、塀の向こうの拝殿（納経所）からお参りする。

境内には地蔵堂や閻魔堂、縁結社など様々なお堂や社が点在。松盆栽で知られる土地柄からか、高さ20mを超すクロマツなどの立派な松が目を楽しませてくれる。

御詠歌／国を分け野山をしのぎ
寺々にまいれる人を助けましませ
本尊／十一面千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗御室派
開基／行基菩薩

鎌倉時代に再建された入母屋造りの本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第80番 國分寺 ▼ 第81番 白峯寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第80番　國分寺 ▶ 第81番　白峯寺

6.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

81 しろみねじ 白峯寺（標高 280m）宿坊

白峰パークセンター

宿 ニューサンピア坂出

白峰山

へんろ石（道標）

へんろ石（道標）

四国のみち

鞍谷池

射撃場

陸上自衛隊演習場

大平山

坂出市

国分台

五夜嶽

神谷町

五色台温泉

高松市

墓地

新池

烏帽子山

坂出市

東奥

西奥

東奥自治会集会所

給水所

神崎池

西山

宮西

国分寺町国分

宮武表具店

中原

蓮光寺山

杉尾

加茂町

特別史跡讃岐国分寺跡

80 ごくぶんじ 國分寺

讃岐国分寺跡資料館

えびすや旅館 宿

山下医院

憩 おへんろの駅こくぶ

JR予讃線

国分駅

新開

西下所

北前谷

関ノ池

へんろみち周辺の宿泊施設

1	えびすや旅館	087-874-0567
2	ニューサンピア坂出	0877-47-0531

N

0　縮尺＝1：15,000　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第81番 白峯寺
●香川県坂出市青海町2635
☎0877-47-0305
●宿坊／あり（団体のみ宿泊可能）

第82番 根香寺
●香川県高松市中山町1506
☎087-881-3329
●宿坊／なし

沿線の見どころ

山のお旅所 白峰パークセンター

白峯寺へと続く参道入り口に位置する。1階は各種会合やイベント開催などに利用できる展示室、2階は「山のお旅所」として各種観光案内と軽食を提供。お遍路さんや観光客の憩いの空間となっている。屋上からは美しい瀬戸内海や瀬戸大橋の眺望が楽しめ、絶好の撮影ポイントとしても好評だ。展示室の利用は坂出市観光協会（0877-35-8428）へ。

所 香川県坂出市高屋町2042-255
☎ 0877-47-4135
営 9:00～16:00
休 月・火曜
料 使用料無料

沿線の見どころ

休暇村 讃岐五色台

瀬戸内海と瀬戸大橋が一望できる高台に位置する休暇村。特に夕暮れの景色は格別だ。瀬戸内の新鮮な魚介類をふんだんに使った料理が自慢のレストランや、眺望抜群の展望大浴場など、施設も充実。丁寧なサービスでゆったりとくつろげる。お遍路さんプラン1泊2食付8,020円～（土曜、休前日は+1,080円）。

所 香川県坂出市大屋冨町3042
白峯寺から北へ約11km
☎ 0877-47-0231
営 日帰り入浴11:00～16:00（湯の入替日は13:00～）、売店7:00～21:00
休 無休
料 日帰り入浴大人410円

境内の見どころ

頓証寺殿（とんしょうじでん）

崇徳上皇の御廟所。中央に上皇の尊霊、向かって左は相模坊大権現、右は御念持仏十一面観世音を祀る。参道左手には西行法師の像と歌碑が建つ。江戸時代、上田秋成が書いた『雨月物語』の第一章「白峯」には、この地で西行が上皇の怨霊と論戦を繰り広げ、詠歌と読経により霊を鎮めた話が書かれている。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

白峰山の中腹を行く参道からは瀬戸内の景色を望むこともできる

第81番 綾松山 洞林院 白峯寺

りょうしょうざん　どうりんいん　しろみねじ

崇徳上皇の御陵と御廟所を持つ寺

歴史・全体像

5つの峰に五色の名がついた五色台の一つ、標高377mの白峰山。弘仁6年（815）、弘法大師が白峰に宝珠を埋めて井戸を掘り、堂を建立。後にこの山上に霊光を見てやってきた智証大師円珍は、白髪の老翁からここは霊地だと告げられる。そこで、瀬戸内海を漂っていた霊木で千手観音を刻み、本尊とした。老翁は寺の鎮守、白峯大権現といわれている。保元の乱で讃岐配流となった崇徳上皇は、現在の坂出市内で9年間滞在され、この地で崩御。遺体は荼毘に付され、山腹の白峯御陵に葬られたが、以後、都では変事が続き、後小松天皇はこのお堂に上皇の霊を祀る御廟所として頓証寺殿の称号を贈った。

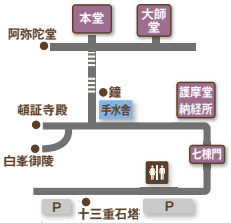
境　内

門の左右に塀を連ねた「七棟門」といわれる山門をくぐると納経所と護摩堂があり、本堂、大師堂は100段近い石段を上った先にある。石段脇には阿弥陀堂、行者堂、薬師堂などの諸堂が並ぶ。本堂は讃岐国守の生駒一正の再建によるものだ。

本尊は智証大師作の千手観音で、人々を災難から救う「身代わり観音様」として信仰されている。本堂に向かって右側に建つ大師堂は、高松藩主松平頼儀が再建したもの。上皇の悲話を伝える玉章木（たまずさのき）や、上皇崩御の3年後、ここを訪れた西行法師の像と歌碑もある。

御詠歌／霜さむく露白妙の寺のうち
御名を称うる法の声ごえ
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師、智証大師

長い石段を上りきった先に現れる本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第81番 白峯寺 ▼ 第82番 根香寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第81番　白峯寺 ▶ 第82番　根香寺

5.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

81 白峯寺（しろみねじ）

（標高 280m）

宿坊

山のお旅所
白峰パークセンター

82 根香寺（ねごろじ）

（標高 365m）

五色台少年自然センター

喝破道場 宿

五色台子どもおもてなし処 遍

へんろ石（道標）

オレンジパーク

足尾大明神

十九丁

宿 ニューサンピア坂出

下乗石

へんろ石（道標）

四国のみち

閼伽井

五色台トンネル

五色台スカイライン

生島町

青峰

中山町

高松市

坂出市

青海町

中村

上

白峰山

大平山

猪尻山

国分寺町新居

赤谷

鞍谷池

射撃場

陸上自衛隊演習場

N

0

縮尺＝1：15,000

1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

へんろみち周辺の宿泊施設

1	喝破道場	087-882-4022
2	ニューサンピア坂出	0877-47-0531

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

境内には凛とした修験道場の趣が漂う

第82番 青峰山 千手院 根香寺
あおみねざん　せんじゅいん　ねごろじ

牛鬼伝説の残る五色台山中の古刹

歴史・全体像

五色台の青峰山中にあり、深い緑に包まれた寺。入唐前の弘法大師が五色台の5つの峰に金剛界曼荼羅の五智如来を感じ、五大明王を祀って花蔵院を建立したのが始まり。その後、大師の甥の智証大師が訪れ、山の鎮守である市ノ瀬明神のお告げにより、霊木で千手観音像を刻み、これを本尊として千手院を開いた。この2院を総称して根香寺と号した。智証大師が本尊を彫った霊木の切り株が芳香を放っていたことが寺の名の由来である。後の後白河上皇はこの本尊を深く信仰、後に上皇の祈願所となり99の末寺を持つ巨刹として栄えた。その後、兵火により焼失。高松藩主松平頼重により再建された。

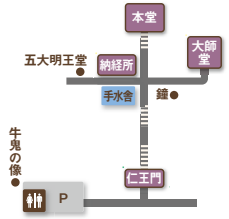
境　内

仁王門から本堂までは一直線となっているが、いったん石段を下り、また上って到着する。本堂へはコの字型の廻廊式前堂「万体観音堂」を進む。堂内には信者が寄進した3万体余りの観音像が祀られている。本尊の千手観音像は桜材の一木造りで、33年に一度開帳される秘仏。朱塗りの大師堂は本堂への参道の右手にあり、明治から大正にかけて建てられたものだ。

参道沿いや境内には楓の木が多く、シーズンには山全体が赤く染まるほど美しい。県下有数の紅葉スポットとしても知られている。

御詠歌／宵の間のたえふる霜の消えぬればあとこそ鉦の勤行の声
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく そわか
宗派／天台宗
開基／弘法大師、智証大師

秋には本堂の周囲も紅葉に包まれる



所 香川県高松市一宮町800-1
83番一宮寺から北東へ約500m
☎ 087-815-6622
営 6:00～翌2:00
休 第3火曜（祝日の場合は営業）
料 大人700円

沿線の見どころ

高松クレーターの湯 天然温泉きらら

約1500年前に隕石が衝突してできたという説もある高松クレーターの地下から湧出。毎分270ℓの豊富な湯量が自慢。露天風呂スペースには、揚子江上流で切り出した一枚岩をくり抜いたクレーター風呂や信楽焼の壺風呂などがある。レストランやリラクゼーションルームのほか、別棟には宿泊施設（別途有料）も完備。

境内の見どころ

五大明王堂

弘法大師の開基にちなんだ五大尊（五大明王）木像を安置しているお堂。本堂へと向かう参道の途中、納経所近くにある。中央の不動明王像は寄木造り玉眼入り古色塗の等身大で、鎌倉時代の作。これを取り囲む他の四明王は江戸時代の作である。いずれも県の有形文化財に指定されている。

境内の見どころ

牛鬼の像

この寺は「牛鬼伝説」でも知られており、駐車場のそばには目を見開いた形相の牛鬼像が建つ。約400年前、青峰山に住む牛鬼という怪物が人々を苦しめていた。弓の名手・山田蔵人高清が本尊に願をかけ、見事、牛鬼を射止め、切り取った角を寺に奉納した。現在も寺には牛鬼の角と絵姿が残っている。

第82番 根香寺
●香川県高松市中山町1506
☎087-881-3329
●宿坊／なし

第83番 一宮寺
●香川県高松市一宮町607
☎087-885-2301
●宿坊／なし

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

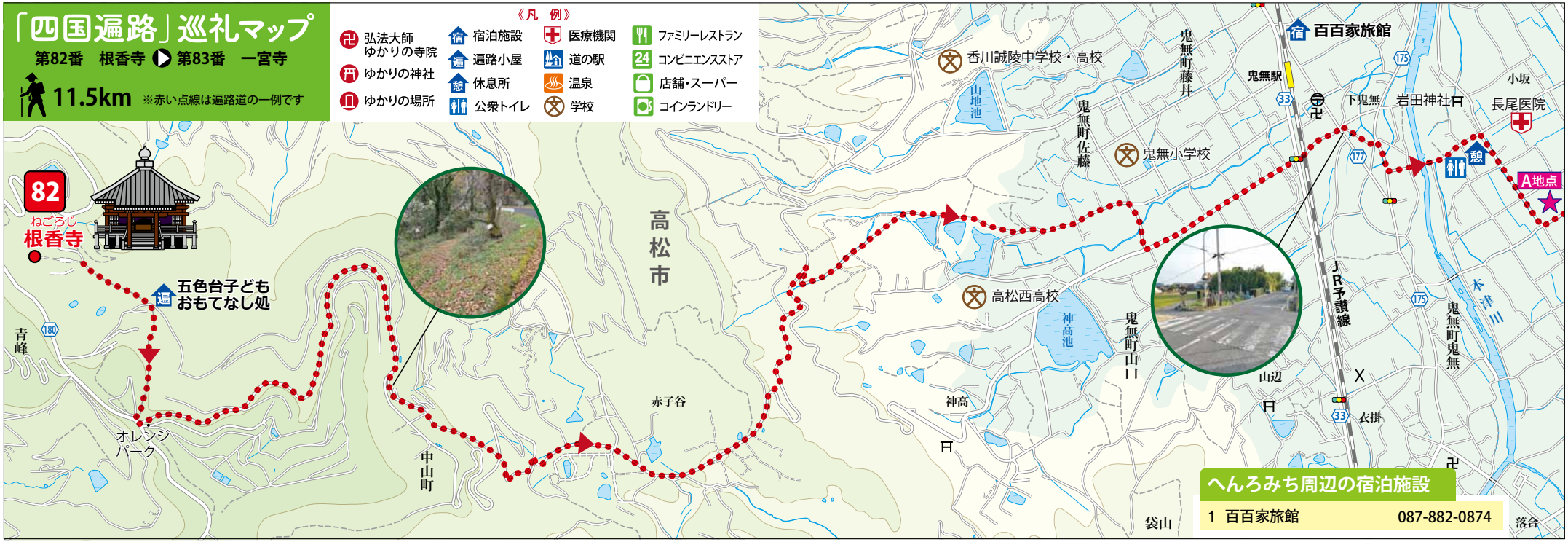
「四国遍路」巡礼マップ

第82番　根香寺 ▶ 第83番　一宮寺

11.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

住宅街に溶け込み、こぢんまりとした境内は閑静そのもの

第83番 神亀山 大宝院 一宮寺
しんごうざん　たいほういん　いちのみやじ

田村神社と隣り合う閑静な霊場

歴史・全体像

寺の歴史は古く、飛鳥時代の大宝年間に義淵僧正が創建したといわれている。当初は「大宝院」と称した法相宗の寺であった。諸国に一宮が建立された際、行基が堂宇を修築、讃岐国一宮・田村神社の別当寺となり、寺号を一宮寺と改めた。後に弘法大師が滞在し、聖観音像を刻んで本尊として安置。この時、真言宗に改宗した。戦国時代の兵火による焼失を経て、僧の宥勢が再興。延宝7年（1679）には、高松藩主松平頼重が田村神社と神仏分離させ、明治の神仏分離令よりも200年前に独立寺院となった。境内は田村神社と隣接しており、仁王門は路地を挟んで田村神社と隣り合っている。

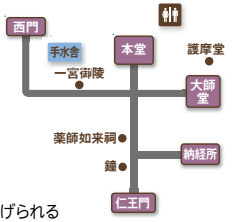
境　内

寺は高松市郊外の閑静な住宅街の真ん中にある。仁王門の真向かいには檀信徒によって再建された本堂があり、右側に大師堂、その隣に平成18年（2006）に落慶した木造宝形造りの美しい護摩堂が建つ。その前にある石灯籠は、京の名工・西村金造の作。本尊の聖観音像は弘法大師の手によるものといわれている。大師堂の天井には先祖供養の灯籠がずらりと吊るされており、思わず目を奪われる。

本堂手前の参道脇にそびえる大きな楠の下にはベンチも置かれ、地元の人たちが参拝がてら集う場としても親しまれている。

御詠歌／さぬき一宮の御前に仰ぎきて神の心をたれかしらいう
本尊／聖観世音菩薩
真言／おん あろりきゃ そわか
宗派／真言宗御室派
開基／義淵僧正

本堂の木戸には千羽鶴。2年に1度、焚き上げられる



第83番 一宮寺
●香川県高松市一宮町607
☎087-885-2301
●宿坊／なし

第84番 屋島寺
●香川県高松市屋島東町1808
☎087-841-9418
●宿坊／なし

沿線の見どころ

特別名勝 栗林公園

紫雲山を背景に、その東麓に広がる回遊式大名庭園で、国指定の特別名勝。借景も含めると東京ドーム約16個分もの広さを誇り、6つの池と13の築山を中心に構成されており、歩を進めるごとに景色が変わりゆく「一歩一景の美」が楽しめる名園。国内はもとより、海外からも高い評価を得ている。

所 香川県高松市栗林町1-20-16
☎ 087-833-7411
営 7:00～17:00（季節に応じて毎月変更）
休 無休
料 大人410円

沿線の見どころ

玉藻公園

水戸光圀の兄、松平頼重を藩主に迎えてから11代に渡り松平藩の居城だった高松城跡を中心とした史跡公園。日本三大水城の一つで、堀には海水が引き込まれている。月見櫓など城の7棟が国の重要文化財指定。また披雲閣は藩主が生活する場所として建てられ、現在の姿は大正時代に12代当主頼寿伯爵が再建したもので、これも国の重要文化財。

所 香川県高松市玉藻町2-1
☎ 087-851-1521
営 西門日の出～日没、東門8:30～17:00
休 12/29～12/31
料 大人200円

境内の見どころ

薬師如来祠

クスノキの根元にある薬師如来の小さな祠。この台座の下からは「地獄の釜」の音が聞こえ、心がけの悪い人が頭を突っ込むと石の扉が閉まり、抜けなくなるという伝説がある。江戸時代、近くに住む意地の悪いおタネばあさんは頭が抜けなくなり、これまでの行いを反省するとようやく扉が開いたという。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第84番 屋島寺
●香川県高松市屋島東町1808
☎087-841-9418
●宿坊／なし

第85番 八栗寺
●香川県高松市牟礼町牟礼3416
☎087-845-9603
●宿坊／なし

沿線の見どころ

四国村
（四国民家博物館・四国村ギャラリー）

四国各地から移築復元された古民家など、国や県などから指定された重要文化財を含む33棟の建造物を巡る野外博物館。屋島山麓の豊かな自然と花々に囲まれて、四季を感じながら先人たちの知恵と工夫にあふれた暮らしを感じることができる。ミニかずら橋や安藤忠雄氏設計のギャラリーも人気。

所 香川県高松市屋島中町91
☎ 087-843-3111
営 8:30～17:00（11～3月は～16:30）
休 無休（メンテナンスのための臨時休業あり）
料 大人1,000円

沿線の見どころ

栗山記念館

寛政の大儒、紫野栗山の功績を伝える記念館。1階展示室には、栗山の遺品や直筆の書簡などを保管。2階ホール奥には栗山の尊像を安置。こちらで入手できる「紫野栗山秘帳」には、「学神」とまでいわれた栗山の進学三喩を綴った巻物が入っている。受験シーズンともなると、多くの若者たちが訪れる。

所 香川県高松市牟礼町牟礼3028
☎ 087-845-5996
営 10:00～16:00
休 月曜、祝日の翌日
（連休の休館日は要問合せ）
料 大人200円

境内の見どころ

蓑山大明神（みのやまだいみょうじん）

日本三大タヌキの一つ「太三郎狸」を祀る神社。太三郎狸は変化の術では日本一と称され、弘法大師が屋島の麓で道に迷った時に、蓑をかぶった老人に変化して大師を山頂まで導いたといわれる。また、太三郎狸は一夫一妻の契りもかたいとされ、夫婦円満、縁結び、子宝、水商売の神としても信仰を集める。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

観光地・屋島の山上にあるため、観光客の参拝も多い

第84番 南面山 千光院 屋島寺
なんめんざん　せんこういん　やしまじ

源平合戦に縁深い屋島山上の寺

歴史・全体像

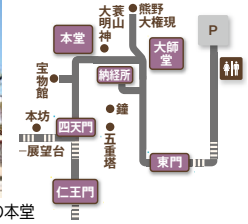
日本に仏法の戒律を伝えるために来日した唐の名僧・鑑真和上が天平勝宝5年（753）に屋島山上北嶺に瑞光を見て、仏像やお経を納めて開基したのが始まり。堂宇を建てた弟子の恵雲律師が初代住職となる。その後に弘法大師が嵯峨天皇の勅願により南嶺に伽藍を建立して84番目の霊場として定め、屋島寺中興の祖と仰がれた。登山はJR屋島駅・ことでん屋島駅と屋島山上を往復するシャトルバス（100円均一）がある。遍路みちの登山道から上る場合は、途中で「大師お加持水」「喰わずの梨」など、大師ゆかりの霊蹟を見ることができる。

境　内

標高約300mの屋島山上にある屋島寺。仁王門をくぐって阿波蜂須賀家寄進の四天門を通り抜けると、その奥に鎌倉時代後期に建てられた本堂がある。瓦葺きに朱塗りの柱が特徴的なこの本堂は、昭和32年（1957）から2年間をかけて修理されたものである。本尊の十一面千手観世音菩薩、平家供養の鐘と共に国の重要文化財に指定されている。本尊は10世紀頃、藤原期初期に造られたもので、全身に漆を塗って金箔をおいた榧（かや）の一木造りである。光背と御手が当初のままに残されている貴重なものだ。宝物館で拝観することができる。

御詠歌／梓弓屋島の宮に詣でつつ
祈りをかけて勇む武夫（もののふ）
本尊／十一面千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗御室派
開基／鑑真和上

鎌倉時代後期の姿が復元された朱塗りの本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第84番 屋島寺 ▼ 第85番 八栗寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

縮尺＝1:14,000
0
1000m
〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」
へんろみち周辺の宿泊施設
1 ささや旅館 087-841-9533
2 讃岐屋 高柳旅館 087-845-1516
3 岡田屋旅館 087-845-1594
84
やしまじ
屋島寺
(標高 284m)
85
やくりじ
八栗寺
(標高 222m)
五剣山
(八栗山)
岡田屋旅館
讃岐屋高柳旅館
屋島城跡展望台
くらわずのなし
不喰梨
かじすい
加持水
四国のみち
屋島小学校
遍照院
ささや旅館
四国村
屋島中学校
琴電屋島駅
赤牛公園
松田胃腸科外科
古高松駅
古高松南駅
わたなべ耳鼻咽喉科
岩藤内科
マール
コープ
マルヨシ
マルナカ
すさきじ
洲崎寺
栗山記念館
牟礼北小学校
屋島東小学校
高松市
久通港
立石港
壇の浦
八栗ケーブル
八栗山上駅
八栗登山口駅
八栗駅
琴平電鉄志度線
JR高徳線
相引川
・石の民俗資料館
・石匠の里公園
御山公園
・新屋島水族館
「四国遍路」巡礼マップ
第84番　屋島寺 ▶ 第85番　八栗寺
5.4km
※赤い点線は遍路道の一例です
《凡　例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
公衆トイレ
医療機関
道の駅
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
店舗・スーパー
コインランドリー
温泉
学校
各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第85番 八栗寺
●香川県高松市牟礼町牟礼3416
☎087-845-9603
●宿坊／なし

第86番 志度寺
●香川県さぬき市志度1102
☎087-894-0086
●宿坊／なし

沿線の見どころ

高松市石の民俗資料館

高松市牟礼町・庵治町は、良質なことで知られる庵治石の産地である。この資料館では、石工が使っていた用具の展示、仕事場の様子や大正から昭和にかけての石切り場の風景などの再現により、石工達の知恵と技術、優れた技能に触れることができる。周辺には「石匠の里公園」があり、芝生広場に点在する石の彫刻が、訪れる人々を楽しませる。

所 香川県高松市牟礼町牟礼1810
☎ 087-845-8484
営 9:00～17:00
（展示室への入室は16:30まで）
休 月曜（祝日の場合は翌平日）
料 大人200円

境内の見どころ

中将坊堂

天狗の中将坊を祀ったお堂で、本堂横の石段を数十段上ったところに建てられている。天狗は修験者の象徴でもあり、五剣山が古くから山岳修験の行場であった名残を今に伝えている。五剣山の山中には、弘法大師作といわれる岩壁に彫られた磨崖仏（まがいぶつ）も残っているが、入山禁止であるため見学はできない。

境内の見どころ

聖天堂

木食以空上人が後水尾天皇の皇后・東福門院より賜ったとされる、弘法大師作の歓喜天が本尊。日本最古ともいわれ、50年に一度しか開帳されない秘仏だ。歓喜天信仰は弘法大師が唐より持ち帰ったといわれ、商売繁盛、良縁成就、学業成就のご利益を求めて、多くの参拝者が訪れる。境内に見られる巾着と大根はそのご利益を表している。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

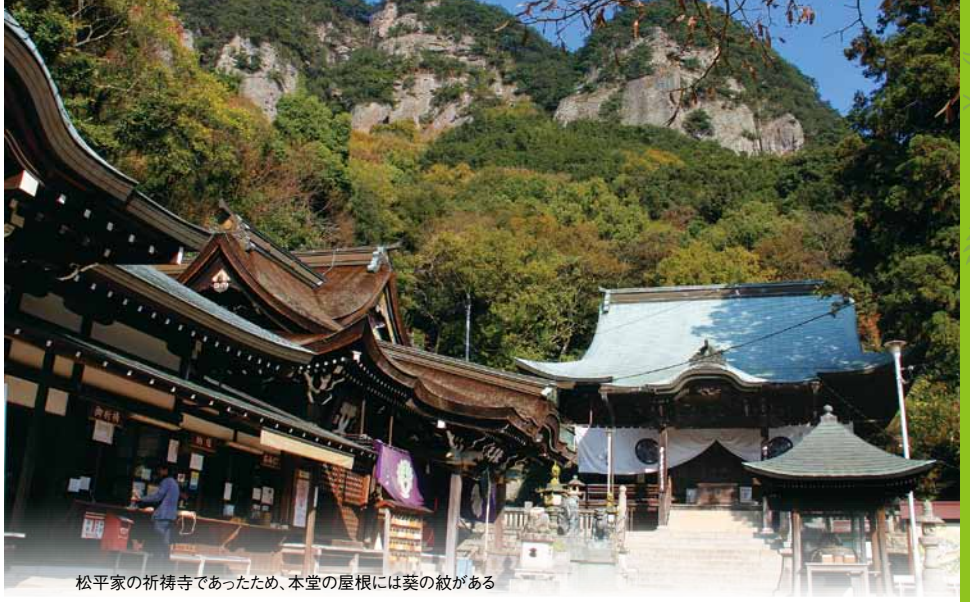
弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



松平家の祈祷寺であったため、本堂の屋根には葵の紋がある

第85番 五剣山 観自在院 八栗寺
ごけんざん　かんじざいいん　やくりじ

皆が親しむ「八栗のお聖天さん」

歴史・全体像

創建は天長6年（829）、開基は弘法大師。大師がこの山に登り求聞持法を修した際、天より5本の剣が降ってくると共に山の鎮守である蔵王権現の神託を得た。そこで5本の剣を埋めて鎮護としたのが五剣山の名の由来。また、入唐前に8つの焼き栗を埋めて入唐求法の成否を占った。帰国後再び訪れると、焼き栗全てが生長繁茂していたので、寺の名を八国寺から八栗寺に改めた。

以後、山岳修験の場としても栄えるが、天正の兵火に遭って焼失。文禄年間（1592～1596）に無辺上人が再興に尽力し、本堂を再建。江戸時代に入り、高松藩主松平頼重・頼豊が諸堂を再建し、松平家祈祷寺と定めた。

境　内

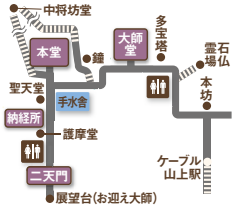
標高375mの五剣山は、地上から剣を突き上げたような形状。八栗ケーブル山上駅から境内へと続く参道を進み、石仏霊場に続く階段を越えれば、朱塗りの鮮やかな多宝塔と共に大師堂が見える。

さらに参道を進むと、正面に聖天堂、右側に葵紋の幕がかかる本堂が建つ。本堂脇の石段は中将坊堂に続き、山岳修験の行場であった名残を留める。また、表参道を上り、二天門から眺める五剣山の景色は圧巻である。

この寺は八十八ヶ所では珍しい歓喜天の霊場としても有名。聖天堂に祀られた歓喜天は霊験あらたかで「八栗のお聖天さん」と呼ばれ信仰されている。

御詠歌／煩悩を胸の智火にて八栗をば修行者ならで誰か知るべき
本尊／聖観世音菩薩
真言／おん あろりきゃ そわか
宗派／真言宗大覚寺派
開基／弘法大師

大師堂横に十二支の仏像が祀られている



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第85番 八栗寺 ▼ 第86番 志度寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第85番　八栗寺 ▶ 第86番　志度寺

6.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

弘法大師ゆかりの寺院	宿泊施設	公衆トイレ
ゆかりの神社	遍路小屋	医療機関
ゆかりの場所	休息所	道の駅
ファミリーレストラン	店舗・スーパー	温泉
コンビニエンスストア	コインランドリー	学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	岡田屋旅館	087-845-1594
2	たいや旅館	087-894-0038
3	冨士屋旅館	087-894-1175
4	栄　荘	087-894-0029
5	いしや旅館	087-894-0021

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第86番 志度寺
●香川県さぬき市志度1102
☎087-894-0086
●宿坊／なし

第87番 長尾寺
●香川県さぬき市長尾西653
☎0879-52-2041
●宿坊／なし

沿線の見どころ

平賀源内記念館

志度出身の奇才・平賀源内の業績を紹介する記念館。エレキテルをはじめとする発明品や書簡、著書などの展示コーナー、映像や体験コーナーがあり、源内ワールドにひたることができる。西へ550mほど行ったところには源内の生家「旧邸」があり、一角には源内の銅像、ゆかりの薬草園、源内焼工房などが併設されている。

所 香川県さぬき市志度587-1
☎ 087-894-1684
営 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）
料 大人500円

沿線の見どころ

自性院

自性院は志度寺の塔頭。正門に入る前の右側に江戸時代に活躍した発明家・平賀源内の墓所があることから、志度寺を訪れたお遍路さんが多く立ち寄る。源内は安永8年（1779）、52歳で獄死し、この地に葬られている。また、この寺は「さぬき良寛さん」と呼ばれた名僧・竹林上人が第七代住職を務めたことでも有名。

所 香川県さぬき市志度1105
☎ 087-894-0324

境内の見どころ

無染庭（むぜんてい）・曲水式庭園

書院南の「無染庭」は、7つの石と白砂で海女の玉取り伝説を表現した枯山水の庭。3000坪もの広さがある「曲水式庭園」は、室町時代の四国管領細川氏が代々寄進して作庭させたもので、京都龍安寺の枯山水石庭も手がけた細川勝元の手によって完成された。庭園の一角には「お辻の井戸」がある。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

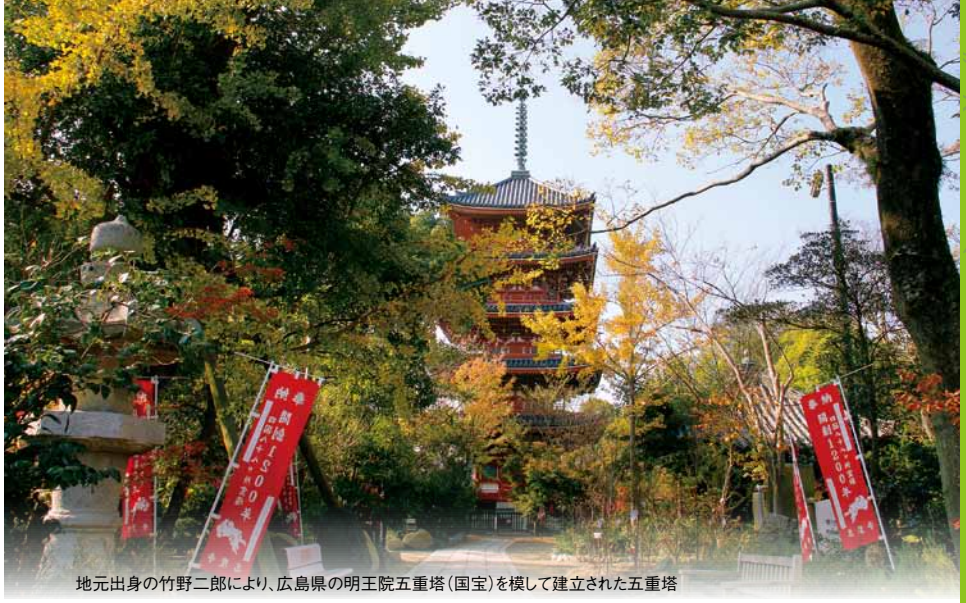
弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



地元出身の竹野二郎により、広島県の明王院五重塔（国宝）を模して建立された五重塔

第86番 補陀洛山 清浄光院 志度寺

ふだらくさん　せいじょうこういん　しどじ

命の再生を願う閻魔信仰の寺

歴史・全体像

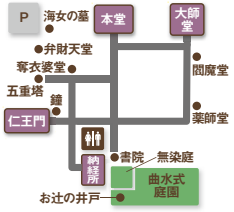
国の重要文化財「志度寺縁起絵図六巻」によれば、推古33年（625）、蘭子という尼が霊木を仏師に彫らせ、閻魔が建てたお堂に本尊として安置した。そこに天武10年（681）、藤原不比等が妻のためにお堂を整備し、「志度道場」と名付けたのが始まりとされる。その後、持統7年（693）に不比等の息子房前（ふささき）が行基と共に堂宇を拡張、寺は僧侶の学問所や信者の修行の場となった。また、房前は父母の慈愛に感謝して、千基の石塔群も造立しており、一部が海女の墓として残されている。江戸時代には、志度出身の平賀源内を長崎に遊学させるため、当時の住職が尽力したことでも知られる。

境　内

運慶作とされる仁王像を納め、日本有数と称えられる見事な仁王門は、高松藩主松平頼重が、寛文10年（1670）に寄進したもの。門を抜けると、歴史ある境内が広がる。左手には五重塔がそびえ、庫裡、書院が並ぶ。参道を左に曲がると、本尊と共に重要文化財に指定されている本堂があり、そばに大師堂、閻魔堂、薬師堂へと続く。閻魔堂には「志度寺縁起」に描かれている閻魔が祀られている。一度あの世に行った人が閻魔の命によって蘇生する物語は、今も人々を惹きつけてやまない。他にも曲水式庭園、歌舞伎や浄瑠璃にもなった「お辻の井戸」など、見どころは多い。

御詠歌／いざさらば今宵はここに志度の寺祈りの声を耳にふれつつ
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／藤原不比等

本堂、仁王門ともに松平頼重が寄進



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第86番 志度寺 ▼ 第87番 長尾寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第86番　志度寺 ▶ 第87番　長尾寺

7.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

縮尺＝1:13,000　0　150　100　50　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

A地点　JR高徳線　長行　造田是弘　ぎょくせんじ 玉泉寺　尽誠　造田宮西　宮西中　造田八幡宮　宮西西　鴨部川　広瀬　広瀬橋　川北　憩　住吉　さぬき市　下所　川東　安松　香川東部養護学校　関ノ上　コメリ　坊丁　昭和　長尾西　つじ整形外科　東町　87　ながおじ 長尾寺　マルナカ　長尾東　清水　千代町　琴電長尾駅　結願の宿 ながお路　あづまや旅館　間嶋内科小児科　長尾小学校

志度港　さぬき市役所　志度寺診療所　塩屋　富士屋旅館　平賀源内記念館　中川内科　86　しどじ 志度寺　たいや旅館　栄荘　いしや旅館　自性院　琴電志度駅　江崎医院　志度駅　志度　弁天川　JR高徳線　マルナカ　志度小学校　コープ　米田耳鼻咽喉科　志度中学校　ツツミ病院　パルティ・フジ　さぬき市　平竹　小坂　藤村　志度バスストップ　至、さぬき三木ＩＣ　高松自動車道　至、志度ＩＣ　幸田　幸田池　志度　オレンジタウン駅　長行　A地点　JR高徳線　長行

へんろみち周辺の宿泊施設

1	いしや旅館	087-894-0021
2	冨士屋旅館	087-894-1175
3	たいや旅館	087-894-0038
4	栄　荘	087-894-0029
5	結願の宿 ながお路	0879-52-3084
6	あづまや旅館	0879-52-2415

境内は地域交流の場にもなっており、行事で賑わう

第87番 補陀洛山 観音院 長尾寺
ふだらくさん　かんのんいん　ながおじ

静御前をまつる「お観音さん」

歴史・全体像

天平11年（739）、この地を訪れた行基が柳の木で聖観音像を彫り、安置したのが始まりとされる。大同年間（806～810）、入唐にあたって弘法大師が訪れ、年頭七夜の護摩祈祷を行った。帰国後、入唐の大願成就を感謝した大師は、大日経一字一石の供養塔を建て、堂宇を建立した。その後、寺運は栄えるも、戦乱により諸堂を焼失。慶長年間（1596～1615）、讃岐国守の生駒一正によって再興された。さらに後には高松藩主松平頼重により庇護され、松平家の祈願寺となる。源義経の側室である静御前が得度した寺との言い伝えもあり、長尾寺には静（宥心尼）の位牌が残っている。

境　内

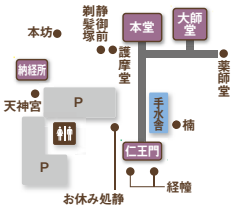
仁王門前に左右一対で建っている経幢（きょうどう）の間を通り、門を抜けると、参道横に香川の保存木である楠がそびえ立つ。正面には平成19年（2007）11月に屋根瓦を葺き替えられた本堂が建ち、向かって右側に大師堂、左側に護摩堂が配置されている。

本尊は聖観世音菩薩。度重なる戦乱や火災にも不思議に残ることから、松平頼重に「当国七観音随一」と指定され、秘仏として祀られている。

長尾の商店街にも近く、町の人からは「お観音さん」と親しまれており、境内は地域のコミュニティの場としても利用されている。

御詠歌／あしびきの山鳥の尾の長尾寺秋の夜すがらみ名をとなえよ
本尊／聖観世音菩薩
真言／おん あろりきゃ そわか
宗派／天台宗
開基／行基菩薩

松平頼重建立の本堂は葵紋入り丸瓦



第87番 長尾寺
●香川県さぬき市長尾西653
☎0879-52-2041
●宿坊／なし

第88番 大窪寺
●香川県さぬき市多和兼割96
☎0879-56-2278
●宿坊／なし

沿線の見どころ

ツインパルながお

天然温泉とトレーニングルーム、アリーナが一体となった健康施設。温泉は和風と洋風の露天風呂、ジェットバス、寝湯、サウナを完備。泉質は単純弱放射能冷鉱泉。流水プール、子ども用プール、ジャグジープールなどの温水プールは7・8月のみ営業。小さな子どもから大人まで楽しめる。

所 香川県さぬき市長尾名1494-1
☎ 0879-52-1126
営 施設により異なる
休 水曜（祝日の場合は翌日）
料 入浴のみ大人610円、
入浴とプール大人1,020円

沿線の見どころ

前山おへんろ交流サロン

長尾寺と大窪寺との中間に位置する、おへんろ文化を伝える施設。建物の中にはお茶のサービスなどがある休憩コーナーも設置されており、展示されている貴重な資料を見学したあとは、旅の疲れを癒やすこともできる。おへんろ交流サロンを起点として大窪寺まで歩いて行ける「へんろ道マップ」も作成されている。

所 香川県さぬき市前山936
☎ 0879-52-0208
営 8:00～16:00
休 12/31、1/1

境内の見どころ

経幢

経幢とは写経を埋めた上に立てるもので、仁王門前に左右一対で立っている。東側のものには「弘安九年五月」、西側には「弘安六年七月」の銘があり、元寇出征将兵の霊を慰めるためにたてられたものとされている。鎌倉時代より栄えた名刹の歴史を物語る貴重なもので、重要文化財に指定されている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第87番　長尾寺 ▶ 第88番　大窪寺

12.3km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	結願の宿 ながお路	0879-52-3084
2	あづまや旅館	0879-52-2415
3	野田屋 竹屋敷	0879-56-2288
4	八十窪	0879-56-2031

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第88番 大窪寺
●香川県さぬき市多和兼割96
☎0879-56-2278
●宿坊／なし

第1番 霊山寺
●徳島県鳴門市大麻町坂東字塚鼻126
☎088-689-1111
●宿坊／なし

沿線の見どころ

細川家住宅

18世紀初期の民家の姿を今に伝える典型的な農家建築。母屋の柱は栗材をチョウナで削り多角形に仕上げており、ほかの軸部は松材。屋根は茅葺きで、下まで葺き降ろした「ツクダレ葺き」という形式で造られている。客の接待、家族の団らん、食事などに使われた土座は現在の居間にあたり、囲炉裏を中心に座をしつらえている。国の重要文化財指定。

所 香川県さぬき市多和額東46
（88番大窪寺から国道377号線経由西に6km）
☎ 0879-42-3107
（さぬき市教育委員会生涯学習課）
営 9:00～16:30
休 月曜
料 無料

境内の見どころ

種田山頭火句碑

本堂の横の阿弥陀堂前に佇む、漂泊の歌人・種田山頭火の句碑。当寺で詠まれた「ここが打留の水があふれてゐる」の句が刻まれている。山頭火はこの他にも長尾近郊で多くの句を詠んだという。周辺エリアには「夜が長い谷の瀬音のとほくもちかくも」など、多くの句碑が建てられている。

境内の見どころ

寶杖堂

結願所となる大窪寺には、88の霊場を無事に巡り終えたことの証としてお遍路さんが奉納した金剛杖や菅笠が大量に保管されている。大師堂横には、金剛杖を納める「寶杖堂」が建立されており、これら奉納品の数々は、毎年春分の日と山の日に催される柴燈護摩供で、山伏修験者によって焚き上げられる。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

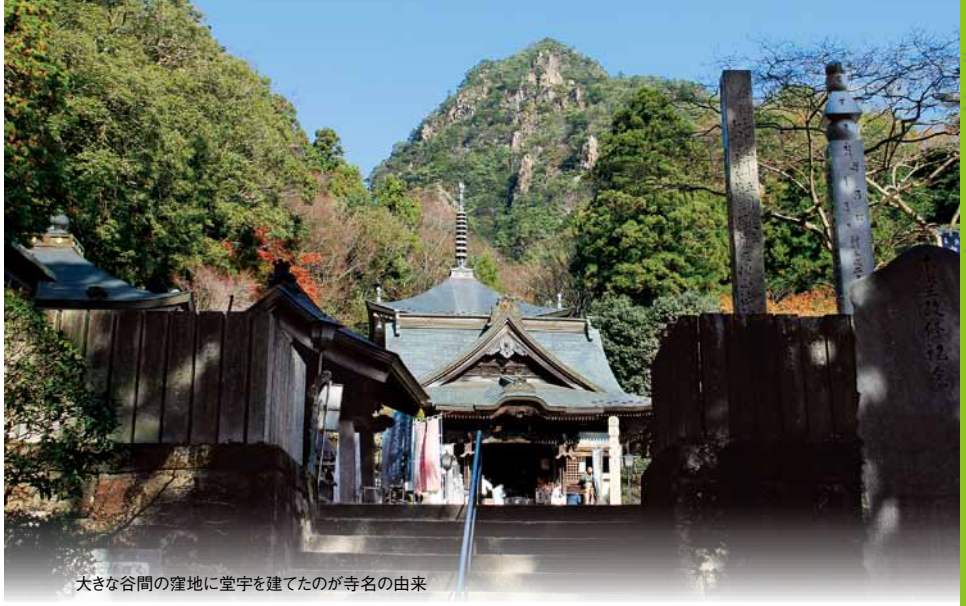
弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



大きな谷間の窪地に堂宇を建てたのが寺名の由来

第88番 医王山 遍照光院 大窪寺
いおうざん　へんじょうこういん　おおくぼじ

四国霊場巡り終着の結願寺

歴史・全体像

寺伝によれば養老年間（717～724）、行基が草堂を建立したことが始まり。その後に巡錫中の大師が胎蔵ヶ峰の岩窟で求聞持法を修して薬師如来を彫り、堂宇を整えたといわれる。この時に大師は、唐の恵果阿闍梨から授かった、三国（インド、唐、日本）伝来の錫杖を本尊と共に納めた。その後、僧房100を有し、早くから女性の入山を許していたこともあって「女人高野」とも呼ばれ栄えたが、天正の兵火で焼失。初代高松藩主松平頼重が寺領を寄進、二代頼常も本堂や仁王門の修復を行い再興された。しかし、明治時代に火災で堂塔を焼失。二天門以外の現在の建物は、その後再建されたものだ。

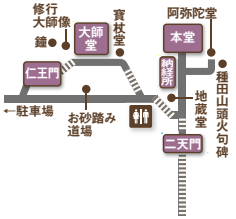
境　内

二天門とも呼ばれる山門を抜けて、石段を上ると正面に本堂と阿弥陀堂が並び建つ。本堂は礼堂と中殿、二重多宝塔となっている奥殿からなり、本尊の薬師如来と三国伝来の錫杖は奥殿に祀られている。納経所は本堂手前左側にあり、地蔵堂がその隣に建っている。本堂手前を左に折れ、階段を上って参道を進むと寶杖堂と大師堂とが並び、仁王門へと続く。

深山に広がる境内は、春の桜や秋の紅葉など四季折々の美しさを見せる。仏の慈悲のように降り注ぐ木洩れ日は、結願を迎えた遍路の心に深く沁み入り、遍路旅の疲れを癒してくれるだろう。

御詠歌／南無薬師諸病なかれと願いつつ詣れる人は大窪の寺
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗単立
開基／行基菩薩

薬師如来のほら貝は厄難諸病を吹き払う



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第88番 大窪寺 ▼ 第1番 霊山寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第88番　大窪寺 ▶ 第1番　霊山寺
第10番 切幡寺経由（18.2km）
39.6km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- コンビニエンスストア
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

88 おおくぼじ 大窪寺（標高 445m）
憩 宿 八十窪

へんろみち周辺の宿泊施設

1	八十窪	0879-56-2031

N

縮尺＝1:30,000
0　500　2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

A地点

10 きりはたじ 切幡寺

1 霊山寺へ直行 21.4km